

Syllabus

心理学部

心理学科

2019～2021 年度入学生

吉備国際大学

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|-------------|----|
| 授業科目名 | 吉備国際大から世界へ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 高橋 睦子、鈴木 英治 | | | | NO. | GE-KE-1-001 | |
| 配当学科 | 社会科学部・心理学部・アニメーション文化学部 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | この科目の主要なテーマは、グローバル化が深化する現代世界における国際性と地域文化である。到達目標は、学生が、本学の所在地である備中高梁という場所が地域文化圏「吉備の国」としてどのような文化的・歴史的特色があるのかを十分に理解し、さらに、世界の文化や社会の多様性を学ぶことによって国際人となるための基礎を修得できるようになることである。学生は、日本と世界とのつながりを把握し、備中高梁(吉備の国)の自然環境、歴史、精神風土についての基礎知識を学修しつつ、ローカルな日常生活とグローバルな国際社会との関係から、多文化共生の基本的な意義と課題について理解できるようになる。 | | | | | | |
| 概要 | (地) 吉備国際大学のメインキャンパスが立地する岡山県高梁市は、日本における政治や教育、福祉などの分野で先進的かつ指導的な活躍をした人材を多く輩出した地である。このような地域の歴史・文化・社会の特色について多角的に紹介するこの科目は、本学の地域志向教育の科目群の一つである。 さらに、この科目は、吉備国際大学の教育目標である地域に根ざしグローバルに活躍できる「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」教育への序論として位置づけられる、高梁を中心とする文化圏「吉備の国」の特色を学び、また国際人養成の基礎として世界の文化や社会の多様性を学ぶ。いわば、吉備国際大学学生としての知的基盤を培う科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の講義で作成・提出する小レポートをもとに、(1) 授業内容についての理解度(60%) および (2) 授業への参加の積極性・理解しようとする取り組みの姿勢(40%) から成績評価を行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修にあたっては毎回必ず小レポートを提出する必要がある。2行未満のレポートや名前のみを記載して提出されたレポートについては欠席扱いとする。授業中は積極的にノートを取り、自分なりの関心と問題意識をもって聴講すること。受講は、各回の授業テーマについて基礎知識・情報を確認する予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について自ら入手可能な資料等を用いて調べ理解を深めるよう復習を行うこと。 学内外の十数人の講師が分担するので、授業の進行状況によって講義スケジュールに変更が生じる可能性がある。変更がある場合にはその都度受講生に連絡する。 授業中の私語やスマホ・ケータイなど迷惑行為は一切認めない。 | | | | | | |
| 自己学習 | 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題が指示される。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後教室にて。 | | | | | | |

| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 |
|---------|------|-----|--------------------------------------|----------|------------------|
| | | | 1. 序・「国際」の意味とグローバル化 2. 東アジアの国際関係論 | 講義 講義 | 高橋睦子 高橋睦子・李分一 |
| | | | 3. (地) 順正学園と備中高梁 | 講義 | 高橋睦子・加計美也子 |
| | | | 4. (地) 本学の地(知)の拠点整備事業 | 講義 | 高橋睦子・河村顕治 |
| | | | 5. (地) アニメーションから見た高梁 | 講義 | 高橋睦子・井上博明 |
| | | | 6. (地) 高梁市 - ひと・まち・自然 | 講義 | 高橋睦子・近藤隆則 |
| | | | 7. (地) 備中松山城とともに | 講義 | 高橋睦子 |
| | | | 8. 'My own place' アイルランド | 講義 | 高橋睦子・J. Fawsitt |
| | | | 9. 私のアフリカ体験 | 講義 | 高橋睦子・畝伊知朗 |
| | | | 10. インド | 講義 | 高橋睦子・大下朋子 |
| | | | 11. ドイツ | 講義 | 高橋睦子・大原秀行 |
| | | | 12. フィンランド | 講義 | 高橋睦子 |
| | | | 13. EU(欧州連合)-地域共同体の形成と展開 | 講義 | 高橋睦子 |
| | | | 14. EUの挑戦 | 講義 | 高橋睦子 |
| | | | 15. まとめ・世界の中の日本 最終試験:「評価方法」を参照 | 講義 | 高橋睦子 |

| | |
|-------|--|
| 教科書 1 | 『国際理解のために』 ※購入不要 著者:高橋 和夫 出版社:放送大学教育振興会 ISBN:978-4595314261 |
| 教科書 2 | |
| 参考書 1 | 『異文化理解入門』 ※購入不要 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342 |
| 参考書 2 | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 吉備国際大から世界へ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 日笠 恵美子 | | | | | NO. | GE-KE-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・AL |
| テーマと到達目標 | 留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。 | | | | | | |
| 概要 | 主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験 | | 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験 | 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 | | | | |
| 教科書 1 | 用しない(必要に応じてプリントを配布する) | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|-----|--|-----|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 吉備国際大から世界へ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-KE-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。 | | | | | | |
| 概要 | 主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス | | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | |
| 1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験 | | | 講義 | 井上 | 1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験 | | |
| 教科書 1 | | | まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社 | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|---|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 吉備国際大から世界へ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 日笠 恵美子 | | | | | NO. | GE-KE-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・AL |
| テーマと到達目標 | 留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。 | | | | | | |
| 概要 | 主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、2クラスに編成する。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1.オリエンテーション 2.世界の中の日本、岡山、高梁 3.日本人の行動様式 4.日本の食文化 5.日本の伝統文化 6.健康法 7.教育と学び 8.余暇と娯楽 9.現代の社会 10.報道とマスコミ 11.ITと情報社会 12.科学と技術 13.日本の歴史 14.岡山の祭り 15.異文化理解 16.単位認定試験 | 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験 | 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 | | |
| 教科書 1 | 使用しない(必要に応じてプリントを配布する) | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 漢字マスターN2 著者:アークアカデミー 出版社:三修社 ISBN:978-4-384-05632-7 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|------|-----|--|-----|--|--|
| 授業科目名 | 吉備国際大から世界へ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-KE-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。 | | | | | | |
| 概要 | 主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。 履修上の条件・注意点:履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。本科目は、プレースメントテストの結果で、3クラスに編成する。クラス編成は以下のとおりである。 1クラス…日本語関連科目 I の1クラス 2クラス…日本語関連科目 I の2、3クラス 3クラス…日本語関連科目 I の4、5クラス | | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度を平常点として20点、ノートやレポート課題の提出を50点、そして単位認定試験を30点とし、これらを100点満点で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 毎週の授業内容を踏まえて、事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験 | | 講義 | 井上 | 1. オリエンテーション 2. トピック1 3. トピック1 4. トピック2 5. トピック2 6. トピック3 7. トピック3 8. トピック4 9. トピック4 10. トピック5 11. トピック5 12. トピック6 13. トピック6 14. トピック7 15. トピック7 16. 単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 |
| 教科書 1 | まるごと ことばと文化 初級2 A2 りかい 著者:来嶋洋美 柴原智代 八田直美 今井寿枝 木谷直之 出版社:三修社 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|-----|----------------|--|--|
| 授業科目名 | 地域貢献ボランティア | | | | 履修期 | 2021年度 春学期～秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | GE-KE-2-003 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>「地域貢献ボランティア活動を通して地域社会に積極的に参加できる人材となる。」をテーマとする。 各学科で定められたディプロマポリシーの技術・行動項目において、「社会に積極的に参加できる人材となる。」を目的とした科目であり、具体的には、地域のボランティア活動へ参加し、地域の人々と共にふれあい活動することで、地域社会に貢献しようとするところや姿勢を持ち、地域社会や身近な生活におこりうる問題点を理解し、解決するために地域社会に積極的に参加できるようになることを到達目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>キャリア教育の一環として社会人基礎力を身に付けるために、地域貢献ボランティアをおこなう。具体的には、ボランティアの社会的役割やボランティアの意義、活動時の注意事項等について学んだのち、地域から要請を受けたボランティア活動を10コマ分(20時間以上)行なう。 ボランティア活動は、ボランティア活動予定表(5月～12月末まで)から活動時間合計が20時間以上になるよう選択し、活動をおこなう。 その後、ボランティア活動報告書(1,000字以上)を作成し、学科別にて発表を行う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>ボランティア活動の内容および活動報告書、発表会内容等により、授業の到達目標についての達成度をトータルで評価する。具体的には、ボランティア活動状況60%、発表20%、活動報告書20%のウエイトにより評価する。 コメント・フィードバックは活動報告の時間内で行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>「吉備から世界へ」の授業で学んだ地域の問題点について、さらに事前学修により調査し理解したのち受講する。履修登録までに、大学が加盟する任意保険(学生教育研究災害傷害保険「学研災」)に加入すること。 ボランティア活動時は、ボランティアカードと学生証を携帯し、受入れ事業者の指示に従い、事故に注意すること。 ボランティア終了時には、活動時間を記入し、事業者に終了確認印を受領すること。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>ボランティア活動に参加する前に、参加するボランティア活動の内容についてインターネットなどを活用して調べておくこと。また、ボランティア終了後にはその都度活動の内容について振り返りを行い、記録を整理しておくこと。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日4限目(森井研究室)をオフィスアワーとして指定している。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. ボランティア活動の基礎的理解 2. ボランティア活動の注意点と活動計画作成 3. ボランティア活動 4. ボランティア活動 5. ボランティア活動 6. ボランティア活動 7. ボランティア活動 8. ボランティア活動 | | 講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 | 外部講師 森井 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 | 9. ボランティア活動 10. ボランティア活動 11. ボランティア活動 12. ボランティア活動 13. 活動報告 14. ボランティアフォーラム 15. ボランティアフォーラム 16. 試験(活動報告書) | | | 実習 実習 実習 講義 講義 講義 レポート試験 | 外部講師 外部講師 外部講師 森井 森井 森井 森井 |
| 教科書 1 | 資料を適宜配布 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | キャリア開発 I | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | GE-CG-1-001 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】社会人としてのキャリアを積みあげていくため、4年間の大学生生活(授業, ボランティア, アルバイト, クラブ活動など全般)を通して、卒業までの過ごし方を計画(自己のキャリアデザイン)し、実行ができるようになることである。</p> <p>【到達目標】社会が求める人間像を学びつつ、自己分析力を身につけ、卒業までの各節目に常に自己分析をし、その時点で何を身につけるべきか、何をすべきかを考えることができるようになる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>社会が求める人間像を学び、特に自己分析能力を身につけ、キャリアデザインを考え、実行できるようになるための授業である。具体的には、「他学科合同授業」と「心理学科の授業」の2形態から構成されている。</p> <p>「他学科合同授業」では、学生生活や卒業後の仕事などについての授業がある。</p> <p>「心理学科での授業」とは、心理学科の中で行われる授業である。キャリアに関すること、体験学習などを行う。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 他学科合同授業や心理学科の授業の課題やレポート提出, 受講の積極性(60%), レポート試験(40%)で評価する。課題のフィードバックは13~15回目の授業内で行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。予習と復習を欠かさずにおこなうこと。プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習に用いる教材プリントは授業中に配布し、課題の説明をおこなう。予習(2時間程度)と復習(2時間程度)は合計4時間程度とする。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて), 活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1.心理学科:オリエンテーション 2.他学科合同:外部講師による講義 3.他学科合同:外部講師による講義 4.他学科合同:外部講師による講義 5.心理学科:コミュニケーションスキル 6.心理学科:傾聴 7.心理学科:会話について 8.心理学科:キャリアについて 9.心理学科:大学生活と就職 10.心理学科:施設利用について 11.心理学科:10号館図書館利用 12.心理学科:2号館図書館利用 13.心理学科:文献の取り寄せ方 14.心理学科:文献の見方 15.心理学科:レポートの書き方 認定レポート試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 レポート | 土居 外部講師 外部講師 外部講師 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 |
| 教科書 1 | 必要に応じて、プリントを配布する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | キャリア開発Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | GE-CG-3-002 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 自己適性発見力・目標設定力を身につけ、自分に適した職業進路を具体的に選択し、就活のため、具体的能力を發揮できるようにする。また、一般社会で身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての一般常識や教養、分別、協調性や能力を再確認し実質的なものにする。 | | | | | | |
| 概要 | それぞれに適した進路選択を具体的に行い、就活力を身につけるため、合同授業と、各学科単位での授業の2形態とする。合同授業は、外部講師等による就活に向けた実践講座等である。各学科の学科単位の授業は、それぞれの進路に対しての具体的指導等である。また、キャリアポートフォリオを就活に活かせるように仕上げる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学科・合同授業中ごとに求める課題(80%)と単位認定試験(20%)にて評価する。 なお、欠席については総合点より回数分減点します。 課題等のフィードバックは、課題にコメントを入れて対応します。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回、授業内容の復習をし、職業選択と就活の実践および自立に向けて深く考えること。予習・復習の課題がある。遅刻は禁じます。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に配布する資料に十分目を通して、事前学習を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(まとめ)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。学習時間は、1日2時間程度とする。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜5限:研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.各学科 授業について 2.就職活動の動きを学ぶ 3.インターシップの必要性和エントリーシート攻略 4.自己分析・自己PR 5.乗り遅れるなWEB就活 6.各学科(進路調査票)就職サイト登録 7.業界研究・職業教育 8.マナー(身だしなみ) 9.労働関係法規 10.エントリーシート攻略フォロー 11.SPI対策(筆記試験対策) 12.履歴書の書き方・応募書類の出し方 13.面接対策・GD/集団・個人 14.就職活動、いざインターシップ 15.まとめ 16.単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 橋本 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 外部講師 橋本 | | | | |
| 教科書 1 | 教科書は指定しない。適宜、必要に応じて指示する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------------------------|--|----------------------------|---------|------|------------|-------------|-------|
| 授業科目名 | 情報処理 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝、村上 勝典 | | | | NO. | GE-IT-1-001 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義と演習 |
| テーマと到達目標 | 高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。 | | | | | | |
| 概要 | 情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、企業における情報システム管理部門としての実務経験を持つ教員から、その経験を活かした、現場において実践的に役立つ授業として実施される。 | | | | | | |
| 評価方法 | 「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること(受講者数はパソコン教室の定員以内とする)。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修は認められないこともある。 高校までに習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。 | | | | | | |
| 自己学習 | 各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点をまとめた上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 宇都宮:火曜日4時限 村上:水曜日1時限 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 第1回 オリエンテーション(クラス・教科書、ログイン等確認) | 講義・演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第2回 パソコンのハードウェアと周辺機器 | 講義 | | | | | | |
| 第3回 デジタルデータのしくみ(ビット/バイト・標本化・コード) | 講義 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第4回 OSとアプリケーション | 講義 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第5回 ファイルシステム操作 | 講義・演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第6回 文書作成(ワープロソフト)操作 | 演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第7回 文書作成(ワープロソフト)課題 | 講義・演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第8回 表計算ソフト操作 | 演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第9回 表計算ソフト課題 | 講義 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第10回 プレゼンテーションソフト操作 | 演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第11回 プレゼンテーションソフト課題 | 講義・演習 | 宇都宮・村上 宇都宮・村上 宇都宮・村上 | | | | | |
| 第12回 ネットワークとインターネット | 演習 | | | | | | |
| 第13回 インターネットによる情報検索・情報セキュリティ | 講義・演習 | | | | | | |
| 第14回 コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決 | 講義 | | | | | | |
| 第15回 情報モラルと社会問題、まとめ・質疑 | AL・演習 | | | | | | |
| 第16回 単位認定試験 | 講義 | | | | | | |
| | 講義 | | | | | | |
| | 実技試験 | | | | | | |
| 教科書 1 | 情報リテラシー 入門編<改訂版>FPT1716 出版社:FOM出版 ISBN:978-4-86510-345-8 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 情報処理Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 片山 章郎 | | | | | NO. | GE-IT-1-002 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | ①社会人になった時、事務処理でEXCELの活用ができる技術を身に付ける。 ②統計学の基礎を学ぶ。 以上のことを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | EXCELの基本と、書式や関数の使い方を説明しながら、関数を利用した処理の演習をおこなう。また事務処理でよく利用される形式の集計や計算を想定した課題問題を使って、書式や関数の設定、並びに正しい結果になっているかの検証方法などを身に付ける。 なお、課題を通して学んだ知識が定着しているか、グループ討論を導入したアクティブ・ラーニング形式の授業も実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は電算部でコンピュータの実務経験のある教員が担当。ビジネスの現場で必要とされる情報処理技術について講義、演習、アクティブ・ラーニングによって学生の理解を深める。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 課題問題の解答の提出と説明(理解度を確認するため、解答の提出と同時に、解答を導き出した過程の説明も求める。)の20%と、筆記試験の80%で評価する。 なお、評価のために実施した課題問題の解答手順は授業でフィードバックするので、しっかり復習をすること。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 配布されたマニュアルに基づいて予習しておくこと。 課題問題の提出後は解答に到る手順説明を求めするので、復習をしっかりとしておくこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 欠席すると、授業で実施する課題問題の解答を提出できない。欠席した場合は次週の授業までに解答を提出できるよう、担当教員に教わりに行ったり、自主学習をしたりすること。 予習と復習を必ず行うこと。予習に1時間、復習に3時間程度要する。パソコンを使って、予習・復習することが望ましい。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、月～金曜日の昼休みと火曜日の4時限に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 表計算の作成手順 2. 請求書の作成①(書式や数式) 3. 請求書の作成②(関数や表の編集等) 4. 書式や関数の理解度の確認 5. 売上表の作成(データ入力) 6. 売上表の分析(ピボットテーブルとグラフ) 7. 集計やグラフの理解度の確認 8. アルバイトの勤務表の作成(日付・時間関数とデータチェック) 9. アルバイトの勤務表の分析 10. 時間関数の理解度の確認 11. アンケートデータの入力(入力規則) 12. アンケートの集計 13. 集計結果の分析 14. 統計の基本の理解度の確認 15. 総復習 16. 単位認定試験 | | | 演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義・AL 演習 演習 演習 講義 筆記試験 | 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 片山 | |
| 教科書 1 | 初回授業時に情報処理Ⅱ用EXCELマニュアル(作成配布資料)を配布 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 統計の授業前に統計学の基礎の資料を配布 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|---|---|------|-------------|
| 授業科目名 | 情報処理Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 大谷 卓史 | | | | | NO. | GE-IT-1-002 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | <p>仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 2. 方が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 3. 情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じるか理解できるようになる。 <p>なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的な事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。</p> <p>主要なキーワードは次のとおりである。</p> <p>電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。</p> <p>講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。</p> <p>原則として情報処理Iの単位を取得した学生を対象とします。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。</p> <p>予習: 次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。</p> <p>復習: 授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。</p> <p>秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨ 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理・法・慣習 4 倫理とは何だろうか(1) 基本的な用語と枠組み 5 コンピューティングの歴史 コンピュータの誕生からパソコンの登場まで 6 コンピューティングの歴史 インターネット出現からIoT時代まで 7 身近な情報セキュリティ 8 メールやメッセージングアプリのセキュリティ 9 著作権の基礎 10 レポート作成の倫理問題 11 「漫画サイトが見られない」 12 個人上保護法の基礎知識 13 ポイントカードと個人情報 14 情報時代のプライバシー 15 まとめ 16 試験 | <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>筆記試験</p> | <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷</p> | | |
| 教科書 1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>改訂新版 情報倫理入門</p> <p>著者: 土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子</p> <p>著</p> <p>出版社: アイケイコーポレーション</p> <p>ISBN: 4874923240</p> | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 英語Ⅲ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 平見 勇雄 | | | | | NO. | GE-LE-2-003 |
| 配当学科 | 看護・心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | この授業はテキストの予習をしっかりやれば高校以上の難易度の長い文章が読めるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。 | | | | | | |
| 概要 | 教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思っています。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的な態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。 | | | | | | |
| 自己学習 | 授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら2時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも2時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜日の3時間目に研究室にお越しください。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1 リバプール 2 ジョンレノンの生い立ち 3 ポールマッカートニーの生い立ち 4 ジョージハリソンの生い立ち 5 メンバー交代 リングスター 6 オーディション 7 ビートルズデビュー 8 ビートルマニア 9 アメリカ進出前 10 エドサリバンショー 11 ア ハードディズ ナイト 12 ヘルプ 13 世界制覇 14 最後のツアー 15 リボルバー 16 単位認定試験 | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記 | 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 | | | | | |
| 教科書 1 | プリントを配布します。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 英語Ⅳ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 平見 勇雄 | | | | | NO. | GE-LE-2-004 |
| 配当学科 | 看護・心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。 教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力を付けてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。 | | | | | | |
| 概要 | 教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたい。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めらるくらいの積極的な態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を申し上げます。そこで重要な内容をもう一度確認してもらいます。 | | | | | | |
| 自己学習 | 基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回2～3ページ進む予定ですから訳を書いてくるのが最低限の予習です(2時間程度の予習です)。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日10～20分程度で結構です。(したがって復習も時間としてはトータルとして2時間程度) | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜日の3限に研究室(2号館6階)です。授業が重なっている人はご相談下さい。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1前期の復習 2日本公演 3レコーディング革命 4サージェントペパーズ 5世界同時衛星放送 6ブライアンエプスタインの死 7マジカルミステリーツアー 8インドでの修行 9ホワイトアルバム 10ゲットバックプロジェクト 11アビーロード 12レットイットビー 13解散後の4人 14ジョンレノン 15ポールマッカートニー 16単位認定試験 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記 | 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 平見 |
| 教科書 1 | プリントを配布します。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ビートルズの英語 著者:ザ ビートルズ クラブ 出版社:集英社インターナショナル ISBN:ISBN978-4-7976-7231-2 C0073 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | フランス語 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 加藤 健次 | | | | NO. | GE-LF-1-001 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」をテーマとし、大学で始めて第二外国語としてフランス語を学ぶ学生が、初歩的なコミュニケーション技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ。日常的によく使われるフランス語の例文を覚えて話せるようになることを目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が説明され、できるだけ実用的な語彙が自然に覚えられるようになっていく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。なお、評価のために実施した口頭試験の課題は、各授業で繰り返し練習することになるが、筆記試験としての単位認定試験まででそれらを書けるようにしておくことが求められる。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるように予習してくる。また、単位認定試験に向けてそれらを書けるように練習すること。耳と口と手で繰り返し練習することが求められるので要注意。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各2時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。その成果は、各週の口頭試験と最終週の単位認定試験(筆記)で問われる。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. アルファベトと発音・綴り字 2. 挨拶の表現 3. お元気ですか？ 4. 私は日本人です。 5. お願いします。 6. ありがとう。すみません。 7. 名前・歳を尋ねる 8. それは何ですか？ 9. ～が欲しいのですが。 10. ～が好きです。 11. ～はありますか？ 12. ～はできますか？ 13. ～するつもりです。 14. ～しなければなりません。 15. 場所・時を尋ねる 16. 単位認定試験 | | 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験 | 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 | | | | | |
| 教科書 1 | ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵(著) 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|--|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | フランス語Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 加藤 健次 | | | | | NO. | GE-LF-1-002 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 「フランス語で会話を楽しむことができる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう。 | | | | | | |
| 評価方法 | 「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、最終的には、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。授業毎試験(60%)、単位認定試験(40%)を合計して総合評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | フランス語Ⅰを履修していること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の結果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. 綴字の読み方復習 2. ホテルに泊まる 3. 部屋・浴室にあるもの 4. 街を歩く 5. 交通手段を使う 6. 衣服を買う 7. アクセサリーを買う 8. 料理・飲み物の語彙 9. レストランで注文する 10. 食品に関わる語彙 11. マルシェに行く 12. 体の部分・病院 13. 時刻の表現を覚える 14. 季節・天気 15. よく使う形容詞 16. 単位認定試験 | 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記 | 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 | | |
| 教科書1 | ゼロからスタート フランス語 会話編 著者:鈴木文恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4-86392-103-0 | | | | | | |
| 教科書2 | | | | | | | |
| 参考書1 | | | | | | | |
| 参考書2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | フランス語Ⅲ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 加藤 健次 | | | | | NO. | GE-LF-2-003 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 「フランス語会話ができるようになる」をテーマとし、フランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | 1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場면을想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験(30%)、授業への積極的な参加態度(20%)、単位認定試験(50%)を合計して総合評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくるよう注意すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 木曜日4限、岡山キャンパス123研究室にて。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. あいさつ 2. 発音 3. 性と数 4. 前置詞 5. 規則動詞 6. 形容詞 7. 否定 8. 命令 9. 疑問 10. 副詞 11. 疑問副詞 12. 疑問代名詞 13. 不規則動詞 14. 所有形容詞 15. 疑問形容詞 単位認定試験 | 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 筆記試験 | 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 加藤健次 | | | | | |
| 教科書 1 | 新ゼロからスタートフランス語 文法編 著者:島崎 貴則 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:978-4863924987 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | ドイツ語 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 清水 光二 | | | | | NO. | GE-LG-1-001 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | <p>本学におけるドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)」5級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な第一歩となっていることをまず理解する必要がある。「ドイツ語 I」の授業では、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得する。そのことによって「ドイツ語 I」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>この講義は、ドイツ語の初学者を対象としている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回の授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、会話文や読本部分、それに練習問題については、学生の事前の準備・学習が前提となっている。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。</p> | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション、ドイツ語の発音 2. 動詞の規則変化 3. 名詞の性 4. 名詞の複数形 5. 動詞の不規則変化 6. 定冠詞・不定冠詞 7. 命令形 8. 前置詞 9. 人称代名詞 10. 並列接続詞 11. 話法の助動詞 12. 未来の助動詞 13. zu不定詞 14. 形容詞の用法 15. 形容詞の格変化 16. 単位認定試験 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 | 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 | | | | | |
| 教科書 1 | <p>プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0</p> | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:ISBN-10: 481635137X </p> | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | ドイツ語Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 清水 光二 | | | | | NO. | GE-LG-1-002 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | ドイツ語の授業は、2年間の学習後には「ドイツ語検定(独検)Ⅴ級に挑戦できるレベルに達することを目標としており、1年次の授業はそのための重要な一歩となっている。「ドイツ語Ⅱ」では主に日常的な会話表現に触れながら、ドイツ語の基礎的な文法事項についての理解をさらに深めることにより、この授業の終了時には、学生は平易な日常会話レベルでの様々な表現がある程度読んだり、話せたり、聞き取ったりできるようになる。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣やお祭り、社会問題などにも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。 | | | | | | |
| 評価方法 | 予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているので、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいないことである。毎回の授業では何かきつと発表等やられされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。 | | | | | | |
| 自己学習 | ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められる。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 個人研究室にて、月曜1限目と水曜4限目に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. 形容詞の比較変化 2. 分離動詞 3. 非分離動詞 4. 動詞の3基本形 5. 過去形 6. 現在完了形 7. 従属接続詞 8. 副文 9. 再帰代名詞、再帰動詞 10. 分詞 11. 定関係代名詞 12. 不定関係代名詞 13. 動作受動 14. 状態受動 15. 接続法 16. 単位認定試験 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 | 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 |
| 教科書 1 | プレーミエ ドイツ語総合読本[改訂版] 著者:神竹 道士 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06432-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 文法からマスター! はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|------------|-------------|----|
| 授業科目名 | ドイツ語Ⅲ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 清水 光二 | | | | NO. | GE-LG-2-003 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。 | | | | | | |
| 概要 | ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしながら、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいりえない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながるものである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。 | | | | | | |
| 自己学習 | ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 動詞の現在人称変化 3. 出会いと自己紹介 4. 名詞の性と格 5. 家族について尋ねる 6. 不規則動詞、命令形 7. 明日の予定を尋ねる 8. 定冠詞、不定冠詞 9. 買い物に行く 10. 複数形 11. 本を探す 12. 前置詞 13. 週末の予定を尋ねる 14. 形容詞の格変化 15. 趣味について尋ねる 16. 単位認定試験 | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 | 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 | | | | | |
| 教科書 1 | パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06420-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:481635137X | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | ドイツ語Ⅳ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 清水 光二 | | | | | NO. | GE-LG-2-004 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、日常会話の初歩的レベルなら一人でも聞き話すことが出来るようになる。 どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につけ、最終的には、基礎的な意思疎通なら自力で可能なレベルに到達することが出来る。 | | | | | | | |
| 概要 | ドイツ語Ⅰ・Ⅱの復習を行いながら、日常生活レベルのコミュニケーションが可能となるように、個別の場面ごとにその特有の表現や構文を学んでいく。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを選び出し、それを話題にしなが、自己紹介をする、相手の好みを聞く、相手の家族について尋ねる、物事の位置関係を説明する、物の数を聞く、約束の時間を定める、物事を比較して述べる、相手の予定を尋ねる、過去の出来事について述べる、相手に自分の要求を丁寧に伝える、休暇の計画を立てる、旅の体験を語る、などの様々な表現を順次個別に学んでいく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表(50%)と、知識の修得程度を確認するための定期試験(50%)を合計して総合評価する。授業の中での課題発表は気付きや振り返りの機会(フィードバック)ともなっているため、学習成果が不十分な場合は必ず見直しをしておくこと。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | この授業は、1年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」(あるいは同等のレベル)が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはいない。毎回の授業では何かきつと発表等をやれられるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的な参加態度および課題発表」の評価につながる。テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくる。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。 | | | | | | | |
| 自己学習 | ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分については学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週2時間程度である。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 個人研究室にて、月曜日1限目と水曜日4限目に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 話法の助動詞 2. 昼食を食べに行く 3. 分離動詞、複文 4. 駅の窓口で尋ねる 5. zu不定詞 6. 休暇の計画を尋ねる 7. 動詞の3基本形 8. 旅の体験を語る 9. 過去形、現在完了形 10. ワイマールにて 11. 受動態 12. 意見を交換する 13. 関係代名詞 14. お別れ会 15. 接続法 16. 単位認定試験 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 | 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 清水 | |
| 教科書 1 | パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール[三改訂] 著者:上田 成利 出版社:白水社 ISBN:978-4-255-25428-9 C1084 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 文法からマスター!はじめてのドイツ語 著者:小野寺 賢一 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-560-06420-7 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|------|-----|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 中国語 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 孫 基然 | | | | | NO. | GE-LC-1-001 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(入門篇)する。中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を、読んだり聞き取ったりすることができるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、発音の練習と並行して、初級文法、簡単な日常会話、応用のきく文型などを習得する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | テーマ「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を、読んだり聞き取ったりすることができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 | 単母音について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第2回 | 複母音について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第3回 | 子鼻母について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第4回 | 鼻母音と音節について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第5回 | 発音のまとめについて | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第6回 | 小テストについて | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第7回 | 判断文について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第8回 | 人称代名詞、指示代名詞 | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第9回 | 所在表現、所有表現 | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第10回 | 連動文、助詞「了」 | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第11回 | 存在の表現について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第12回 | 前置詞「比」、結果補語 | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第13回 | 方位詞、量詞について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第14回 | 動詞の重ね方について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第15回 | 願望助動詞について | 講義 | 孫基然 | | | | | |
| 第16回 | 定期試験 | 筆記試験 | 孫基然 | | | | | |
| 教科書 1 | シンプルチャイニーズ北京文法篇 著者:早稲田大学理工学術院中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45307-1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 中国語初めの一步 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06925-7 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 中国語Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 孫 基然 | | | | | NO. | GE-LC-1-002 |
| 配当学科 | 心理・子ども発達教育 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 中国語によるコミュニケーション技能の習得(基礎編)。中国語を約2年間学んだ学生が2年次秋期の3月に「中国語検定試験」準4級を受験できるレベルに到達するために段階的に到達目標を設定している。 中国語Ⅱでは、前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準4級の獲得へつなげていくことを目標とする。 本講義のラーニングアウトカムズは「コミュニケーション・スキル」と「多文化・異文化理解」である。 | | | | | | |
| 概要 | 中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。 | | | | | | |
| 評価方法 | テーマ「中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(入門篇)する。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1、疑問詞疑問文1 2、的の使い方 3、疑問詞疑問文2 4、形容詞の文 5、数字 6、小テスト 7、日付、時刻 8、完了 9、介詞1 10、疑問詞疑問文3 11、時間量 12、介詞2 13、過去 14、助動詞1 15、助動詞2 16、定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 | | |
| 教科書 1 | シンプルチャイニーズ北京文法篇 著者:早稲田大学理工学術院中国語部会 出版社:朝日出版社 ISBN:978-4-255-45307-1 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 中国語初めの一步 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06925-7 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 中国語Ⅲ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 孫 基然 | | | | | NO. | GE-LC-2-003 | |
| 配当学科 | スポーツ社会・心理学部 | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関するところをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(助動詞“得” 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 | | | | | |
| 教科書 1 | 2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頴、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 中国語さらなる一歩 著者:尹景春、竹島毅 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|--|---|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 中国語IV | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 孫 基然 | | | | | NO. | GE-LC-2-004 | |
| 配当学科 | スポーツ社会・心理学部 | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を指導(検定試験対応・前篇)する。中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 1年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し、筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | テーマ「中国語検定試験準4級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準4級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(10%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能ないようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 1)事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2)指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3)試験は必ず行うので、授業に出席していただいただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.第1課(助動詞“会”“能”など) 2.同上(会話練習と復習) 3.同上 4.第2課(可能動詞“得”と助動詞“得”) 5.同上(会話練習と復習) 6.同上 7.中国映画の鑑賞 8.第3課(比較の表現など) 9.同上(会話の練習と復習) 10.同上 11.第4課(使役表現など) 12.同上(会話の練習と復習) 13.同上 14.「了」の三つの用法 15.結果補語 16.定期試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 | | | | | |
| 教科書 1 | 2冊目の中国語講読クラス 著者:龍頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06927-1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 2冊目の中国語講読クラス 著者:劉頤、柴森、小澤正人 出版社:白水社 ISBN:978-4-560-06910-3 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 日笠 恵美子 | | | | | NO. | GE-LJ-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 | | | | | |
| 教科書 1 | レベルアップトレーニング文法N2 著者:坂本勝信 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2210-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 日本語パワードリル N2 文字・語彙 著者:松浦 真理子(他) 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|---|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | GE-LJ-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験 | 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験 | 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 | | | | | |
| 教科書 1 | 日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------|-----|---|------------|---------------------------|-------|
| 授業科目名 | 日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | NO. | GE-LJ-1-001 | |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 |
| テーマと到達目標 | 充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 第25課 3. 第25課 4. 第28課 5. 第28課 6. 第31課 7. 第31課 8. 第34課 9. 第34課 10. 第37課 11. 第37課 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ 15. 総括 16. 単位認定試験 | | 授業または講義 および演習 試験は筆記試験 | 井上 | 1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験 | | 授業は講義および演習 試験は筆記試験 | 井上 |
| 教科書 1 | 日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---------|------|------------|-------------|----|
| 授業科目名 | 日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 福本 苗 | | | | NO. | GE-LJ-1-001 | |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、教室にて。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.複合語として使われる言葉 7.名詞を使った言葉 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.N2対策 文字・語彙・文法 11.N2対策 文字・語彙・文法 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 | | | | | |
| 教科書 1 | 新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ISBN: | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 大下 朋子 | | | | | NO. | GE-LJ-1-001 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)や読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.文法1課:～とき・～直後に 3.文法2課:～している(進行中) 4.文法3課:～後で 5.文法4課:範囲の始まりと終わり・その間 6.読解①[対比]ほかのものと比べる 7.読解②[言い換え]ほかの言葉で言い換える 8.読解③[比喩]ほかのものにととえる 9.読解④[疑問提示文]疑問文を使って話題を提示する 10.中間テスト(文法1～4課) 11.文法5課:～だけ 12.文法6課:～だけではなく、それに加えて 13.文法7課:～について、～を相手にして 14.文法8課:～を基準にして 15.文法9課:～に関連して、～に対応して 16.単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) | | | | |
| 教科書 1 | 新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク | | | | | | |
| 教科書 2 | 新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|---|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 日笠 恵美子 | | | | | NO. | GE-LJ-1-002 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「文法語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスに出席しても単位を取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. ユニット1 3. ユニット2 4. ユニット3 5. ユニット1～3 復習 6. ユニット4 7. ユニット5 8. ユニット6 9. ユニット4～6 復習 10. ユニット7 11. ユニット8 12. ユニット9 13. ユニット7～9 復習 14. 総括/小テスト 15. 総復習 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試 | 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 日笠 | | |
| 教科書 1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|---|--|-------------|-------|
| 授業科目名 | 日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | NO. | GE-LJ-1-002 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間で連携して授業を進める。 学生は中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す、N2合格への橋渡しとなる科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 第3課 学習項目と練習1 3. 第3課 学習項目と練習2) 4. 第3課 読解・作文・聴解 5. 第6課 学習項目と練習1 6. 第6課 学習項目と練習2) 7. 第6課 読解・作文・聴解 8. 能力試験対策演習 9. 能力試験対策演習 10. 3,6課総復習1 11. 3,6課総復習2 12. 第9課 学習項目と練習1 13. 第9課 学習項目と練習2 14. 第9課 読解・作文・聴解1 15. 第9課 読解・作文・聴解2 16. 単位認定試験 | 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 演習 演習 演習 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義 | 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 | | |
| 教科書 1 | 日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|-----|---|---------------------------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-LJ-1-002 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 |
| テーマと到達目標 | 充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験N2の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるように日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法は | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法は | 担当者 | | |
| 1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験 | 授業または講義 および演習 試験は筆記試験 | 井上 | 1. 第25課 2. 第25課 3. 第28課 4. 第28課 5. 第31課 6. 第31課 7. 第34課 8. 第34課 9. 第37課 10. 第37課 11. まとめ7 12. 第40課 13. 第40課 14. まとめ8 15. 総括 16. 単位認定試験 | 授業は講義および演習 試験は筆記試験 | 井上 | | |
| 教科書 1 | 日本語初級(2)大地 メインテキスト 著者:山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-89358-507-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ドリル&ドリル N3 文字語彙 著者:星野恵子 辻和子 出版社:ユニコム | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|--|-------------|----|
| 授業科目名 | 日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 福本 苗 | | | | NO. | GE-LJ-1-002 | |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。またN2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1~3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、教室にて。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1.オリエンテーション 2.助詞の働きをする言葉 3.時を表す言葉 4.接続の言葉 5.文末に使われる言葉 6.N2対策 文字・語彙・文法 7.N2対策 文字・語彙・文法 8.N2対策 文字・語彙・文法 9.N2対策 文字・語彙・文法 10.複合語として使われる言葉 11.名詞を使った言葉 12.敬語 13.文章の文法① 14.文章の文法② 15.総括 16.単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 福本 | | |
| 教科書 1 | 新完全マスター単語日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂 (他) 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-762-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|--|---|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 大下 朋子 | | | | | NO. | GE-LJ-1-002 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1.オリエンテーション 2.11課 ～に関係なく・無視して 3.12課 強く否定する・強く否定しない 4.13課 ～(話題)は 5.14課 ～けれど 6.15課 もしそうなら・たとえそうでも 7.【中間テスト】11～15課 8.中間テストの解説 9.16課 ～だから(理由)(1) 10.17課 ～だから(理由)(2) 11.18課 できない・困難だ・できる 12.19課 ～を見て評価すると・～の立場で評価すると 13.20課 結果はどうなったか 14.21課 強く言う・軽く言う 15.22課 ～だろうと思う 16.単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) | | |
| 教科書 1 | 新完全マスター文法 日本語能力試験N2 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク | | | | | | |
| 教科書 2 | 新完全マスター語彙 日本語能力試験N2 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 日本語ⅡA | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 大下 朋子 | | | | | NO. | GE-LJ-2-003 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日3限目(2号館255研究室) | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 1課 時間関係 3. 2課 範囲の始まり・限度 4. 3課 限定・非限定・付加 5. 4課 例示 6. 5課 関連・無関係 7. 6課 様子 8. 【中間テスト】1～6課 9. 中間テストの解説 10. 7課 付随行動 11. 8課 逆接 12. 9課 条件 13. 10課 逆接条件 14. 11課 目的・手段 15. 12課 原因・理由 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) 大下(朋) | | | | | |
| 教科書 1 | 新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | 日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 日本語ⅡB | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 大下 朋子 | | | | | NO. | GE-LJ-2-004 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(50%)、中間テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日3限目(2号館255研究室) | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1.オリエンテーション 2. 8課 逆接 3. 9課 条件 4. 10課 逆接条件 5. 11課 目的・手段 6. 12課 原因・理由 7. 【中間テスト】8～12課 8. 中間テストの解説 9. 13課 可能・不可能・禁止 10. 14課 話題・評価の基準 11. 15課 比較対照 12. 16課 結末・最終の状態 13. 17課 強調 14. 18課 主張・断定 15. 19課 評価・感想 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 大下 | |
| 教科書 1 | 新完全マスター文法 日本語能力試験N1 著者:友松悦子、福島佐知、中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195640 | | | | | | | |
| 教科書 2 | 日本語パワードリル N1 文字・語彙 著者:松浦 真理子、鈴木 健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4872177671 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I A | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-LJ-1-005 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・ I A、応用日本語 I 秋春・ I A、日本語研究 I 秋春・ I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。 | | | | | | |
| 自己学習 | 積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験 | 講義 | 井上 | 1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 井上 | | |
| 教科書 1 | 著者: 出版社: ISBN: | | | | | | |
| 教科書 2 | 著者: 出版社: ISBN: | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 小西 真弓 | | | | | NO. | GE-LJ-1-005 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 第4課(2)学習項目と練習 7. 第4課(3)本文、作文 8. 第7課(1)学習項目と練習 9. 第7課(2)学習項目と練習 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(2)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習・小テスト 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 | | | | | |
| 教科書 1 | 日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-5 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 小西 真弓 | | | | | NO. | GE-LJ-1-005 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレジメントテストを受験すること。プレジメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括で登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレジメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、教室にて。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 統合理解問題 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 | | | | | |
| 教科書 1 | 新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|-----|--|--|
| 授業科目名 | 応用日本語 I A | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 久保田 雅子 | | | | | NO. | GE-LJ-1-005 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | 1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 |
| 授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。 | | | | | | | |
| 教科書 1 | 留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | はじめての日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5 | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | NO. | GE-LJ-1-005 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p> | | | | | |
| 自己学習 | 自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。 | | | | | |
| オフィスワ- | 授業の後、休み時間に質問を聞きます。 | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | |
| 1. オリエンテーション 2. 文法14課 3. 文法15課 4. 文法16課 5. 文法17課 6. 読解① 7. 読解② 8. 読解③ 9. 読解④ 10. 中間テスト(14課～17課) 11. 文法18課 12. 文法19課 13. 文法20課 14. 文法21課 15. 文法22課 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 井上 井上「 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 | 1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験 | 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験 | 1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上 | |
| 教科書 1 | 『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者:友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-610-4 | | | | | |
| 教科書 2 | 『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者:伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-88319-610-4 | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I B | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-LJ-1-006 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 春・ I A、応用日本語 I 秋春・ I A、日本語研究 I 秋春・ I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I 秋A・日本語研究 I 秋A]の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥ 授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。 | | | | | | |
| 自己学習 | 積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験 | 講義 | 井上 | 1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第1課 4. 第2課 5. 第2課 6. N2対策 読解 7. N2対策 読解 8. N2対策 読解 9. N2対策 読解 10. 第3課 11. 第3課 12. 第4課 13. 第4課 14. 第5課 15. 第5課 16. 筆記試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 井上 | | |
| 教科書 1 | 著者: 出版社: ISBN: | | | | | | |
| 教科書 2 | 著者: 出版社: ISBN: | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 小西 真弓 | | | | | NO. | GE-LJ-1-006 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I 秋・I B、応用日本語 I 秋・I B、日本語研究 I 秋・I B)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにする。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合格結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているの、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 第1課(1)学習項目と練習 3. 第1課(2)学習項目と練習 4. 第1課(3)本文、作文 5. 第4課(1)学習項目と練習 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 第4課(2)学習項目と練習 10. 第4課(3)本文、作文 11. 第7課(1)学習項目と練習 12. 第7課(2)学習項目と練習 13. 第10課(1)学習項目と練習 14. 第10課(1)学習項目と練習 15. 第1. 4. 7. 10課復習 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 | | |
| 教科書 1 | 日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-478-3 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|------|-----|---|------------|-------------|--|--|
| 授業科目名 | 応用日本語 I B | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 小西 真弓 | | | | | NO. | GE-LJ-1-006 | | |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | | | |
| 概要 | この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人と同様に外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業後、教室にて。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | | 1. オリエンテーション 2. 内容理解(短文) 3. 内容理解(短文) 4. 内容理解(中文) 5. 内容理解(中文) 6. 内容理解(長文) 7. 内容理解(長文) 8. 統合理解 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索 14. 情報検索 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 |
| 教科書 1 | 新完全マスター単語 日本語能力試験N2重要2200語 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:9.78488E+12 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 日本語能力試験問題集 スピードマスター N2 読解 著者:小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:9784863920583 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|------------|--|--|
| 授業科目名 | 応用日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 久保田 雅子 | | | | NO. | GE-LJ-1-006 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。また、学生は自立学習の方法を学び理解できる。自立学習を実践しながら、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>このクラスは大学教育で必要不可欠な「読解」を中心に学習を進める。授業は文法の基礎も取り扱うが、自立的学習が必須である。第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。的確な日本語で事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるのが目標である。</p> <p>またN2レベルの読解問題の練習問題も解きながら、実践力も身につける。日本語能力試験N2は到達目標である。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業評価は、試験(40%)、課題・小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> <p>大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>①履修前に必ずプレイズメントテストを受験すること。プレイズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>⑥指定した教科書は必ず購入すること。教科書を購入していない、理由なく欠席する、指定した課題をやっていない場合は受講を認めない場合があるので注意すること。詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>1) 事前に課題を出し、その発表を行い自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。</p> <p>2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。</p> <p>予習と復習に2時間以上は必要である。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | クラス、オープンスペースにて、授業前に行う。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | 1. オリエンテーション・第1課 2. 第1課、第2課 3. 第3課 4. 第4課 5. 第5課 6. 第6課 7. 第7課 8. 第8課 9. 第9課 10. 第10課 11. 第11課 12. 第12課 13. 第13課 14. 第14課 15. まとめ 16. 試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 |
| 授業は教科書に加え、参考の教科書を教材として読む予定である。受講者には参考図書の購入を奨める。受講者の理解度によって内容の変更がある可能性もある。 | | | | | | | |
| 教科書 1 | 留学生の日本語 読解編 著者:アカデミック・ジャパニーズ研究会 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-7574-2631-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | はじめの日本語能力試験 N2合格模試 著者:水谷 信子 監修・著 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-86639-315-5 | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|--|---|---|---|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | NO. | GE-LJ-1-006 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなどの学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I A・応用日本語 I 春A・日本語研究 I 春Aの3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。</p> | | | | | |
| 自己学習 | 自主的な学習を求めます。授業の前に、授業ですすむところを一度読みましょう。授業が終わったら、習ったところを一度読みましょう。宿題はきちんとやって出しましょう。 | | | | | |
| オフィスワ- | 授業の後、休み時間に質問を聞きます。 | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | |
| 1. オリエンテーション 2. 第1課 本文と問題、漢字 3. 第2課 本文と問題、漢字 4. 第3課 本文と問題、漢字 5. 第4課 本文と問題、漢字 6. 第5課 本文と問題、漢字 7. 第6課 本文と問題、漢字 8. 第7課 本文と問題、漢字 9. N2直前試験対策 読解 10. N2直前試験対策 読解 11. N2直前試験対策 読解 12. 第8課 本文と問題、漢字 13. 総復習 14. まとめ 15. 試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 | 1. オリエンテーション 2. 第1課 3. 第2課 4. 第3課 5. 第4課 6. N2直前試験対策 読解 7. N2直前試験対策 読解 8. N2直前試験対策 読解 9. 第5課 10. 第6課 11. 第7課 12. 第8課 13. 第9課 14. 第10課 15. まとめ 16. 単位認定試験 | 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 試験 | 1. 井上 2. 井上 3. 井上 4. 井上 5. 井上 6. 井上 7. 井上 8. 井上 9. 井上 10. 井上 11. 井上 12. 井上 13. 井上 14. 井上 15. 井上 16. 井上 | |
| 教科書 1 | 『新完全マスター文法 日本語能力試験N2』 著者: 友松悦子・福島佐知・中村かおり 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-4-88319-610-4 | | | | | |
| 教科書 2 | 『新完全マスター語彙 日本語能力試験N2』 著者: 伊能裕晃・本田ゆかり他 出版社: スリーエーネットワーク ISBN: 978-88319-610-4 | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 応用日本語ⅡA | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 小西 真弓 | | | | | NO. | GE-LJ-2-007 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(中文) 6. 内容理解問題(長文) 7. 内容理解問題(長文) 8. 中間テスト・テストの解説 9. 日本語能力試験対策 10. 日本語能力試験対策 11. 日本語能力試験対策 12. 日本語能力試験対策 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 | | | | |
| 教科書 1 | 日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子 他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 応用日本語ⅡB | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 小西 真弓 | | | | | NO. | GE-LJ-2-008 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、N2に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ② この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③ より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 内容理解問題(短文) 3. 内容理解問題問題(短文) 4. 内容理解問題(中文) 5. 内容理解問題(長文) 6. 日本語能力試験対策 7. 日本語能力試験対策 8. 日本語能力試験対策 9. 日本語能力試験対策 10. 内容理解問題(長文) 11. 統合理解問題 12. 統合理解問題 13. 情報検索問題 14. 情報検索問題 15. 総括・小テスト 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 小西 |
| 教科書 1 | 日本語能力試験問題集 スピードマスター N1 読解 著者:菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾 出版社:Jリサーチ出版 ISBN:ISBN978-4-86392-075-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 新完全マスター単語N2重要2200 著者:小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:ISBN978-4-88319-762-0 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------------|---|-----|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語研究 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | GE-LJ-1-009 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。N2に合格してはじめて日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 N2合格には相当の覚悟が必要である。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 確認演習 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 2. 実践練習 課題理解① 1～10 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 3. 実践練習 課題理解② 11～20 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 4. 実践練習 ポイント理解① 1～9 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 5. 実践練習 ポイント理解② 10～18 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 6. 実践練習 概要理解① 1～10 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 7. 実践練習 概要理解② 11～20 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 8. 1～7総復習 | 演習 | 磯 | | | | | |
| 9. 実践練習 即時応答① 1～26 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 10. 実践練習 即時応答② 追加問題 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 11. 実践練習 即時応答③ 追加問題 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 12. 実践練習 統合理解① 1～5 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 13. 実践練習 統合理解② 6～10 | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 14. 第1回模擬試験問題 | 演習 | 磯 | | | | | |
| 15. 第2回模擬試験問題 | 演習 | 磯 | | | | | |
| 16. 単位認定試験 | | | | | | | |
| 教科書 1 | 日本語能力試験問題集N2聴解スピードマスター 著者: 棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり 出版社: Jリサーチ ISBN: 978-4-86392-057-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|---|--|--|---|-------------|----|
| 授業科目名 | 日本語研究 I A | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 久保田 雅子 | | | | NO. | GE-LJ-1-009 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語 I ・応用日本語 I ・日本語研究 I の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのでも活用することもできる。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできる」ようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | 1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | | |
| 教科書 1 | 日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077 | | | | | | |
| 教科書 2 | ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語研究 I A | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-LJ-1-009 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～5クラスに編成される。 日本語 I 秋・応用日本語 I 秋・日本語研究 I 秋の3科目ともに同クラスで受講すること。 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 井上 | | | | | |
| 教科書 1 | 日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | 『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-487-5 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|---|---|------------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語研究ⅠB | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | GE-LJ-1-010 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 演習 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力を身につけ、日本語力向上を目指すなかで、本授業では聴解能力の向上を目指す。 N2レベルの音声何度も聞くことにより、言葉づかいやスピードに慣れていくことができる。 さらに語彙や文法文字についても学び、加えて会話練習も行い、N2合格のみならず、充実した大学生活を送るための日本語力を身につけることができる。 | | | | | | |
| 概要 | この授業は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また、練習の過程で、関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。 また、会話練習を導入し、日本での生活を自信を持って送れるようにする。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～5クラスに編成される。 ② 日本語Ⅰ秋・応用日本語Ⅰ秋・日本語研究Ⅰ秋の3科目ともに同クラスで受講すること。 ③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④ 2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション 確認演習 2. 文法演習 第1章1 3. 第1章 2, 3 4. 第1章 4, 5 5. 第2章 1, 2 6. 第2章 3, 4 7. 第2章 5, 6, 7 8. 総復習演習 ① 9. N2対策演習1 10. N2対策演習2 11. 第3章 1, 2, 3 12. 第3章 4, 5 13. 第4章 1, 2, 3 14. 第4章 4, 5 15. 第5章 16. 単位認定試験 | 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 | 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 | | |
| 教科書 1 | 日本語能力試験対策 日本語総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子、松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|------------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語研究ⅠB | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 久保田 雅子 | | | | | NO. | GE-LJ-1-010 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ⅰと併せて、中級レベルの「話す」「読む」「聞く」「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2相当の実力を身につけることを目指し、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ⅰの3科目(日本語ⅠB、応用日本語ⅠB、日本語研究ⅠB)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。 | | | | | | |
| 評価方法 | このクラスの授業では基礎の文法を主に扱うのでN2合格を目指す授業は行わない。授業評価は、試験(50%)、小テスト及び課題提出(30%)、学習意欲・態度(20%)で評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレズメントテストを受験すること。プレズメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。 ②日本語Ⅰ・応用日本語Ⅰ・日本語研究Ⅰの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。(社会情勢に応じてJLPTの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。 ④2年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ⅰが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレズメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥理由なく欠席が続く、課題をやっていない場合は受講を認めない場合もあるので注意すること。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているのでも活用することもできる。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。 2) 指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に2時間以上は必要である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 学生は「事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになるため、事前に課で学ぶ文型を学習し、その文を作って授業で発表を行う。詳しくはオリエンテーションで説明する。オリエンテーションは必ず出席すること。 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | 1.オリエンテーション/24課 2.24課 3.27課(1) 4.27課(2) 5.30課(1) 6.30課(2) 7.33課(1) 8.33課(2) 9.36課(1) 10.36課(2) 11.39課(1) 12.39課(2) 13.42課(1) 14.42課(2) 15.まとめ 16.単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | | |
| 教科書 1 | 日本語初級2・大地 メインテキスト 著者:山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4883195077 | | | | | | |
| 教科書 2 | ドリル&ドリル 日本語能力試験(文字・語彙) 著者:星野 恵子・辻和子 出版社:株式会社ユニコム ISBN:978-4-89689-487-5 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|-----|---|--|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語研究 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 井上 光恵 | | | | | NO. | GE-LJ-1-010 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。</p> <p>到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目 I の3科目(日本語 I A、応用日本語 I A、日本語研究 I A)で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識、文法、読解、聴解などの能力を修得することを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業評価は、単位認定試験(60%)、小テストなど授業中の学習確認活動と宿題の提出(20%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。</p> <p>ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、N2試験に合格しなければならない。</p> <p>N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。</p> <p>履修上の条件・注意点は以下の通りである。</p> <p>① 履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。</p> <p>② 日本語 I 春・応用日本語 I 春・日本語研究 I 春の3科目ともに同クラスで受講すること。</p> <p>③ 本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。</p> <p>④ 2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。</p> <p>⑤ 日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。</p> <p>なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>積極的に自主学習を行うことを求めます。授業前には、授業の部分を読みましょう。授業後は授業でノートに書いたことをもう一度読んでください。宿題はまじめにやって提出しましょう。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験 | 講義 | 井上 | 1. オリエンテーション 2. 第2課 3. 第2課 4. 第2課 5. N2対策 聴解 6. N2対策 聴解 7. N2対策 聴解 8. 第5課 9. 第5課 10. 第5課 11. 復習 12. 第8課 13. 第8課 14. 第8課 15. 復習と総括 16. 筆記試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 井上 | | |
| 教科書 1 | 日本語の文型と表現55 『中級へ行こう』 第2版 著者:平井悦子・三輪さち子 出版社:スリーエーネットワーク ISBN:978-4-88319-728-6 | | | | | | |
| 教科書 2 | 『ドリル&ドリル日本語能力試験N2文字語彙』 著者:星野恵子+辻和子 出版社:UNICOM ISBN:978-4-89689-487-5 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|---|--|-------------|----|
| 授業科目名 | 日本語研究 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 雲津 英子 | | | | NO. | GE-LJ-1-010 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの言語知識(文字・語彙・文法など)の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、単位認定試験(50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I B・応用日本語 I B・日本語研究 I Bの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題(N2対策を含む)に取り組むこと。2時間以上の予習と復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1.オリエンテーション 2.Unit1 課題理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 3.Unit1 課題理解「確認問題」 4.Unit2 ポイント理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 5.N2対策問題(聴解) 6.N2対策問題(聴解)の解説 7.N2対策問題(聴解) 8.N2対策問題(聴解)の解説 9.Unit2 ポイント理解「確認問題」 10.Unit3 概要理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 11.Unit3 概要理解「確認問題」 12.Unit4 即時応答「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 13.Unit4 即時応答「確認問題」 14.Unit5 統合理解「力試しテスト」 「ポイントを理解しよう」 15.Unit5 統合理解「確認問題」 16.単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 聴解・筆記試験 | 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 | | |
| 教科書 1 | 日本語能力試験レベルアップトレーニング聴解N2 著者:坂本勝信 吉原こずえ 出版社:アルク ISBN:978-4-7574-2220-9 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙 著者:松浦真理子 鈴木健司 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-768-8 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|--|---|-------------|----|
| 授業科目名 | 日本語研究 I B | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 久保田 雅子 | | | | NO. | GE-LJ-1-010 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目 I と併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の4技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験N2の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | このクラスは大学教育で必要不可欠な「聞いて理解すること」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験N2合格を目指して、N2レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。また生活の場面でもひとりでも対応できる能力を身につけるよう構成する。 また第二、第三言語としての日本語をより早く習得するための考察を積極的に行い、母語との相違点を発見し、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を取り入れる。 他の日本語関連科目と併せて受講することで、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようにすることが目標である。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業評価は、講義内試験(40%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(40%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験N2の可否結果を加味した上で行われる。 大学の専門教育を円滑に進めるためにも、N2レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験N2に合格しなければならない。 N2を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きN2の学習を継続しなければならない。また、N2に合格し、日本語関連科目 I が単位認定済みになった時点で、2年次開講の日本語関連科目 II を履修することができる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレースメントテストを受験すること。プレースメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語 I A・応用日本語 I A・日本語研究 I Aの3科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にN2を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、N2に合格すること。 ④2年次開講日本語関連科目 II の履修は、日本語関連科目 I が単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験N1の取得者でプレースメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥教科書については以前海外におりPDFで受け取った学生はプリントアウトしておくほうが望ましい。授業でプリントを配布する場合もあるので、初回からファイル、ノートは持参すること。副教材(語彙の教材)については、3人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑦理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用することができる。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に課題を出し、その発表を行う場合がある。参加型学習法を行うため、予習が必要である。 2) 毎回指定した語彙の宿題を出すので、語彙が定着できるように自らアイデアを考えて行うこと。授業でも取り上げるので積極的にアイデアを発表できるように準備して授業に臨むこと。 予習と復習に2時間以上は必要である。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 教室・及びオープンスペースにて授業前に実施する | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 授業ではスクリプトを利用してより現実的な聴解練習を行う予定である。積極的に取り組んでほしい。 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | 11. オリエンテーション 第1章1 2. 第1章1, 2 3. 第1章2, 3 4. 第1章4, 5 第2章1 5. 第2章2, 3 6. 第2章4, 5 7. 第2章6, 7 8. 第3章1/中間テスト 9. 第3章2, 3 10. 第3章4, 5 11. 第3章5 12. 第4章1, 2 13. 第4章3, 4 14. 第4章5 15. まとめ 16. 試験 以上のように計画しているが、受講者の理解度によって内容を変更することがある。 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 久保田 | | |
| 教科書 1 | 日本語能力試験対策 日本総まとめN2 聴解 著者:佐々木仁子・松本紀子 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-792-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | 新完全マスター語彙N2 著者:伊能 裕晃 出版社:スリーエーネットワーク | | | | | | |

ISBN:978-4883195749

参考書 1

著者:

参考書 2

| | | | | | | | |
|--------------------------------|--|-------|-----|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 日本語研究ⅡA | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | GE-LJ-2-011 |
| 配当学科 | 全学共通(留学生) | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 演習 |
| テーマと到達目標 | 聴解能力の向上はもちろん、「話す」、「読む」、「書く」能力の向上にも努め、日本語能力試験N1合格を目指すめざす。日本語能力を更に向上させ、今後の大学での学びが充実し、日本での生活を自信を持っておくれるようにする。 | | | | | | |
| 概要 | この講義は「聴解」を中心に学習を進める。聴解練習はもちろん講義内で文法、語彙等の学習も行い、日本語能力試験N1レベルの語彙力・聴解力を修得する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 試験(50%)、小テスト等(30%)、学習意欲・態度(20%)などに基づく総合評価。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | N2を取得していることが絶対条件である。 N2を取得していない学生は、日本語関連科目Ⅱを履修できない。 より高い日本語能力獲得のため本講義の受講中にN1の取得を目指してほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に2時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む2時間以上の復習に努めること。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、休憩時間、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 確認演習 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 2. 課題理解① 課題理解とは 練習問題1～5 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 3. 課題理解② 練習問題6～12 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 4. ポイント理解① ポイント理解とは 練習問題1～6 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 5. ポイント理解② 練習問題 7～14 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 6. 概要理解① 概要理解とは 練習問題1～6 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 7. 概要理解② 練習問題 7～12 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 8. 1～7総復習 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 9. 即時応答① 即時応答とは 敬語表現 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 10. 即時応答② 文末否定 慣用表現 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 11. 即時応答③ 練習問題1～8 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 12. 即時応答④ 練習問題9～20 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 13. 即時応答⑤ 練習問題21～30 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 14. 総合理解① 統合理解とは | | 講義 | 磯 | | | | |
| 15. 総合理解② 練習問題1～6 | | 演習 | 磯 | | | | |
| 16. 単位認定試験 | | | | | | | |
| 教科書 1 | 絶対合格！日本語能力試験 徹底トレーニングN1 聴解 著者:松岡 龍美 出版社:アスク出版 ISBN:978-4-87217-776-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 文章表現入門 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 雲津 英子 | | | | | NO. | GE-CH-0-001 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の6つ領域で構成している。学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一步一步着実に高めていくことができる。毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が、小論文指導(表記法、文章表現等の指導)の経験を活かし、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>単位認定試験(70%)、授業態度(15%)、小テスト・復習テスト(15%)による総合評価 なお、小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直ししておくこと。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のN2(2級)以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。</p> | | | | | | | |
| オフィスワ- | <p>10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限</p> | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本語検定3級」に挑戦 2. はじめに 3. 敬語の種類と使い分け 4. 注意すべき敬語 5. 配慮を示す言葉 6. 品詞・活用の種類 7. ら抜き言葉・さ入れ言葉 8. 文のねじれと言葉の係り受け 9. 接続後・指示語と文章 10. 類義語・対義語 11. 動詞の自他・視点 12. 文体 13. コロケーション 14. 部首・音訓・熟語 15. 仮名遣い・送り仮名 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 | |
| 教科書 1 | <p>スキルアップ! 日本語力 著者:名古屋大学日本語研究会GK7 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-80364-4</p> | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 文学への招待 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 雲津 英子 | | | | | NO. | GE-CH-0-002 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしよとする態度を身につけることを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | 詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、図書館の利用方法など、学生の読書活動、論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。 | | | | | | |
| 評価方法 | レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験(70%)、発表・討論への参加(15%)、受講態度(15%) なお、評価のために実施した課題(提出物・レポート)は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 10号館3階の個人研究室(10306) 火曜日 5限 木曜日 2限 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 文学とはなにか 2. 図書館活用方法の理解 3. 図書館活用の実践 4. 日本文学史(1)-上代文学 5. 日本文学史(2)-中古文学 6. 日本文学史(3)-中世文学 7. 日本文学史(4)-近世文学 8. 日本文学史(5)-近代文学 9. 日本文学史(6)-現代文学 10. 夏目漱石・森鷗外・泉鏡花の作品(討論) 11. 芥川龍之介の作品(討論) 12. 宮沢賢治の作品(討論) 13. 小林多喜二・太宰治の作品(討論) 14. 詩・俳句・短歌(討論) 15. まとめ 16. 単位認定試験 | | 講義 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 レポート試験 | 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 雲津 | | | | |
| 教科書 1 | 使用しない(必要に応じプリントを配布する) | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 日本文学概論 著者:島内裕子 出版社:財団法人 放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31342-4 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|
| 授業科目名 | 美術の見方 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 前嶋 英輝 | | | | | NO. | GE-CH-0-003 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語るができる能力を身につける。美術作品の「見方」の2つの可能性を考えてみる。1つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、2つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、2つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | 毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみる事が大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | |
| 評価方法 | この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート(60点)、到達目標達成度を見る期末試験(40%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 事前に次の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べる事が重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。 | | | | | | |
| 自己学習 | 美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間が必要である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 2号館6階の前嶋研究室において、毎週月曜日5時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 対話型鑑賞と美術の見方 2. 世界の美術館散歩 3. 美術教育と人間形成 4. 古代オリエント 5. ギリシャ・ローマ・中世 6. ルネサンス・バロック 7. 古典主義・印象派 8. 後期印象派以降 9. インド美術とイスラム美術 10. 仏教美術の誕生とシルクロード 11. 飛鳥～平安 12. 鎌倉～室町 13. 安土桃山 14. 江戸 15. 現代の美術 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 前嶋 |
| 教科書1 | 適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。 | | | | | | |
| 教科書2 | | | | | | | |
| 参考書1 | テキスト名: 絵画をいかに味わうか 著者: 著者: ヴィクトル・I・ストイキツァ 出版社: 平凡社 ISBN: 978-4582206371 | | | | | | |
| 参考書2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 音楽のたのしみ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 上田 豊 | | | | | NO. | GE-CH-0-004 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマは「音楽とは何か」。人類は、なぜ音楽を創り出し、そして継承してきたのか。現在、音楽は生活の様々な場面まで深く浸透している。しかし、大多数の人々は、冒頭の問いに直ちに的確に答えることはできない。本講座では、人と音楽との関係、音楽そのものについて考察し、受講者一人ひとりが冒頭の問いに回答でき、人生における音楽の意味を理解できることを目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>音楽の素材である音について知る。音楽は音素材をどのように組み合わせられて構成されているのか、その仕組みを知る。その仕組みの把握として、よく親しまれている歌を素材に、音階、和音、リズムなど音楽の構成要素を、音楽分析を通して学ぶ。以上は、音楽そのものの把握であるが、次に音楽が我々の生活の中で、どのように用いられ機能しているかをCDやDVDの視聴を通して把握し、音楽が我々の生活をどのように潤しているかを知り、生涯にわたって音楽を愛好する心情を養う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>平素の学習態度、授業における課題、期末試験により、総合的に評価する。評価の割合は、期末試験(50%)、授業における課題(30%)、授業参加態度(20%)。 授業では、毎回次回のテーマについて予告し、そのテーマについて設問の形で課題として課す。結果は、授業で一人ひとりに返却し、簡単な解説をおこなうので、見直しておくようにすること。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・平素からテーマ「音楽とは何か」について、考察しておくこと。 ・音楽への姿勢として自分の趣向だけでなく、いろいろな音楽に耳を傾けるようにすること。 ・授業は、積み上げ方式ですすめるので、毎回の授業の課題を復習し、完全に理解しておくこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習として、各授業計画に記載されている部分について資料を調査し、専門用語などについて予備知識もち、理解できない点をまとめて授業を受けること。 復習として、毎回の授業内容の反復学習を行って、十分な理解を持つようにすること。予習及び復習は、各2時間程度を要する。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽とは何か 2. 音・音楽を知る 3. 音楽の構造1 音楽の三つのタイプ 4. 音楽の構造2 旋律と音階 5. 音楽の構造3 様々な音階 6. 音楽のジャンル1 概要 7. 音楽のジャンル2 芸術音楽 8. 音楽のジャンル2 民俗音楽 9. 音楽のジャンル3 ポピュラー音楽1 10. 音楽のジャンル4 ポピュラー音楽2 11. 音楽の聴き方1 ジャズを知る 12. 音楽の聴き方2 ジャズを楽しむ 13. 音楽の構造1 形式 14. 音楽の形式2 ソナタ形式 15. 音楽とは何か2 音楽の起源・機能 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 上田 | |
| 教科書 1 | 毎回授業内容に沿った資料を配布する。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 138億年の音楽史 著者:浦久 俊彦 出版社:講談社現代新書 ISBN:978-4-06-288381-8 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 生涯スポーツ論 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 城山 訓郎 | | | | | NO. | GE-CH-0-005 |
| 配当学科 | 心理学部・アニメーション文化 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標:国民がその年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、自らの言葉で伝えられるようになる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員(保健体育)の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を50%とし、レポートの記述内容30%、授業での積極的発言など授業態度を20%とする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 準備学習を徹底すること。配布資料をファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。提出したレポートは、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。また、学校現場を理解するという意欲をもって、主体的に授業に取り組むこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習しておくこと。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 9号館4階の個人研究室において、毎週木曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 01.オリエンテーション:講義の進め方 02.スポーツの意義:スポーツとは何か? 03.社会生活の変化とスポーツの視点 04.明治時代以降の学校体育 05.戦後の社会教育:高度経済成長期のスポーツ 06.スポーツマンシップ、フェアプレイ、ドーピング 07.成長、発育、発達とスポーツ 08.生涯スポーツと生きがいづくり 09.スポーツとトレーニング 10.スポーツと経済 11.スポーツの多様化と住民スポーツ 12.地域社会とコミュニケーション、スポーツボランティア 13.地域スポーツイベントと地域活性化 14.中高年齢のライフステージのスポーツ 15.まとめ 16.試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 城山 |
| 教科書 1 | 生涯スポーツの理論と実際 著者:日下 裕弘(著), 加納 弘二(著) 出版社:大修館書店 ISBN:978-4469266986 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 生涯スポーツ実践論 著者:野川春夫(著), 川西正志(著) 出版社:市村出版 ISBN:978-4902109290 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|-----|------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 生涯スポーツ実習 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 天岡 寛 | | | | | NO. | GE-CH-0-006 | | |
| 配当学科 | 心理・アニメーション文化・経営社会 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 | | |
| テーマと到達目標 | 生涯スポーツ実習を通して、スポーツの楽しさを理解し、好きになってもらう。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することができる。近年、社会環境の変化による、外遊びの減少、運動経験不足、基礎運動能力の低下が挙げられる。自分自身の体を自由自在に動かすことができるように、全身のコーディネーションと体幹の安定化を高める事ができる。全身持久力を高める事ができるようにボールを使った球技の中で、たくさんのボールにさわって、たくさんプレーすることによって高めることができる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 球技(バスケットボール、フットサル、卓球、バドミントン)を通してルールを守り、仲間と助けあうことを体感する。気軽にできる体幹トレーニングにより、基礎筋力、全身コーディネーションを高める。ストレッチを学び、怪我予防を学ぶことができる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、健康運動指導の現場の実務経験のある者が担当する。健康運動指導の経験から、現状や課題、それを解決するために必要とされる知識や能力について講義し、学生の理解を深める。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(50%)及び理解度(50%) 全力で取り組み、技術習得に努めてたか。 仲間と協力して、目的にむかってプレーしているか。 授業のマナー・ルールを守っているか。 なお、評価のために競技のルール等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 体育館シューズを準備。 運動できる服装の準備(ジーンズ等は認めない) 水分(水、スポーツ飲料、お茶)の準備 競技に関する競技規則等について、復習及び指示された予習を行うこと。 適宜、レポートの作成・提出を行う。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 日ごろからスポーツや健康に興味関心を持つこと。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜日4時限目 9号館4階研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 2. 卓球 | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 3. 卓球 | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 4. バスケットボール | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 5. バスケットボール | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 6. フットサル | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 7. フットサル | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 8. バドミントン | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 9. バドミントン | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 10. 器具を使用したの筋力トレーニング | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 11. 器具を使用したの筋力トレーニング2 | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 12. 自体重でできる筋力トレーニング | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 13. 自体重でできる筋力トレーニング2 | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 14. フットサル | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 15. フットサル | | | 実習 | 天岡 | | | | | |
| 16. 単位認定試験 | | | 試験 | 天岡 | | | | | |
| 教科書 1 | 実習科目につき教科書は使用しない | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 適宜指示する。 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----------------------|---|-----|------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 哲学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 山本 敦之 | | | | | NO. | GE-GA-0-001 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができるようになる。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p> | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 257研究室で木曜4限 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 哲学という言葉の歴史と哲学の始まり | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 2. バルメニデスとその影響 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 3. ソクラテスとその影響 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 4. プラトン | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 5. アリストテレスの論理学と哲学 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 6. アリストテレスの第一哲学＝神学 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 7. ヘレニズム期の哲学とその後 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 8. 西欧文明の成立 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 9. 盛期中世の学問状況 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 10. 14世紀の大変革 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 11. ルネサンスと科学革命 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 12. 科学革命と政治哲学 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 13. 諸科学の成立と哲学 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 14. 科学的心理学の成立と哲学の変容 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 15. 総括 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 16. 定期試験 | | | 筆記試験 | 山本 | | | | | |
| 教科書 1 | | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>西洋哲学史<古代から中世へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075</p> | | | | | | | | |
| 参考書 2 | <p>西洋哲学史<近代から現代へ> 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310083</p> | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|--|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 哲学 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 山本 敦之 | | | | | NO. | GE-GA-0-001 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 257研究室で木曜4限 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり。 エレア派とその影響 ソクラテスとその影響 プラトン アリストテレスの哲学 アリストテレスの第一哲学 ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況 西欧文明の成立 盛期中世の学問状況 14世紀の大変革 ルネサンスと科学革命 科学革命と政治哲学 19世紀における諸科学の成立と哲学 科学的心理学の成立と哲学の変容 総括 定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 | | |
| 教科書 1 | 配布資料 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 西洋哲学史(古代から中世) 著者:熊野純彦 出版社:岩波新書 ISBN:4004310075 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|-----|------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 宗教学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 山本 敦之 | | | | | NO. | GE-GA-0-002 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。そして現代において宗教に対し健全な態度を確立することができるようになる。これらが到達目標である。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p> | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 257研究室で木曜4限 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 人類史と宗教:旧石器時代から新石器時代へ | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 2. 日本の縄文時代 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 3. 文明誕生:メソポタミア | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 4. エジプト文明 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 5. 古代ギリシャ世界 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 6. ユダヤ教の成立 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 7. ヘレニズム期の宗教 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 8. キリスト教の成立と展開 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 9. 初期のイスラーム | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 10. ローマ・カトリック | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 11. 宗教改革とその後 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 12. 日本宗教史:古代・中世・近世 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 13. 現代日本の宗教事情 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 14. 現代世界の宗教事情 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 15. 総括 | | | 講義 | 山本 | | | | | |
| 16. 定期試験 | | | 筆記試験 | 山本 | | | | | |
| 教科書 1 | 配布資料 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 倫理学 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 山本 敦之 | | | | | NO. | GE-GA-0-003 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持って余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』と一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホップズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 257研究室、木曜3限 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 「好きなこと」とは？ パスカルとニーチェの退屈論 暇と退屈の原理論 定住革命について 暇と退屈の系譜学 暇と退屈の経済史 ホップズ、ルソー、マルクス 暇と退屈の疎外論 暇と退屈の哲学 環世界論 暇と退屈の人間学 ハイデッガー 暇と退屈の倫理学 スピノザ 総括 定期試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 |
| 教科書 1 | 暇と退屈の倫理学 著者:国分功一郎 出版社:太田出版 ISBN:9.78E+12 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---|---|---------|------|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典 | | | | | NO. | GE-GA-0-004 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。人が生活している環境からいかに情報を取り入れ、蓄積し、利用するのか、あるいは、いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して、心理学のおもしろさに触れ、心理学の基礎的な考え方を理解することを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では、いくつかの領域における研究対象、方法、得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 小テスト(50%)と定期テスト(50%)の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生(私語、飲食、内職等...)については、この限りではない。 小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストは使用しないので、集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに、3回に1回くらいの割合で小テストを行うので、特に復習には力を入れること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。(2時間) テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である(2時間)。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 森井:月4 橋本:月5 村上:水1 各教員研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | | |
| (1) オリエンテーション (2) 外界を探るこころの働き (3) 感覚と知覚 (4) 認知とは何か? (5) 発達-乳幼児期~青年期- (6) 発達-成人期~老年期- (7) 記憶のふしぎ (8) 本能と学習 (9)行動の源泉:欲求 (10)集団の認知 (11) 対人認知 (12) 態度変容 (13) ストレスと考え方 (14) 性格とは (15) 心理検査について (16) 定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 森井 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 森井 森井 森井 村上 村上 村上 村上 村上 全教員 | | | | | | |
| 教科書 1 | 教科書は使用しない。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学 (New Liberal Arts Selection) 著者:無藤・遠藤・玉瀬・森 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641053694 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|------|------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 多文化理解 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 高橋 睦子 | | | | | NO. | GE-GA-0-005 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようになることを、この講義の到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312) | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 | グローバル化 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第2回 | 「文化」と異文化 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第3回 | 異文化交流と異文化理解 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第4回 | 文化: サブカルチャーの視点 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第5回 | 他者とステレオタイプ | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第6回 | 差異と差別 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第7回 | エスニシティと人種論 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第8回 | 学校教育と多文化 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第9回 | 文化統合と言語政策 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第10回 | 多文化共生論 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第11回 | 自己の中の異文化 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第12回 | 文化的寛容と非寛容 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第13回 | 文化摩擦と紛争 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第14回 | 相対化と自己内省 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第15回 | 多文化共生の可能性 | 講義 | 高橋 | | | | | | |
| 第16回 | 最終試験 | 最終試験 | 高橋 | | | | | | |
| 教科書 1 | 『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | 『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---------|-------------|------|----------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 多文化理解 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 高橋 睦子 | | | | | NO. | GE-GA-0-005 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | この講義のテーマは多文化共生と異文化コミュニケーションである。受講生が、文化の多様性と流動性についての基礎的な概念を的確に理解し、国内外での文化摩擦の問題に関心を深め、多文化共生の課題解決についての対応策や選択肢を提案できるようになることを、この講義の到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | グローバル化の進行と深化が進むなかで、旧来の国境や国民文化といった線引き・境界線は見直しと再生が繰り返されている。グローバル化は古い秩序を切り崩す運動であるだけでなく、新たな秩序と格差を造りだしている。この講義では、まずグローバル化の意味について多角的に検討し、私たち個人・家族や地域社会といった身近な生活空間と関連付ける。何が変わっているのかを確認しつつ、人・情報・モノの移動という側面から、多文化共生と異文化コミュニケーションの課題について考察を深める。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) 授業中の小レポート 35% (3) 単位認定試験(最終レポート)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 常に国内外の多様で多層な文化を意識し、社会問題や政治・文化的な課題についての情報に関心を向けることが重要である。多文化共生について自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312) | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 第1回 | グローバル化 | 第2回 | 「文化」と異文化 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第3回 | 異文化交流と異文化理解 | 第4回 | 文化: サブカルチャーの視点 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第5回 | 他者とステレオタイプ | 第6回 | 差異と差別 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第7回 | エスニシティと人種論 | 第8回 | 学校教育と多文化 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第9回 | 文化統合と言語政策 | 第10回 | 多文化共生論 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第11回 | 自己の中の異文化 | 第12回 | 文化的寛容と非寛容 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第13回 | 文化摩擦と紛争 | 第14回 | 相対化と自己内省 | 講義 | 高橋 |
| | | | 第15回 | 多文化共生の可能性 | 第16回 | 最終試験 | 講義 | 高橋 |
| | | | | | | | 最終試験 | 高橋 |
| 教科書 1 | 『異文化理解入門』 著者:原沢 伊都夫 出版社:研究社 ISBN:978-4327377342 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 『自分たちとは違った人たちとどう向き合うか』 著者:ジグムント・バウマン 出版社:青土社 ISBN:978-3791769735 | | | | | | | |
| 参考書 2 | 『多文化であることとは』 著者:宮島 喬 出版社:岩波書店 ISBN:978-4000291217 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--|-----|------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 日本国憲法 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 入江 祥子 | | | | | NO. | GE-SI-0-001 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p><到達目標> 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。</p> <p><テーマ> 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。</p> <p>*実務経験のある教員による授業 本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度及び取組姿勢30%、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価30%、定期試験40%の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること(特に私語、授業途中の入退室等)は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回:なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第2回:法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第3回:法源とは何か、成文法、不文法 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第4回:憲法とは何か、実質的意味の憲法、立憲的意味の憲法 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第5回:憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法、成立背景、特徴 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第6回:国民主権の意味、その役割 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第7回:戦争の放棄、「戦争」の意味、「戦力」の意味 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第8回:人権の享有主体性、外国人の人権 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第9回:私人間効力の問題 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第10回:人権保障の限界、「公共の福祉」の意味 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第11回:「権力分立」の意味、権力的契機、正当性の契機 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第12回:国会の制度意義、その構成及び役割 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第13回:内閣の制度意義、その構成と役割 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第14回:裁判所の制度意義、その構成及び役割 | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第15回:地方自治について | | | 講義 | 入江 | | | | | |
| 第16回:試験 | | | 試験 | 入江 | | | | | |
| 教科書 1 | 各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 六法 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|------|------|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 民法 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 生駒 正文 | | | | | NO. | GE-SI-0-002 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 民法は、皆さんが社会生活をする上でのトラブルを解決するルールを定めていますので、民法を学習することにより、社会生活に役立つ実用的な知識が身に付きます。また、公務員試験や資格試験などの多くに試験科目として採用されていますので、これらの試験を目指す人にとっては、必修の科目といえます。従って、この授業では、次のステップとしての公務員試験や資格試験の勉強に円滑に移行できることも念頭に置いて、民法の基礎を理解し記憶することを目標とします。 | | | | | | |
| 概要 | 民法の基礎を理解するために、平易な概説書を使用し、具体的な事例を折り込み、分かりやすく説明します。予習、復習に活用してください。また、復習用に教科書に準拠した問題集を作成しますので、これを活用して知識を整理してください。あわせて、随時、資格試験(試験問題が公表されている行政書士試験を使用)の問題を取り入れ実践的なトレーニングを行います。この科目は、大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 試験 70点 授業態度・意欲 30点 で評価 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ①(予習)別途作成の上配布する補助教材を事前に一読し、授業にて学習する部分の概要を把握するとともに、わからない箇所や疑問に思う箇所などについてチェックしておくこと。 ②(復習)別途作成する問題集により、当日学習した部分について、問題を解き、正解を確認することにより、復習しておくこと。 ③遅刻、無断途中退出と私語は禁止します。 ④ポータブルな六法を携帯すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 授業計画ごとに教科書を予習・復習しておくこと。 | | | | | | |
| オフィスワ- | (火)14:00~15:00(14号館6階生駒研究室) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 民法概説 2. 人の能力 3. 制限能力者 4. 物 5. 法律行為と意思表示(意思も欠缺) 6. 法律行為と意思表示(瑕疵ある意思表示) 7. 代理 8. 無権代理 9. 無効と取り消し 10. 条件・期限・期間 11. 時効 12. 団体 13. 物権序論 14. 物権変動(不動産) 15. 物権変動(動産) 16. まとめ(定期試験) | | 講義 | 生駒正文 | | | | |
| 教科書 1 | 法学講義案(第2章、第3章、第4章利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|-------------------------------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 経済学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 張 秉煥 | | | | | NO. | GE-SI-0-003 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 経済学を学ぶもっとも重要なインセンティブは、日常生活で目にするさまざまな経済的現象に関する分析的思考を修得することである。具体的には市場における消費者や企業といった経済主体の経済活動の論理を理解し、市場メカニズムの機能とその失敗、国民所得、経済成長、所得機会の変容および経済政策、そして実生活とのかかわり合いについて理解を深めることができる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 前半部では、個々の消費者の行動や企業の行動に関する分析をもとに、価格メカニズムについて学ぶ。具体的には需要供給メカニズム、市場の構造と価格分析、公共財と共有資源問題などに関する基礎的知識を修得する。後半部では、一国の経済全体の動きについて解説する。具体的には、国全体の総生産や所得水準の動き、所得分布や所得機会の変容、経済安定化政策などに重点をおく。随時経済学的思考や考え方を体験することができる現実の経済問題について解説を加える。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 成績の配点は、随時のミニクイズや復習テスト30点、定期総合筆記試験(16回目授業)70点である。合計60点以上を合格とする。すべてのテストはテキスト類の持ち込み自由で行う。ただし、電子辞書以外の持ち込みは禁ずる。その他詳細については、受験ルールは学則に則るものとする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | | | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業内容に基づき、「基礎的概念」や「現実とのかかわり合い」について理解を深めること。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室にて | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 科学としての経済学 第2回 十大原理1__Trade-off等 第3回 十大原理2__GDP等 第4回 需要供給モデルと応用 第5回 市場構造と社会的厚生 第6回 独占市場、復習テスト1 第7回 独占的市場、寡占市場 第8回 現実の価格、価格弾力性 第9回 価格規制、外部性 第10回 公共財、復習テスト2 第11回 情報の非対称性 第12回 国民所得 第13回 経済成長、景気変動 第14回 所得機会、復習テスト3 第15回 経済安定化政策 第16回 単位認定筆記試験 | | | 講義および試験(第1回目の授業で詳細のシラバスを配付する) | 張 | | | | | |
| 教科書 1 | 独自教材(パワーポイント版講義録・ワークブック型) | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | マンキュー入門経済学 著者:N.グレゴリー マンキュー(著)、足立 英之(翻訳) 出版社: 東洋経済新報社 ISBN:978-4492313862 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 社会学 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 赤坂 真人 | | | | | NO. | GE-SI-0-004 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ 基礎社会学(社会学とは何か?・人口論・家族・教育・産業と老d峰) 到達目標 社会学の定義と考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業と労働の領域における現状と問題を理解させ、その解決法を考えさせる。学生たちが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。この講義で現代社会の様々な制度と問題を理解し。毎回実施する小テスト(記述式)で自分の考えを文章で記述する能力を向上させる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>この講義の目的は社会学という学問がどのような学問であるかを理解させ、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている実際の出来事について考えさせることである。具体的には人口問題と環境、現代家族の変化、教育問題、いじめ、非正規社員の増加と経済的格差、人口の高齢化と年金、医療保険の破綻などを取り上げる。それによって学生たちは問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 小テスト(30%)・定期試験(70%)によって評価する。小テストや小論文は採点して返却するので必ず復習すること。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業を欠席しないように。出席チェックの不正をしないようにする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 火曜4限(15:10~16:40)に、研究室(9309)にて実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.社会学とは何か 2.他の社会科学との違い 3.社会学は何の役に立つのか 4.世界の人口動向 5.日本の人口問題:少子高齢化 6.家族とは何か 7.変容する家族 8.現代家族の諸問題 9.教育の社会学 10.学力低下論争 11.教育と社会 12.教員の多忙化と燃え尽き 13.産業と労働 14.IT社会における労働 15.AIの進化と社会変動 16.定期試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 赤坂 |
| 教科書 1 | 基礎社会学 著者: 赤坂真人 出版社: ふくろう出版 ISBN: 978-4861864278 | | | | | | |
| 教科書 2 | 毎回、教員が作成した資料(ハンドアウト)を配布する。 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 人権と政治 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 高橋 睦子 | | | | | NO. | GE-SI-0-005 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 火曜, 13:30-15:00, 研究室(6号館6312) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 人権の思想史 第2回 法の下の平等 第3回 平等権の課題 第4回 自由権 第5回 幸福追求権 第6回 生存権 第7回 生存権と福祉 第8回 教育・学習権 第9回 職業選択と人権 第10回 勤労の権利 第11回 参政権 第12回 請願権:裁判を受ける権利 第13回 子どもの権利 第14回 プライバシー権 第15回 環境権 最終試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 最終試験 | 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 高橋 | | | | |
| 教科書 1 | 『新・エッセンス憲法』 著者:安藤 高行 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03826-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 『福祉に携わる人のための人権読本』 著者:山本 克司 出版社:法律文化社 ISBN:978-4-589-03172-3 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---------|---------------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 人権と政治 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 高橋 睦子 | | | | | NO. | GE-SI-0-005 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | この講義のテーマは「人権」であり、到達目標は、学生が、基本的人権の歴史的な形成過程、および、日本における人権に関する今日的な課題についての的確に理解できるようになることである。 | | | | | | |
| 概要 | 人権の歴史については、主にヨーロッパ諸国での人権の概念形成を概観する。人権が国際社会において普遍的な理念として広く政治や福祉に定着が図られてきたことも検討する。こうした基本的な知識をもとに、日本において人権に関してどのような課題があるかを論じる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 次の基準によって評価する。 (1) 授業での積極性(質問、発言、受講態度)15% (2) レポートなどの課題提出 35% (3) 単位認定試験(最終レポートとプレゼンテーション)50% なお、評価のために実施した課題等については、授業においてフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 人権はさまざまな生活の局面に関連する。そのため、授業だけでなく、常に社会問題や政治・文化的な課題について国内外の情報に関心を向けることが重要である。積極的かつ自主的に学修する意思のある学生の履修を歓迎する。留学生の履修・受講についてはN2以上または同等の日本語運用力があることを原則とする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、授業内容に沿って課題を指示する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜, 11:10-12:40, 研究室(6号館6312) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 第1回 | 人権の思想史 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第2回 | 法の下での平等 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第3回 | 平等権の課題 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第4回 | 自由権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第5回 | 幸福追求権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第6回 | 生存権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第7回 | 生存権と福祉 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第8回 | 教育・学習権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第9回 | 職業選択と人権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第10回 | 勤労の権利 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第11回 | 参政権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第12回 | 請願権: 裁判を受ける権利 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第13回 | 子どもの権利 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第14回 | プライバシー権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第15回 | 環境権 | 講義 | 高橋 | |
| | | | 第16回 | 最終試験 | 最終試験 | 高橋 | |
| 教科書 1 | 『新・エッセンス憲法』 著者: 安藤 高行 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03826-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 『福祉に携わる人のための人権読本』 著者: 山本 克司 出版社: 法律文化社 ISBN: 978-4-589-03172-3 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|------------|-------------|-------|
| 授業科目名 | 社会と統計 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 佐藤 匡 | | | | NO. | GE-SI-0-006 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義と演習 |
| テーマと到達目標 | 自然現象や社会現象についての量的データを統計的に整理したり分析したりすることは、計画立案や意思決定によく行われていることである。つまり、社会ではデータを整理し分析する能力が求められるとも言え換えることができる。本講義では、その統計学の入門をテーマとして、ディプロマポリシーに従って目的達成のためにどのようなデータを集め、それをどのように整理して、分析結果をどのように読み取るかという思考・判断力身に付けるのが到達目標である。 | | | | | | |
| 概要 | 統計学はむずかしいと感じる人も多いが、身近なことに統計学がうまく応用されて役立っていることも多い。統計学の手法を使って数値データを分析することにより、あいまいな事柄に科学的な説得力を持たせることができる。本講義では、その分析に必要な知識である、Excelを活用してのデータの入力、度数分布表、ヒストグラム、平均と分散、仮説検定、散布図と相関係数などについて学習する。講義内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 ※実務経験のある教員による授業科目 担当教員が理事を務めているNPO社会福祉団体(会員数約1,300人)では、全国の自治体に対して統計的調査を行ったりしている。この科目では、分析の指導などにその担当教員のNPOでの知識が活用されている。 | | | | | | |
| 評価方法 | 「統計の基礎的知識の理解」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30%の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30%、記述統計を中心とした理解度を問う試験の成績を40%として最終的に総合評価が行われる。これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準とされる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 受講者数は、パソコン教室の定員以内とする。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。 | | | | | | |
| 自己学習 | 各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進捗と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 春学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日1時限目 秋学期: 岡山キャンパス131研究室木曜日2時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日1時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 第1回 スキル確認テスト・統計処理の概要 第2回 Excelの操作 第3回 度数分布表 第4回 ヒストグラム 第5回 データの散らばり具合 第6回 平均と分散 第7回 標準偏差 第8回 乱数とシミュレーション 第9回 検定の考え方 第10回 検定の実際 第11回 いろいろなグラフ 第12回 散布図 第13回 相関関係と因果関係 第14回 相関係数 第15回 回帰分析、まとめ 第16回 単位認定試験 | 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験 | 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 | | | | | |
| 教科書 1 | 統計学の図鑑 著者: 涌井良幸・涌井貞美 出版社: 技術評論社 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|--|---------|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 環境科学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 秋山 純一 | | | | | NO. | GE-NM-0-001 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらに対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| 1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 | | | | | | |
| 教科書 1 | 使用しない(テーマ毎にプリントを配布する) | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 環境科学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 秋山 純一 | | | | | NO. | GE-NM-0-001 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得する。その基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「地球温暖化」、「環境ホルモン」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得し、現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、また行動できることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見の問題意識を持ちどの様に対処すべきかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | マークシート形式主体の筆記試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ることを。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境と人間のかかわりあい 2. 環境における人類危機要因 3. 生態系と人間 4. 食物連鎖 5. 物質循環 6. 紫外線(作用と分類) 7. 紫外線と皮膚(臨床) 8. 紫外線と皮膚(防御) 9. オゾン層の破壊(原因) 10. オゾン層の破壊(対策) 11. 環境ホルモン(作用) 12. 環境ホルモン(分類) 13. 環境ホルモン(影響) 14. 地球温暖化(原因) 15. 地球温暖化(対策) 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 | |
| 教科書 1 | 使用しない(テーマ毎にプリントを配布する) | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 環境科学入門 著者:川合 真一郎 他 出版社:化学同人 ISBN:9.78E+12 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 物理学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 萩野 正興 | | | | | NO. | GE-NM-0-002 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義と議論・演習 | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ: 学生が物理を身近なものとして捉えることができる。学生が物理の考え方を身につけることができる。 到達目標: 講義だけでなく、その講義に沿った内容の演習や議論を行い、深い学びを得られる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>「物理は難しい」「宇宙は神秘的に満ちている」そんな偏見を持っていませんか？ この担当教員は天文学者です。天文学者は物理学者です。ここでは物理や天文の考え方を勉強しましょう。 この授業では公式の暗記や板書をノートに書き写したりせず、「主体的」、「対話的」、「深い学び」というアクティブラーニングを実践します。 すなわち、前半は最新データに基づいた物理や宇宙の講義を行い、後半はそのテーマに沿った議論や背景にある物理の簡単な演習(実験や体験)を行います。 この授業の前と後では「世界が違って見える」ように努めます。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | 論述形式試験(60%)、授業態度(40%) | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 理科の知識は問いません。予習は必要ありません。アクティブラーニングを実践したいので、授業への積極的な参加をお願いします。復習は各自の興味で行ってください。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1 イントロダクション / 宇宙とは 2 時間と空間 / 運動学 3 暦と太陽系 4 普通とは何か? / 統計学 5 みんな群れを作っている / 力学 6 暖かい? 冷たい? / 熱力学・流体 7 モーターの話 / 電磁気学 8 エネルギーとは何か? 9 虹と夕焼け / 光学 10 いろいろな波 / 波動 11 小さな世界 / 量子力学 12 空を見上げる / 観測技術・望遠鏡 13 宇宙に果てに / 現代の宇宙観 14 我々の置かれた環境 15 物理とは / まとめ 16 論述形式の試験 | | | 講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/演習 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論 講義/議論 | 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 萩野 | |
| 教科書 1 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | ぼくらは「物理」のおかげで生きている 著者: 横川淳 出版社: 実務教育出版 ISBN: 978-4-7889-1178-9 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--------|---------|------|------------|-------------|----|
| 授業科目名 | 生物学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 香田 康年 | | | | NO. | GE-NM-0-003 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、それらについて考えること、様々な生物現象について考えることで、ヒトや様々な生物、および様々な現象について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。</p> <p>【到達目標】まず生物のシンカと一般用語の「進化」が意味がことなることを学び理解する。その際に、生物のシンカとはどのような現象なのかについて学び理解する。それを踏まえた上で、生物のシンカがどのような仕組みで起こるのかを学び理解する。</p> <p>それらを学ぶ際に、丸暗記するのではなく、様々な生物現象や人間について考える力、および物事の関係について考え、理解する力を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用し、自ら考え議論する力を養う。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義とQ&Aのアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容、範囲などは受講生の理解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は、講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば、次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。 ○ 1995年以来担当者として講義を行って来た。 | | | | | | |
| 評価方法 | <p>20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点(70%)とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数(30%)で評価する。</p> <p>ただし、授業態度が悪ければ(授業にまじめに取り組まない場合)10点の範囲で減点する。</p> <p>各小テストは、論述記述式である。</p> <p>講義の内容から、重要な内容について説明記述させる問題を出题する予定である。</p> <p>授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていないことが、採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。</p> <p>なお、途中の小テストは、採点結果を返却し、フィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。</p> <p>教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>【復習】</p> <p>授業内容は常識と異なることが多く、授業は前回までの理解を前提に進めるので、毎回必ず復習し、理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。</p> <p>またいつ小テストがあっても対応できるように、充分理解し、ノート整理しておくこと。復習には二時間程度かけて行う事を目安とする。</p> <p>【予習】</p> <p>過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、次回の授業内容について、参考書などを参考に、自分なりの現時点での理解を確認しておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。予習にも、二時間程度要することを目安とする。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 講義担当者は非常勤講師なので、質問等があれば、授業後の休憩時間に行うこと。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 生物のシンカと一般用語としての「進化」 2 生物のシンカの起こる仕組み 3 なぜたくさんの生物がいるのか？ 4 なぜ人類が存在しているのか？ 5 ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか 6 科学とはどのような学問か？ 7 生物とは？ 8 どんな生物、どんな動物がいるのか？ 9 クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか 10 “うんこ”と“おしっこ”の違いは？ 11 遺伝子と遺伝子の発現 12 人間の本性とは？ 13 本能と学習の真の関係 14 利己的行動と利他的行動 15 非血縁者間の利他行動のシンカ 16 様々な対人関係心理のシンカと神を信じる心のシンカ 17 最終試験(筆記試験) | 毎回講義とQ&A方式のアクティブラーニング | 毎回香田康年 | | | | | |
| 教科書 1 | 教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 面白くて眠れなくなる生物学 著者:長谷川英祐 出版社:PHP文庫 ISBN:978-4-569-76860-1 | | | | | | |

参考書 2

進化と人間行動

著者:長谷川寿一、長谷川真理子

出版社:東京大学出版会

ISBN:4-13-012032-8

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 生物学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 福田 富男 | | | | | NO. | GE-NM-0-003 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマは生物の基礎ともいえる生態、細胞や遺伝などに加え、人の健康に深く関係する生活習慣病などの幅広い知識を習得し、生物現象を広く正確に把握できる。</p> <p>具体的な学習内容は概要の欄にしめすものとし、これらに加え一般社会人として、正しく知識を活用できる能力を養い、学習の到達目標は授業内容の完全な理解を目指す。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>学習の内容としては、(地)地域における森や植物、河川や水生生物の学習および実習などを素材として論文作成法を習得する。更に海と沿岸生物、アマモ場の生態、魚類生態などの諸分野の幅広い生物生態学の知識を学ぶ。加えて生物学と医学、細胞・遺伝などの基礎生物学を学び、それらをもとに老いと生物学、ヒトの一生と健康な生活などの基礎医学の諸分野、また再生医療や環境問題などこれからの生物学に関する広範囲の知識を習得する。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 医学博士。1969年から2003年まで岡山県水産試験場で生物生態学などを調査研究。2004年から、高校、専門学校、大学などで非常勤講師として勤める。医学他に必要な生物の知識を経験から教授する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>復習、小テスト他の課題対応、定期試験等の結果で総合的に評価する。</p> <p>定期試験(80%)、課題評価(20%)の結果で総合的に評価する。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>基礎生物学を主体に自然科学、医学、環境、保健問題などに広く関心を持っていること。加えて、授業時間外の課題について各授業内で指示するので、必ず実行し失念しないよう留意しておくこと。また、配布資料は再発行しないので紛失しないこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>ほぼ各週とも復習課題を課し、加えて前週の小試験を実施する。授業開始直後、それらの解答・解説を行い授業内容を確実に習得させる。また、復習課題は不定期に回収しその実施状況を把握・評価する。</p> <p>予習および復習には、各1時間程度を要する。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物体と生物学の分野 2. 山林、植物の役目 3. 森林生態学実習 4. 水生生物と河川 5. 河川生態学実習 6. 論文作成法、海と生物の起源 7. アマモ場のはたらき 8. 細胞の発見と構造 9. 細胞の機能 10. ヒトとその遺伝子 11. 細胞分裂 12. ヒトの健康と次世代の子供 13. 生老病死,DNA,RNAの構造 14. DNAのはたらきと健康な生活 15. 今後の課題, 再生医療, 環境 16. 定期試験 | 講義 講義 学外実習 講義 学外実習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記 | 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 福田富男 | | | | | |
| 教科書 1 | <p>病気になるらない健康生活スタイル 著者:徳田安春、岸本暢将、星 哲哉 出版社:西村書店 ISBN:978-4-89013-612-4</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 化学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 秋山 純一 | | | | | NO. | GE-NM-0-004 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | | |
| 1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 | | | | | | |
| 教科書 1 | 使用しない(テーマ毎にプリント配布する) | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 化学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 秋山 純一 | | | | | NO. | GE-NM-0-004 | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 本講義では化学の全般の基礎的な知識習得に重点をおき学習する。また、日用品、生活に必要な薬品化学や化粧品等に関連する界面化学分野の項目も取り上げ、将来の種々職業や生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用できることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 今日の科学技術の進歩は目覚しく、現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は、物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし、それらの性質、構造、反応性などを実証的に解き明かす。18世紀後半から学問として体系付けられ、幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら、現代化学へと発展してきた。今日では、複雑で有用な物質を簡単な物質(分子)から合成するなど、私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ、暮らしを豊かに、快適にしてくれている。一方、分子という考えの導入により、生命現象を化学的に解釈できるようになり、また生命現象を遺伝子のレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では、地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は化粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約90%を評価し、残り約10%の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度)を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度)を行って学習内容の理解を深めること。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 原子・分子の構造 2. 化学結合 3. 同位体と放射能 4. 周期律表 5. 化学反応、結合 6. 酸化と還元(反応物質) 7. 酸化と還元(燃料電池他) 8. 物質の分類(金属、非金属) 9. 水の化学(特性、硬度、pH) 10. 有機化合物の構造分類 11. 有機化合物の置換基分類 12. 有機合成の反応分類 13. 高分子化合物(天然) 14. 高分子化合物(合成) 15. 界面の化学(洗剤、乳化) 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 秋山 | |
| 教科書 1 | 使用しない(テーマ毎にプリント配布する) | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 教養の現代化学 著者:多賀 光彦/共著 他 出版社:三共出版 ISBN:9.78E+12 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|------|-----|--|-----|--|--|
| 授業科目名 | 人類生態学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 末吉 秀二 | | | | | NO. | GE-NM-3-005 |
| 配当学科 | 農学部 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。 | | | | | | |
| 概要 | 人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレイクダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。 | | | | | | |
| 評価方法 | 到達目標を計るため、試験(80%)、小テスト(10%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。なお、評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 指定した教科書は必ず購入すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること(予習)、不明な点が理解できたかを確認すること(復習)。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日・金曜日(3限、5限) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | 1 オリエンテーション 2 生態系と人類の特性 3 人類の起源と進化 4 生存様式の変化と多様性 5 生業と社会 6 身体とその機能 7 行動の生態学 8 栄養と健康 9 病気の生態学 10 長期的な人口変化 11 人口指標と集団の適応 12 現代の人口問題 13 エネルギーと資源 14 ライフスタイルと環境 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 末吉 |
| 教科書 1 | 人類生態学 著者:大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか 出版社:東京大学出版会 ISBN:4-13-052300-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 生態人類学を学ぶ人のために 著者:秋道智彌・市川光雄・大塚柳太郎編 出版社:世界思想社 ISBN:4-7907-0561-7 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 統計学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 山本 敦之 | | | | | NO. | GE-NM-0-006 |
| 配当学科 | 全学共通 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | テーマは「数学としての統計学の理解と、推測統計学の実践」である。学生は、度数分布や確率分布の基礎概念を練習問題を解きながら習得する。その上で、母平均や母分散の区間推定や、仮説検定(母平均・母分散、適合度・独立性、母相関係数)の技法に習熟する。これによって学生は関係する分野の現実の問題でそれらの技法を使いこなすことができるようになる。 | | | | | | |
| 概要 | 集団の代表値・散布度や二つの集団の相関などの度数分布論の基礎概念、二項分布・正規分布や χ^2 乗分布やt分布などの確率分布論の基礎概念を、問題演習を通じて習得する。しかるのち、母平均や母分散の区間推定や母平均・母分散や適合度・独立性や母相関係数に関わる仮説検定の問題を解き、さまざまな分野における応用への道を開く。 | | | | | | |
| 評価方法 | 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 順列・組合せ、確率、数列、微分積分の初歩など、ある程度の数学的知識は履修に際して必要条件である。 | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書と板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 257研究室で木曜4限 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. 度数分布 2. 代表値・散布度 3. 平均・分散の計算 4. 相関係数 5. 確率変数 6. 2次元確立分布 7. 二項分布 8. 正規分布 9. X^2 乗分布とt分布 10. 標本分布 11. 区間推定 12. 仮説検定 13. 母平均・母分散の検定 14. 適合度・独立性の検定 15. 総括 16. 定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 | | | | | |
| 教科書 1 | 新統計入門 著者:小寺平治 出版社:裳華房 ISBN:4-7853-1099-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 数学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 山本 敦之 | | | | | NO. | GE-NM-0-007 | | |
| 配当学科 | 全学共通 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 医療系をはじめとする、広範囲の専門分野で将来必要となる数学的知識、つまり「1変数や2変数の微積分」がテーマである。限られた時間の中で基礎的なものに限定してその学習をおこなう。学生は1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解くことができるようになる。 | | | | | | | | |
| 概要 | まず1変数関数では、さまざまな初等的関数(整関数、三角関数、指数関数)の性質について学び、これらの関数やその逆関数の微分や積分を行なう。また級数展開について学ぶ。2変数関数では全微分という概念を理解し、さまざまな関数の微分や積分を行なう。また2変数関数の極値問題や重積分の問題を解く。こうして1変数と2変数の微積分の基礎的問題を解く能力を身につける。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 数学I,A,II, Bを履修していること。それと毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること(2時間程度)。これを次回授業で確認する。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 257研究室で木曜4限 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 簡単な1変数関数と2次曲線 2. 三角関数と逆三角関数 3. 指数関数と対数関数 4. 1変数関数の微分 5. 初等関数の導関数、n次導関数 6. 平均値の定理とTaylor級数 7. 1変数関数の不定積分 8. 1変数関数の定積分 9. 2変数関数の微分 10. 2変数関数の極値 11. 2変数関数の累次積分 12. 重積分 13. 変数変換 14. 変数変換と積分 15. 総括 16. 定期試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 山本 | | | | | |
| 教科書 1 | 微分と積分 著者:三宅敏恒 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-00352-4 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|--|-------------|
| 授業科目名 | 中国地域社会 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 畑木 亦梅 | | | | NO. | SS-BU-2-309 |
| 配当学科 | 経営社会 | | | 年次 | カリキュラムにより異なります。 | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 講義 |
| テーマと到達目標 | 中国は近年目覚ましい経済発展を遂げ、政治も変貌し、国際社会における存在も大きくなってきている。社会保障も整備されつつある。一方、腐敗事件が頻発し、社会格差が深刻化しているなど様々な問題も起きている。本講義は、こうした現代中国を分析する。本講義を受講することにより、現代中国の国家制度、社会構造とその変容、経済、環境及び外交、日中関係の現状と問題点などについて理解できるようになる。 | | | | | |
| 概要 | 本講義では、現代中国の国家制度、一党支配下の権力構造、社会構造とその変容、経済発展と格差問題、環境問題、外交問題などを様々な視点で捉え分析する。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業態度、課題レポートなど(40%)、期末テスト(60%)で総合的に評価する。 | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 留学生が受講する場合、一定の漢字の読解力が必要である。 | | | | | |
| 自己学習 | 予習として、事前に授業資料を読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。予習および復習には、2時間程度を要する。 | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後教室にて | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 政治体制 3. 執政党 4. 多民族国家 5. 香港・マカオ問題 6. 台湾問題 7. 経済の高度成長 8. 経済のグローバル化 9. 社会構造の変容 10. 人口問題 11. 教育問題 12. 環境問題 13. 冷戦下の日中関係 14. 冷戦終結後の日中関係 15. まとめ 16. 期末試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 畑木亦梅 | |
| 教科書 1 | 『5分野から読み解く現代中国』(2016) 出版社: 晃洋書房 ISBN: ISBN 978-4-7710-2720-6 | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---|---------|-----------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 経絡鍼灸学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 孫 基然 | | | | | NO. | SS-SM-2-324 |
| 配当学科 | スポーツ社会 | | | 年次 | カリキュラムにより異なります。 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 本講義では東洋医学における重要な「経絡鍼灸学」をテーマとして、それについて福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | 「経絡学説」は東洋医学における最も重要な生理学の一環であると同時に、臨床各科治療の基礎でもある。本講義ではまず経絡の起源に関わる背景を紹介し、その後「十二正経」を講義する。その中で主に経絡の循行部位、生理機能、病理特徴および分布特徴、相関部位及び代表経穴の取り方を中心として行われる。更に現代医学を併せてそれに関わっている筋肉、神経及び血管などを中心としている。「鍼灸学」について主に鍼の刺し方、灸療法のすえ方、適応症、注意事項及び鍼灸治療のメカニズム、また、中国の鍼灸状況を解説する。 | | | | | | |
| 評価方法 | テーマ「経絡鍼灸学福祉、健康とスポーツ領域で活用できるレベルを到達目標とする」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験(50%)、課題発表(30%)、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回の授業において問題提起と討論が可能ないようにテキストの指定されたページを熟読してくる。また、学期末のレポート提出が定期試験受験の条件となることから授業終了後にノートを纏めておくこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。2) 指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。3) 試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習に、各2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 6号館3階の個人研究室において、水曜日3時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 肺経・大腸経について 第2回 胃経・脾経について 第3回 心経・小腸経について 第4回 腎経・膀胱経について 第5回 心包経・三焦経について 第6回 肝経について 第7回 胆経について 第8回 鍼灸概説について 第9回 片手挿管について 第10回 鍼に関する一般知識 第11回 鍼治療の適応症 第12回 刺鍼手技法について 第13回 灸療法概説について 第14回 灸療法の実際について 第15回 鍼灸理論について 第16回 定期試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 孫基然 | | | | |
| 教科書 1 | 身近な東洋医学 著者:王専 出版社:ふくろう出版 ISBN:978-4-86186-305-9 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 適宜指示する | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 公衆衛生学 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 中瀬 克己 | | | | | NO. | HS-NU-1-116 |
| 配当学科 | 看護 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 公衆衛生活動の目的は、その国や地域の優先する健康問題に社会資源を配分したり、健康格差を減らしたりする事により、効率的に社会の健康課題に取り組むことである。個人よりは集団を対象とし、個々の病気の治療よりもその病気を起こりやすくしている環境や制度に注目する。現状や介入効果の評価を疫学や統計資料によって行い、学問的に精緻化されている。この科目で学生は、上記の公衆衛生の基本的考え方が身につくことが目標である。 保健師助産師看護師法第1条には、「この法律は、保健師、助産師及び看護師の資質を向上し、もって医療及び公衆衛生の普及向上を図ることを目的とする。」とあり、公衆衛生学は看護師における必須分野であることから国家試験にも必出分野である。 | | | | | | |
| 概要 | 公衆衛生活動では、疾病予防、寿命延長及び精神的・身体的・社会的な健康の保持増進など、その目的のための様々な社会制度や技術があり、それらを公衆衛生学Ⅱとともに学ぶ。この科目では、公衆衛生の総論的なもの、基礎的考え方を主要なトピックスを中心として学習し、資料を用いて講義を行う。教科書は、公衆衛生の体系や詳細の整理のために用いる。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、自治体の公衆衛生部門において実務経験のある教員が担当し、現状や課題とその解決に必要なとされる知識や能力を含めて講義をすることによって、学生の理解を実際的なものとし又深める。 | | | | | | |
| 評価方法 | 期末の定期試験(50%)と授業への取り組み姿勢、提出物の内容(50%)で評価する。授業時にアンケートを行い、必要時にフィードバックを行うとともに次回以降の講義内容、進捗等に反映させる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | プリントを配布し、理解を助けるための演習も行うので、初回授業よりファイルを用意し整理して保存すること。期末試験時にはファイルを元に復習すると効率的である。 | | | | | | |
| 自己学習 | 「記憶」より「理解」が自らの考えを形作るためには重要である。「なぜそうなのか」といった疑問を持って授業に臨むと理解が深まる。一方、教科書は簡潔に纏められ確認や整理に有用であり、その理解のためには背景を他の資料などで補う必要がある。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 6号館4階6424研究室にて、毎週水曜2限(教授会がある日を除く)または木曜2限を、オフィスアワーとする。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 公衆衛生とは、社会と健康 2. ライフスタイルと健康 3. 行動経済学 4. 公衆衛生を担う機関 5. ソーシャルキャピタル 6. 環境と健康 7. 医療制度 8. レポート発表 | | 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義 講義 演習 | 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 中瀬 | | | | |
| 教科書 1 | 公衆衛生—健康支援と社会保障制度(2)14版 著者:神馬 征峰ら 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-03574-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 看護学概論 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 掛谷 益子、澤田 和子 | | | | | NO. | HS-NU-1-201 | |
| 配当学科 | 看護 | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 必須 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 | |
| テーマと到達目標 | <p>〈テーマ〉 看護とは何かを理解するための基盤となる看護の主な概念を学び、看護の対象となるその人とその生活を理解する。そして、看護を実践するための場と仕組みおよび看護専門職の役割や機能を学習する。</p> <p>〈到達目標〉 1. 看護の機能と役割、看護の構成要素を理解する。 2. 看護の対象とある人とその生活を理解する。 3. 看護活動を実践するために必要な法律について理解できる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | 看護を志す初学者として、看護の核となる概念である人間や健康の基本的捉えかたについて理解する。この科目は、臨床での看護師の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、看護職者として必要とされる知識や能力について実践的に役立つ授業を実施する | | | | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験70% 課題レポート30% | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 看護とは何かを考えられるように主体的に学習に取り組む。 日頃から保健・医療や福祉に関する新聞記事やニュース報道に関心を持ち、視野を広げておく。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習:授業において問題提起と討論が可能なように教科書の該当ページを熟読する。(90分) 復習:毎回の授業終了後に、授業内容を再確認する。(90分) | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜日2時限目:6号館4階 6402・6438 研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 看護とは 看護の概念 2. 看護の役割と機能 3. 看護の対象の理解 人間のこころ・からだ・発達 4. 看護の対象の理解 地域での暮らし 5. 健康とは 6. ライフサイクルと健康・生活 7. 看護の歴史 8. 看護職のキャリア 9. 看護における倫理 現代社会と職業倫理 10. 看護における倫理 看護実践における倫理的問題 11. 看護サービスの提供 12. 看護をめぐる制度と政策 13. 国際化と看護 14. 災害時における看護 15. 私の看護観 16. 試験 | | 1.講義 2.講義 3.講義 4.講義 5.講義 6.講義 7.講義 8.講義 9.講義 10.講義 11.講義 12.講義 13.講義 14.講義 15.講義 16.試験 | 1.掛谷 2.掛谷 3.澤田 4.澤田 5.澤田 6.澤田 7.掛谷 8.掛谷 9.掛谷 10.掛谷 11.掛谷 12.掛谷 13.澤田 14.澤田 15.掛谷・澤田 16.掛谷・澤田 | | | | | |
| 教科書 1 | 系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 著者:茂野香おる 他 出版社:医学書院 ISBN:978-4-260-02181-4 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 作業療法概論 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 京極 真、岩田 美幸、三宅 優紀、狩長 弘親、山本 倫子、寺岡 睦 | | | | | NO. | HS-OT-1-203 |
| 配当学科 | 作業療法 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。</p> <p>【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目では、作業療法士としての実務経験をもつ教員や外部講師がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 授業への参加度(50%)、単位認定レポート試験(50%)の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人(自分自身も含む)と作業の関係について洞察を深めること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜4限(15:10～16:40)、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション、作業とは何か 2. 作業療法の対象, Enabling occupation 3. 身体障害領域の作業療法 4. 精神障害領域の作業療法 5. 高齢者・認知症の作業療法 6. 作業療法の歴史(起源) 医学・作業療法用語の解説 7. 作業療法の歴史(パラダイムシフト) 8. 作業療法の実践理論(人間作業モデル) 医学・作業療法用語の確認テスト 9. 作業療法の実践理論(CMOP-E・OTIPM他) 10. 高次脳機能障害領域の作業療法 11. 予防領域の作業療法 12. 発達障害領域の作業療法 13. 作業療法における研究の重要性 14. 生活行為向上マネジメント 15. 作業療法を取り巻く状況、まとめ 16. 試験 | 講義 AL AL AL 講義 講義 講義・筆記試験 講義 | 京極 岩田 寺岡 山本 岩田 京極 寺岡 寺岡 寺岡 | | | | | |
| 教科書 1 | 作業療法学概論 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:二木淑子・能登真一 出版社:医学書院 ISBN:978-4260025355 | | | | | | |
| 教科書 2 | 「作業」って何だろうー作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:978-4263216675 | | | | | | |
| 参考書 1 | 基礎作業学 第3版(標準作業療法学専門分野) 著者:濱口豊大 出版社:医学書院 ISBN:978-4260030557 | | | | | | |
| 参考書 2 | 作業療法士になろう! 著者:齋藤さわ子 出版社:青弓社 ISBN:978-4787210531 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 人間と作業 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 寺岡 睦 | | | | | NO. | HS-OT-1-204 |
| 配当学科 | 作業療法 | | | | 年次 | 1 | |
| 必修・選択 | 必須 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義、AL |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:学生は、作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標:学生は、講義とアクティブラーニングを通して、作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>作業とは、人間が経験すること全てである。 作業療法士になるためにはこの作業を理解し、作業療法という方法を使ってクライアントへ介入を行う必要がある。 そのためには作業がもつ力を理解し、健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり、やり方を変更したり、自身で運用できるようになることが求められる。 作業は経験である以上、どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する。 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される。 しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される。 この科目では、健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し、実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し、解釈出来るように構成している。 この科目は、作業科学を研究し、臨床現場で実践していた者が講義を行う。人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え、臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 試験60%、提出物20%、授業への態度20%で評価する。なお、提出物へのフィードバックは授業内で行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み、事前にインターネットなどを活用し調べておくこと。 予習の時間は1時間程度とする。 講義終了時に、作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと。 課題は30分～1時間程度で行える内容で提供する。課題は次回の講義前までに提出すること。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室で行う。それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 作業と健康と幸福の関係性 3. 意志力と作業、演習、宿題 4. 疲労と作業、演習、宿題 5. 感謝と作業、演習、宿題 6. フローと作業、演習、宿題 7. 人間関係と作業、演習、宿題 8. 挫折と作業、演習、宿題 9. ストレス軽減と作業、演習、宿題 10. 強みと作業、演習、宿題 11. レジリエンスと作業、演習、宿題 12. 自己肯定感と作業、演習、宿題 13. 講義と発表 14. 人間と作業まとめ 15. 単位認定試験 | | 講義 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 講義, AL 筆記試験 | 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 寺岡 | | | | |
| 教科書 1 | 「作業」って何だろう 作業科学入門 第2版 著者:吉川ひろみ 出版社:医歯薬出版 ISBN:4263216679 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----|--|--|---------|-----------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 保育の心理学 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-CE-2-212 | | |
| 配当学科 | 子ども発達教育 | | | | 年次 | カリキュラムにより異なります。 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>発達とは人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。</p> <p>到達目標: 子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようにする。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>ほぼ毎回(計10回ほど)の講義内で行う小テスト・ミニ・レポートの得点(30%)と定期試験の得点(70%)に、受講態度の評価点(0~1)を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が0.5の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点后、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>上述のように、ほぼ毎時間、小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。</p> <p>保育士の資格取得には必須科目である。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。(2時間)</p> <p>復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。(2時間)</p> <p>返却された小テストも確認しておくこと。</p> | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限 教員研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 発達を考える(1章) 3. 人・モノとの出会い(2章) 4. コミュニケーション・愛着(2章) 5. 遊び・好奇心・知識(3章) 6. 他者との関わり(3章) 7. 学校での学び(第4章) 8. 学びのつまずき(4章) 9. 学校のでの人間関係(5章) 10. 人間関係のつまずき(5章) 11. 青年期の発達課題(6章) 12. 職業と自己理解(6章) 13. 親としての発達(7章) 14. 発達理論と発達支援(8章) 15. まとめ 16. 試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | | | | | |
| 教科書 1 | 保育の心理学 I 著者:無藤 隆・藤崎真知代 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2738-9 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | エピソードで学ぶ 乳幼児の発達心理学 著者:岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる 出版社:新曜社 ISBN:978-4-7885-0907-8 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|---------|-----------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 対人関係論 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 栗田 喜勝 | | | | | NO. | PS-CE-3-219 |
| 配当学科 | 子ども発達教育 | | | 年次 | カリキュラムにより異なります。 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。 | | | | | | |
| 概要 | 心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体(個人)に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(質疑・意見表明等の有無)(40%)・期末試験(60%)で総合的に評価する。なお、授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にはあらかじめよく目を通し(予習)、授業後は内容を確認し整理し(復習)、以後の学習に活用してほしい。 | | | | | | |
| 自己学習 | 1) 事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 2) 毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な参加と事前の準備、授業後の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 3) 単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 心理学と社会心理学 2. 社会心理学の対象と研究方法について 3. 社会的認知について 4. 社会的相互作用について 5. 社会的欲求と適応行動について 6. 人間関係とストレス 7. 人間関係とフラストレーション 8. 人間関係と認知 9. 印象形成について 10. 人間関係と感情 11. 社会的態度と行動について 12. 社会的態度(1)ステレオタイプ 13. 社会的態度(2)偏見 14. 態度変容について 15. 学修のまとめ 16. 期末試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 栗田 | | | | |
| 教科書 1 | 初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | ワークショップ人間関係の心理学 著者:藤本忠明他編著 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:4-88848-833-9 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|--|------|-------------|
| 授業科目名 | デジタルメディアと社会 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 大谷 卓史 | | | | | NO. | AN-AN-1-108 |
| 配当学科 | アニメーション文化 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることが出来る。</p> <p>本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為・コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。</p> <p>到達目標は、学生が次の3つのことができるようになることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 2. 倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 3. デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 <p>ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方や枠組みを活用する。</p> <p>映像作品やドキュメンタリーを手掛かりとして、現代における情報技術とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。視聴や紹介を予定する映像作品は授業計画を参照のこと。</p> <p>授業では映像作品のストーリーやそこで描かれた哲学的・倫理学的問題を紹介し、学生との議論を中心に進める。映像作品に関しては、事前に見ておくことが望ましい。</p> <p>講義の最終回に全体のまとめをおこなう。</p> <p>毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえで意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する(受講態度)。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの3つの評価をバランスよく得ていることを単位認定(到達目標)の判断基準とする。また、授業課題に関しては、次回授業でコメントシート(シャトルカード)や、授業内での言及・コメントなどによって(原則課題回答者名は匿名)、フィードバックする。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。</p> <p>講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。</p> <p>授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。</p> <p>予習:レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。</p> <p>復習:授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | <p>春学期 14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。</p> <p>秋学期 14号館6階14617号研究室にて毎週木曜日3時限目。</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 なぜ情報倫理が必要なのか 3 倫理とは何だろうか(1) 倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉 4 倫理とは何だろうか(2) 倫理学の基本的な立場 5 グーグル革命(ビデオ教材) 6 サーチエンジンの倫理:スコア化する社会/ブラックボックス化する社会 7 ソーシャルネットワーキングサービス 8 フェイクニュースと情報の信頼 9 プライバシーの基礎 10 個人情報保護制度とその思想 11 監視と見守り 12 著作権の法・技術・ビジネス 13 ICTビジネスと社会(「アップル復活」を見る) 14 バーチャルリアリティー 15 まとめ 16 試験 | <p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義 講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 筆記試験</p> | <p>大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷</p> <p>大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷 大谷 大谷</p> <p>大谷 大谷 大谷</p> | | |
| 教科書 1 | レジュメ等資料を配布する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>改訂新版 情報倫理入門 著者:土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著 出版社:アイケイコーポレーション ISBN:4874923240</p> | | | | | | |
| 参考書 2 | <p>AIの倫理学 著者:クーケルバーク著、直江清隆訳者代表 出版社:丸善出版</p> | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 心理学概論 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-1-101 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】行動(心の働き)と環境との関わり、つまりヒトが環境に「適応する」とはどういうことなのか、について、感覚、知覚、記憶、学習の観点から理解する。</p> <p>【到達目標】人間の行動(心の働き)には、環境が大きな影響を与える。そのため、学生は人間がどのように外界からの情報を取り入れ、適応行動を行っていくのかについての理解を深めることができる。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | 本講では、人間が自分を取り巻く環境からさまざまな情報を取り入れ、蓄積し、また多くの経験を積みながら、置かれた環境に適応していく。我々は、錯覚などを含めて外界をどのように捉えるのか、また、その情報をどのように記憶したり、忘却したりするのか、さらにそれらをもとにどのように適応行動を行っていくのかについて講義する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の講義内容について指示をするので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げること(2時間)。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| (1) OR/心理学とは (2) 心理学の課題と研究方法 (3) 感覚と知覚(外界を捉える) (4) 感覚と知覚(知覚と認知) (5) さまざまな知覚(視覚の不思議) (6) さまざまな知覚(感覚器官の性質) (7) 記憶とは (8) 記憶のしくみ(感覚記憶) (9) 記憶のしくみ(短期記憶) (10) 記憶のしくみ(長期記憶) (11) 記憶術の原理 (12) 学習の基本原則(古典的条件づけ) (13) 学習の基本原則(道具的条件づけ) (14) 認知学習 (15) 学習原理の応用 (16) 定期試験 | | | 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験 | 橋本 | | | | | |
| 教科書 1 | 配布資料 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学の基礎 四訂版 著者:今田寛, 宮田洋, 賀集寛 共編 出版社:培風館 ISBN:4-563-05670-7 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学概論Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-1-102 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 多様な心理学分野の中で、時間の経過にともなって発達していく心理過程、また、心理社会的枠組みの拡大にともなって成長していく心理構造を理解するのがテーマである。講義内容の6割以上が理解できるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 心理学分野は多様である。そのうち、ヒトとして生まれて、一人の人間として心理的な発達を遂げる過程を理解する。そして、人間社会の中で社会的に成長していく際の他者や社会的枠組みについても理解を深める。このように、時間軸に沿って、また心理社会的枠組みの拡大に沿って、深化・拡大していく心理過程について理解を深めることによって、教職免許履修の基礎と心理学的基礎が確立できる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験60点。予習・復習の証拠となる課題、レポート40点(返却をもってフィードバックとする)。計100点で評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回出席するのは当然のこと。私語・飲食厳禁。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについては返却する)。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | ①オリエンテーション ②環境と遺伝 ③誕生から青年へ ④生涯発達 ⑤パーソナリティ・性格・気質 ⑥パーソナリティ理論 ⑦モチベーション ⑧諸種の動機 ⑨知能 ⑩心理学における検査 ⑪脳と心 ⑫心の不調 ⑬適応の機制 ⑭ストレスの心理 ⑮健康心理 ⑯定期試験 | | | 説明 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | |
| 教科書 1 | 蘇りの心理学通論 著者:三宅俊治(著) 出版社:中央公論事業出版 ISBN:ISBNH978-89514-507-7 C3011 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 子どもの心理発達 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-1-103 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 系統発生的な視点を取り入れながら、とくに子ども期に焦点を当て、ヒト・人間の発達・発生をとらえることをテーマとし、動物としてのヒト発達の特殊性や共通性を知り、発達心理学の幅広い知識を習得するとともに、心理学的な考え方を理解することを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 系統発生的な観点をふまえて、ヒトの特殊性を学ぶとともに、個体発生的な観点からは、胎児期から思春期に至る人間の行動や心的機能の発生、発達、成熟過程等の変化について学習する。また、人間のもつ諸機能の発達を相互関連的に理解し、それぞれの発達段階における発達の遅れやつまずきなどの問題についても学習する。 生涯発達の心理学を念頭に置きつつも、ここでは子どもの時期に焦点を当て、個々の心的機能・問題について多面的に概説していく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 小テスト(30%)、定期試験(70%)の結果に受講態度を勘案し総合的に評価する。つまり、テストで満点であっても受講態度が悪いと、不可ということもある。小テストは採点后、フィードバックとして返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 人間の発達の理解を深めるために真剣に学習に取り組むこと。 頻繁に、小テストを行うので、最低限、教科書の当該箇所は精読し、予習・復習を怠ることのないようつとめること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習:テキストの該当箇所の精読。(2時間) 復習:テキストとともに、講義中に配付する資料と返却された小テスト結果を中心に復習すること。(2時間) | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜4限 教員研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 発達における生物学的基盤 3. 胎児にできること 4. 新生児の見る世界、聴く世界 5. 発達初期の不思議 6. 母子相互作用を促進する仕組み 7. 愛着形成と親子関係 8. 愛着関係に影響する要因 9. 愛着剥奪の事例 10. 幼児期の認知発達 11. 遊びと認知発達 12. 遊びと仲間関係 13. ことばの前のことば 14. ことばの発達 15. まとめ 16. 試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | |
| 教科書 1 | 乳幼児のこころ 著者:遠藤・佐久間・徳田・野田 出版社:有斐閣 ISBN:978-4-641-12429-5 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 幼児心理学への招待 [改訂版] 著者:内田伸子 出版社:サイエンス社 ISBN:978-4781911823 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------------|--|------|-------|---------|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 心理学実験 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠、村上 勝典 | | | | NO. | PS-PS-2-201 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ:心的活動を客観的に捉える実験の方法の修得】 実験計画(変数の設定, 条件操作の方法等)の立て方, および実験器具の操作法を修得する。</p> <p>【到達目標:実験レポート作成方法の修得】 得られた量的, 質的データを統計的に処理することができるようになるとともに, 行った実験の目的, 方法, 結果, そしてそれについての考察をレポートにまとめることができるようになる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>【概要】ヒトの心理現象の科学的理解を目指す実験的手法を学ぶために, 基礎的な心理学実験を行う。 グループはランダムに選択される。基本的に, 実験者と実験参加者の両方を経験する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>実験レポート(70%), 受講態度(30%)で評価する。各課題ごとに課されるレポート(再提出も含む)を全て提出しなければ, その期の単位は認定不可とする。レポートに不備がある場合は返却し、フィードバックを行う。そして、再提出をすること。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>実験実習はグループで行うため, 欠席をすると同じグループの仲間に多大な迷惑をかけることになる。よって, 原則として, 遅刻・欠席は認めない。やむを得ず遅刻・欠席をする場合は, 必ず講義開始までに担当教員に連絡すること。 無断で欠席をした場合は, 当該課題は不可となることがあるので十分気を付けること。学外試合・病気などで欠席をする際は, 欠席願・診断書等を必ず提出すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>提出された実験レポートはコメントをつけて返却するが, 再提出を求めることもある。 各課題の内容をしっかりと把握する意味でも予習・復習・レポート作成(合計4時間以上)をしっかりと行うこと。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>橋本:月曜5限(橋本研究室) 村上:水曜1限(村上研究室)</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション、ミュー・リアー:理論・実習 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 2.ミュー・リアーの錯視:解説 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 3.ミュー・リアーの錯視:ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 4.ミュー・リアーの錯視:解説・ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 5.ミュー・リアーの錯視:フィードバック | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 6.触2点域の測定:理論・実習 | | | | | | | |
| 7.触2点域の測定:解説 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 8.触2点域の測定:ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 9.触2点域の測定:解説・ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 10.触2点域の測定:フィードバック | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 11.重量弁別:理論・実習 | | | | | | | |
| 12.重量弁別:実習 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 13.重量弁別:解説 | | | | | | | |
| 14.重量弁別:ピアレビュー | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| 15.重量弁別:フィードバック | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| レポート(各单元ごと計3回) | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | レポート | 橋本・村上 | | | | |
| 教科書 1 | <p>心理学のための実験マニュアルー入門から発展へー 著者:利島保・生和秀敏 出版社:北大路書房 ISBN:4-7628-0186-0</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学実験Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-2-202 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ:心的活動を客観的に捉える実験的方法の修得】 実験計画(変数の設定, 条件操作の方法等)の立て方, および実験器具の操作法を修得する。</p> <p>【到達目標:実験レポート作成方法の修得】 得られた量的, 質的データを統計的に処理することができるようになるとともに, 行った実験の目的, 方法, 結果, そしてそれについての考察をレポートにまとめることができるようになる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | ヒトの心理現象の科学的理解を目指す実験的手法を学ぶために, 基礎的な心理学実験を行う。 基本的に, 実験者と実験参加者の両方を経験する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 実験レポート(70%), 受講態度(30%)で評価する。各課題ごとに課されるレポートを全て提出しなければ(再提出を含む), その期の単位は認定不可とする。レポートに不備がある場合は返却し、フィードバックを行う。そして、再提出をすること。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 実験実習はグループで行うため, 欠席をすると同じグループの仲間に多大な迷惑をかけることになる。よって, 原則として, 遅刻・欠席は認めない。やむを得ず遅刻・欠席をする場合は, 必ず講義開始までに担当教員に連絡すること。 無断で欠席をした場合は, 当該課題は不可となるので十分気を付けること。 学外試合・病気などで欠席をする際は, 欠席願・診断書等を必ず提出すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 提出された実験レポートはコメントをつけて返却するが, 再提出を求めることもある。 各課題の内容をしっかりと把握する意味でも予習・復習・レポート作成(合計4時間以上)をしっかりと行うこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 各実験の担当者の個人研究室にて実施。 森井:月曜日の3時間目、 橋本:月曜日の5時間目、 村上:水曜日の1時間目 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. OR 2. 鏡映描写:理論・実験 3. 鏡映描写:解説 4. 鏡映描写:ピアレビュー 5. 鏡映描写:解説:ピアレビュー 6. 鏡映描写:フィードバック 7. 認知的葛藤:理論・実習 8. 認知的葛藤:解説 9. 認知的葛藤:ピアレビュー 10. 認知的葛藤:解説およびピアレビュー 11. 認知的葛藤:フィードバック 12. 自由再生:理論 13. 自由再生:理論・実験 14. 自由再生:実験 15. 自由再生:解説 | | | 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 村上 村上 村上 村上 村上 村上 森井 森井 森井 | |
| 教科書 1 | 心理学のための実験マニュアルー入門から基礎・発展へー 著者:利島保・生和秀敏 出版社:北大路書房 ISBN:4-7628-0186-0 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理学研究法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-2-203 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 心理学研究を行う際の理念及び操作がテーマである。参加学生は、先行研究の概観と問題点の発見・その問題に見合ったデータ収集・データ分析・結果の表示・考察等々の方法論一般を理解できる。 | | | | | | |
| 概要 | 研究を進めていく際の、目的・方法・結果・考察などの一連の論理性や整合性、意識や行動を分析するためのデータの収集法、具体的には、実験、調査、観察、検査などについて、その特徴や問題点を客観的な視点から講義する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてず、さらに減点する。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| ①オリエンテーション ②科学としての心理学 ③心理学研究法の分類 ④観察法とは ⑤観察法の特徴とその進め方 ⑥観察法を用いた研究例 ⑦観察データの信頼性と妥当性 ⑧調査法 ⑨相関・共変・因果関係 ⑩質問紙法と心理尺度 ⑪調査法を用いた研究例の紹介 ⑫心理実験とは ⑬無作為割り当て ⑭条件統制 ⑮要因デザイン ⑯定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | | | | | |
| 教科書 1 | Progress & Application 心理学研究法 著者:村井 潤一郎(編著) 出版社:サイエンス社 ISBN:ISBN978-4-7819-1307-0 C-3311 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学研究法Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-2-204 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>「心理学の研究法を学ぶ」をテーマとして、特に面接法に関する知識を身に付ける。 到達目標は、支援・介入的実践活動の理論的基盤である臨床心理学的研究の実際と手法を学び、卒論レベルの研究において適用可能な能力を身に付けることである。また、心理学の研究についての基礎的な内容を学習し、心理学実験実習Ⅰ・Ⅱのレポート作成や卒業論文の作成に活かせる知識を身に付けることである。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>心理学の研究法についての基礎的な内容を紹介する。具体的には、面接法について紹介し、体験を通じた授業をおこなう。また、論文の書き方や分析方法についても扱う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>テーマ「こころと行動の仕組みや働きに関する実証的な研究法を理解する」の到達度について、知識をはかるために、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)と試験(60%)を合計して総合評価する。 なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習(2時間程度)として、教科書を読み、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。 復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 面接法とは 3. 調査的面接法の分類 4. 調査的面接法の留意点 5. 調査的面接法のプロセス 6. 量的データの分析 7. 質的データの分析 8. KJ法(1):概要 9. KJ法(2):実施 10. 論文の構成 11. 問題・目的の立て方 12. 研究方法とデータの集計 13. 統計(1):変数間の比較 14. 統計(2):変数間の関連 15. 統計(3):多変量解析 16. 期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | |
| 教科書 1 | 『心理学研究法』 著者:村井潤一郎(編) 出版社:サイエンス社 ISBN:978-4-7819-1307-0 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理学統計法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-2-205 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】こころと行動の仕組みや働きを数量的に把握し、そのデータを統計的分析により理解できるようになることである。 【到達目標】心理学的研究によって得られたデータを統計的に分析し、説明できる。 | | | | | | |
| 概要 | 【概要】心理学(行動科学)における、測定値を適切に取り扱う知識が必要不可欠である。本講義では、まず測定値の取り扱いの基礎としての度数分布の考え方、代表値としての平均値等の概念を理解することから始め、直線相関、直線回帰に至る統計学の基礎を学習する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(90%)で評価する。講義中の小テストや課題の取り組み状況、積極的な態度により加点を行う(10%)。小テストによって、課題のフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業の後半に復習小テストを行う。本講義は各回の知識の積み重ねになるので、絶対に欠席をしないこと。また、実際に計算等を行うので、簡単な電卓(加減乗除、ルート計算が出来るもの)を持参のこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 教科書・ノートの当該箇所を予習しておくこと。講義後には、小テストの結果を見ながら復習をし、理解出来なかった内容の確認をしておくこと。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間行うこと。最終的には、教科書を10回読むこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 数学の基礎 3. データとは 4. ヒストグラム 5. 平均値, 中央値, 最頻値 6. 散布度 7. 標準化 8. 散布図 9. 共分散について 10. 共分散の計算 11. 相関について 12. 相関係数の計算 13. クロス集計表と連関係数 14. 推測統計 15. 確率密度 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 認定試験 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | | |
| 教科書 1 | よくわかる心理統計 著者:山田剛史, 村井潤一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:4-623-03999-4 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学統計法Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-2-206 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】こころと行動の仕組みや働きを数量的に把握し、そのデータを統計的分析により理解できるようになることである。</p> <p>【到達目標】心理学的研究によって得られたデータを統計的に分析し、説明できる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | 【概要】心理統計Ⅰで学んだ、記述統計でまとめたデータをもとに母集団の推定、統計的分析について学習する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(90%)で評価する。講義中の小テストや課題の取り組み状況、積極的な態度により加点を行う(10%)。小テストによって、課題のフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業の後半に復習小テストを行う。本講義は各回の知識の積み重ねになるので、絶対に欠席をしないこと。また、実際に計算等を行うので、簡単な電卓(加減乗除、ルート計算が出来るもの)を持参のこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 教科書・ノートの当該箇所を予習しておくこと。講義後には、小テストの結果を見ながら復習をし、理解出来なかった内容の確認をしておくこと。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間行うこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 統計的仮説検定・確率分布 2. 正規分布とその性質 3. 標準正規分布表について 4. 統計的仮説検定の手順 5. 両側片側検定と2種類の誤り 6. 標準正規分布を用いた検定 7. t分布を用いた検定 8. 相関係数の検定 9. カイ2乗検定:適合度の検定 10. カイ2乗検定:独立性の検定 11. 対応のないt検定 12. 対応のあるt検定 13. 分散分析 14. 多重比較 15. まとめ 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | |
| 教科書 1 | よくわかる心理統計 著者:山田剛史, 村井潤一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:4-623-03999-4 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|---|
| 授業科目名 | 医学概論Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 服部 俊夫 | | | | | NO. | PS-PS-2-208 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 社会医学を中心に「医学」の包括的な解説がテーマであり、その理解を目標とする。合わせて、自分自身および家族の健康管理の重要性と健康管理に関する知識の獲得も目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | 学校保健、老人保健、精神保健、保健医療、医療制度、医事法制、リハビリテーション等について概観する。合わせてがん、中毒についても講義し、自分自身の健康管理についても講義する。医療制度では留学中の経験も含め、日米の医療制度の違いにも言及する。プリントの読み合わせを行い、全員が積極的に学習する態度を養う。 | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度、期末試験結果などを合わせて総合的に評価する。成績評価基準は受講態度15%、試験成績85%を目安とする。試験の結果の講評時間を設け不正解の原因を明らかにする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 講義内容が広範で用語も難解である。プリントと教科書を中心に、一部スライド(パワーポイント)を用いて講義するが、解剖学、生理学に関する知識から昨今の医療問題に関する知識までを含むため、予習・復習を含めた幅広い自学・自習の努力が必要である。また、内容が広汎かつ相互に関連しているため、可能な限り、医学概論Ⅰ、Ⅱの順に履修してほしい。プリントを保存するファイルを準備すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 指定した教科書に則り講義をしているので、授業前に予習すること。講義にその概要をプリントとして配布するので、重要な項目を教科書で再確認すること。各90分。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週木曜日の午前10時から11時をオフィスアワーとして学生との討議にあてる。6号館408号室。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. 災害・人間の安全保障 2. 世界の保健医療の現場から 3. 地域保健と行政 1-2 4. 地域保健と行政 3-4 5. 母子保健 6. 学校保健 7. 産業保健 1-3 8. 産業保健 4-5 9. 高齢者保健 10. 精神保健 11. 国際保健 12. 保健医療福祉 13. エイズの国際保健 14. 結核の国際保健 15. マラリアの国際保健 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 服部 学外講師 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 服部 |
| 教科書 1 | 「シンプル衛生公衆衛生学」2021 著者:鈴木庄亮監修、辻 一郎、小山 洋編集 出版社:南江堂 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|---|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理的アセスメント | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-2-210 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【公認心理師必須科目】 授業のテーマは、クライアントの見立てや適切な援助方法の選択・援助過程の評価等に用いる「心理的アセスメント」の基礎知識と方法を学ぶことである。 具体的には、アセスメントのための面接、行動観察、種々の心理検査について、知識だけでなく、実際の体験を通して理解することを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | アセスメントとして用いる面接・心理検査について、それぞれの基盤となる理論や技法、その応用方法を学ぶ。 講義だけでなく、グループ演習や、実際の心理検査を自身が体験する演習も行いながら、各検査の概要や実施方法を理解していく。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士として各種心理検査の実務経験(小中高等学校・心理相談室・公的機関での知能検査・心理検査・発達検査等の実務)がある教員が担当する。実際の心理臨床実践における心理アセスメントに必要な知識や検査方法を、演習を通して教授していく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 授業への取り組み(予習・復習を含む)、演習や提出課題、小テストおよび最終試験を総合的に評価する。 評価の割合は、おおむね、授業への取り組み・参加態度20%、演習・課題20%、小テスト・最終試験60%とする。課題・演習や小テストについて、講義内で回答・フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | アセスメント体験やグループ演習を行うので、他の学生と適切なコミュニケーションがとれること。 体験や演習において知り得た個人情報や見聞した内容は、記録に残さず口外しないことを履修条件とする。 秘密厳守ができない学生には、退室や履修中止を宣告する場合がある。 | | | | | | |
| 自己学習 | ①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する。 ②授業内で実施する小テストの結果をふまえ、未習得の部分を復習する。 ③毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、少なくとも2時間を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション、心理検査とは 2. 臨床心理アセスメントの基本 3. アセスメントとしての心理面接 4. アセスメント面接の種類と方法 5. 心理検査の歴史と概要 6. 知能検査 7. 乳幼児の発達に関する検査 8. 高齢者の認知機能に関する検査 9. アセスメントとしての行動観察 10. 人格検査(質問紙法) 11. 症状や状態のアセスメント 12. 投影法とは、描画法 13. 代表的な投影法検査 14. 臨床心理アセスメントの実際 15. 事例から理解する心理検査 16. 試験 | 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | |
| 教科書 1 | 臨床心理アセスメントの基礎[第2版] 著者:沼 初枝 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:978-4779514920 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---------|------|------------|-------------|--------------|
| 授業科目名 | 精神疾患とその治療 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 森信 繁 | | | | NO. | PS-PS-2-211 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・グループ学習・発表 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:精神医学 到達目標:公認心理師として必要な精神障害についての下記の知識を、学生が身につけられる。 1. 精神医学の基礎的事項・総説的事項を理解できる。 2. 代表的な精神障害について、概念、成因、疫学、症状、検査、治療などについて理解できる。 3. 精神障害特性を理解し、リハビリテーションにかかわる際の基本的態度を学べる。 4. 精神医学の歴史的な背景を理解できる。 5. 精神医療保健福祉関連の法律の概要を理解できる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>精神医療に関わる者にとって、「人の理解」「こころの理解」は不可欠です。精神の障害をもった人を理解し、精神療法や社会福祉的支援の方法について学ぶことは、精神障害のみでなく、身体障害や知的障害など他の障害者に接する際にも必要です。具体的イメージを持ちやすいようにビデオなどを活用する他、授業中に適宜症例提示を行い診断・検査法や治療法を議論するなど、精神障害への理解を深めるようにすると同時に、成績の評価にも反映します。 ＊実務経験のある教員による授業科目 この科目では、精神科専門医・精神保健指定医としての実務経験をもつ教員がその経験を活かし、医療・保健・福祉等の領域において実践的に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>試験(80%)、グループ学習発表(10%)、授業態度(10%) フィードバック方法:提出されたグループ学習発表のレジメに、コメントや修正を記載して、学生に返却する。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>必修専門科目。 公認心理師国家試験への対処も考慮しながら、講義を行う。 毎回プリントを配布するので、ファイリングを工夫すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習としては、各事業計画について事前に1時間ほど教科書を読み、疑問点をまとめて授業を受けること。 復習としては、授業終了ごとに2時間ほど、配布資料の脚注やノートに重要事項をまとめて理解すること。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 木曜2限、6号館4階6401研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. 精神障害とは、精神障害の成因と分類 2. 精神症状 3. 身体的検査、心理的検査 4. 器質性および症状性精神障害、精神作用物質による精神および行動の障害 5. 統合失調症、統合失調症性障害、妄想性障害(1) 6. 統合失調症、統合失調症性障害、妄想性障害(2) 7. 気分(感情)障害 8. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 9. 摂食障害・睡眠障害など、成人の人格・行動・性の障害 10. 精神遅滞、心理的発達の障害 11. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害 12. てんかん 13. 薬物療法、電気けいれん療法、精神療法 14. 精神科リハビリテーション 15. 精神保健福祉関連法律の概要 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 森信 | | | | | |
| 教科書 1 | <p>精神医学テキスト 著者:上島 国利、立山 万里、三村 将 編 出版社:南江堂 ISBN:ISBN976-4-524-25942-7 </p> | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 生理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-2-212 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】心の働き(行動)のもととなる感覚機能と神経系の機能について理解する。 【到達目標】神経系の機能を知るとともに、心理学を学ぶ上で重要である感覚機能の神経生理学的基礎についての理解を深める。 | | | | | | |
| 概要 | 本講では、人の心を理解する上で重要となる人体についての知識と理解を幅広く深められるよう講義する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、定期試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 なお、欠席については総合点より回数分減点します。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。遅刻および欠席はしないでください。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の講義内容について指示をしますので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げる(2時間)こと。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| (1) OR/人体の構造と機能を学ぶための基礎知識1(人体の構成) (2) 人体の構造と機能を学ぶための基礎知識2(生命現象を支える物理現象と化学的知識) (3) 消化と吸収 (4) 血液 (5) 呼吸 (6) 心臓と血液の循環1(解剖) (7) 心臓と血液の循環2(心周期, 血圧) (8) 尿の生成と体液の調節 (9) 内臓機能の調節1(自立神経, 内分泌, ホルモン) (10) 内臓機能の調節2(内分泌腺) (11) 骨格 (12) 神経系1(感覚器官) (13) 神経系2(中枢神経系) (14) 生体の防御機構 (15) まとめ (16)定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | | | | | |
| 教科書 1 | イラストで学ぶ生理学 著者:田中越郎 出版社:医学書院 ISBN:4-260-34087-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | イラストで学ぶ解剖学 著者:松村譲児 出版社:医学書院 ISBN:4-260-330007-1 | | | | | | |
| 参考書 2 | 人体の構造と機能 著者:坂井建雄・岡田隆夫 出版社:放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31869-6 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学史 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-2-213 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 19Cに哲学から独立した心理学の発展の経過をたどり、多様な心理学の根幹を理解するのがテーマである。心理学の成立の貢献してきた人物、方法論、科学観などの知見の6割以上を理解できる。 | | | | | | | |
| 概要 | 今日の心理学の基礎を築いてきた意識主義、行動主義、ゲシュタルト心理学、新行動主義、精神分析などを中心に、心理学史に残る著名な心理学者の心理学に対する取り組みやその理念の相互関係を、歴史的、時間的推移の中に位置づけていく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験60点。予習・復習の証拠となる課題、レポート40点。計100点で評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回出席するのは当然のこと。私語・飲食厳禁。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などなどから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | ①オリエンテーション ②心理学が生まれる土壌 一感覚心理学、経験論、精神物理学 ③ヴェントの意識主義心理学 ④19Cのアメリカ心理学 ⑤行動主義 ⑥ゲシュタルト心理学 ⑦新行動主義の台頭、ゲシュタルト心理学のアメリカ心理学への融合 ⑧精神分析 ⑨精神分析からネオ・フロイディアンへ ⑩脳と心の連関 ⑪個人差への注目 ⑫心理検査の開発 ⑬認知心理学の展開 ⑭ヒューマニスティック心理学 ⑮社会心理学の流れ ⑯定期試験 | | | 説明講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | |
| 教科書 1 | 流れを読む心理学史(有斐閣アルマ Basic) 著者:サトウタツヤ・高砂美樹(著) 出版社:有斐閣 ISBN:ISBN 978-4-641-12195-9 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---|--|--|---------|-----|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 心理尺度構成法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-214 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 | |
| テーマと到達目標 | 「尺度構成の手法について理解する」をテーマとして、態度等の主観的データを客観性、再現性のある手法で得るための測定法、得られた測定データに対する処理方法を体得する。 質問紙法の作成方法や統計的手法について説明できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 質問紙法および統計的手法についての基礎的な内容を紹介する。質問紙の作成や統計ソフトを用いた実習を取り入れながらおこなう。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 課題に対する取り組み、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、課題に対する取り組み(50%)、小テスト(20%)とレポート試験(30%)を合計して総合評価する。 なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習(2時間程度)として、次回の授業計画の内容について調べ、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。 復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 質問紙法とは 3. 質問紙作成の留意点 4. 質問紙の構成 5. 質問項目の収集方法 6. 質問紙の作成 7. 調査の実施とデータ入力 8. データの整理 9. 因子分析(1):概要 10. 因子分析(2):分析の流れ 11. 因子分析(3):結果の見方 12. 因子分析(4):実施 13. 結果のまとめ方(1):説明 14. 結果のまとめ方(2):作成 15. まとめ 16. レポート試験 | | 講義 講義 講義 講義 実習 実習 実習 実習 講義 実習 実習 実習 講義 実習 講義 実習 講義 レポート | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | | | | | |
| 教科書 1 | プリントを配布する | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 質問紙調査の手順 著者:小塩真司・西口利文(編) 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:978-4-7795-0200-2 | | | | | | | |
| 参考書 2 | 誰も教えてくれなかった因子分析—数式が絶対に出てこない因子分析入門— 著者:松尾太加志・中村知靖(著) 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2251-3 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 心理尺度構成法Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-215 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 | |
| テーマと到達目標 | 「尺度構成の原理と手続きについて理解する」をテーマとして、態度等の心理尺度の作成を通して、その原理と手続きを習得する。 尺度構成の手続きについて説明できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 尺度構成の手続きについて紹介する。尺度構成の一連の流れについてグループ活動を取り入れながらおこなう。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 課題に対する取り組み、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、課題に対する取り組み(50%)、小テスト(20%)とレポート試験(30%)を合計して総合評価する。 なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習(2時間程度)として、次回の授業計画の内容について調べ、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。 復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 尺度構成の流れ 3. 信頼性と妥当性 4. 構成概念の検討 5. 先行研究の検索 6. 先行研究の検討 7. 質問項目の収集 8. 質問紙の作成 9. 質問紙の実施 10. データの処理 11. 因子分析(1):実施 12. 因子分析(2):結果の整理 13. 信頼性の検討 14. 妥当性の検討 15. まとめ 16. レポート試験 | | | | 講義 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 講義 レポート | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 |
| 教科書 1 | プリントを配布する | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理尺度のつくり方 著者:村上宣寛(著) 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2523-1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 感情・人格心理学 I | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-1-301 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】日常的に使われている、「性格(人格)」という心理学概念の利点と欠点について理解すること。 【到達目標】性格(人格)の心理学的概念を理解し、自らの必要性に応じて知識を活用できる。 | | | | | | |
| 概要 | 「性格(人格)」という語は日常的に使われている。私たちはその根拠も考えず、経験や直観、時には思いつきで他者の性格を推測し、やみくもに落ち込んだり、他者について勝手にこうだと決めつけて不利な立場に追い込むことすらある。本講義では、教科書や性格(人格)検査の実施を通して、様々な観点(臨床心理学的側面、文化的側面、発達の側面など)から「性格(人格)」を捉え、現在どのようなことがわかっているのか、いないのかを解説していく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(50%)で評価する。講義中の課題の取り組み状況により加点を行う(50%)。各回において小レポートの課題を出す。それに対するフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業内において課題を出す予定である。全時間出席することを原則とする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。プリント・ノートの当該箇所を予習しておくこと。講義後には、ノートを見ながら復習(合計4時間)をし、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1.オリエンテーション 2.性格(人格)とは 3.類型論:クレッチマーの理論 4.類型論:ユングの理論 5.類型論:シェルドンの理論 6.類型論:シュプランガーの理論 7.特性論:オールポートの特性論 8.特性論:Big-Five 9.性格の内的要因:遺伝要因 10.性格の外的要因:環境要因 11.自己愛性パーソナリティ障害 12.解離性障害 13.境界性パーソナリティ障害 14.感情とは 15.感情調節障害 16.単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 |
| 教科書 1 | 必要に応じてプリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学 新版 著者:無藤隆、森敏昭 出版社:有斐閣 ISBN:ISBN-10: 4641053863 ISBN-13: 978-4641053861 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 社会・集団・家族心理学 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-1-305 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 人と人の関係に基づく意識・行動について、社会的・文化的枠組みから理解することをテーマとする。社会心理学の理論や術語について理解できる。「中学校・社会・教員免許」、「高等学校・公民・教員免許」の取得の基礎となる社会心理学的所見を理解することができる。授業の理解度が、講義内容の6割以上に達することが、到達目標である。 | | | | | | |
| 概要 | 人間の生活は、一人では成り立たない。家庭、学校、職場、地域社会などの場面で、他者に影響を与える一方、他者からの影響も受けている。他者との現実の関わりのほか、記憶や想像なども含めて、心理的実在を通して、我々の意識や行動が変化することはよく知られている。社会的動機、社会的認知、社会的態度、集団、コミュニケーション等を通して人と人の相互関係を理解する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。提出物については、翌週もしくは翌々週までに返却・フィード・バックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてず、さらに減点する。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| ①オリエンテーション ②社会心理学とは何か ③現代社会心理学史及び対象 ④社会的動機 ⑤社会的環境の認知 ⑥自己と対人行動 ⑦対人関係の認知 ⑧対人魅力 ⑨社会的態度 ⑩集団 ⑪同調 ⑫リーダーシップ ⑬コミュニケーション ⑭非言語的コミュニケーション ⑮組織論 ⑯定期試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | | | | |
| 教科書 1 | 蘇りの心理学通論 著者:三宅俊治(著) 出版社:中央公論事業出版 ISBN:ISBN978-4-89514-507-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 社会・集団・家族心理学Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-306 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>家族システムや対人間の相互作用をテーマとする。 家族や集団に起こりうるさまざまな問題をシステムや相互作用という視座から理解できることを到達目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>問題・症状を人の「中」に帰属するのではなく、人と人との「間」から諸々の現象を捉える視点を養う。人と人との「間」において問題・症状が起こり、また、人と人との「間」において変化や解決も生じる。この講義では、関係性や相互作用の視座から、問題の生成と変化について学ぶ。 実務経験：家族療法やブリーフセラピーの心理臨床経験を有する教員が、家族支援の実際を踏まえて授業を行う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>規定の出席を前提として、試験(80%)、レポート(10%)、受講態度(10%)により評価する。レポート課題については授業中にフィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>家族心理学は、従来の心理学ではなく、システム論に由来する理論や概念が多い。システム論独特の視座や概念に慣れるためにも、特に前半の授業にはしっかりとついてくることを期待する。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>指定テキストの該当章を読んだ上で授業に参加すること。予習復習にそれぞれ2時間以上を確保してほしい。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜日3時限、個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1 オリエンテーション 2 システム論 3 ジェノグラム 4 家族の発達段階 5 構造派 6 構造派の介入 7 構造派の事例 8 ダブルバインド 9 コミュニケーションの公理 10 MRI 11 MRIの介入 12 MRIの事例 13 ブリーフセラピー 14 解決志向ブリーフセラピー 15 ブリーフセラピーの事例 16 試験 | | | | 講義 講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL 筆記試験 | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 |
| 教科書 1 | <p>家族療法入門：システムズアプローチの理論と実際 著者：遊佐安一郎 出版社：星和書店 ISBN：4791100956</p> | | | | | | | |
| 教科書 2 | <p>公認心理師の基礎と実践 11巻 社会・集団・家族心理学 著者：竹村和久 出版社：遠見書房 ISBN：4833160683</p> | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 発達心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-1-307 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 様々な視点から人間の発達過程について学習する。具体的には、胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期のそれぞれにおける発達の様相や発達課題について学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、その問題に対する心理的援助についても考察を深める。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価は、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)、期末試験(60%)とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須であるので欠席をしないこと。積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として次回の内容について教科書を読んできること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、90分程度を要する。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、火曜日4時限に実施。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.ライフサイクルについて 3.胎児期 4.新生児期 5.乳児期-愛着の形成- 6.乳児期-言葉の発達- 7.幼児期-表象の獲得- 8.幼児期-社会性の発達- 9.児童期-有能感と劣等感- 10.児童期-学校への適応・いじめ- 11.青年期前期 12.青年期後期 13.青年期の病理 14.成人期 15.まとめ 16.期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | | | | | |
| 教科書 1 | よくわかる発達心理学 著者:無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編) 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05379-7 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 社会福祉原論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 石田 敦 | | | | | NO. | PS-PS-1-308 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ 心理学を学ぶ学生が、社会福祉の基本的な内容を理解できる。</p> <p>到達目標 心理学を学んだ学生が、社会福祉専門職と協働して活躍するために必要な知識の獲得ができる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | 心理学を学んだ学生が、将来、福祉分野で活躍する際に必要な社会福祉の知識の獲得を目指して講義を行う。具体的には、①心理学生が社会福祉を学ぶ意味、②心理学生から見た社会福祉学とは何か、③心理専門職と福祉専門職の連携協働のあり方について学修する。そのため、社会福祉学に関する深い知識を獲得するというよりは、連携・協働に必要な知識の獲得に重点を置く。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度20%(①居眠りやスマートホンの操作等がなく、積極的受講態度であるか、②講義に必要な資料を持参しているか)、リアクションペーパー30%(記述内容を0～2点で点数化する)、レポート試験50%を総合して評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストとして毎時間配布する資料とともに、リアクションペーパーをファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。なお、リアクションペーパーは、講義終了5分前に記述時間を確保し、その日に学修した内容を振り返らせる。記述内容を0～2点で点数化し、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくる。また、リアクションペーパーを踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習、復習については、それぞれ2時間ずつ行うこと。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後もしくは質問カードに記載して提出(後日回答) | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1 社会福祉専門職と仕事内容 2 社会福祉に関する基本的理解 3 社会福祉の思想と理論 4 日本の社会福祉(戦前) 5 日本の社会福祉(戦後) 6 海外の社会福祉(戦前) 7 海外の社会福祉(戦後) 8 社会福祉の法律 9 社会福祉に関連する法律 10 社会福祉と関連分野 11 社会福祉の行財政 12 対人支援の過程と方法 13 社会福祉制度の改革 14 日本と海外の社会福祉の動向 15 まとめとレポート課題の提示 | | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 |
| 教科書 1 | テキストとして資料を毎時間配布する。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|------|-----|---|------------|-------------|--|--|
| 授業科目名 | 健康・医療心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-1-309 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>「人の健康に対する意識、及び意識や行動(健康関連行動、生活習慣など)が健康に及ぼす影響・効果を理解する」ことが授業のテーマである。</p> <p>到達目標は、健康行動に関する基礎的な理論の理解と、生活習慣病の予防やストレスマネジメントについて理解できることである。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>健康心理学についての基礎的な内容を紹介する。健康に関連する心理学的な知見、健康心理学で用いるアセスメントや、カウンセリングなどについて紹介する。また、健康心理学で用いられる心理テストの体験を取り入れておこなう。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>テーマ「人の健康に対する意識、及び意識や行動(健康関連行動、生活習慣など)が健康に及ぼす影響・効果を検討する」の到達度について、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)と試験(60%)を合計して総合評価する。</p> <p>なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。</p> <p>予習と復習を欠かさずにおこなうこと。</p> <p>プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習(2時間程度)として、次回の授業計画の内容について調べ、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。</p> <p>復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。</p> | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | | <ol style="list-style-type: none"> 健康心理学とは 健康行動に関する基礎理論 動機づけ理論 健康行動とその理論モデル 健康問題に関する予防 ストレスとは ストレスに関するモデル ストレス対処 疾病とパーソナリティ ソーシャルサポート アセスメント 健康心理カウンセリング チーム医療と役割 医療領域の対象疾患と支援 災害心理学 期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 |
| 教科書 1 | プリントを配布する | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 健康・医療心理学 著者:宮脇稔・大野太郎・藤本豊・松野俊夫(編) 出版社:医歯薬出版株式会社 ISBN:978-4-263-26577-2 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 学習・言語心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-2-311 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】学習による人の行動の科学的理論を理解することである。 【到達目標】心理学の基礎として、学習・行動理論の代表的な理論と応用方法を理解し、自らの必要性に応じて活用できる。 | | | | | | |
| 概要 | 代表的な学習理論である、古典的条件付け・オペラント条件付け、社会的学習の基礎理論と応用について概説する。学習とは、「活動や訓練あるいは観察の結果として生じた永続的な行動の変容」と定義される。「行動」が条件付けによって獲得されることを理解し、様々な環境要因によって行動が生じることを学ぶ。特に、古典的条件づけとオペラント条件付けについては、具体的な例をあげて理解を深めていく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(50%)で評価する。講義中の課題の取り組み状況により加点を行う(50%)。各回において小レポートの課題を出す。それに対するフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業内において課題を出す。また、授業の後半にレポート課題も出す予定である。全時間出席することを原則とする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。プリント・ノートの当該箇所を予習しておくこと。プリントやノートを見ながら予習・復習(合計4時間)をし、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.学習とは 3.学習心理学の歴史 4.古典的条件付け 5.古典的条件付けの手続き 6.ソーンダイクの試行錯誤学習 7.ケーラーの洞察学習 8.ワトソンの行動主義 9.オペラント条件付け 10.強化スケジュール 11.社会的学習理論:模倣学習 12.社会的学習理論:観察学習 13.応用行動分析:ABC分析 14.応用行動分析:行動記録 15.応用行動分析:強化の原理 16.単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 認定試験 | 土居 | | | | |
| 教科書 1 | プリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学 新版 著者:無藤隆、森敏昭 出版社:有斐閣 ISBN:ISBN-10: 4641053863 ISBN-13: 978-4641053861 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|---|---|------------|-------------|
| 授業科目名 | 臨床心理学概論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-2-312 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 臨床心理学とは、人の不適応への援助や、人格的成長を促進する学問である。まず臨床心理学が成立するまでの歴史を理解し、臨床心理学において求められる研究のあり方について学ぶ。これを基盤としながら、不適応、悩み、メンタルヘルス不調、精神障害などの発生機序を知り、これらへの臨床心理学的援助技法の基礎理論を理解する。 | | | | | | |
| 概要 | 臨床心理学の基本モデルとして、臨床心理学の歴史、臨床心理学における研究、チームアプローチについて解説する。続いて臨床心理学の方法では、心理的アプローチと心理社会的アプローチについて解説し、より適応的な方向へ支援することの実際について示していく。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、精神科病院での臨床経験、高等学校でのスクールカウンセリング経験がある教員が担当する。精神科病院でのアセスメントの実際、心理療法の適用の実際など、典型事例を交えながら、具体的に示す。また学校教育における不適応の問題や多職種連携の実際についても触れながら、学生の理解を深める。 | | | | | | |
| 評価方法 | 試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、受講態度(20%)とし、総合的に評価する。 小テスト、レポートはコメントをつけて結果をフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 ・積極的に授業に参加すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習として、教科書をよく読み、理解できない点をまとめたうえで授業をうけること。 ・復習のために授業の内容をノートにとること。ノートの内容と教科書を照らし合わせながら理解を深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜3限 於:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 公認心理師のための臨床心理学 2. 臨床心理学の有用性 3. 臨床心理学の成り立ち 4. 臨床心理学と研究 5. 臨床心理学における見立て 6. 臨床心理学の方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) クライアント中心療法 7. (2) 精神分析療法 8. (3) 行動療法 9. (4) 認知行動療法 10. (5) 家族療法 11. (6) コミュニティアプローチ 12. (7) ナラティブアプローチ 13. (8) 日本で生まれた心理療法 14. 疑問点の整理 15. 総括 16. 筆記試験 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義・AL 15. 講義・AL 16. 筆記試験 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 藤吉 9. 藤吉 10. 藤吉 11. 藤吉 12. 藤吉 13. 藤吉 14. 藤吉 15. 藤吉 16. 藤吉 | | |
| 教科書 1 | 臨床心理学概論 著者: 下山晴彦 他監 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08613-9 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|-----|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 心理学的支援法 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-2-313 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>【公認心理師必須科目】 授業のテーマは、心理臨床においてベースとなる基本的な心理療法・心理学的支援法を理解することである。</p> <p>さまざまな理論から展開されている心理療法について、その基本概念や手法の初歩的知識を習得する。 秋学期に開講される「心理的アセスメント」の導入として位置づけられ、基礎となる理論や背景、心理療法の具体的な方法を知識として覚えることを到達目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>多種多様な心理療法・心理学的支援法の理論と実際について、基礎的な知識を学んでいく。 特に、心理療法の代表的な立場である、精神分析、クライアント中心療法、行動療法を主に取り上げて概観し、その他の心理療法についても学ぶ。また、講義だけでなく、グループ演習や心理療法体験も行い、実際の心理療法を体感しながら理解を深めていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校でのスクールカウンセラー、心理相談室でのカウンセリング等)がある教員が担当する。臨床心理実践において必要な心理療法の理論や技法を、現場の事例も紹介しながら教授していく。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業への取り組みを重視し、授業内の演習や課題、小テストおよび最終試験を総合的に評価する。 成績評価は、おおむね、授業態度20%、演習・課題10%、小テスト20%、最終試験50%とする。講義内の課題や小テストについては、講義内で回答・フィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>グループやペアで行う演習が入るため、積極的に人とかかわりをもつこと。 演習において知り得た個人情報や聴取した内容は、記録に残さず口外しないことを履修条件とする。 以上が厳守できない学生には、退室や履修中止を宣告する場合がある。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する。 ③授業内に実施する小テストの結果をふまえ、未習得部分を復習する。 ②毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習復習に、毎回2時間以上を要する。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション、心理学的支援とは 2. 心理療法の進め方 3. 精神分析の理論 4. 心理療法としての精神分析 5. フロイトからの分派と発展 6. 交流分析 7. クライアント中心療法の理論と技法 8. クライアント中心療法の発展 9. 行動療法の理論と技法 10. 行動療法の技法と応用 11. 認知行動療法の歴史と理論 12. 認知行動療法の技法 13. 家族療法 14. 芸術・表現療法 15. 日本で生まれた心理療法 16. 筆記試験 | | 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義・AL 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | | |
| 教科書 1 | やさしく学べる心理療法の基礎 著者:窪内節子・吉武光世 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-05669-8 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--------------------------------|-----|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 司法・犯罪心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 田井 靖治 | | | | | NO. | PS-PS-2-314 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>講義のテーマ 犯罪や非行の実態、犯罪者及び被害者の心理過程を学ぶ。</p> <p>到達目標 犯罪心理学の基本的な知識を修得し、犯罪の未然防止や犯罪被害者への支援の取組について知見を身につける。</p> | | | | | | |
| 概要 | 犯罪心理学の歴史的展開や各理論について理解し、また我が国における犯罪や非行の実態を近年の犯罪統計に基づき概観する。そして犯罪の原因の探求、犯罪者の心理や被害者の心理、被害者に対する支援の取組について考察をする。 | | | | | | |
| 評価方法 | <p>受講状況、課題提出および最終試験により評価。</p> <p>成績評価基準:最終試験(60%)、発表・ディスカッションへの参加(20%)、課題提出(20%)</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 課題・復習によく取り組み、発表や質問を積極的にすること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 授業に臨むにあたっての事前準備(参考書籍の精読等)をしっかりと行う。授業の予習、復習は必ず行うこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 犯罪心理学とは 第2回 犯罪・非行行動の現状と理解 第3回 犯罪に対して抱く特有の心理 第4回 犯罪の「しろうと理論」とその特徴 第5回 犯罪研究の歴史的展開 第6回 犯罪理論の多面性 第7回 社会・文化的観点からの犯罪観 第8回 社会・文化的要因からの犯罪理論 第9回 個体要因からの犯罪理論 第10回 犯罪と冤罪 第11回 犯罪防止の心理学 第12回 犯罪者の矯正 第13回 被害者の心理 第14回 被害者への支援 第15回 犯罪心理学のこれから 第16回 単位認定試験 | | 第1回から第15回まで講義 第16回は筆記試験 | 田井 | | | | |
| 教科書 1 | 教科書なし。適宜プリントを配布 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 犯罪心理学 著者:越智 啓太(編集) 出版社:朝倉書店 ISBN:4-2544-52678-4 | | | | | | |
| 参考書 2 | 知っておきたい 最新 犯罪心理学 著者:細江 達郎 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-8163-5350-5 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|------------|-----------------------------|-----|
| 授業科目名 | 産業・組織心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 田井 靖治 | | | | | NO. | PS-PS-2-315 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 産業心理学は産業場面における人間の心理や行動を科学的視点から研究する学問である。本講義では、産業心理学のこれまでの研究において得られた理論や成果を理解し考察を深めることを目標とする。また個人と組織間の相互作用の中で生まれる「こころの働き」に重点をおき、人々が幸福に働くことに重要な産業心理学の知識、知見を養うことを目指す。 | | | | | | | |
| 概要 | 近年の技術革新の進展、産業構造の変化、労働者意識の多様化等に伴う労働移動の増加、職業能力のミスマッチの拡大等、産業界は大きく変貌してきた。そしてそれは職場環境や働く人々の価値観に大きく影響をおよぼしている。こうした状況を踏まえ個人と組織、個人にとっての職業・産業心理について理解し考察をする。なかでもワーク・モチベーション、キャリア発達、コミュニケーションと人間関係、産業カウンセリング等の領域をとりあげ産業場面における人間の心理や行動を明らかにしていく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 講義出席状況、受講状況及び最終試験により評価する。 成績評価基準:最終試験(60%)、発表・ディスカッションへの参加(20%)、授業態度(40%) | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 課題・復習によく取り組み、発表・質問を積極的にすること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業に臨むにあたっての事前準備(参考書籍の精読、自身のキャリアデザインについて考える等)をしっかりと行う。授業の予習、復習は必ず行うこと。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、教室にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 産業心理学とは 3. ワークモチベーション(1) ～動機づけ～ 4. ワークモチベーション(2) ～期待理論～ 5. ワークモチベーション(3) ～コミットメント～ 6. キャリア発達(1) ～キャリアとは～ 7. キャリア発達(2) ～キャリア発達理論～ 8. コミュニケーションと人間関係(1) ～職場集団の特性～ 9. コミュニケーションと人間関係(2) ～職場集団の発達論～ 10. リーダーシップ(1) ～リーダーシップの概念と研究の歴史～ 11. リーダーシップ(2) ～特性アプローチ・行動アプローチ～ 12. 消費行動とマーケティング 13. 職場のストレスとメンタルヘルス 14. 産業カウンセリング 15. まとめ 16. 最終試験 | | | | 1～15まで 講義 16 筆記試験 | 田井 |
| 教科書 1 | なし。適宜プリントを配布。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 産業心理学への招待 著者:佐々木土師二(編) 出版社:有斐閣ブックス ISBN:4-641-08562-5 | | | | | | | |
| 参考書 2 | よくわかる産業・組織心理学 著者:山口裕幸/金井篤子(編) | | | | | | | |

出版社:ミネルヴァ書房
ISBN:978-623-04871-7

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 生涯発達心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-2-316 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 本講は、人間の様々な認知機能を理解する上での基礎となる心理学を土台にし、特に、ヒトの発達の原理とともにその過程の法則性、機能および多様性について学び理解することができる。 | | | | | | | |
| 概要 | 胎児期から老年期までの各期における様々な機能の発達について講義する。それぞれの時期で重要となる機能に即した心理学的側面を理解することにより、科学的客観的根拠に基づいた発達心理学視点で生涯を概観するものである。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 なお、欠席については総合点より回数分減点します。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。 遅刻は禁じます。課題のフィードバックは、teamsのコメントにて行います。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の講義内容について指示をするので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げること(2時間)。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. OR・生涯発達心理学とは 2. 発達の可塑性 3. 認知発達の基盤① -胎児～0歳児- 4. 認知発達の基盤② -表象の獲得- 5. 他者との関係性のはじまり 6. 子どもの自己発達 7. 児童期までの概観-映画を通して 8. レポートのピアレビュー 9. 認知能力の生涯発達 10. 発達と障がい 11. 関係性の発達①-乳幼児期～児童期- 12. 関係性の発達②-青年期～高齢期- 13. 大人の自己発達 14. 成熟と英知 15. まとめ 16. 筆記試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | |
| 教科書 1 | 生涯発達心理学 著者:鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ 出版社:有斐閣アルマ ISBN:978-4-641-22074-4 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|-----|-------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理演習Ⅱ(面接) | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-318 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | AL |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ: 心理支援を要する者やその関係者のニーズを把握し、心理的支援をおこなっていくための基礎的知識とスキルを養う。</p> <p>到達目標: ・公認心理師に求められる職業倫理や法的義務について理解する。 ・支援計画を立て、実行できるための基礎的知識とスキルを身につける。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>心理支援を要する者やその関係者のニーズを把握し、心理的支援をおこなっていくための基本的知識やスキルについて、ロールプレイや事例検討を通して修得する。 (実務経験のある教員による授業科目) 精神科心理臨床およびスクールカウンセリング等の経験をもつ教員が授業をおこなう。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 各回ごとに次回の課題を伝えるので、必ず調べて授業に臨むこと。課題提出50%、受講態度30%、小テスト20%で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | (履修条件) Ⅰ(面接)の単位を取得済みであること。 (注意事項) ・実技演習を伴う授業のため、毎回の出席を原則とする。 | | | | | ・原則として、心理演習 | |
| 自己学習 | 心理演習Ⅰ(面接)で学んだ心理支援の基礎について復習しておくこと。指定テキストについては早めに読み進めておくこと。予習・復習に3時間以上の学修を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日4時限 個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 心理支援の基本指針 3. 話の聴き方 4. 情報収集:問題パターン 5. 情報収集:現病歴 6. 情報収集:成育歴 7. 関係性のアセスメント 8. ゴールづくり:要支援者 9. ゴールづくり:関係者 10. リソースの把握 11. リソースの活用 12. コンプリメント 13. コンサルテーション 14. スーパービジョン 15. まとめ | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 | | | | |
| 教科書 1 | ブリーフセラピー入門:柔軟で効果的なアプローチに向けて 著者:日本ブリーフサイコセラピー学会 出版社:遠見書房 | | | | | | |
| 教科書 2 | 認知行動療法とブリーフセラピーの接点 著者:津川秀夫・大野裕史 出版社:日本評論社 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理演習Ⅲ(検査) | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-3-319 |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:代表的な心理検査を習得することを通して、心理アセスメントの基本を理解する。 到達目標:①発達検査や神経心理学的検査の実施や解釈が一通りできる。②投影法等を査定する質問紙の実施や解釈ができる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>本演習では、①発達検査や神経心理学検査と②投影法について体験を通して学ぶ。①では、新版K式発達検査等やBGTの実施方法や結果の処理、分析、所見の書き方を学習する。②では、HTPPやSCT、TAT等の実施方法や分析、所見の書き方を学習する。 (実務経験のある教員による授業科目) この科目では、保健医療領域、教育領域、福祉領域における心理検査、心理面接等の実務経験のある教員が指導する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>検査法の理解、実施法の習得、および評価法を確実に学習するため、レポート提出を求める。レポートの提出とその内容(50%)と授業中の課題の取り組み状況(50%)により評価を行う。レポートに対して、フィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>授業は、二人グループに分かれて検査を行う。一方の学生が休むともう一方の学生が検査ができなくなってしまうことから、休まないように。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>授業内で指示された本や配付プリント、授業ノートを見ながら予習・復習をし(合計4時間)、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 土居:月曜2限(土居研究室) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.新版K式:検査の説明 3.新版K式:実施方法 4.新版K式:実施 5.新版K式:記録の仕方 6.新版K式:解釈の仕方 7.新版K式:レポートの書き方 8.BGT:説明と実施 9.樹木画テスト:説明 10.樹木画テスト:実施 11.人物画テスト:説明と実施 12.家屋画テスト:説明と実施 13.SCT:説明と実施 14.TAT:説明と実施 15.TAT:実施 レポート試験 | | 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 レポート | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | |
| 教科書 1 | プリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理演習Ⅳ(検査) | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫、土居 正人、村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-320 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:公認心理師に必要な知識と技能(①コミュニケーション、②心理検査、③心理面接・地域支援)について、心理検査や心理面接等の体験を通して、学修する。</p> <p>到達目標:①コミュニケーション技術、②心理検査のロールプレイング、③心理面接・地域支援の基本技術、について理解する。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>本演習では、①コミュニケーションは、マイクロカウンセリング技法の体験を通して、基本的なかわり方について学ぶ。②心理検査は、乳幼児期の発達・知能検査である田中ビネー式知能検査、および成人の不安とうつの程度を把握する質問紙検査について、体験を通して検査の実際を学ぶ。③心理面接・地域支援については、ブリーフセラピーや認知行動療法に基づいて基本的なアプローチを体験的に学修する。</p> <p>(実務経験のある教員による授業科目)</p> <p>この科目では、保健医療領域、教育領域、福祉領域における心理検査、心理面接等の実務経験のある教員が指導する。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | 各担当教員により、レポート提出を求める。レポートの提出とその内容(50%)と授業中の課題の取り組み状況(50%)により評価を行う。レポートに対して、フィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>(履修条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、2年次秋学期までのGPAが2.0以上であること。 公認心理師資格の取得希望者は必ず履修すること。 <p>(注意事項)</p> <p>本授業では、受講者を2人もしくは3人に分けてグループを作る。そのグループごとにロールプレイングを行う。そのため、授業を休むとペアの仲間の学修に影響を与えるため、休まないようにすること。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業内で指示された本や配付プリント、授業ノートを見ながら予習・復習をし(合計4時間)、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>津川:月曜4限(津川研究室)</p> <p>土居:月曜2限(土居研究室)</p> <p>村上:水曜1限(村上研究室)</p> | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.職業倫理と法的義務 3.コミュニケーション:基本的態度 4.コミュニケーション:傾聴 5.コミュニケーション:感情の反映 6.検査:田中ビネー検査について 7.検査:田中ビネー 実施 8.検査:田中ビネー 分析 9.検査:田中ビネー レポート 10.検査:STAI、LSAS 11.検査:SDS、BDI 12.面接:ニーズの把握 13.面接:情報収集と整理 14.面接:ゴールの設定 15.面接:多職種連携 | | | 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 全員 村上 村上 村上 村上 土居 土居 土居 土居 津川 津川 津川 津川 津川 | |
| 教科書 1 | プリント配布、板書を行う。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 障害者・障害児心理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-3-321 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>授業テーマは、発達障害をはじめとするさまざまな障害の種類や特性を理解し、心理師として現場において支援する具体的な方法を学ぶことである。</p> <p>具体的には、さまざまな障害による制約や特性、個々に対応するためのアセスメント、支援方法等について、障害ごとに理解していく。</p> <p>「障害」とは何か、その種類、症状・特性、診断基準、支援方法等の知識を習得し、実際の心理臨床に生かすことを目標とする。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>主に発達障害についてDVD視聴、テキストの輪読、講義、グループ演習を通して学んでいく。</p> <p>各テーマについて、適宜レポートや課題を課したり、グループ演習や討議によって理解を深めたりする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、心理師として障害児者に対する心理的支援の実務経験(小中高등학교におけるスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回指導・研修会講師、心理相談室における発達障害児のカウンセリング、保護者支援等)がある教員が担当する。障害児者の支援において必要な知識や技法を、実際の事例も紹介しながら教授していく。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業への取り組みを重視し、定期的な小テストおよびレポート課題と最終試験を行い、総合的に評価する。</p> <p>成績評価は、おおむね、授業・演習態度10%、小テスト・レポート30%、最終試験60%とする。小テストや講義内の課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>レポートは、必ず提出期限までに提出すること。</p> <p>予習として、授業内容にあたる部分の教科書を熟読してくること。</p> <p>授業中に配布するプリント(ワークシート)を用いて、復習すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する(2時間以上)。</p> <p>②授業内で実施する小テストの結果をふまえ、未習得の部分を復習する。</p> <p>③授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う(レポート課題も含め2時間以上)。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. さまざまな障害の種類と特徴 3. 発達障害の診断 4. 発達障害支援における心理職の役割 5. 注意欠如・多動症の特性と診断 6. 注意欠如・多動症への支援と治療 7. 限局性学習症の特性と診断 8. 限局性学習症への支援 9. 自閉スペクトラム症のアセスメント 10. 包括的アセスメント 11. 自閉スペクトラム症(ASD)の理解と支援 12. ASDの行動の特徴 13. ASDの認知の特徴 14. ASDの家族への支援、ペアレント・トレーニング 15. 事例紹介、まとめ 16. 最終試験 | | 講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | |
| 教科書 1 | 公認心理師のための「発達障害」講義 著者: 下山 晴彦・桑原 齊・田中 康雄・稲田 尚子・黒田 美保・宮川 純 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-3045-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 障害児者の理解と教育・支援 著者: 橋本 創一・菅野 敦・林安 紀子・大伴 潔・小林 巖・渡邊 貴裕・霜田 浩信・武田 鉄郎・千賀 愛・池田 一成 出版社: 金子書房 ISBN: 978-4-7608-2639-1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 比較心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-3-324 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:動物の認知行動との比較を通して「こころ」の多様性を知り、ヒトの「こころ」について理解を深める。 到達目標:様々な動物の(認知)行動についての研究法を知り、ヒトに特異的と考えられている能力を他の動物との比較の中で捕らえ直すことができる。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>比較心理学は、ヒトと様々な動物の行動や認知能力を比較することにより、ヒトの独自性と進化の過程を明らかにし、生物としてのヒトの「こころ」を理解しようとする学問である。本講義では、様々な動物種の認知能力についての研究事例を紹介し、それぞれの種がもつ「こころ」とその生物学的基盤および行動の機能・発達・進化について講義する。授業の後半は、講義で取り上げたテーマの中から1つを選び、ヒトを含む動物種ごとに担当を決めて資料を集め、内容を発表し、全員で議論することにより「こころ」について、あるいはその研究方法についての理解を深めていく。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | 4回ほど行う小テストの結果(20%)、研究発表・参加態度(40%)、定期試験(40%)で行う予定である。フィードバックは小テストの返却、発表に対するコメント等において行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>心理学実験実習、心理学研究法の知識は基本である。 後半は、各自の研究発表とそれについての討論が中心となるので、種々の文献の読みこなしが必須となる。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | 配付資料を基に、予習と復習に3~4時間を要す。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限 教員研究室。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| (1) オリエンテーション (2) 動物行動と心理学 (3) 様々な学習と生物学的意義 (4) 動物の記憶・研究方法 (5) 動物の概念と思考 (6) 問題解決と道具使用 (7) 様々なコミュニケーション行動 (8) 言語的コミュニケーション (9) 社会的認知と社会行動 (10) 演習テーマの決定と分担 (11) 資料の整理・進捗報告 (12) 発表資料の作成・進捗報告 (13) 演習:発表と議論 (14)まとめ:ヒトと動物のこころ (15) 学期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 試験 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | | | | | |
| 教科書 1 | 動物たちは何を考えている? -動物心理学の挑戦- 著者:藤田和生(編) 出版社:技術評論社 ISBN:978-4-7741-7258-3 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|------|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | コミュニティ心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 緒方 二郎 | | | | | NO. | PS-PS-3-325 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | コミュニティ心理学の成り立ちや理論に関する知識を時系列によって学び、なぜコミュニティ心理学が発展してきたのか、どのような取り組みがなされてきたのか、その中で行われてきたコミュニティ心理学の研究方法はどのようなものなのかを理解し、説明できるようにする。その上で様々な実践事例の検討と集団でのロールプレイを用いた体験的学習を通して、コミュニティ感覚を養い、心理専門職としての資質を高める。 | | | | | | | |
| 概要 | <p>第二次世界大戦後のアメリカでは効果的な心理的援助方法を模索する動きが活発化していた。そして1965年アメリカのボストン郊外にあるスワンプスコットでの「地域精神保健に携わる心理学者の教育に関する会議」通称ボストン会議においてコミュニティ心理学は産声を挙げた。それから50年を経て、交通・通信手段の発達、経済やサービスのグローバル化やネットワーク化など、急速な時代の変化とともに人々の生活様式も大きく変化し、町内など地理的コミュニティはその現実的意味をもちえなくなっている。それに合わせてコミュニティ心理学の定義や手法も形を変えて発展し、今日まで様々な取り組みや理論、研究がなされている。</p> <p>コミュニティ心理学は、地域臨床の文脈で実践されてきた経緯がある、またそれを体系化する理論が数多く提示されているが、地域臨床だけでなく様々な実践事例を紹介し、知識を深めていくとともに、集団ロールプレイング等により自ら体験することも取り入れながらコミュニティ心理学の知識と技法を検討・理解し、心理専門家としての資質を高めていけるように、本授業は構成している。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 この科目は実際にコミュニティ心理学的アプローチを実践している教員が、その経験を活かし、心理専門的・社会的に役立つ授業を実践する。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | コミュニティ心理学の基礎的な知識、そして心理専門家としての資質を高めるために、試験結果や授業での態度、参加の仕方、ロールプレイングでの対応の仕方等を通じて総合的に評価する。 具体的な評価はコミュニティ心理学の基礎知識や理論、研究方法について問う試験(50%)、ロールプレイングにおける周囲への関りや活発な意見交換(30%)、授業中の学びの程度を判定するための授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストは使用せず、パワーポイントで授業を進めていく。まずは講師の説明を聞くこと、そのうえで赤字で書いている部分のみをノートに写すことが望ましい。すべてを書き写すことはせず、ポイントを絞って記述し、理解を深めていくこと。参考図書による予習・復習が望ましい。受講態度の良くないもの、特に他学生の受講を妨げる行為を行うものには退出を求める。積極的な発言や議論を期待する。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として授業計画に示されている項目について調べ、理解したうえで授業を受けるとわかりやすい。単位認定試験の範囲は授業中に発表するので、きちんとノートを取り、学んだことはその日のうちに必ず復習すること。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎回の休憩時間に教室または講師控え室にて実施する。授業終了後でも対応可能である。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | | |
| 1オリエンテーション 2コミュニティ心理学史 3コミュニティ心理学の定義 4コミュニティとは 5コミュニティ心理学の理念と目標 6人と環境の適合 7予防 8ストレスとコーピング 9危機介入 10コンサルテーション 11エンパワメント 12事例「障害児・者に対するコミュニティアプローチ」 13事例「精神科デイケアにおけるコミュニティアプローチ」 14ハラスメント相談室におけるコミュニティ心理学の検討 15コミュニティ心理学の研究法・まとめ 16単位認定試験 | 1講義 2講義 3講義 4講義 5講義 6講義 7講義 8講義 9講義 10講義 11講義 12ロールプレイ(AL) 13講義 14講義 15講義 16試験 | 1緒方 2緒方 3緒方 4緒方 5緒方 6緒方 7緒方 8緒方 9緒方 10緒方 11緒方 12緒方 13緒方 14緒方 15緒方 16緒方 | | | | | | |
| 教科書 1 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | コミュニティ心理学入門 著者:植村勝彦編 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:978-4-7795-0178-4 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 経営心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 三宅 俊治、崔 瑞玟 | | | | | NO. | PS-PS-3-326 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 人々が雇用者として、あるいは被雇用者として職に就き、その組織において利潤を追求する目的で仕事に取り組む際に直面する多様な問題を心理学的立場から実証的に捉え、検討し、解決に役立てるための基本的知識を習得するのがテーマである。上記内容の6割以上を理解できるようになる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 職業集団や組織における個人の心理過程を、経営・組織の意思決定、人事マネジメント、組織内人間関係とコミュニケーション、人材育成と職業的アイデンティティ、ストレスと健康などの観点から、今日的な経済・経営趨勢の中で捉え直すことによって、組織の生産性の向上と個人の職業的充実感に折り合いをつけて、いわゆる「役立つ」人材とは何であるのか、決めていきたい。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてず、さらに減点する。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| ①オリエンテーション ②リーダーシップ ③フォロワーシップ ④組織コミットメント ⑤ストレスとメンタルヘルス ⑥心の健康 ⑦経営・組織の意思決定 ⑧人間関係とコミュニケーション ⑨人材教育とキャリア ⑩人事マネジメント ⑪消費者行動の心理学 ⑫広告の心理学 ⑬ファッションの心理学 ⑭分化・環境・経営 ⑮組織神経科学 ⑯定期試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 崔 瑞玟 三宅俊治 三宅俊治 崔 瑞玟 三宅俊治 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 崔 瑞玟 | | | | | |
| 教科書 1 | 経営・ビジネス心理学 著者:松田幸弘(編) 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:ISBN978-4-7795-1263-6 C3011 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|------|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 臨床神経学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 中角 祐治 | | | | | NO. | PS-PS-3-328 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | この授業のテーマは、各種の神経疾患の臨床像の理解であり、医療現場で患者に接するのに必要な知識を習得することである。 | | | | | | | |
| 概要 | 神経系に関する血管障害、変性疾患、外傷、腫瘍、感染症、中毒、機能的疾患について講義する。各学生に数個の課題を指定し、まず学生に発表してもらい、次に学生間で質疑応答してもらい、最後に教員がコメントする。神経内科の実務経験のある教員が担当します。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 授業内での発表60%、質疑応答の内容20%、レポート20% | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 神経疾患を理解するためには、正常な解剖・生理と病態生理・症候学の知識を有していることが必要です。この科目を履修するためには、春期に開講されている神経診断学を履修していることが望ましく、神経診断学を履修していない学生には、解剖・生理、診断学についてのレポートを課します。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習に各2時間を要す | | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜3限、6号館4階、6411研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | 1. 血管障害;虚血 2. 血管障害;出血 3. 変性疾患;運動系 4. 変性疾患;感覚系 5. 脱髄疾患 6. 脊髄疾患 7. 末梢神経疾患 8. 中間試験とその解説 9. 筋疾患 10. 外傷 11. 腫瘍 12. 感染症 13. 先天異常 14.代謝・中毒 15. まとめ | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 |
| 教科書 1 | なし | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 神経内科学テキスト 著者:江藤文夫 出版社:南江堂 ISBN:978-524-26215-1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 神経診断学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 中角 祐治 | | | | | NO. | PS-PS-3-329 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | この授業のテーマは、神経系が障害された時に見られる症候を理解し、それらの症候から神経系の障害部位を考えるための検査法(神経診断学)を学生が理解することである。 | | | | | | | | |
| 概要 | 神経系の病態生理、神経解剖学に基づいた系統的な神経所見の診察法、補助検査の講義をする。講義は、各学生に課題を数個指定し、まず発表してもらう。次に学生どうして質疑応答を行い、最後に教員がコメントする。授業は、神経内科の実務経験がある教員が担当する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 授業内での発表内容について60%、質疑応答の内容20%、レポート20% | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 神経系の検査法や疾患を理解するためには、その解剖学的知識が必須である。可能な限り講義に取り入れるが、1年次に解剖学特論で学習した神経系の解剖の知識を再確認して受講してほしい。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習に各2時間を要す | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限、6号館4階、6411研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 序論 2. 解剖 3. 生理・薬理・遺伝 4. 免疫・発達・加齢 5. 神経診断学;脳神経 6. 神経診断学;錐体路 7. 神経診断学;錐体外路 8. 神経診断学;感覚系 9. 神経診断学;自律神経 10. 臨床検査;生化学 11. 臨床検査;生理学 12. 臨床検査;画像 13. 臨床検査;病理 14. 臨床検査;遺伝子、免疫 15. まとめ | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 | | | | | |
| 教科書 1 | なし | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 神経内科学テキスト 著者:江藤文夫 出版社:南江堂 ISBN:978-524-26215-1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 臨床の倫理 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-3-330 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】教育・医療・産業等における心理臨床現場における事例的例題を通して、倫理を調べ学習と討論、考察により、自分なりの視点を持つようになること。</p> <p>【到達目標】臨床現場(教育・医療・産業等)は治療者とクライアント、両者を取り巻く人間関係の上に成り立つ場であるため、守秘、インフォームドコンセント等において治療者の倫理が問われる。学生は、適切なアセスメントや支援が行われるためのクライアント理解のあり方、障害に対する一般的心理反応等について学習し、それらに対する対応を理解・修得できること。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>法律や倫理的観点を学習し、インフォームドコンセント、守秘義務、いじめや不登校、研究倫理、研究結果の公表などテーマを絞って、それらにおける倫理的問題を検討する。</p> <p>グループごとに話し合いをすることになる。一つのテーマについて、4コマ分かけて話し合ったり、図書館で調べたりすることを通して、会話に深みをつけていく。しっかり時間をとって話し合うことから、多方面の意見が出て、新たな発見の連続である。大学時代でしかないこの体験は、貴重なものとなるであろう。</p> <p>主観と客観を分ける技術、人の話を聞きだし聞く力、まとめる力、発表する力などこれから就職する学生にとっては、大きな経験となる。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>受講態度、レポート提出と討論への参加状況を総合して評価する。4～5回の個人レポート(50%)、受講態度を含む討論への参加状況、授業内で出す課題や小レポートへの取り組み(50%)を目安とする。講義内での積極的な発言に期待する。レポートを基にフィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>自分自身が患者や不適応行動を起こした場合、患者や問題を抱えている人の立場に立ち、積極的に問題点を考えてほしい。資料のプリントについて問題の要点を理解し、毎テーマごとにグループなってもらい、話し合いを行う。そのため、自分なりの意見を持って発言すること。また、レポート作成の際に講義内容を振り返るような学習を期待する。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>上記に記載した学習方法を参考にすること。一つ一つのテーマに対して注意深く考察し、幅広い考え方が持てるよう、積極的に意見交換を行ってほしい。学習時間は、予習2時間、復習2時間とする。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1.オリエンテーション、臨床について 2.インフォームドコンセント 3.インフォームドコンセントの調べ学習 4.インフォームドコンセント討論・レポート 5.教育現場の倫理 6.教育現場の倫理の調べ学習 7.教育現場の倫理の討論・レポート 8.研究倫理 9.研究倫理の調べ学習 10.研究倫理の討論・レポート 11.剽窃・ねつ造・改ざん 12.剽窃の調べ学習 13.剽窃の討論・レポート 14.法律について 15.まとめ レポート試験(4回分) | 講義 講義 AL AL 講義 AL AL 講義 AL AL 講義 AL AL 講義 講義 レポート | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | | |
| 教科書 1 | 必要に応じてプリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 日本史 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | TC-PS-2-901 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 日本の歴史の古代から近世までを講義する。 到達目標:教職の教科に関する科目の一つであるので、採用試験に出題される問題に対応できるようになる。前近代の日本の歴史の大きな流れと時代の変化に着目してすすめていく。 | | | | | | | |
| 概要 | 日本の通史について古代から近世にかけて取り上げる。混迷する21世紀に生きる我々について生きる指針を歴史は示してくれている。既習事項を整理しながら、それぞれの時代の全体像について把握し、差異に着目して将来の教授につながる時間となるよう、いろいろな資料を活用して進めていきたい。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験70%、課題・小テスト20%、授業への積極的態10%課題小テストは授業でフィードバックさせ理解の深化・統合に活用する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 講義の3分の2以上の出席が定期試験を受けるための条件である。真剣な授業への取り組みの姿勢を求める。毎時間資料を配付するのでファイル等で整理できるように用意してください。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 自己学習としての予習復習(各30時間程度)が大切です。資料整理も必要です。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎時間講義の後で教室にて実施 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 日本文化のあけぼの・律令国家の形成 2. 律令制度と平城京の時代 3. 平安初期の政治と摂関政治 4. 鎌倉幕府の成立 5. 戦国大名の登場 6. 幕藩体制の成立 7. 開国と幕末の動乱・明治維新 8. 自由民権運動、不平等条約改正 9. 日清戦争 10. 日露戦争 11. 大正デモクラシー・新たな世界秩序 12. 動揺する日本 13. 日中戦争から太平洋戦争 14. 講和から高度経済成長の時代へ 15. 新しい国際秩序 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | |
| 教科書 1 | 詳説高校日本史 著者:笹山晴生 佐藤信 五味文彦 高埜利彦(ほか10名) 出版社:山川出版社 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|---|---|
| 授業科目名 | 東洋史 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | TC-PS-2-902 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマと到達目標 前近代から現代の中国を中心とした東洋の歴史を講義する。 教職の教科に関する科目の一つであるので、採用試験に出題される問題に対応できるようになる。歴史の大きな流れをグローバルに把握できるようになることを目標とする。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>授業の概要 本講義では、主として中国の古代から現代に至る歴史について講義する。中国史に関するさまざまな問題をテーマとして取上げながら、全体として通史的な構成となるように配慮した。日中両国の関係は、過去から現在へと連なり、さらには未来をも規定する宿命的なものといつてよい。あわせて朝鮮半島やインド、イスラム諸国についても言及したい。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>定期試験、課題、積極的授業態度を総合的に判断して評価する。定期試験(70%)、課題(20%)、積極的授業態度(10%) 課題にはレポート課題を含み授業中にフィードバックさせ理解の深化・統合を図るものとする。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>資料を用意するのでファイルを毎時間持参すること。講義の三分の二以上出席することが、定期試験を受ける条件である。課題は必ず提出すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>テキストをよく読むとともに、資料の予習復習をしっかりと行ってほしい。予習・復習(各30時間)は欠かせない。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>毎時間授業後教室にて</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.中国の古代 2.インドの古典文明と東南アジアの諸文明 3..中華帝国の形成 4..三国史の世界 5.東アジア諸地域の自立化とモンゴル帝国 6.明代の中国 7.清と東アジア諸国 8.繁栄する西アジア・中東 9.太平天国と洋務運動、変法運動・義和団運動 10.辛亥革命と中華民国の成立 11.満州事変と日中戦争 12.中華人民共和国の歩みー大躍進政策 13.文化大革命・改革・開放政策 14.南アジアと東南アジアの植民地化 15.第三世界の自立と危機 16.単位認定試験 | | | <p>講義 講義</p> <p>講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> | <p>白神 白神</p> <p>白神 白神 白神</p> <p>白神 白神 白神 白神</p> <p>白神 白神 白神</p> <p>白神</p> |
| 教科書 1 | <p>詳説高校世界史 出版社:山川出版社</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|-----|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 西洋史 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | TC-PS-2-903 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ: 古代ギリシア世界～現代に至る西洋の歴史について 到達目標: 教員免許資格取得に関する科目なので、教員採用試験の問題に対処し得るようになる。また、西洋の歴史の流れを他の世界との関係に十分留意して理解できるようになることを目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>現代世界は、国際的に解決しなければならない多くの問題や課題を抱えている。日本が国際的に信頼関係を築いていくためには、現状を認識するだけでなく、諸外国が歩んできた歴史を踏まえた深い異文化理解が不可欠である。ここに、広く世界の歴史に目を向ける意味がある。現代の西洋世界を理解するためには、遠い過去から積み重ねられてきた伝統を理解することが必要である。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>単位認定試験(70%)、課題・小テスト(20%)、積極的授業態度(10%)で評価する。課題・小テストについては授業中にフィードバックさせて理解の深化に努める。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>毎時間資料を用意するので、ファイルを作り、教科書とともに持参すること。3分の2以上の出席が単位認定試験参加の条件である。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予・復習(各30時間)と課題への真剣な取り組みの姿勢を期待する。</p> | | | | | | | |
| オフィスワ- | <p>授業終了後教室にて実施。</p> | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. ギリシア世界 2. ローマ世界 3. 西ヨーロッパ中世世界の変容と中世文化 4. ヨーロッパ世界の拡大 5. ルネッサンス 6. 宗教改革 7. 重商主義と啓蒙専制政治 8. ヨーロッパ諸国の海外進出 9. 産業革命 10. アメリカ合衆国独立 11. フランス革命ナポレオンの大陸支配 12. アメリカ合衆国の発展 13. 第一次世界大戦 14. 世界恐慌と第2次世界大戦 15. 冷戦の終結と社会主義体制の解体 16. 単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | | | | | |
| 教科書 1 | <p>詳説高校世界史 出版社: 山川出版社</p> | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 地理学概論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | TC-PS-2-904 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 将来、学校現場において社会科地理的分野の授業の実践ができる教員の養成がテーマであり、中学校社会科教員に必要な地理学の基礎的知識及び実践的指導力の育成を目的とし、教員採用試験問題に対応できるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 中学校社会科地理的分野の内容を教授できる、系統地理・人文地理の基礎的内容を現代社会の主な課題に触れながら学習していく。ICTを活用し中学校・高等学校の既習知識を呼び起こし現代社会の地理的諸課題について考察していきたい。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(70%)、レポート(15%)、積極的態度(15%)レポートについては授業でフィードバックさせ深化・統合を図る。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストは毎時間持参すること。参考資料・課題を配布するのでノートとともに毎時間記録整理しておくこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に心がけ課題意識をもって授業に参加してほしい。積極的、建設的な意見がもてるよう日々の課題意識が求められる。予習復習には2時間程度は必要です。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1.地球をながめて 2.世界のさまざまな生活と環境 3.暑い地域の暮らし 4.乾燥した地域の暮らし 5.温暖な地域の暮らし 6.寒い地域の暮らし 7.高地の暮らし 8.宗教と生活とのかかわり 9.日本の領域と領土問題 10.環境問題と環境保全 11.世界の資源・エネルギー、日本の資源・エネルギーと電力 12.日本の農業・林業・漁業とその変化 13.日本の工業とその変化 14.日本の商業・サービス業 15.世界と日本の交通・通信網 16.単位認定試験 | | | 講義 講義 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | |
| 教科書 1 | 中学校社会科地図 出版社:帝国書院 ISBN:978-4-8071-6163-8 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 地誌学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | TC-PS-3-905 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 地誌学の概要と世界主要地域及び日本の地誌を学ぶ。様々な地域における特徴と諸問題を総合的に把握するとともに、中学校社会科教員として教授できる知識・技能を身に付け、グローバルな視点により地理的事象を分析・探求できるようになる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 日本や世界の各地方を題材に、自然や人々の暮らしの様子、特徴を地理的に考察していく。世界や日本の地理を多面的・多角的に考察し各自が明確な視点をもって世界の中の日本の姿をイメージできるようICTを活用しながら学んでいきたい。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(70%)レポート(15%)積極的な授業態度(15%)レポートについては授業でフィードバックし深化・統合に資する。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 教科書を毎時間持参すること。資料を毎時間配布するのでファイリングできるようノートとともに準備してください。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業中に発展的課題を提示するので、webで調べたり、自分の意見をまとめるなり、積極的に学習に取り組んでいただきたい。予習復習には2時間程度は必要です。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、教室にて | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 九州地方の自然と人々の生活 2. 中国四国地方の自然と暮らし 3. 瀬戸内の工業・観光 4. 近畿地方の自然と暮らし 5. 中部地方の自然と暮らし 6. 関東地方の暮らしと産業 7. 東北地方の自然と産業 8. 北海道の自然と産業 9. 東アジアの地誌 10. 東南アジアの地誌 11. 南アジアの地誌 12. ヨーロッパの地誌 13. 北アメリカ大陸の地誌 14. 南アメリカ大陸の地誌 15. オセアニアの地誌 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 筆記試験 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | | | | | |
| 教科書 1 | 中学校社会科地図 出版社: 帝国書院 ISBN: 978-4-8071-6163-8 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|------------|-------------|------|
| 授業科目名 | 法学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 生駒 正文 | | | | | NO. | TC-PS-1-906 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 法学は社会人として自己の完成を目指す上で有効に役立てることができる必要不可欠な教科です。社会生活に必要な法的なものの考え方を理解することを到達目標とします。 | | | | | | | |
| 概要 | 本講義では、個人の生活、企業のビジネスで体験する身近な法的問題を取り上げることによって法の生きた現実の機能を学ぶとともに、法的なものの考え方(リーガルマインド)を学習できるようになっています。講義は学生諸君に法が果たす役割を理解してもらうための入門授業です。講義中に配布する簡単なレジュメ・教科書をもとに授業します。各講義とも、それに関する基礎的な知識習得として、「テーマ」を出しますので、各自意見を文章にしてもらいます。この科目は大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | レポート及び平常点30%、定期試験70%として総合評価します。 なお、評価のために実施した課題等は授業、ノートでフィードバックする。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 新聞記事を毎日読むこと、受講に際して、ノートを取ることを原則に講義に臨むこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 12:00～13:00 14号館6階(生駒研究室) | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. 法律の基礎知識 2. 日本国憲法の構成と基本原理 3. 平和主義・国民主権(三権分立) 4. 基本的人権 5. 基本的人権 6. 基本的人権 7. 家族法の基礎知識(婚姻、内縁) 8. 家族法の基礎知識(親族) 9. 家族法の基礎知識(相続) 10. 家族法の基礎知識(相続) 11. 契約一般の基礎知識(契約上の注意点、無効、取消し) 12. 契約一般の基礎知識(代理、契約解除に必要な条件) 13. 訪問販売・割賦販売の基礎知識(消費者契約法、クレジット) 14. 訪問販売・割賦販売の基礎知(特定商取引法) 15. 電子取引上の契約とホームページ 16. 定期試験 | | | | 講義 | 生駒正文 |
| 教科書 1 | 法学講義(第1章、第4章、第5章 利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----------|-----|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 社会科・地歴科教育法 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | TC-PS-2-914 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義、演習・実習 |
| テーマと到達目標 | 社会の様々な事象に関心を持ち、それを多角的・多面的に考察、判断できる中学生を育てるため、教科の特性を理解した上で探究心を常に持ち、さらに、効果的な授業、適切な評価ができる実践力にも優れた教師を目指す。教師という仕事に不可欠な授業計画作成、教材研究、テスト問題作成といった実践的な実習、演習さらには模擬授業によって教師になるための態度、態度さらには自信を身につけていく。 | | | | | | |
| 概要 | 本授業では中学校社会科3分野のうち歴史分野を学ぶものとする。学習指導要領に示されている各分野の授業時間配分をもとに授業計画を作成し、単元の教材研究・指導法研究を進めるなかで、何を強調すべきか、どのような評価をすべきか、情報機器をどのように活用すべきかなどをを考えていく。さらに、テスト問題や学習指導案の作成、模擬授業を通して、実践力を身につけていく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 多面的、総合的に評価するが、目安は次の通り。 定期試験40%、授業計画表10%、単元指導法研究表10%、テスト問題作成10%、学習指導案10% 模擬授業10%、授業へ取り組む姿勢10% なお、授業計画、指導法研究表、テスト問題、学習指導案、模擬授業についてはそれぞれフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位取得目的だけを目的にするのではなく、将来への目的意識を持って履修してもらいたい。 | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に授業で使用される教材に目を通し、授業内容を予め知るとともに、問題点を見つけ出しておくこと。事後は授業内容を復習し、知識を定着させ、理解の深化に努めること。それぞれに2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、休憩時間に教室、講師控室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション | | 講義 | 磯 | | | | |
| 2. 学習指導要領について① 戦後の変遷と時代背景 | | 講義 | 磯 | | | | |
| 3. 学習指導要領について② 現学習指導要領の研究 | | 講義・実習 | 磯 | | | | |
| 4. 指導計画作成実習① 作り方説明のあと作成 | | 講義・実習 | 磯 | | | | |
| 5. 指導計画作成実習② 作成、提出 | | 講義・実習 | 磯 | | | | |
| 6. 教材研究・教科書単元指導法研究 ① 1章、2章 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 7. 教材研究・教科書単元指導法研究 ② 3章 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 8. 教材研究・教科書単元指導法研究 ③ 4章 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 9. 教材研究・教科書単元指導法研究 ④ 5章 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 10. 教材研究・教科書単元指導法研究 ⑤ 6章、7章 | | 講義・演習 | 磯 | | | | |
| 11. テスト問題作成実習 | | 講義・実習 | 磯 | | | | |
| 12. 学習指導案作成実習①:情報機器活用を考える | | 講義・実習 | 磯 | | | | |
| 13. 学習指導案作成実習②: 相互の意見交換 | | 講義・実習・AL | 磯 | | | | |
| 14. 模擬授業計画発表(情報機器の積極的な使用を勧める)相互の意見交換 | | 実習・AL | 磯 | | | | |
| 15. 模擬授業 | | 実習 | 磯 | | | | |
| 16. 単位認定試験 | | | | | | | |
| 教科書 1 | 新しい社会 歴史 著者:坂上康俊 他 出版社:東京書籍 ISBN: | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 中学校学習指導要領解説 社会編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03471-3 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|---|---|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 社会科・公民科教育法Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | TC-PS-3-917 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義、演習、実習 | |
| テーマと到達目標 | 社会の様々な事象に関心を持ち、それを多角的・多面的に考察、判断できる中学生を育てるため、教科の特性を理解した上で探究心を常に持ち、さらに、効果的な授業、適切な評価ができる実践力にも優れた教師を目指す。教師という仕事に不可欠な授業計画作成、教材研究、テスト問題作成といった実践的な実習、演習さらには模擬授業によって教師になるための態度、態度さらには自信を身につけていく。 | | | | | | | |
| 概要 | 本授業では、高校公民科の科目のうち「倫理」および「政治経済」を学ぶ。学習指導要領を踏まえ、中学校社会科の成果を前提とした上で、授業計画作成、単元の教材研究・指導法研究をすすめていく。その際、情報機器の有効な活用について考えていく。さらにテスト問題作成、学習指導案作成、模擬授業を通して実践力を身につけられるようにする。春学期から継続しての履修となるであろうから春学期の成果を受け継げるようにする。なお、新学習指導要領において公民科は「現代社会」が廃され、新たに「公共」が設けられる。「倫理」「政治経済」は存続するが、新学習指導要領における公民科として意識しなければならない方向性を理解させる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 多面的、総合的に評価するが、目安は次の通り。 定期試験40%、授業計画表10%、単元指導法研究表10%、テスト問題作成10%、学習指導案10% 模擬授業10%、授業へ取り組む姿勢10% なお、授業計画、指導法研究表、テスト問題、学習指導案、模擬授業についてはそれぞれフィードバックする。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位取得目的だけを目的にすのではなく、将来への目的意識を持って履修してもらいたい。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に授業で使用される教材に目を通し、授業内容を予め知るとともに、問題点を見つけ出しておくこと。事後は授業内容を復習し、知識を定着させ、理解の深化に努めること。それぞれに2時間程度を要する。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、休憩時間に教室、講師控室にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 学習指導要領から学ぶ 3. 倫理 授業計画作成実習 4. 教材研究・倫理教科書単元指導法研究① 1章～3章 5. 教材研究・倫理教科書単元指導法研究② 4章～5章 6. テスト問題作成実習 7. 学習指導案作成実習:情報機器の利用を考える、意見交換 8. 模擬授業①(情報機器の積極的な使用を勧める)、意見交換 9. 政経 授業計画作成実習 10. 教材研究・政経教科書単元指導法研究① 第1編、第3編の一部 11. 教材研究・政経教科書単元指導法研究② 第2編、第3編の一部 12. テスト問題作成実習 13. 学習指導案作成実習:(情報機器の利用を考える)、意見交換 14. 模擬授業②(情報機器の積極的な使用を勧める)、意見交換 15. 反省、レポート作成 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義・実習 講義・演習 講義・演習 講義・実習 講義・実習・AL 実習・AL 講義・実習 講義・演習 講義・実習 講義・実習・AL 実習・AL 演習 | 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 | | | |
| 教科書 1 | 倫理 著者:竹内整一 他 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-16523-0 | | | | | | | |
| 教科書 2 | 最新政治経済 新訂版 著者:伊東光晴 他 出版社:実教出版 ISBN:978-4-407-20402-5 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-28633-1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 介護等体験の研究 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | TC-PS-2-926 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 介護等体験の意義・目的の理解がテーマであり、体験施設の概要や活動内容を把握すること、あわせて教職意識の明確化を図ることが到達目標である。 | | | | | | | |
| 概要 | 次年度以降実施する「介護等体験」の事前指導に当たる。様々な特別支援学校の先生や福祉施設の方に、それぞれの学校や施設の概要やそこでの介護等体験における注意事項等を講義していただく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(40%)と毎回課されるレポート(60%)により評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 介護等体験を行うことが義務づけられている小学校・中学校の教員免許状取得希望者には必修科目である。教員志望者に対する講義ということで、出席状況、受講態度等にはシビアである。講義予定回数は8回であり、実施日程にはくれぐれも注意すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習:テキストの該当箇所を精読。授業で該当する施設について、図書館等で調べておくこと。(2時間) 復習・課題:外部講師の方のお話を整理してレポートにまとめること。(2時間) 日頃から、自分の教師適正について考えておくように。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限 教員研究室、または、講義終了後、教室にて。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 介護等体験の意義・目的(第1部1～3章) 2. 介護等体験の実際(第2部2章, 3章) 3. 高齢者福祉施設の概要と介護等体験(外部) 4. 児童福祉施設の概要と介護等体験(外部) 5. 知的障害者福祉施設と介護等体験(外部) 6. 特別支援学校の概要と介護等体験(外部) 7. 特別支援学校(視覚障がい)の概要と介護等体験(外部) 8. まとめ・今後の予定(第1部4章) | | | 講義 | 森井 | |
| 教科書 1 | 教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 五訂版 著者: 現代教師養成研究会(編) 出版社: 大修館書店 ISBN: 4469268763 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 特別支援学校における介護等体験ガイドブック 新フィリア 著者: 全国特別支援学校長会 編 出版社: ジアース教育新社 ISBN: 978-4-86371-522-6 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 教育原論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 倉知 典弘 | | | | | NO. | TC-PS-2-909 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>【授業のテーマ】 教育の思想及び制度の歴史を学ぶことにより、教育はどのような要因によって成り立ち、左右されてきたかを理解し、その知識・理解をもとに今後の教育の在り方について考察する力量を身に着ける</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の基本概念を理解し、適切に用いることができるようになる 2. 代表的な教育思想家の学習論・教育思想・社会観・子ども観を理解する 3. 近代公教育(学校)をはじめとする主要な教育制度の成立および変遷を理解する 4. 家庭、社会における教育について理解し、それをもとに学校教育の役割を理解する 5. 上記の学習を通じて教育の本質について理解し、今後の教育制度(学校など)の役割について自身の意見を持つ | | | | | | | |
| 概要 | <p>本講義は教育の歴史を概括的に学ぶ科目である。この講義では歴史的事象もさることながら、社会が変動する中で子ども観・教育観・学習観がいかんにか変容し、それに伴い家庭教育、地域社会(共同体)の教育、学校教育がいかんにか変容していくのかを理解してもらいたい。その結果、多様な教育実践・制度の相互作用などを理解し、各自の教育に関する意見を構築できるようにしていく。本講義は大きく6つの段階に分けて展開する。1・2回目では教育の基礎概念について理解するとともに家庭などにおける日常的(非組織的)な学びの在り方について触れる。その後、教育思想がどのような社会観・子ども観によって形成されるのかを古代・中世・近代・現代のそれぞれに区分し紹介する。特に近代公教育制度の成立については、学校教育の本質にかかわる事項であるので若干詳細に検討する。その後、特に1990年代後半以降の現代社会の在り方を考察し、現在教育という営為がどのように社会の課題と向き合い、新たな実践を生み出しているのかを考察する。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | 各回の講義の振り返りを行う学習記録(15%)、レポート(15%)、定期試験(70%)で評価する。なお、評価に関わる事項の詳細については初回講義で説明する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは必ず学生便覧を確認してから履修すること。加えて、教職課程として履修するものは将来教員になる者とみなすので、それにふさわしい授業態度で臨むこと。初回の講義の際に成績評価に用いる学習記録用紙を配布するので必ず出席すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 各回講義の予習と復習を行っていただく(学習記録用紙)。予習のために、基礎的な用語や歴史について教科書や参考書を用いて学習する必要がある。講義後の復習として講義内容を振り返り、重要事項や各自の考え方の変化を振り返る課題を課す。配布資料を読みなし、理解を振り返る学習を進めること。各回講義ごとに約2時間の学習が必要である。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 火曜日2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 第1回:教育の基礎概念 第2回:教育の源形態—家庭・共同体による教育 第3回:古代の教育思想(1)西洋の教育思想 第4回:古代の教育思想(2)日本の教育思想 第5回:中世の教育思想(1)宗教と教育 第6回:中世の教育思想(2)ルネッサンスと教育 第7回:近代の教育思想(1)産業革命と教育 第8回:近代の教育思想(2)近代教育制度の成立 第9回:近代の教育思想(3)教育学の成立と展開 第10回:現代の教育思想(1)新教育運動の諸相 第11回:現代の教育思想(2)戦争と教育 第12回:現代の教育思想(3)東西冷戦下の教育 第13回:現代社会と教育(1)現代社会の課題と教育 第14回:現代社会と教育(2)子どもの生活世界の変容と教育 第15回:現代社会と教育(3)—まとめにかえて 第16回:定期試験 | | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 倉知 |
| 教科書 1 | 『教育思想史』(有斐閣アルマ) 著者:今井康雄編 出版社:有斐閣 ISBN:978-4641123847 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 教育の歴史と思想 著者:石村華代・軽部勝一郎編 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623065844 | | | | | | | |

参考書 2

新訂 学習指導要領は国民形成の設計書: その能力観と人間像の歴史的変遷
著者: 水原克敏
出版社: 東北大学出版会
ISBN: 978-4861633171

| | | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 教育心理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | TC-PS-2-910 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>1. 教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ</p> <p>2. 児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける</p> <p>3. 児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与する教育心理学的知識を身につける</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。はじめに教育心理学の理論と方法を概観した後、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。続いて児童生徒の友人関係、心の問題を、学習活動や学校生活との関わりで解説する。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や対応方法について教授し、学生の理解を深める。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。講義内の小テストや演習課題については、講義内で回答・フィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>講義をしっかりと聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業の最初に実施する小テスト(前の時間の確認テスト)の結果をもとに、復習を行う。 ③毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。</p> | | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回:オリエンテーション 第2回:教育心理学とは、発達と教育 第3回:発達段階、認知の発達 第4回:特別支援教育と発達障害 第5回:発達障害の理解と対応 第6回:発達障害への教育・支援 第7回:学習指導の基礎理論と基本 第8回:学習指導の方法 第9回:適応の心理と教育 第10回:いじめ・不登校の心理と指導 第11回:学習理論と学習のメカニズム 第12回:学習理論に基づく技能学習と問題解決 第13回:動機づけの理論 第14回:動機づけの応用と学習へのアプローチ 第15回:学級・集団の心理 第16回:単位認定試験 | | 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義・演習 講義・AL 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | | |
| 教科書 1 | 教育心理学 著者:松原達哉 出版社:丸善出版 ISBN:978-4-621-08636-0 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 特別支援教育 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | TC-PS-2-911 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | この授業では、さまざまな障害の種類や特性を理解し、特別支援教育に携わる上で必要となる指導・支援法について学んでいく。具体的には、特別支援教育の理念とシステムを理解し、特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒の障害特性を知る。さらに特別な支援を必要とする幼児・児童および生徒への適切な指導方法・支援方法に関する知識を身につける。 | | | | | | | | |
| 概要 | 特別支援教育では、特別支援学校や、保育園・幼稚園、小学校等において、様々な障害のある幼児・児童ひとりひとりのニーズに応じた適切な指導と支援が求められている。本科目では、特別支援教育の対象であるそれぞれの障害の理解と指導内容・方法等の基本的事項について解説する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 試験60%、ミニレポート40%とする。 ミニレポートはコメントをつけフィードバックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさず行うこと。 ・積極的に授業に参加すること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習として教科書をよく読み、ポイントと思われるところ、理解できないところ、それぞれにマーカーを入れて授業を受けること。 ・復習のために授業の内容をノート、配布プリントに書くこと。その内容と教科書を照合し学びを深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 木曜2限:個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1: 特別支援教育の理念と制度 2: 発達障害・軽度知的障害の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 3: 発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(1) 4: 発達障害・軽度知的障害の幼児・児童に対する支援(2) 5: 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童の心理的特性および学習過程の理解 6: 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等の幼児・児童に対する支援 7: 特別支援の幼児・児童への組織的支援 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児・児童への対応8. 定期試験 | | | 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 試験 | 1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 筆記試験 | | | | | |
| 教科書 1 | はじめの特別支援教育 著者: 拓植雅義 編 出版社: 有斐閣アルマ ISBN: 978-4-641-22038-6 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------------------------|---|-----|---------|------|------------|-------------|----|
| 授業科目名 | 教育行政学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 倉知 典弘 | | | | NO. | TC-PS-2-912 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。</p> <p>到達目標 1. 教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解する 2. 学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解する 3. 学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解する 4. 子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解する 5. 現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解する 6. 子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする(第1回)。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく(第2回～第7回)。</p> <p>以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい(第8回～第14回)。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる(第15回)。</p> <p>本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に付けてもらいたい。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 学習記録の提出(15%)及びレポート課題(15%)及び定期試験(70%)で評価する。定期試験の結果及びレポート課題については掲示によって総括的なフィードバックを行う | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは学科等によって異なるので、必ず学生便覧を確認してから履修すること。なお、教員となるのにふさわしい態度で受講することが求められる。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として1)講義に取り上げる予定の法令調べ 2)講義にかかわる事項の調べ 3)テーマに関わる論述課題を課す(2時間程度)。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1)講義のキーワードのまとめ 2)論述課題 3)講義の振り返りを課す(2時間程度) | | | | | | |
| オフィスワ- | 火曜2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 第1回:公教育の基本原則と教育行政:教育の公共性について | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第2回:教育の法制の概要:教育の法律主義について | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第3回:教育行政の機構:教育行政のガバナンス | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第4回:教育の中立性確保:宗教的中立と政治的中立 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第5回:教育の義務制と機会均等:教育福祉の観点から | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第6回:教育機関の設置・管理:学校と社会教育・生涯学習 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第7回:教育職員に関わる法制:養成・採用・サービスを中心に | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第8回:学校の組織体制:チームとしての学校を中心に | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第9回:学校経営計画と評価:PDCAサイクル | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第10回:学校における教育活動:教育課程 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第11回:学校における生徒指導:「問題行動」とその制度的対応 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第12回:学校経営の諸課題(1)地域社会との連携 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第13回:学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第14回:学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第15回:現代教育改革と教育行政・学校経営 | 講義 | 倉知 | | | | | |
| 第16回:定期試験 | | | | | | | |
| 教科書 1 | 教育行政学: 子ども・若者の未来を拓く(改訂版) 著者:横井敏郎編 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917092 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 参考書 1 | 教育小六法 著者:市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆 出版社:学陽書房 ISBN:978-4313011953 |
| 参考書 2 | 中学校学習指導要領(最新版) 高等学校学習指導要領(最新版) |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 教育行政学 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 倉知 典弘 | | | | NO. | TC-PS-2-912 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。</p> <p>到達目標 1. 教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解する 2. 学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解する 3. 学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解する 4. 子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解する 5. 現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解する 6. 子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかにする(第1回)。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく(第2回～第7回)。</p> <p>以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい(第8回～第14回)。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる(第15回)。</p> <p>本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に付けてもらいたい。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 学習記録の提出(15%)及びレポート課題(15%)及び定期試験(70%)で評価する。定期試験の結果及びレポート課題については掲示によって総括的なフィードバックを行う | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは学科等によって異なるので、必ず学生便覧を確認してから履修すること。なお、教員となるのにふさわしい態度で受講することが求められる。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として1)講義に取り上げる予定の法令調べ 2)講義にかかわる事項の調べ 3)テーマに関わる論述課題を課す(2時間程度)。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1)講義のキーワードのまとめ 2)論述課題 3)講義の振り返りを課す(2時間程度) | | | | | | |
| オフィスアワー | 火曜2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 第1回:公教育の基本原則と教育行政:教育の公共性について 第2回:教育の法制の概要:教育の法律主義について 第3回:教育行政の機構:教育行政のガバナンス 第4回:教育の中立性確保:宗教的中立と政治的中立 第5回:教育の義務制と機会均等:教育福祉の観点から 第6回:教育機関の設置・管理:学校と社会教育・生涯学習 第7回:教育職員に関わる法制:養成・採用・服務を中心に 第8回:学校の組織体制:チームとしての学校を中心に 第9回:学校経営計画と評価:PDCAサイクル 第10回:学校における教育活動:教育課程 第11回:学校における生徒指導:「問題行動」とその制度的対応 第12回:学校経営の諸課題(1)地域社会との連携 第13回:学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健 第14回:学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応 第15回:現代教育改革と教育行政・学校経営 第16回:定期試験 | | | 講義 | 倉知 |
| 教科書 1 | 教育行政学: 子ども・若者の未来を拓く(改訂版) 著者:横井敏郎編 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917092 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 参考書 1 | 教育小六法 著者:市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆 出版社:学陽書房 ISBN:978-4313011953 |
| 参考書 2 | 中学校学習指導要領(最新版) 高等学校学習指導要領(最新版) |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|----------------|----------|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 教育課程論 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 池上 真由美 | | | | | NO. | TC-PS-2-913 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 教育課程の編成と実施などについての基礎的・基本的な知識を修得し、学校や地域の特性と教師の創意・工夫を生かした魅力ある教育課程を編成するための方略について理解する、また、編成した教育課程を実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルについて理解することを目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 教育課程とは何か、教育課程の変遷、教育課程の法体系と学習指導要領、新学習指導要領・新教育要領の改訂のポイントなどについて理解する。また、編成した教育課程を実施・評価し改善するカリキュラム・マネジメントのプロセスを、実践例を通して学び、演習やグループワーク等を行うことで、カリキュラム・マネジメント力を養う。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、小中学校教員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | [試験]60%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する。) [提出物]20%(レポート課題、コメント用紙等により評価する。レポート課題、コメント用紙の内容は、次の講義の始めにパワーポイントのスライドに要点をまとめて、フィードバックする。) [授業への参画状況]20%(発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する。) | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 基本的に毎時行う予習課題の発表、グループ・ディスカッションなどに積極的に参加することが望まれる。なお、授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 前時に示された予習課題をもとに、目的意識をもって授業を受けること。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日4時限目 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回:教育課程とは何か 第2回:教育の目的と教育課程の編成 | | | 講義・AL 講義・AL | 池上 池上 | | | | | |
| 第3回:現代日本の教育課程の変遷 第4回:新学習指導要領等の改訂のポイント「社会に開かれた教育課程」「学びの地図」「主体的・対話的で深い学び」 | | | 講義・AL 講義・AL | 池上 池上 | | | | | |
| 第5回:近年の教育改革の動向および今後の課題 | | | 講義・AL | 池上 | | | | | |
| 第6回:幼稚園・小学校・中学校教育・高等学校教育における教育課程 | | | 講義・AL | 池上 | | | | | |
| 第7回:教育課程の法と行政、実践・カリキュラム・マネジメント | | | 講義・AL | 池上 | | | | | |
| 第8回:定期試験 | | | 講義・AL 筆記試験 | 池上 池上 | | | | | |
| 教科書 1 | はじめて学ぶ教育課程 著者:広岡義之 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07559-1 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 小学校学習指導要領・中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領 著者:文部科学省 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|---------|-----|------------|--------------|
| 授業科目名 | 道徳教育の理論と方法 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 川上 はる江 | | | | | NO. | TC-PS-3-918 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義, 討論, 模擬授業 |
| テーマと到達目標 | 道徳教育について、基礎理論を理解し、併せて実践的指導力を養う。 基礎理論としては、道徳の本質、道徳教育の歴史、道徳性の発達理論、道徳教育の役割と課題、道徳教育の授業理論について理解する。また、実践力については、道徳の時間の指導案作成、模擬授業、総合単元的な道徳学習の構想作成を通して、道徳の時間の指導法を身に付ける。 | | | | | | |
| 概要 | 授業の概要 道徳教育の基礎知識である、道徳性の発達理論、教育理論、道徳教育の役割や意義をテキストを基に学修し、理解する。また、実践力の育成という意味から、学生の参加型授業を取り入れ、講義を行う。道徳資料を基に、道徳的価値について分析し、指導案を作成する。模擬授業後、学生の相互評価を行い、改善策を考え、指導案を修正したり、授業を練り直したりする。 ※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 理論的なものについては、テスト及びレポートで評価する。知識の習得については定期試験、実践的な目標については、発表態度、発表内容で評価する。授業では、テキストを熟読してくることを前提とする。 模擬授業(30%) 提出物(20%) 最終試験(50%) なお、実施した課題等については授業で補足説明する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎時間の授業内容を効率的に理解し、発展できるようにするためにその時間の学習に必要な内容等について予習と復習が必須である。また、毎時間の授業の一部を使用して、その時間の学習の成果を創意・工夫を加えて、レポートとしてまとめる | | | | | | |
| 自己学習 | 予習 2時間 次回に学修する箇所を読んでくること 復習 2時間 学修した内容の課題を出すので要点をまとめておくこと | | | | | | |
| オフィスワ- | 木、金の4限目(個人研究室10309) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回: 道徳教育を学ぶ視点 第2回: 人間と道徳, 道徳教育 第3回: 戦前、戦後の道徳教育 第4回: 指導要領と道徳教育 第5回: 発達理論 第6回: 授業理論 第7回: 学校の道徳教育の構造 第8回: 道徳資料の読み方 第9回: 指導案の書き方 第10回: 教材研究、指導案作成 第11回: 模擬授業1(演習) 第12回: 模擬授業2(演習) 第13回: 総合単元的道徳学習 第14回: 構想表作成 第15回: 道徳教育における評価 第16回: 定期試験 | | 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 模擬授業 模擬授業 演習 講義・演習 講義 筆記試験 | 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 | | | | |
| 教科書 1 | 道徳教育を学ぶ人のために(四訂版) 著者:小寺正一他 編 出版社:世界思想社 ISBN:978-4-7907-1404-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | 中学校学習指導要領解説 道徳編 平成29年 著者:文部科学省 出版社:日本文教出版 ISBN:978-4-536-59004-4 | | | | | | |
| 参考書 1 | 楽しく豊かな「道徳の時間」をつくる 著者:横山利弘 牧崎幸夫他 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-07160-9 | | | | | | |
| 参考書 2 | 私たちの道徳 著者:文部科学省 出版社:廣済堂あかつき株式会社 ISBN:978-4-331-75188-6 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|--|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 川上 はる江 | | | | | NO. | TC-PS-2-919 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 演習 AL |
| テーマと到達目標 | <p>授業のテーマ及び到達目標 特別活動は、集団活動を通して課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して行う活動である。集団や社会の一員として「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を持ちながら自主的、実践的な育てることを目標にしている。また、総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的な学習を行い、よりよく課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指す。これらの教育方法上の特徴ゆえに、教科指導とは異なる役割を担っている。 本授業では、下記の3点を目標に学修し、学級活動及び総合的な学習の時間の学習指導案や活動計画を書き、授業構成ができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特別活動・総合的な学習の時間の意義、目標、内容を理解する。 2. 特別活動の指導法を実践的に理解する。 3. 総合的な学習の時間の指導計画を作成し、指導と評価の考え方を理解する。 | | | | | | |
| 概要 | <p>特別活動、総合的な学習の時間の特徴を考慮しながら、次の6点について学修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習指導要領における特別活動の目標、主な内容、教育課程における位置づけ 2. 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質 3. 学級活動の指導案を作成し、模擬授業(別途実施)の実践と評価 4. 学習指導要領における総合的な学習の時間の目標、主な内容、教育課程上の位置づけ 5. 総合的な学習の時間における年間指導計画作成の仕方、単元計画の作成の仕方 6. 総合的な学習の時間について指導と評価の方法、その留意点 <p>※実務経験のある教員による授業科目 教員としての実務経験を生かし、教育現場に役立つ実践的な授業を実施する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業では、テキストを事前に熟読して頂くことを大前提にする。授業でレポートを出すこともあるので、レポートの評価も授業への参画状況として考える。 評価は、授業での発表や発表をめぐる発言、討論など(20%)、授業への参画状況(30%)、試験(50%)で評価する。 なお、評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>授業前に、事前にテキストを読み込み、内容を理解するとともに、質問や疑問のなにかしかを携えて来ることを望む。理解を進める上で、予習(一読)は大切。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習2時間 次回に学修する箇所を読んで頂くこと 復習2時間 個別に課題を出すので少しずつまとめること</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 木、金の4限目 昼休み(個人研究室10309) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1: 授業オリエンテーション、特別活動の教育課程上の位置づけと役割 2: 特別活動の目標、主な内容 3: 学級活動の特質 4: 児童会、クラブ、学校行事 5: 特別活動の評価、連携 6: 年間計画 学習指導案書き方 7: 学習指導案作成(学級活動) 8: SELとは(外部講師) 9: 模擬授業と評価 10: 模擬授業と評価 11: 総合 教育課程上の位置づけ 12: 総合的な学習 目標、内容 13: 年間計画、単元計画 14: 年間計画、単元計画の作成 15: 評価と留意点 16: 定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 講義・演習 模擬授業AL 講義 講義 筆記試験 | 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 外部講師 川上 川上 川上 川上 川上 川上 川上 | | |
| 教科書 1 | <p>新しい教職教育講座9 特別活動 著者: 中村豊 / 原 清治 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08192-9</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | <p>新しい教職教育講座8 総合的な学習の時間 著者: 森田真樹, 篠原正典 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08191-2</p> | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間 著者: 文部科学省 出版社: 東山書房 ISBN: 978-4-8278-1561-0</p> | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------------------------|---|-------|------|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 教育の方法と技術 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 片山 章郎、竹井 皓三 | | | | | NO. | TC-PS-3-920 |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ: 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業方針を考え、実践できるようになる。</p> <p>到達目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.教育方法に関する基礎的理論及び実践の理解 2.授業を構成する諸要素についての理解 3.子どもの学習の観点から授業デザインをする方法の理解 4.主体的・対話的で深い学びとは何か、またそれが求められる背景の理解 5.情報機器を活用した効果的な授業方法についての理解 6.メディアリテラシーについて理解し、その育成の手法を考えられる 7.上記を活用して学習指導方針を作成することができる | | | | | | |
| 概要 | <p>本講義では、今後の学校教育に求められる主体的・対話的で深い学びを考え、そのための具体的な手法を学ぶ。授業にかかわる様々な要素について学習するが、特にアクティブ・ラーニングを中心に取り上げ、その背景にある社会観・教育観を検討する。著名な教育実践について学ぶだけでなく、現代の教育課題の一つでもある高度情報化社会への教育的対応という観点からメディアリテラシーについて学習する。そして、実際に情報機器を使った授業実践の在り方を学び、実際に情報機器を使った授業方針の作成も行う。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目: この科目は初等教育の実務経験のある教員と電算部で職場のICTの導入を担当してきた教員が担当し、今後の教育の方法や技術を講義したり、実践したりして理解を深める。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>アクティブ・ラーニング型の授業への積極的・協働的参加態度と、課題に対して調べてまとめたものに加えて、当日の講義のポイントとそれに対する意見も記入するレポートを合わせて20%。知識の修得度を確認するための筆記試験が80%。 なお、評価のために実施するレポートは授業でフィードバックするので、フィードバック後の内容をしっかり復習すること。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>反転授業の一環としてのレポート課題は初回の授業で配布する資料にすべて提示している。したがって、事前によく課題について調べておくこと。 参加型学習であるので、グループ討議や発表がある。グループ討議では積極的かつ協働的に参加し、発表ではプレゼンテーション能力を磨くこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>アクティブ・ラーニングや反転授業を実施するので、予習が必須である。かつ、参加型学習による授業内容と授業でフィードバックされたレポートの内容を確実に理解するために復習をしっかり行うこと。予習に30時間と復習に30時間要する。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 講義終了後に実施。片山は2号館4階242研究室。竹井は6号館1階講師控室。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 授業の概要と教育の方法・技術の基礎認識 | | 講義 | 竹井 | | | | |
| 第2回 授業におけるデジタル技術の利用の現状(マルチメディアも含む) | | 講義 | 片山 | | | | |
| 第3回 アクティブ・ラーニングや反転授業について | | 講義・AL | 片山 | | | | |
| 第4回 情報機器の活用能力育成のための教育手法 | | 講義 | 片山 | | | | |
| 第5回 教育活動におけるメディアリテラシーの重要性 | | 講義・AL | 竹井 | | | | |
| 第6回 授業における動機付け理論と場の理論 | | 講義・AL | 竹井 | | | | |
| 第7回 授業におけるICTの利用の現状 | | 講義・AL | 片山 | | | | |
| 第8回 アクティブ・ラーニングにおけるメディアとコミュニケーション | | 講義・AL | 片山 | | | | |
| 第9回 LMSの種類とコンテンツの種類(著作権も含む) | | 講義 | 片山 | | | | |
| 第10回 LMSの今後(AIも含む) | | 講義・AL | 片山 | | | | |
| 第11回 Eラーニングの利用と課題(1) 授業運営手法 | | 講義・AL | 竹井 | | | | |
| 第12回 Eラーニングの利用と課題(2) 理解度の分析 | | 講義・AL | 竹井 | | | | |
| 第13回 学習ソフトの現状と今後について | | 講義・AL | 片山 | | | | |
| 第14回 情報機器と教材を活用した授業案 | | 講義・AL | 片山 | | | | |
| 第15回 授業改善と教育評価の在り方及びまとめ | | 講義 | 竹井 | | | | |
| 第16回 単位認定試験 | | 筆記試験 | 片山竹井 | | | | |
| 教科書 1 | 作成資料(初回授業時に配布) | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 適宜指示する | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|---|--|-------------|----|
| 授業科目名 | 生徒・進路指導論 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 藤井 和郎 | | | | NO. | TC-PS-3-921 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】生徒指導、進路指導及びキャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、進路指導及びキャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2 すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3 生徒の抱える主な生徒指導上の課題の態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5 すべての生徒を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6 生徒が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。 | | | | | | |
| 概要 | <p>生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに含まれる進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と原理 2. 学校における生徒指導体制、教育相談 3. 生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携 4. 生徒指導の進め方(児童生徒全体への指導) 5. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:問題行動) 6. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:不登校) 7. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:いじめ) 8. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:発達障害) 9. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:児童虐待) 10. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:愛着障害) 11. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:性的マイノリティ) 12. キャリア教育とは何か 13. 中学校におけるキャリア教育推進のために 14. 中学校におけるキャリア教育の実践 15. 生徒指導の今後の方向性 16. 試験 | <p>講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>筆記試験</p> | <p>藤井 藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> | | |
| 教科書 1 | <p>生徒指導提要 著者:文部科学省</p> | | | | | | |

| | |
|-------|---|
| | 出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0 |
| 教科書 2 | 中学校キャリア教育の手引き 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30026-9 |
| 参考書 1 | 中学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房 |
| 参考書 2 | 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房 |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|---|---|------------|-------------|
| 授業科目名 | 教育相談の基礎 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | TC-PS-2-922 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題や個別の得点について適宜フィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ1時間を要する。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜日3時限、個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如多動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスモデル 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校①:守秘義務と情報共有 15. チーム学校②:連携 16. 定期試験 | <p>講義 AL</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>AL</p> <p>講義 講義</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL 筆記試験</p> | <p>津川 津川</p> <p>津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川 津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> | | |
| 教科書 1 | <p>ポジティブ認知行動療法 出版社:北大路書房</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | <p>リットの法則 出版社:集英社</p> | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p> | | | | | | |
| 参考書 2 | <p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p> | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|--|---------|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 教育相談の基礎 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | TC-PS-2-922 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題および個人の得点については適宜フィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ2時間を要する。</p> | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日4時限、個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| 1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如他動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスモデル 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校:守秘義務と情報共有 15.まとめ | 講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 AL 講義 講義 AL AL AL AL AL AL 講義 | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 | | | | | | |
| 教科書 1 | <p>リットの法則 出版社:集英社</p> | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p> | | | | | | | |
| 参考書 2 | <p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p> | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|---|--|-------------|-------|
| 授業科目名 | 教育実習指導 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | NO. | TC-PS-3-923 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・実習 |
| テーマと到達目標 | 「教育実習の準備と教職意識の明確化」をテーマとして、教育実習に最低限必要な知識・技術の習得と確認、および、自分自身の問題点の確認と克服を到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | <p>次年度、教育実習を行うための事前・事後指導にあたる。教職意識を高めるとともに、実習に向けた基本的な知識や技能の習得をめざす。授業は、学校の実態、学校教育の内容と方法などについて、小・中・高等学校の教員や教育委員会などの現場の先生方の講義を中心に進める。また、受講者は全員、正規の授業時間外に、自分で作成した指導案をもとに模擬授業を行い、実習に向けての問題点の把握、改善に努めなくてはならない。また、4年次の教育実習終了後にも事後指導としての時間を何回か設けるので、必ず出席し、教師としての実践力の向上に努めなくてはならない。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、上述のように学校教育における実務経験のある外部講師の先生方を招き、教育現場における現状や課題、必要とされる知識や能力について講義・演習を行うことにより、教育実習に向けた学生の理解を深める。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(40%)、およびレポート(60%:模擬授業も含む)により評価する。 教育実習終了後に行われる事後指導も評価の対象になる。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>教育実習を行うための必須単位である。 教師という自覚を高めるためにも、欠席・遅刻には厳しく対処する。 授業時間外に小グループに分かれて模擬授業をしなくてはならないので承知しておくこと。 講義概要の欄にも記したが、厳密にはこの授業は後期のみの15回で終了するのではなく、実習終了後(次年度)にも事後指導として継続し、評価の対象となるので、掲示には注意しておくこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>復習として、配付資料、ノート等をもとに、授業内容を再確認しておくこと。(2時間) 教職意識の明確化と基礎学力の向上に努めること。 様々な話題(新聞等)に興味を持って触れておくこと。 指導案の作成の学習については、他の教科と関連づけながら進めること。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限、教員研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1.オリエンテーション 2.教師への道(高等学校)(外部) 3.教師の適性 4.教師への道(中学校)(外部) 5.4年生からのメッセージ 6.指導案の作成と授業の展開(1) 基本的考え方(外部) 7.指導案の作成と授業の展開(2) 教材研究と授業の展開(外部) 8..授業改革(外部) 9.実習生の授業を見る1 10.実習生の授業を見る2 11.授業実践(外部) 12.模擬授業(1) 13.模擬授業(2) 14.模擬授業(3) 15.模擬授業(4)まとめ | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義・演習 演習 演習 演習 実習 実習 実習 演習 | 森井・倉知 外部・森井 森井・倉知 外部・森井 森井・倉知 外部・森井 外部・森井 外部・森井 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 | | |
| 教科書 1 | 使用しない。資料は配付する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 取得しようとする教科の学習指導要領解説 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|----------|------------|----------------|
| 授業科目名 | 基礎演習 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 森井 康幸、藤原 直子、村上 勝典、宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-1-401 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:地域についての学びを通して、大学における学び方を習得するとともに、学科内の良好な人間関係を形成する。</p> <p>到達目標:基礎演習 I では、まず大学生活に溶け込み、今後の学習を円滑に進めていくための支援として、大学キャンパスのある高梁市、南あわじ市の文化・産業などについて体験的に学びながら、仲間・人間関係の構築を目指す。到達目標は、高梁市、南あわじ市の文化・産業についての基礎知識を得るとともに、学内の人間関係を築くことである。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>「基礎演習 I・II」は、1年次向けの導入教育として開講し、大学における学修で必要となる環境作りと基礎的な学習スキルを身につけることをめざす。</p> <p>最初に、教員の紹介や簡単な大学生活に関するオリエンテーション等を行い、大学での学び方についての基本的な態度・スキルについて紹介する。その後、履修生は、クラス別に、あるいは3クラス合同で、高梁市・南あわじ市についての体験的学習をもとに、人間関係づくりを進めていく。教室外での活動も多く、体を動かすことが重要な演習といえる。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(50%)、ミニレポート等(50%)により、総合的に評価する。ミニレポートのフィードバックは、授業時間内に行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>心理学科1年生の必修科目である。</p> <p>基礎演習 I の各クラス合同(1年生全員)で実施する回と、各クラス個別に行う回があるので注意すること。</p> <p>また、合同実施の場合を中心に、授業時間外に、時間を変更しても行うこともあるので、担当者からの指示・連絡にはくれぐれも注意すること。</p> <p>個別実施の場合は、演習後、ミニレポート等の提出が求められる。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>体験・参加型演習のために、事前指導に基づいて情報収集等の課題を行う必要がある(4時間程度)。</p> <p>日々の活動の中で、より豊かな人間関係のネットワークを形成するように、意識的に取り組むことが重要である。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 森井:月曜4限 | | 藤原:月曜2限 | | 宇都宮:火曜4限 | | 村上:水曜1限 各教員研究室 |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 生活指導・履修指導 3. 大学における学修の基礎 4. 高梁市の歴史・文化を学ぶ(事前指導) 5. 松山城登山 6. 松山城見学 7. 見学実習の振り返り 8. 頼久寺見学 9. 見学実習の振り返り 10. 南あわじ市の産業(事前指導) 11. 南あわじ市研修(農作業体験) 12. 南あわじ市研修(学生交流) 13. 研修の振り返り 14. 自主学習力をつける 15. まとめ、秋学期の予定 | | 演習 演習 演習 演習 体験 体験 演習 体験 演習 演習 演習 体験 体験 演習 演習 | 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 全担当教員 | | | | |
| 教科書 1 | 特になし。適宜プリントを配布。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---------|------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 基礎演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫、土居 正人、藤吉 晴美、橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-2-403 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | AL |
| テーマと到達目標 | 心理学の学び方、研究のしかたに触れながら、3年次からの心理学演習Ⅰ・Ⅱに向けた基礎的力を身につける。そのために、まずは心理学検定の勉強を行いながら基礎知識を積み上げていく。また、心理学の研究を進めていくにあたり、大学の教育資源の理解と活用の仕方について理解する。さらに、大学での学びが充実感をもって円滑に進んでいくために、学科内の人間関係を良好なものへ築いていく。 | | | | | | |
| 概要 | 心理学基礎演習Ⅲは、次年度の心理学演習Ⅰにつながる準備教育を行う。準備教育は3つに大別される。ひとつは、心理学演習のための基礎知識を培うため、心理学検定に向けての取り組みを開始する。心理学検定2級の取得を目指した対策講座を開講し、知識の定着を図る。2つめは、心理学演習における心理学研究のデモを行う。パソコンを用いた検索エンジンの使い方、図書館における文献収集の実際などを取り入れる。3つめは、大学での学びが円滑に進んでいくための交流イベントを取り入れる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(50%)、ミニレポート等(50%)により、総合的に評価する。ミニレポートのフィードバックは、授業時間内に行う。なお、欠席については総合点より回数分減点します。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 同一内容が継続するわけでない。必ず次回についての指示を確認すること。遅刻は禁じます。 | | | | | | |
| 自己学習 | 事前指導に基づき、主体的に情報収集等の課題を行う必要がある。課題には、最低でも4時間以上をあてること。体験・参加型演習の場合は、さらなる仲間・人間関係の構築に向け、コミュニケーションを積極的に取り、役割意識を持って行動することが重要である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週水曜日 3限 研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 松山城登山 3. パンフレット作成 4. パンフレット発表 5. 調べ学習A:課題提示 6. 調べ学習A:本のまとめ方 7. 調べ学習A:中間指導 8. 調べ学習A:発表(前半) 9. 調べ学習A:発表(後半) 10. 調べ学習B:課題提示 11. 調べ学習B:個別作業 12. 調べ学習B:中間指導 13. 調べ学習B:発表(前半) 14. 調べ学習B:発表(後半) 15. まとめ | 1.AL 2.AL 3.AL 4.AL 5.AL 6.AL 7.AL 8.AL 9.AL 10.AL 11.AL 12.AL 13.AL 14.AL 15.AL | 1.全員 2.全員 3.全員 4.全員 5.全員 6.全員 7.全員 8.全員 9.全員 10.全員 11.全員 12.全員 13.全員 14.全員 15.全員 | | | | | |
| 教科書 1 | 適宜プリントを配布する。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学検定 一問一答問題集[A領域編] 著者:日本心理学諸学会連合 心理学検定局(編集) 出版社:実務教育出版 ISBN:978-4788961012 | | | | | | |
| 参考書 2 | 心理学検定 一問一答問題集[B領域編] 著者:日本心理学諸学会連合 心理学検定局 出版社:実務教育出版 ISBN:978-4788961029 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|---|--|
| 授業科目名 | 基礎演習Ⅳ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫、土居 正人、藤吉 晴美、橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-2-404 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | AL | |
| テーマと到達目標 | 心理学の学び方、研究のしかたに触れながら、3年次からの演習Ⅰ・Ⅱに向けた基礎的力を身につける。そのために、まずは心理学検定の勉強を行いながら基礎知識を積み上げていく。また、心理学の研究を進めていくにあたり、大学の教育資源の理解と活用の仕方について理解する。さらに、大学での学びが充実感をもって円滑に進んでいくために、学科内の人間関係を良好なものへ築いていく。 | | | | | | | |
| 概要 | 基礎演習Ⅳは、次年度の演習Ⅰにつながる準備教育を行う。準備教育は3つに大別される。ひとつは、演習のための基礎知識を培うため、心理学検定に向けての取り組みを開始する。心理学検定2級の取得を目指した対策講座を開講し、知識の定着を図る。2つめは、心理学演習における心理学研究のデモを行う。パソコンを用いた検索エンジンの使い方、図書館における文献収集の実際などを取り入れる。3つめは、大学での学びが円滑に進んでいくための交流イベントを取り入れる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(50%)、ミニレポート等(50%)により、総合的に評価する。ミニレポートのフィードバックは、授業時間内に行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 同一内容が継続するわけでない。必ず次回についての指示を確認すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 事前指導に基づき、主体的に情報収集等の課題を行う必要がある。課題には、最低でも4時間以上をあてること。体験・参加型演習の場合は、さらなる仲間・人間関係の構築に向け、コミュニケーションを積極的に取り、役割意識を持って行動することが重要である。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週水曜日 3限 研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 生活指導・履修指導 大学における学修の基礎 3. 交流行事(準備) 4. 交流行事 5. 交流行事の振り返り 6. 心理学検定について 7. 心理学の研究手法(1) 8. 心理学の研究手法(2) 9. 体験学習(事前指導) 10. 体験学習 11. 体験学習 12. 体験学習 13. 体験学習の振り返り 14. 心理学の研究手法(3) 15. まとめ | | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 1. 全員 2. 全員 3. 全員 4. 全員 5. 全員 6. 全員 7. 全員 8. 全員 9. 全員 10. 全員 11. 全員 12. 全員 13. 全員 14. 全員 15. 全員 | |
| 教科書 1 | 適宜プリントを配布する。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | テーマ:卒業論文作成にむけて,研究テーマを設定する 到達目標: 1. 先行研究について情報収集し,何がどこまで明らかにされているか把握できる 2. 研究テーマが設定できる | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文作成に向けて,少人数のゼミ形式で指導する。先行研究を概観し,報告することを通して,何がどこまで明らかにされているかを把握する。春学期の終わりまでに研究テーマを設定することを目指す。 実務経験:心理臨床経験(精神科におけるカウンセリング,小・中・高におけるスクールカウンセリングなど)を有する教員が,心理臨床の視座を踏まえて論文作成について指導する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 7回以上の発表を行ったものに対して単位を与える。発表内容(80%)と討議への参加態度(20%)により評価する。発表内容について適宜フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 卒業論文の作成に向けて主体的,計画的に動くことを期待する | | | | | | |
| 自己学習 | 研究テーマに直接・間接的に関連する文献を大量に読み進めておくこと。1日1時間以上は自己学修の時間を確保してほしい。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜3時限,個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 文献収集の仕方 3. データベース 4. 発表論文集 5. 学術雑誌・紀要 6. 先行研究の概観 7. 表の書き方 8. 先行研究の検討 9. 図の書き方 10. 先行研究の批判的検討 11. 相関分析 12. テーマの検討 13. t検定 14. テーマの再検討 15. 報告 | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 | | | | |
| 教科書 1 | ポジティブなこころの科学 著者:堀毛一也 出版社:サイエンス社 | | | | | | |
| 教科書 2 | 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 著者:平井明代 出版社:東京書籍 | | | | | | |
| 参考書 1 | 認知行動療法とブリーフセラピーの接点 著者:津川秀夫・大野裕史 出版社:日本評論社 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 「こころの不思議を科学する—認知心理学的手法を用いて—」をテーマとして心理学研究の基礎を学び、様々な実験手続きを理解し、自らの問題事象について実験的に解明するための計画を立案できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 認知心理学の実験的研究についての文献購読・発表を中心に研究方法について理解することを目的とする。特に、実験方法についての理解を重視する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 演習への取り組み 発表:50%、ディスカッションへの参加など:30% 最終レポート:20% 発表内容については、その都度フィードバックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 欠席の場合も無断で休むと評価対象から外れるので注意すること。 合宿等の学外活動にも積極的に参加すること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習:テキストしっかり読んでおくこと。 不明箇所は、調べておくこと。(2時間以上) 復習:復習をかねた課題を行うこと。(2時間以上) | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日4限、教員研究室。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2. 記憶の基礎 3. 記憶のモデル 4. 忘却と抑制 5. 日常記憶 6. 知識の成り立ち 7. メタ認知 8. 問題解決と推論 9. 認知バイアス 10. 判断と意思決定 11. 潜在認知 12. 文脈効果 13. 学生テーマ発表(1) 14. 学生テーマ発表(2) 15. 今後に向けて | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | | | | | |
| 教科書 1 | 認知心理学 著者:箱田・都築・川畑・萩原 出版社:有斐閣 ISBN:978-4-641-05374-8 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 AL | | |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の作成に向けて、文献検索、論文の読み方、統計処理、分析方法、研究方法の基礎知識を習得する。 | | | | | | | | |
| 概要 | 受講生各自が関心をもっている領域・分野の文献を検索し、読み進めていく。その中で、研究方法や統計処理方法についても学び、データ収集から、処理に関する技法も獲得する。 また、「心理学論文の読み方」や「卒業論文の書き方」についての書籍も輪読し、研究テーマの決定につないでいく。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。 発表担当時のプレゼン(40%)、討議における積極性(30%)、ゼミへの参加姿勢(30%)も重視する。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。欠席する際には、必ず連絡すること。 資料の検索・印刷等、各自が責任をもって確実にすること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分が関心をもっているテーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。3時間以上は必要である。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限 於:個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション、演習の進め方 2. 卒業論文 作成について:目的と内容 3. 卒業論文 作成について:構成・書式・文体など 4. 卒業論文 作成について:引用文献 5. 卒業論文 抄録集輪読:担当部分の決定 6. 卒業論文 抄録集輪読:研究内容の理解 7. 論文と書籍について 8. 論文の種類 9. 研究テーマの決め方 10. 先行研究の検索の仕方 11. 先行研究 検索ワード 12. 先行研究 論文の入手方法 13. 先行研究 概要をまとめる 14. 疑問の整理と解決 15. 今後の研究スケジュール | | | 講義 講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 | | | | | |
| 教科書 1 | 超初心者向けSPSS統計解析マニュアルー統計の基礎から多変量解析まで 著者:米川和雄・山崎貞政 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2706-8 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|--|--|---------|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | NO. | PS-PS-3-405 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の作成への第一段階として、文献検索・論文の読み方、統計処理・分析方法、研究方法等を習得することが目標である。各自が関心をもっている心理学領域の中でテーマをしばり、研究の目的・意義、研究方法を見出していく。 | | | | | | |
| 概要 | 各自が関心をもっている領域・分野の文献を検索し、読み進めていく。その中で、研究方法や統計処理方法についても学び、データ収集から、処理に関する技法も獲得する。 また、4年生が行う実践研究に準備段階から参加し、実践研究の手続きや実施技術を習得するとともに、自身の研究テーマ決定につなげていく。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校のスクールカウンセラー・心理教育、心理相談室および公的機関でのカウンセリング・心理検査等)がある教員が担当する。演習を通して臨床心理に関する実践研究に必要な知識や実践方法を習得し、実際の臨床活動にも参加していく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。 発表担当時のプレゼン、討議における積極性、実践研究への参加意欲や態度も重視する。 おおむね、担当時の発表準備・資料・プレゼン40%、討議における発言・積極性30%、実践研究における参加態度30%で評価する。発表・プレゼン・研究の進捗状況については、随時検討しフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。欠席する際には、必ず連絡すること。 資料の検索・印刷等、分担しながら積極的に行うこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分が関心をもっているテーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。 論文検索・熟読、レジュメ作成等に、毎回2時間以上を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 その他の時間に相談や指導を希望する場合は、その都度連絡を取り予約すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション、演習の進め方 2. 卒業論文抄録の講読 3. 研究テーマの決め方 4. 研究テーマの探索・仮設定 5. 論文紹介・発表の仕方 6. 論文紹介・発表 7. 実践研究の準備(4年生の実践に参加) 8. 実践研究のリハーサル 9. 実践研究への参加 10. 実践研究の振り返り 11. 実践研究の結果報告 12. 研究テーマの決定 13. 先行研究発表 14. 論文発表 15. まとめ、今後の予定 | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | |
| 教科書 1 | 教科書は指定しない。各自の研究に関連する文献を随時検索し、読んでいく。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---------|-----|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】心理学論文を読み解くことができるようになること。 【到達目標】心理学研究論文を繰り返し読み通すことで、卒論作成に必要な、研究のための問題意識の形成、研究手法と分析法の理解、考察の立て方、論文スタイルの理解を高める。合わせて、論文に対するディスカッションをおこなうことで、批判的思考力、議論をする力を強化する</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>本演習では、代表的な心理学研究雑誌からいくつかの論文を抜粋し、輪読形式で読み進めることで論文の内容を読み解いてゆく。心理学研究論文は概ね、問題と目的・研究方法・研究結果・考察・引用文献から構成されている。これら各章を、ディスカッションを重ねながら輪読することで記述スタイル、記述された意味を深く理解すると同時に、論文に対する批判的思考、発展的思考の適用をおこない、学生自身の論文作成能力を高めてゆく。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>規定の出席のあることを前提として、演習課題への取組(60%)と演習中のディスカッションへの積極的な参加、受講態度(40%)で総合的に評価する。取り組みへのフィードバックは、毎回の授業の中で行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>ゼミでは要約課題を出す。卒業論文に必要な文献を調べてくること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。演習時間外の課題を、予習2時間・復習2時間として各演習時に提示するので、必ず行うこと。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.研究論文とは 3.論文輪読 レジュメとは 4.論文輪読 論文の集め方 5.論文輪読 レジュメ作成 6.論文輪読 行動療法について 7.論文輪読 認知療法について 8.論文輪読 CBTについて 9.論文輪読 ABAについて 10.論文輪読 学校臨床について 11.論文輪読 不登校について 12.論文輪読 病院臨床について 13.論文輪読 発達障害について 14.論文輪読 パーソナリティについて 15.まとめ | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | | |
| 教科書 1 | 卒業研究に関する、プリント配布を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 青年期・成人期における発達過程の理解をテーマとし(ただし、各年度ごとに新たなテーマを加えることもある)、発達課題や臨床的問題についての知識を獲得できることが到達目標である。また基礎的な心理査定についての学習と技術の修得、論文の読み方や書き方などを身に付けられるようになることも到達目標である。 | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理臨床についての文献を輪読し、発表してもらう。 2. 基礎的な面接技法・心理査定について学習する。 3. 卒論作成に向け、論文の読み方や書き方などを学習する。 4. 心理学検定の受検を薦めており、その内容についての学習。 | | | | | | |
| 評価方法 | 発表やディスカッションへの参加(80%)、レポート等(20%)を総合的に評価する。レポートのフィードバックは授業時間内に行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須。発表やディスカッションへの積極的な参加を望む。2年次春学期までの、必修科目22単位中16単位を修得していること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 授業で学習した内容について復習してくること。次回行う内容について、予習レポートにまとめてくること。予習・復習には1-2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、火曜日4時限に実施する。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心理査定(1) 性格検査等 3.心理査定(2) 職業適性検査等 4.心理学の世界について(学会などの紹介) 5.文献検索の方法 6.文献輪読「調査系論文の読み方」(1) 論文と研究 7.文献輪読「調査系論文の読み方」(2) 心理測定とその方法 8.文献輪読「調査系論文の読み方」(3) 論文と統計 9.文献輪読「調査系論文の読み方」(4) 相関係数 10.文献輪読「調査系論文の読み方」(5) 一要因分散分析 11.文献輪読「調査系論文の読み方」(6) 二要因分散分析 12.文献輪読「調査系論文の読み方」(7) 因子分析 13.文献輪読「調査系論文の読み方」(8) 重回帰分析 14.質的分析 15.まとめ | 演習 演習・AL 演習・AL 演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 演習 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | | | | | |
| 教科書 1 | 心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 著者:浦上昌則・脇田貴文 出版社:東京図書 ISBN:978-4-489-02038-4 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】 講義や日常生活の中で気づいた心理学で扱える問題を発見し、心理生理学的手法、実験的手法を用いて、どのようにすれば、その問題を解決できる研究を提案できるのかについて、実際の研究例に数多く触れて理解する。</p> <p>【到達目標】 認知心理学、生理心理学領域におけるさまざまな認知活動における問題と、その解決方法に関する発表、ディスカッションを通じて、具体的な認知心理学研究、生理心理学研究を立案するための実践的技能や能力を身につける。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>本講では、研究計画を立案する段階に焦点をあて、認知心理学研究、生理心理学研究領域におけるさまざまな研究例を検討する。検討する対象となる研究は、学術雑誌に掲載された論文、教員が実施している研究、受講生自身が興味を持っている認知心理学、心理生理学領域のテーマを扱った研究などである。研究を発表するために、文献の検索や収集を行う。研究の発表を通して、プレゼンテーションの技術なども身につけ、総合的な実践能力を養う。心理学演習 I では、関連領域におけるテキストの輪読を中心とする。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>学修態度(減点法)、発表の内容(50%)、ディスカッションへの参加度(50%)の合計点により総合的に評価する。課題のフィードバックについては、毎回の講義前に行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>心理学演習 I・II は、卒業研究の土台となる重要な科目である。積極的に研究に取り組むこと。日頃から、心理学で扱える問題に注意を向け、見聞を深めることを予習(2時間)・復習(2時間)時間として行うこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>本講は、授業時間以外での学修が非常に重要である。講義で学んだ内容について理解を深めるために復習を行い、教員が行う研究に積極的に参加することで、学修効果も上がり、より実践的に学ぶことが可能となる。また、興味のあるテーマについて、積極的に情報を収集することを予習として行うことで、討議への参加度の増大にもつながる。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.OR ゼミ運営について 2.感覚と知覚 3.知覚の現象 4.視覚の基本特性 5.聴覚の基本特性 6.精神物理学と心理測定法 7.感覚・知覚に関わる神経系 8.知覚の構造 9.知覚の発達 10.注意 11.知覚の情報処理的研究 12.感覚・知覚の心理生理学 13.認知と事象関連電位 14.知覚研究の光学的応用 15.総括 | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | | | | |
| 教科書 1 | 知覚と認知 著者:八木昭宏(著) 出版社:培風館 ISBN:4-563-05746-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の作成への第一ステップであり、各ゼミ生の関心に沿った心理学的問題をゼミ参加者相互の議論を通して明確化していくことがテーマである。 心理学的問題の所在、研究の目的・意義、方法の工夫、先行研究との関連まで進めることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 関心のあるテーマについての先行研究の発表を通して、研究論文の読み方や書き方、研究方法や統計的手法の学習をおこなう。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(30%)および課題への取り組み等(70%)を総合評価する。課題については、適宜フィードバックをおこなう。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は必須とする。 発表や討議、演習などに積極的に参加すること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習(2時間程度)として、先行研究を調べ、その内容をまとめた上で、わからない点や疑問点を調べること。 復習(2時間程度)として、授業内容の振り返りをおこなうこと。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 論文の構成 3. 研究テーマの立て方 4. 先行研究の調べ方 5. 研究方法 6. 統計(1):t検定 7. 統計(2):1要因の分散分析 8. 統計(3):2要因の分散分析 9. 統計(4):相関と重回帰分析 10. 統計(5):因子分析 11. 研究テーマの構想発表(日本人学生) 12. 研究テーマの構想発表(留学生) 13. 関連研究の発表(日本人学生) 14. 関連研究の発表(留学生) 15. まとめ | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | | | | | |
| 教科書 1 | プリントを配布する。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-406 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | テーマ:卒業論文作成に向けて、研究デザインをつくる 到達目標: 1. 先行研究について情報収集し、何がどこまで明らかにされているか把握できる 2. 研究テーマを設定できる 3. 研究デザインをたてる | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文作成に向けて、少人数のゼミ形式で指導する。先行研究を概観し、報告することを通して、何がどこまで明らかにされているか、どのような手法を用いているかを把握する。秋学期の終わりまでに、研究デザインをたてることを目指す。 | | | | | | |
| 評価方法 | 発表内容(80%)と討議への参加態度(20%)により評価する | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 主体的な参加を希望する | | | | | | |
| 自己学習 | 各自の興味にしたがって文献を多く読むこと。日に1時間以上の自己学修を期待する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜3時限、個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 先行研究紹介 3. 先行研究の概観 4. 先行研究の批判的検討 5. テーマの検討 6. テーマの設定 7. 研究デザインの検討 8. 研究デザインの批判的検討 9. 研究デザインの設定 10. 結果の処理についての検討 11. 結果の処理の批判的検討 12. 研究手続の検討 13. 研究手続の決定 14. 研究の実施 15. まとめ | | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 |
| 教科書 1 | 心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 出版社:東京書籍 | | | | | | |
| 教科書 2 | 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 出版社:東京書籍 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|------|-----|--|------------|-------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-3-406 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 「こころの不思議を科学するー認知心理学的手法を用いてー」をテーマとして心理学研究の基礎を学び、自ら実験計画を立案し、実験を行い、結果の分析を経て報告書にまとめることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 認知心理学の実験的研究についての理解をふまえ、自ら実験テーマを考え、科学的な手法に基づいて実験を行い、データを統計的に整理・分析してレポートにまとめる。そして、4年次の卒業論文のテーマの決定に結びつける。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 演習への取り組み 発表:50%、ディスカッションへの参加など:30% 最終レポート:20% 発表内容については、その都度フィードバックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 欠席の場合、無断で休むと評価対象から外れるので注意すること。 合宿等の学外活動にも積極的に参加すること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 指摘されたことは、その日のうちに取り組むこと。(2時間) 自分の研究発表のための準備は、常に行っておくこと。 十分な準備のためには、復習も含めて、4時間以上必要である。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限、教員研究室。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | | 1. オリエンテーション 2. 実験研究と調査研究 3. 独立変数・従属変数・剰余変数 4. 記憶実験(展望記憶) 5. 記憶実験(潜在記憶) 6. 記憶実験(虚偽記憶) 7. 記憶実験(文脈依存効果) 8. 記憶実験(自己関連記憶) 9. 思考と問題解決(確率判断) 10. 思考と問題解決(Wason課題) 11. 実験計画の作成と検討 12. 実験実施上の問題 13. 結果の集計と整理 14. レポートの作成 15. まとめ | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 |
| 教科書 1 | 使用しない。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | NO. | PS-PS-3-406 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | AL |
| テーマと到達目標 | 先行研究の検索、統計処理・分析方法の習得も進めつつ、各自が関心をもっている心理学領域の中でテーマをしぼり、研究の目的を明確にすることができる。研究方法を決定し、次年度の研究実施に向けて、具体的な準備を進めることができるようになる。 | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文・研究のテーマにしたい領域・分野の文献を検索し、読み進めていく。その中で、研究方法や統計処理方法についても学び、データ収集から、処理に関する技法も獲得する。 3年次中に具体的な調査内容・対象・実施方法を検討して、4年次初めに実施できるよう準備を進めていく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。 発表担当時のレポート・プレゼン、討議における積極性、ゼミへの参加姿勢も重視する。 おおむね、担当時の発表準備・資料・プレゼン60%、討議における発言・積極性40%で評価する。評価については、随時検討しフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。遅刻・欠席する際には、必ず連絡すること。 ゼミの準備、資料の検索・印刷等、それぞれ各自が責任をもって行うこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分が関心をもっているテーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。3時間以上は必要である。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限 研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 研究テーマの検討 3. 研究テーマの絞り込み 4. 研究倫理:参加者への説明 5. 研究倫理:結果のフィードバック 6. 質問紙の検討 7. 質問紙作成の方法 8. 質問紙のブラッシュアップ 9. データの分析:欠損値 10. データの入力方法 11. データの入力ミス防止 12. 調査の実施 13. データ入力 14. 記述統計について 15. まとめと今後の計画 | | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 |
| 教科書 1 | 心理学論文の書き方ーおいしい論文のレシピ 著者:都筑学 出版社:有斐閣アルマ | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|------------|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-3-406 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 3年次終了までに、卒業論文・研究テーマ・研究方法を決定し、次年度の研究実施に向けて準備を進めることが目標である。先行研究の検索・熟読、統計処理・分析方法の習得も進めつつ、各自が関心をもっている心理学領域の中でテーマをしぼり、研究の目的・意義、研究方法を見出していく。 | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文・研究のテーマにしたい領域・分野の文献を検索し、読み進めていく。その中で、研究方法や統計処理方法についても学び、データ収集から、処理に関する技法も獲得する。 アンケートによる調査研究を行う場合は、3年次中に具体的な内容・対象・実施方法を検討してアンケートを作成し、4年次初めに実施できるよう準備を進めていく。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校のスクールカウンセラー・心理教育、心理相談室および公的機関でのカウンセリング・心理検査等)がある教員が担当する。演習を通して臨床心理に関する実践研究に必要な知識や実践方法を習得し、実際の臨床活動にも参加していく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。 発表担当時のレポート・プレゼン、討議における積極性、ゼミへの参加姿勢も重視する。 おおむね、担当時の発表準備・資料・プレゼン60%、討議における発言・積極性40%で評価する。発表・プレゼン・研究の進捗状況については、随時検討しフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。遅刻・欠席する際には、必ず連絡すること。学期始めに指定した曜日・時限以外にもゼミを行う場合があるので注意すること。 ゼミの準備、資料の検索・印刷等、分担しながら積極的に行うこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分が関心をもっているテーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。 論文検索・熟読、レジュメ作成等に、毎回2時間以上を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 その他の時間に相談や指導を希望する場合は、その都度連絡を取り予約すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 卒業論文・研究テーマの検討 3. 先行研究の検索 4. 先行研究の紹介 5. 先行研究紹介・発表 6. 実践研究の内容検討 7. 実践研究の実施計画作成 8. 効果測定方法の検討 9. アンケート作成 10. アンケート分析方法の検討 11. 実践研究の準備 12. 実践研究のリハーサル 13. 論文紹介・発表 14. 研究テーマ・研究方法の検討 15. 卒業論文・研究計画の作成 | 全回、演習・発表形式 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | |
| 教科書 1 | 教科書は指定しない。各自の研究に関連する文献を随時検索し、読んでいく。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-3-406 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 青年期・成人期における発達過程の理解をテーマとし(ただし、各年度ごとに新たなテーマを加えることもある)、発達課題や臨床的問題についての知識を獲得できることが到達目標である。また基礎的な心理査定についての学習と技術の修得、論文の読み方や書き方などを身に付けられるようになることも到達目標である。 | | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理臨床についての文献を輪読し、発表してもらう。 2. 基礎的な面接技法・心理査定について学習する。 3. 卒論作成に向け、論文の読み方や書き方などを学習する。 4. 心理学検定の受検を薦めており、その内容についての学習。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 発表やディスカッションへの参加(80%)、レポート等(20%)を総合的に評価する。レポートは授業時間内にフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須。発表やディスカッションへの積極的な参加を望む。2年次春期までの、必修科目22単位中16単位を修得していること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業で学習した内容について復習してくること。次回行う内容について、予習しレポートにまとめてくること。予習・復習には1-2時間程度を要する。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、火曜日2時限に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心理査定(1) 3.心理査定(2) 4.卒論計画について 5.文献検索の方法 6.文献輪読「調査系論文の読み方」 (1) 論文と研究 7.文献輪読「調査系論文の読み方」 (2) 心理測定とその方法 8.文献輪読「調査系論文の読み方」 (3) 論文と統計 9.文献輪読「調査系論文の読み方」 (4) 相関係数 10.文献輪読「調査系論文の読み方」(5) 一要因分散分析 11.文献輪読「調査系論文の読み方」(6) 二要因分散分析 12.文献輪読「調査系論文の読み方」(7) 重回帰分析 13. 卒論計画書の書き方 14. 卒論計画の発表 15.まとめ | | | 演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | |
| 教科書 1 | 心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 著者:浦上昌則・脇田貴文 出版社:東京図書 ISBN:978-4-489-02038-4 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-3-406 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】 講義や日常生活の中で気づいた心理学で扱える問題を発見し、心理生理学的手法、実験的手法を用いて、どのようにすれば、その問題を解決できる研究を提案できるのかについて、実際の研究例に数多く触れて理解を深める。</p> <p>【到達目標】 認知心理学、生理心理学領域におけるさまざまな認知活動における問題と、その解決方法に関する発表、ディスカッションを通じて、具体的な認知心理学研究、生理心理学研究を立案・実践するための技能や能力を身につける。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>本講では、心理学演習Ⅰに続き、研究の進め方、まとめ方を実践的に学び、テーマに合った適切な資料を適切に分析したり、要約する段階に焦点をあてる。認知心理学研究、生理心理学研究領域におけるさまざまな研究例を通して問題解決の過程と結果をわかりやすく発表できるようになる。検討する対象となる研究は、学術雑誌に掲載された論文、教員が実施している研究、受講生自身が興味を持っている認知心理学、心理生理学領域のテーマを扱った研究などである。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>学修態度(減点法)、発表の内容(50%)、ディスカッションへの参加度(50%)の合計点により総合的に評価する。課題のフィードバックは、毎回の講義前に行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>心理学演習Ⅰ・Ⅱは、卒業研究の土台となる重要な科目である。積極的に研究に取り組むこと。日頃から、心理学で扱える問題に注意を向け、見聞を深めることを予習・復習時間(各2時間)に充てること。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>本講は、授業時間以外での学修が非常に重要である。講義で学んだ内容について理解を深めるために復習(2時間)を行い、教員が行う研究に積極的に参加することで、学修効果も上がり、より実践的に学ぶことが可能となる。また、興味のあるテーマについて、積極的に情報を収集することを予習(2時間)として行うことで、討議への参加度の増大にもつながる。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | (1) 研究事例報告と研究課題の発表(発表者1) (2) 研究事例報告と研究課題の発表(発表者2) (3) 研究事例報告と研究課題の発表(発表者3) (4) 研究課題と研究構想の発表(発表者1) (5) 研究課題と研究構想の発表(発表者2) (6) 研究課題と研究構想の発表(発表者3) (7) 研究計画の発表(発表者1) (8) 研究計画の発表(発表者2) (9) 研究計画の発表(発表者3) (10) 研究計画書の作成(発表者1) (11) 研究計画書の作成(発表者2) (12) 研究計画書の作成(発表者3) (13) 研究計画のまとめ(発表者1) (14) 研究計画のまとめ(発表者2) (15) 研究計画のまとめ(発表者3) | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | |
| 教科書1 | 必要に応じて、適宜指示する。 | | | | | | | |
| 教科書2 | | | | | | | | |
| 参考書1 | | | | | | | | |
| 参考書2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-406 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の作成への第二ステップであり、各ゼミ生の関心に沿った心理学的問題をゼミ参加者相互の議論を通じて深化させることがテーマである。 心理学的問題の所在、研究の目的・意義等を明確化し、各自の研究テーマを絞り込んでいくことを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 関心のあるテーマについての先行研究の発表をもとにディスカッションをおこなう。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(30%)および課題への取り組み等(70%)を総合評価する。課題については、適宜フィードバックをおこなう。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は必須とする。 発表や討議、演習などに積極的に参加すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習(2時間程度)として、先行研究を調べ、その内容をまとめた上で、わからない点や疑問点を調べること。 復習(2時間程度)として、授業内容の振り返りをおこなうこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 関連研究の発表(学生1) 3. 関連研究の検討(学生1) 4. 関連研究の発表(学生2) 5. 関連研究の検討(学生2) 6. 関連研究の発表(学生3) 7. 関連研究の検討(学生3) 8. 研究テーマの検討(学生1) 9. 研究テーマの検討(学生2) 10. 研究テーマの検討(学生3) 11. 研究計画の立て方 12. 研究計画の構想発表(学生1) 13. 研究計画の構想発表(学生2) 14. 研究計画の構想発表(学生3) 15. 次年度に向けて | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | |
| 教科書 1 | プリントを配布する。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----|--|---|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 心理実習 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 津川 秀夫、藤原 直子、土居 正人、藤吉 晴美、村上 勝典、宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-3-409 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 45 | 授業形態 | 実習 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働、の5分野における見学等による実習を行いながら、(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、(イ)多職種連携及び地域連携、(ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務、について理解する。</p> <p>到達目標:実習生としての基本的な態度を身につけるとともに、上記の(ア)(イ)(ウ)の基礎を理解することができる。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働、の5分野における見学実習や事前事後学習、学内外の講師による授業等を通して、公認心理師に求められる知識や技能等をはじめとして、基本的な実習態度、実習記録のつけ方、当該施設やその利用者についての知識、指導者への連絡や報告の仕方等について理解を深める。</p> <p>〈実務経験のある教員による授業科目〉</p> <p>この科目では、保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働、の5分野において実務経験のある実習指導者が指導する。また、実習前後の指導については実務経験のある学内の教員が担当する。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>規定の出席や外部実習参加を前提として、参加態度(50%)とレポート(50%)により評価を行う。</p> <p>レポート課題として、(1)学内外の講師による講義のまとめ、(2)実習記録、(3)事前・事後学習、(4)実習全体の振り返り、の4種を課す。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>〈履修条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、2年次秋学期までのGPAが2.0以上であること。 公認心理師資格の取得希望者は必ず履修すること。 <p>〈注意事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、すべての実習施設に行くことが求められる。ただし、正当な理由がある場合(医療費の領収書などの提出が必要)には、1か所の欠席(2時間分)までは許容する。 学外実習は正規の時間外に行うこともあるので、連絡事項に注意しておくこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習として、次回行う内容・実習施設について資料収集し、下調べをしてくること。(2時間)</p> <p>授業中・実習中にノートにまとめた内容について報告書を作成すること。(2時間)</p> | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 担当教員の各研究室にて「何でも相談時間」に対応します。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| (1)オリエンテーション (2)実習心得 (3)新型コロナウイルス対策 (4)不登校への支援(外部講師) (5)事前指導(教育) (6)総社市ふれあい教室 (7)家庭裁判所(外部講師) (8)事前指導(司法犯罪) (9)岡山少年鑑別所(外部講師) (10)療育施設(外部講師) (11)老人福祉施設(外部講師) (12)岡山県総合教育センター (13)四ツ葉会(外部講師) (14)事後指導 (15)事前指導(福祉・教育) | | | 演習 演習 演習 演習 実習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 全員 全員 藤吉 村上 津川 津川 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 宇都宮 土居 村上 全員 全員 | | | | | |
| 教科書 1 | 教科書は使用しない。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|--|------|-------------|
| 授業科目名 | 心理実習Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫、藤原 直子、土居 正人、藤吉 晴美、村上 勝典、宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-3-410 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 45 | 授業形態 | 実習 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働、の5分野における見学等による実習を行いながら、(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、(イ)多職種連携及び地域連携、(ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務、について理解する。</p> <p>到達目標:実習生としての基本的な態度を身につけるとともに、上記の(ア)(イ)(ウ)の基礎を理解することができる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>福保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働、の5分野における見学実習や事前事後学習、学内外の講師による授業等を通して、公認心理師に求められる知識や技能等をはじめとして、基本的な実習態度、実習記録のつけ方、当該施設やその利用者についての知識、指導者への連絡や報告の仕方等について理解を深める。</p> <p>〈実務経験のある教員による授業科目〉</p> <p>この科目では、保健医療、福祉、教育、司法犯罪、産業労働、の5分野において実務経験のある実習指導者が指導する。また、実習前後の指導については実務経験のある学内の教員が担当する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>規定の出席や外部実習参加を前提として、参加態度(50%)とレポート(50%)により評価を行う。</p> <p>レポート課題として、(1)学内外の講師による講義のまとめ、(2)実習記録、(3)事前・事後学習、(4)実習全体の振り返り、の4種を課す。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>〈履修条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、2年次秋学期までのGPAが2.0以上であること。 原則として、「心理実習Ⅰ」の単位を取得済みであること。 公認心理師資格の取得希望者は必ず履修すること。 <p>〈注意事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、すべての実習施設に行くことが求められる。ただし、正当な理由がある場合(医療費の領収書などの提出が必要)には、1か所の欠席(2時間分)までは許容する。 学外実習は正規の時間外に行うこともあるので、連絡事項には注意しておくこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習として、次回行う内容・実習施設について資料収集し、下調べをしてくること。(2時間)</p> <p>授業中・実習中にノートにまとめた内容について報告書を作成すること。(2時間)</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 担当教員の研究室にて、「何でも相談時間」に対応する。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | (1) オリエンテーション (2) グリーンヒル順正 (3) 実習事前指導(司法犯罪) (4) 岡山少年院 (5) 心理相談室 (6) 実習事前指導(福祉) (7) 津島児童学院 (8) 四ツ葉会 (9) 実習事後指導(福祉) (10) 実習事前指導(医療) (11) たいようの丘ホスピタル (12) 鶴山塾 (13) 万成病院 (14) 実習事前指導(産業) (15) 障害者職業リハビリセンター | 演習 実習 演習 実習 実習 演習 実習 実習 演習 演習 実習 実習 実習 演習 実習 | 全員 宇都宮 藤原 津川 宇都宮・村上 宇都宮 村上 宇都宮・村上 津川 土居 津川 藤吉 藤吉 | | |
| 教科書 1 | テキストは使用しない。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 外書講読 I | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-3-411 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】英語の文献講読を通して、心理学領域における方法論および論点について理解する。 【到達目標】近々の心理学における英語の文献を読み、新しいトピックスに触れることで、自分なりの問題意識や興味を深める。</p> | | | | | | |
| 概要 | 本講では、2017年/2016年発行の学術専門誌「心理学研究, 生理心理学と精神生理学, 認知心理学研究, 基礎心理学研究, 健康心理学研究, 発達心理学研究, 教育心理学研究, 他」の英文アブストラクトを講読し、内容について発表・ディスカッションを行う。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法), 授業時に提出する課題(25%), ディスカッションへの参加度(25%), 試験の得点(50%)の合計点により総合的に評価する。課題のフィードバックについては、毎回の講義前に行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 英語の文献を読む為、ある程度の英語力が必要である。英語が苦手な学生については、十分考えた上で履修すること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。辞書を準備すること(電子辞書不可)。辞書を購入する場合は、参考図書に挙げている辞書を推奨する。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の課題の指示をするので、予め和訳をし、内容について理解すること(2時間)。復習については、授業時の内容を理解し、さらに興味を持った場合は、文献の本文を読み見聞を広げること(2時間)。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | (1)OR/文献の検索の仕方 (2) 英文アブストラクトの読解 (基本) 領域A (3) 英文アブストラクトの読解 (基本) 領域B (4) 英文アブストラクトの読解(基本) 領域C (5) 英文アブストラクトの読解 (基本) 領域D (6) 英文アブストラクトの読解 (初級) 領域A (7) 英文アブストラクトの読解 (初級) 領域B (8) 単語小テスト (9) 英文アブストラクトの読解 (初級) 領域D (10) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域A (11) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域B (12) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域C (13) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域D (14) 英文アブストラクトの読解 (上級) 領域A (15) 単語小テスト (16) 定期試験 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 |
| 教科書 1 | 教科書等は使用しません。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 英和中辞典 プログレッシブ 第5版 著者:瀬戸賢一・投野由紀夫 出版社:小学館 ISBN:978-4-09-510205-4 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

Syllabus

心理学部

心理学科

2018 年度入学生

吉備国際大学

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 心理学概論 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-1-101 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】行動(心の働き)と環境との関わり、つまりヒトが環境に「適応する」とはどのようなことなのか、について、感覚、知覚、記憶、学習の観点から理解する。</p> <p>【到達目標】人間の行動(心の働き)には、環境が大きな影響を与える。そのため、学生は人間がどのように外界からの情報を取り入れ、適応行動を行っていくのかについての理解を深めることができる。</p> | | | | | | |
| 概要 | 本講では、人間が自分を取り巻く環境からさまざまな情報を取り入れ、蓄積し、また多くの経験を積みながら、置かれた環境に適応していく。我々は、錯覚などを含めて外界をどのように捉えるのか、また、その情報をどのように記憶したり、忘却したりするのか、さらにそれらをもとにどのように適応行動を行っていくのかについて講義する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の講義内容について指示をするので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げること(2時間)。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| (1) OR/心理学とは (2) 心理学の課題と研究方法 (3) 感覚と知覚(外界を捉える) (4) 感覚と知覚(知覚と認知) (5) さまざまな知覚(視覚の不思議) (6) さまざまな知覚(感覚器官の性質) (7) 記憶とは (8) 記憶のしくみ(感覚記憶) (9) 記憶のしくみ(短期記憶) (10) 記憶のしくみ(長期記憶) (11) 記憶術の原理 (12) 学習の基本原則(古典的条件づけ) (13) 学習の基本原則(道具的条件づけ) (14) 認知学習 (15) 学習原理の応用 (16) 定期試験 | | 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | | | | |
| 教科書 1 | 配布資料 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学の基礎 四訂版 著者:今田寛, 宮田洋, 賀集寛 共編 出版社:培風館 ISBN:4-563-05670-7 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学概論Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-1-102 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 多様な心理学分野の中で、時間の経過にともなって発達していく心理過程、また、心理社会的枠組みの拡大にともなって成長していく心理構造を理解するのがテーマである。講義内容の6割以上が理解できるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 心理学分野は多様である。そのうち、ヒトとして生まれて、一人の人間として心理的な発達を遂げる過程を理解する。そして、人間社会の中で社会的に成長していく際の他者や社会的枠組みについても理解を深める。このように、時間軸に沿って、また心理社会的枠組みの拡大に沿って、深化・拡大していく心理過程について理解を深めることによって、教職免許履修の基礎と心理学的基礎が確立できる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験60点。予習・復習の証拠となる課題、レポート40点。計100点で評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回出席するのは当然のこと。私語・飲食厳禁。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについては返却する)。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | ①オリエンテーション ②環境と遺伝 ③誕生から青年へ ④生涯発達 ⑤パーソナリティ・性格・気質 ⑥パーソナリティ理論 ⑦モチベーション ⑧諸種の動機 ⑨知能 ⑩心理学における検査 ⑪脳と心 ⑫心の不調 ⑬適応の機制 ⑭ストレスの心理 ⑮健康心理 ⑯定期試験 | | | 説明 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | |
| 教科書 1 | 蘇りの心理学通論 著者:三宅俊治(著) 出版社:中央公論事業出版 ISBN:ISBNH978-89514-507-7 C3011 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 子どもの心理発達 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-1-103 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 系統発生的な視点を取り入れながら、とくに子ども期に焦点を当て、ヒト・人間の発達・発生をとらえることをテーマとし、動物としてのヒト発達の特殊性や共通性を知り、発達心理学の幅広い知識を習得するとともに、心理学的な考え方を理解することを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 系統発生的な観点をふまえつつ、ヒトの特殊性を学ぶとともに、個体発生的な観点からは、胎児期から思春期に至る人間の行動や心的機能の発生、発達、成熟過程等の変化について学習する。また、人間のもつ諸機能の発達を相互関連的に理解し、それぞれの発達段階における発達の遅れやつまずきなどの問題についても学習する。 生涯発達の心理学を念頭に置きつつも、ここでは子どもの時期に焦点を当て、個々の心的機能・問題について多面的に概説していく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 小テスト(30%)、定期試験(70%)の結果に受講態度を勘案し総合的に評価する。つまり、テストで満点であっても受講態度が悪いと、不可ということもある。小テストは採点后、フィードバックとして返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 人間の発達の理解を深めるために真剣に学習に取り組むこと。 頻繁に、小テストを行うので、最低限、教科書の当該箇所は精読し、予習・復習を怠ることのないようつとめること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習:テキストの該当箇所の精読。(2時間) 復習:テキストとともに、講義中に配付する資料と返却された小テスト結果を中心に復習すること。(2時間) | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜4限 教員研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 発達における生物学的基盤 3. 胎児にできること 4. 新生児の見る世界、聴く世界 5. 発達初期の不思議 6. 母子相互作用を促進する仕組み 7. 愛着形成と親子関係 8. 愛着関係に影響する要因 9. 愛着剥奪の事例 10. 幼児期の認知発達 11. 遊びと認知発達 12. 遊びと仲間関係 13. ことばの前のことば 14. ことばの発達 15. まとめ 16. 試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | |
| 教科書 1 | 乳幼児のこころ 著者:遠藤・佐久間・徳田・野田 出版社:有斐閣 ISBN:978-4-641-12429-5 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 幼児心理学への招待 [改訂版] 著者:内田伸子 出版社:サイエンス社 ISBN:978-4781911823 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------------------------|--|------|-------|---------|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 心理学実験 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠、村上 勝典 | | | | NO. | PS-PS-2-201 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ:心的活動を客観的に捉える実験の方法の修得】 実験計画(変数の設定, 条件操作の方法等)の立て方, および実験器具の操作法を修得する。</p> <p>【到達目標:実験レポート作成方法の修得】 得られた量的, 質的データを統計的に処理することができるようになるとともに, 行った実験の目的, 方法, 結果, そしてそれについての考察をレポートにまとめることができるようになる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>【概要】ヒトの心理現象の科学的理解を目指す実験的手法を学ぶために, 基礎的な心理学実験を行う。 グループはランダムに選択される。基本的に, 実験者と実験参加者の両方を経験する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>実験レポート(70%), 受講態度(30%)で評価する。各課題ごとに課されるレポート(再提出も含む)を全て提出しなければ, その期の単位は認定不可とする。レポートに不備がある場合は返却し、フィードバックを行う。そして、再提出をすること。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>実験実習はグループで行うため, 欠席をすると同じグループの仲間に多大な迷惑をかけることになる。よって, 原則として, 遅刻・欠席は認めない。やむを得ず遅刻・欠席をする場合は, 必ず講義開始までに担当教員に連絡すること。 無断で欠席をした場合は, 当該課題は不可となることがあるので十分気を付けること。学外試合・病気などで欠席をする際は, 欠席願・診断書等を必ず提出すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>提出された実験レポートはコメントをつけて返却するが, 再提出を求めることもある。 各課題の内容をしっかりと把握する意味でも予習・復習・レポート作成(合計4時間以上)をしっかりと行うこと。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>橋本:月曜5限(橋本研究室) 村上:水曜1限(村上研究室)</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション、ミューラー・リアー:理論・実習 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 2.ミューラー・リアーの錯視:解説 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 3.ミューラー・リアーの錯視:ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 4.ミューラー・リアーの錯視:解説・ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 5.ミューラー・リアーの錯視:フィードバック | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 6.触2点域の測定:理論・実習 | | | | | | | |
| 7.触2点域の測定:解説 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 8.触2点域の測定:ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 9.触2点域の測定:解説・ピアレビュー | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 10.触2点域の測定:フィードバック | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 11.重量弁別:理論・実習 | | | | | | | |
| 12.重量弁別:実習 | | 実習 | 橋本・村上 | | | | |
| 13.重量弁別:解説 | | | | | | | |
| 14.重量弁別:ピアレビュー | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| 15.重量弁別:フィードバック | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| レポート(各单元ごと計3回) | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | 実習 | 村上・橋本 | | | | |
| | | レポート | 橋本・村上 | | | | |
| 教科書 1 | <p>心理学のための実験マニュアルー入門から発展へー 著者:利島保・生和秀敏 出版社:北大路書房 ISBN:4-7628-0186-0</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|--|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理学実験Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 森井 康幸、橋本 翠、村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-2-202 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ:心的活動を客観的に捉える実験的方法の修得】 実験計画(変数の設定, 条件操作の方法等)の立て方, および実験器具の操作法を修得する。</p> <p>【到達目標:実験レポート作成方法の修得】 得られた量的, 質的データを統計的に処理することができるようになるとともに, 行った実験の目的, 方法, 結果, そしてそれについての考察をレポートにまとめることができるようになる。</p> | | | | | | |
| 概要 | ヒトの心理現象の科学的理解を目指す実験的手法を学ぶために, 基礎的な心理学実験を行う。 基本的に, 実験者と実験参加者の両方を経験する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 実験レポート(70%), 受講態度(30%)で評価する。各課題ごとに課されるレポートを全て提出しなければ(再提出を含む), その期の単位は認定不可とする。レポートに不備がある場合は返却し、フィードバックを行う。そして、再提出をすること。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 実験実習はグループで行うため, 欠席をすると同じグループの仲間に多大な迷惑をかけることになる。よって, 原則として, 遅刻・欠席は認めない。やむを得ず遅刻・欠席をする場合は, 必ず講義開始までに担当教員に連絡すること。 無断で欠席をした場合は, 当該課題は不可となるので十分気を付けること。 学外試合・病気などで欠席をする際は, 欠席願・診断書等を必ず提出すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 提出された実験レポートはコメントをつけて返却するが, 再提出を求めることもある。 各課題の内容をしっかりと把握する意味でも予習・復習・レポート作成(合計4時間以上)をしっかりと行うこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 各実験の担当者の個人研究室にて実施。 森井:月曜日の3時間目、 橋本:月曜日の5時間目、 村上:水曜日の1時間目 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. OR 2. 鏡映描写:理論・実験 3. 鏡映描写:解説 4. 鏡映描写:ピアレビュー 5. 鏡映描写:解説:ピアレビュー 6. 鏡映描写:フィードバック 7. 認知的葛藤:理論・実習 8. 認知的葛藤:解説 9. 認知的葛藤:ピアレビュー 10. 認知的葛藤:解説およびピアレビュー 11. 認知的葛藤:フィードバック 12. 自由再生:理論 13. 自由再生:理論・実験 14. 自由再生:実験 15. 自由再生:解説 | 講義 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 実習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 村上 村上 村上 村上 村上 村上 森井 森井 森井 | | |
| 教科書 1 | 心理学のための実験マニュアルー入門から基礎・発展へー 著者:利島保・生和秀敏 出版社:北大路書房 ISBN:4-7628-0186-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 心理学研究法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-2-203 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 心理学研究を行う際の理念及び操作がテーマである。参加学生は、先行研究の概観と問題点の発見・その問題に見合ったデータ収集・データ分析・結果の表示・考察等々の方法論一般を理解できる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 研究を進めていく際の、目的・方法・結果・考察などの一連の論理性や整合性、意識や行動を分析するためのデータの収集法、具体的には、実験、調査、観察、検査などについて、その特徴や問題点を客観的な視点から講義する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてず、さらに減点する。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| ①オリエンテーション ②科学としての心理学 ③心理学研究法の分類 ④観察法とは ⑤観察法の特徴とその進め方 ⑥観察法を用いた研究例 ⑦観察データの信頼性と妥当性 ⑧調査法 ⑨相関・共変・因果関係 ⑩質問紙法と心理尺度 ⑪調査法を用いた研究例の紹介 ⑫心理実験とは ⑬無作為割り当て ⑭条件統制 ⑮要因デザイン ⑯定期試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | | | | | |
| 教科書 1 | Progress & Application 心理学研究法 著者:村井 潤一郎(編著) 出版社:サイエンス社 ISBN:ISBN978-4-7819-1307-0 C-3311 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学研究法Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-2-204 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>「心理学の研究法を学ぶ」をテーマとして、特に面接法に関する知識を身に付ける。 到達目標は、支援・介入的実践活動の理論的基盤である臨床心理学的研究の実際と手法を学び、卒論レベルの研究において適用可能な能力を身に付けることである。また、心理学の研究についての基礎的な内容を学習し、心理学実験実習Ⅰ・Ⅱのレポート作成や卒業論文の作成に活かせる知識を身に付けることである。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>心理学の研究法についての基礎的な内容を紹介する。具体的には、面接法について紹介し、体験を通じた授業をおこなう。また、論文の書き方や分析方法についても扱う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>テーマ「こころと行動の仕組みや働きに関する実証的な研究法を理解する」の到達度について、知識をはかるために、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)と試験(60%)を合計して総合評価する。 なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予習(2時間程度)として、教科書を読み、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。 復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 面接法とは 3. 調査的面接法の分類 4. 調査的面接法の留意点 5. 調査的面接法のプロセス 6. 量的データの分析 7. 質的データの分析 8. KJ法(1):概要 9. KJ法(2):実施 10. 論文の構成 11. 問題・目的の立て方 12. 研究方法とデータの集計 13. 統計(1):変数間の比較 14. 統計(2):変数間の関連 15. 統計(3):多変量解析 16. 期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | |
| 教科書 1 | 『心理学研究法』 著者:村井潤一郎(編) 出版社:サイエンス社 ISBN:978-4-7819-1307-0 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理学統計法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-2-205 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】こころと行動の仕組みや働きを数量的に把握し、そのデータを統計的分析により理解できるようになることである。 【到達目標】心理学的研究によって得られたデータを統計的に分析し、説明できる。 | | | | | | |
| 概要 | 【概要】心理学(行動科学)における、測定値を適切に取り扱う知識が必要不可欠である。本講義では、まず測定値の取り扱いの基礎としての度数分布の考え方、代表値としての平均値等の概念を理解することから始め、直線相関、直線回帰に至る統計学の基礎を学習する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(90%)で評価する。講義中の小テストや課題の取り組み状況、積極的な態度により加点を行う(10%)。小テストによって、課題のフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業の後半に復習小テストを行う。本講義は各回の知識の積み重ねになるので、絶対に欠席をしないこと。また、実際に計算等を行うので、簡単な電卓(加減乗除、ルート計算が出来るもの)を持参のこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 教科書・ノートの当該箇所を予習しておくこと。講義後には、小テストの結果を見ながら復習をし、理解出来なかった内容の確認をしておくこと。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間行うこと。最終的には、教科書を10回読むこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1. オリエンテーション 2. 数学の基礎 3. データとは 4. ヒストグラム 5. 平均値, 中央値, 最頻値 6. 散布度 7. 標準化 8. 散布図 9. 共分散について 10. 共分散の計算 11. 相関について 12. 相関係数の計算 13. クロス集計表と連関係数 14. 推測統計 15. 確率密度 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 認定試験 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | | |
| 教科書 1 | よくわかる心理統計 著者:山田剛史, 村井潤一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:4-623-03999-4 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 心理学統計法Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-2-206 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】こころと行動の仕組みや働きを数量的に把握し、そのデータを統計的分析により理解できるようになることである。</p> <p>【到達目標】心理学的研究によって得られたデータを統計的に分析し、説明できる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | 【概要】心理統計Ⅰで学んだ、記述統計でまとめたデータをもとに母集団の推定、統計的分析について学習する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(90%)で評価する。講義中の小テストや課題の取り組み状況、積極的な態度により加点を行う(10%)。小テストによって、課題のフィードバックを行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業の後半に復習小テストを行う。本講義は各回の知識の積み重ねになるので、絶対に欠席をしないこと。また、実際に計算等を行うので、簡単な電卓(加減乗除、ルート計算が出来るもの)を持参のこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 教科書・ノートの当該箇所を予習しておくこと。講義後には、小テストの結果を見ながら復習をし、理解出来なかった内容の確認をしておくこと。1コマ毎の授業に予習2時間、復習2時間行うこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 統計的仮説検定・確率分布 2. 正規分布とその性質 3. 標準正規分布表について 4. 統計的仮説検定の手順 5. 両側片側検定と2種類の誤り 6. 標準正規分布を用いた検定 7. t分布を用いた検定 8. 相関係数の検定 9. カイ2乗検定:適合度の検定 10. カイ2乗検定:独立性の検定 11. 対応のないt検定 12. 対応のあるt検定 13. 分散分析 14. 多重比較 15. まとめ 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | |
| 教科書 1 | よくわかる心理統計 著者:山田剛史, 村井潤一郎 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:4-623-03999-4 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 生理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-2-212 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】心の働き(行動)のもととなる感覚機能と神経系の機能について理解する。 【到達目標】神経系の機能を知るとともに、心理学を学ぶ上で重要である感覚機能の神経生理学的基礎についての理解を深める。 | | | | | | |
| 概要 | 本講では、人の心を理解する上で重要となる人体についての知識と理解を幅広く深められるよう講義する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、定期試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 なお、欠席については総合点より回数分減点します。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。遅刻および欠席はしないでください。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の講義内容について指示をしますので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げる(2時間)こと。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| (1) OR/人体の構造と機能を学ぶための基礎知識1(人体の構成) (2) 人体の構造と機能を学ぶための基礎知識2(生命現象を支える物理現象と化学的知識) (3) 消化と吸収 (4) 血液 (5) 呼吸 (6) 心臓と血液の循環1(解剖) (7) 心臓と血液の循環2(心周期, 血圧) (8) 尿の生成と体液の調節 (9) 内臓機能の調節1(自立神経, 内分泌, ホルモン) (10) 内臓機能の調節2(内分泌腺) (11) 骨格 (12) 神経系1(感覚器官) (13) 神経系2(中枢神経系) (14) 生体の防御機構 (15) まとめ (16)定期試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | | | | |
| 教科書 1 | イラストで学ぶ生理学 著者:田中越郎 出版社:医学書院 ISBN:4-260-34087-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | イラストで学ぶ解剖学 著者:松村譲児 出版社:医学書院 ISBN:4-260-330007-1 | | | | | | |
| 参考書 2 | 人体の構造と機能 著者:坂井建雄・岡田隆夫 出版社:放送大学教育振興会 ISBN:978-4-595-31869-6 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|------|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 心理学史 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-2-213 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 19Cに哲学から独立した心理学の発展の経過をたどり、多様な心理学の根幹を理解するのがテーマである。心理学の成立の貢献してきた人物、方法論、科学観などの知見の6割以上を理解できる。 | | | | | | | |
| 概要 | 今日の心理学の基礎を築いてきた意識主義、行動主義、ゲシュタルト心理学、新行動主義、精神分析などを中心に、心理学史に残る著名な心理学者の心理学に対する取り組みやその理念の相互関係を、歴史的、時間的推移の中に位置づけていく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験60点。予習・復習の証拠となる課題、レポート40点。計100点で評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 毎回出席するのは当然のこと。私語・飲食厳禁。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などなどから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | ①オリエンテーション ②心理学が生まれる土壌 一感覚心理学、経験論、精神物理学 ③ヴェントの意識主義心理学 ④19Cのアメリカ心理学 ⑤行動主義 ⑥ゲシュタルト心理学 ⑦新行動主義の台頭、ゲシュタルト心理学のアメリカ心理学への融合 ⑧精神分析 ⑨精神分析からネオ・フロイディアンへ ⑩脳と心の連関 ⑪個人差への注目 ⑫心理検査の開発 ⑬認知心理学の展開 ⑭ヒューマニスティック心理学 ⑮社会心理学の流れ ⑯定期試験 | | | 説明講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 |
| 教科書 1 | 流れを読む心理学史(有斐閣アルマ Basic) 著者:サトウタツヤ・高砂美樹(著) 出版社:有斐閣 ISBN:ISBN 978-4-641-12195-9 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---|--|--|---------|-----|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 心理尺度構成法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-214 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 | |
| テーマと到達目標 | 「尺度構成の手法について理解する」をテーマとして、態度等の主観的データを客観性、再現性のある手法で得るための測定法、得られた測定データに対する処理方法を体得する。 質問紙法の作成方法や統計的手法について説明できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 質問紙法および統計的手法についての基礎的な内容を紹介する。質問紙の作成や統計ソフトを用いた実習を取り入れながらおこなう。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 課題に対する取り組み、小テストおよびレポート課題の結果や定期テストの結果により総合的に評価する。具体的には、課題に対する取り組み(50%)、小テスト(20%)とレポート試験(30%)を合計して総合評価する。 なお、評価のために実施した小テスト等は、授業でフィードバックをおこなう。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 プリントを用いて講義を進めるので、復習しやすいようにファイリングすること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習(2時間程度)として、次回の授業計画の内容について調べ、理解できない点をまとめて授業に臨むこと。 復習(2時間程度)として、授業の内容をノートに取り、それを読み返すこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 質問紙法とは 3. 質問紙作成の留意点 4. 質問紙の構成 5. 質問項目の収集方法 6. 質問紙の作成 7. 調査の実施とデータ入力 8. データの整理 9. 因子分析(1):概要 10. 因子分析(2):分析の流れ 11. 因子分析(3):結果の見方 12. 因子分析(4):実施 13. 結果のまとめ方(1):説明 14. 結果のまとめ方(2):作成 15. まとめ 16. レポート試験 | | 講義 講義 講義 講義 実習 実習 実習 実習 講義 実習 実習 実習 講義 実習 講義 実習 講義 レポート | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | | | | | |
| 教科書 1 | プリントを配布する | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 質問紙調査の手順 著者:小塩真司・西口利文(編) 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:978-4-7795-0200-2 | | | | | | | |
| 参考書 2 | 誰も教えてくれなかった因子分析—数式が絶対に出てこない因子分析入門— 著者:松尾太加志・中村知靖(著) 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2251-3 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 社会・集団・家族心理学 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 三宅 俊治 | | | | | NO. | PS-PS-1-305 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 人と人の関係に基づく意識・行動について、社会的・文化的枠組みから理解することをテーマとする。社会心理学の理論や術語について理解できる。「中学校・社会・教員免許」、「高等学校・公民・教員免許」の取得の基礎となる社会心理学的所見を理解することができる。授業の理解度が、講義内容の6割以上に達することが、到達目標である。 | | | | | | | | |
| 概要 | 人間の生活は、一人では成り立たない。家庭、学校、職場、地域社会などの場面で、他者に影響を与える一方、他者からの影響も受けている。他者との現実の関わりのほか、記憶や想像なども含めて、心理的実在を通して、我々の意識や行動が変化することはよく知られている。社会的動機、社会的認知、社会的態度、集団、コミュニケーション等を通して人と人の相互関係を理解する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。提出物については、翌週もしくは翌々週までに返却・フィード・バックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてず、さらに減点する。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| ①オリエンテーション ②社会心理学とは何か ③現代社会心理学史及び対象 ④社会的動機 ⑤社会的環境の認知 ⑥自己と対人行動 ⑦対人関係の認知 ⑧対人魅力 ⑨社会的態度 ⑩集団 ⑪同調 ⑫リーダーシップ ⑬コミュニケーション ⑭非言語的コミュニケーション ⑮組織論 ⑯定期試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 | | | | | |
| 教科書 1 | 蘇りの心理学通論 著者:三宅俊治(著) 出版社:中央公論事業出版 ISBN:ISBN978-4-89514-507-7 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 社会・集団・家族心理学Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-306 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>家族システムや対人間の相互作用をテーマとする。 家族や集団に起こりうるさまざまな問題をシステムや相互作用という視座から理解できることを到達目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>問題・症状を人の「中」に帰属するのではなく、人と人との「間」から諸々の現象を捉える視点を養う。人と人との「間」において問題・症状が起こり、また、人と人との「間」において変化や解決も生じる。この講義では、関係性や相互作用の視座から、問題の生成と変化について学ぶ。 実務経験: 家族療法やブリーフセラピーの心理臨床経験を有する教員が、家族支援の実際を踏まえて授業を行う。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>規定の出席を前提として、試験(80%)、レポート(10%)、受講態度(10%)により評価する。レポート課題については授業中にフィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>家族心理学は、従来の心理学ではなく、システム論に由来する理論や概念が多い。システム論独特の視座や概念に慣れるためにも、特に前半の授業にはしっかりとついてくることを期待する。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>指定テキストの該当章を読んだ上で授業に参加すること。予習復習にそれぞれ2時間以上を確保してほしい。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜日3時限、個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1 オリエンテーション 2 システム論 3 ジェノグラム 4 家族の発達段階 5 構造派 6 構造派の介入 7 構造派の事例 8 ダブルバインド 9 コミュニケーションの公理 10 MRI 11 MRIの介入 12 MRIの事例 13 ブリーフセラピー 14 解決志向ブリーフセラピー 15 ブリーフセラピーの事例 16 試験 | | | | 講義 講義 AL 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 AL 筆記試験 | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 |
| 教科書 1 | <p>家族療法入門:システムズアプローチの理論と実際 著者:遊佐安一郎 出版社:星和書店 ISBN:4791100956</p> | | | | | | | |
| 教科書 2 | <p>公認心理師の基礎と実践 11巻 社会・集団・家族心理学 著者:竹村和久 出版社:遠見書房 ISBN:4833160683</p> | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 発達心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-1-307 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 様々な視点から人間の発達過程について学習する。具体的には、胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期のそれぞれにおける発達の様相や発達課題について学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、その問題に対する心理的援助についても考察を深める。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価は、受講態度(10%)、小テスト・レポート(30%)、期末試験(60%)とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須であるので欠席をしないこと。積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として次回の内容について教科書を読んてくること。授業で習い、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、90分程度を要する。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、火曜日4時限に実施。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.ライフサイクルについて 3.胎児期 4.新生児期 5.乳児期-愛着の形成- 6.乳児期-言葉の発達- 7.幼児期-表象の獲得- 8.幼児期-社会性の発達- 9.児童期-有能感と劣等感- 10.児童期-学校への適応・いじめ- 11.青年期前期 12.青年期後期 13.青年期の病理 14.成人期 15.まとめ 16.期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | | | | | |
| 教科書 1 | よくわかる発達心理学 著者:無藤隆・岡本祐子・大坪治彦(編) 出版社:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-05379-7 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 社会福祉原論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 石田 敦 | | | | | NO. | PS-PS-1-308 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ 心理学を学ぶ学生が、社会福祉の基本的な内容を理解できる。</p> <p>到達目標 心理学を学んだ学生が、社会福祉専門職と協働して活躍するために必要な知識の獲得ができる。</p> | | | | | | | |
| 概要 | 心理学を学んだ学生が、将来、福祉分野で活躍する際に必要な社会福祉の知識の獲得を目指して講義を行う。具体的には、①心理学生が社会福祉を学ぶ意味、②心理学生から見た社会福祉学とは何か、③心理専門職と福祉専門職の連携協働のあり方について学修する。そのため、社会福祉学に関する深い知識を獲得するというよりは、連携・協働に必要な知識の獲得に重点を置く。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度20%(①居眠りやスマートホンの操作等がなく、積極的受講態度であるか、②講義に必要な資料を持参しているか)、リアクションペーパー30%(記述内容を0～2点で点数化する)、レポート試験50%を総合して評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストとして毎時間配布する資料とともにリアクションペーパーをファイルに保管し、毎回の講義に持参すること。なお、リアクションペーパーは、講義終了5分前に記述時間を確保し、その日に学修した内容を振り返らせる。記述内容を0～2点で点数化し、コメントを付して翌週に返却をするので、見直しておくこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくる。また、リアクションペーパーを踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習、復習については、それぞれ2時間ずつ行うこと。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後もしくは質問カードに記載して提出(後日回答) | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1 社会福祉専門職と仕事内容 2 社会福祉に関する基本的理解 3 社会福祉の思想と理論 4 日本の社会福祉(戦前) 5 日本の社会福祉(戦後) 6 海外の社会福祉(戦前) 7 海外の社会福祉(戦後) 8 社会福祉の法律 9 社会福祉に関連する法律 10 社会福祉と関連分野 11 社会福祉の行財政 12 対人支援の過程と方法 13 社会福祉制度の改革 14 日本と海外の社会福祉の動向 15 まとめとレポート課題の提示 | | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 石田 |
| 教科書 1 | テキストとして資料を毎時間配布する。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 学習・言語心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-2-311 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】学習による人の行動の科学的理論を理解することである。 【到達目標】心理学の基礎として、学習・行動理論の代表的な理論と応用方法を理解し、自らの必要性に応じて活用できる。 | | | | | | |
| 概要 | 代表的な学習理論である、古典的条件付け・オペラント条件付け、社会的学習の基礎理論と応用について概説する。学習とは、「活動や訓練あるいは観察の結果として生じた永続的な行動の変容」と定義される。「行動」が条件付けによって獲得されることを理解し、様々な環境要因によって行動が生じることを学ぶ。特に、古典的条件づけとオペラント条件付けについては、具体的な例をあげて理解を深めていく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 単位認定試験(50%)で評価する。講義中の課題の取り組み状況により加点を行う(50%)。各回において小レポートの課題を出す。それに対するフィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業内において課題を出す。また、授業の後半にレポート課題も出す予定である。全時間出席することを原則とする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。プリント・ノートの当該箇所を予習しておくこと。プリントやノートを見ながら予習・復習(合計4時間)をし、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.学習とは 3.学習心理学の歴史 4.古典的条件付け 5.古典的条件付けの手続き 6.ソーンダイクの試行錯誤学習 7.ケーラーの洞察学習 8.ワトソンの行動主義 9.オペラント条件付け 10.強化スケジュール 11.社会的学習理論:模倣学習 12.社会的学習理論:観察学習 13.応用行動分析:ABC分析 14.応用行動分析:行動記録 15.応用行動分析:強化の原理 16.単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 認定試験 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | |
| 教科書 1 | プリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 心理学 新版 著者:無藤隆、森敏昭 出版社:有斐閣 ISBN:ISBN-10: 4641053863 ISBN-13: 978-4641053861 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|---|---|------------|-------------|
| 授業科目名 | 臨床心理学概論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-2-312 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | 臨床心理学とは、人の不適応への援助や、人格的成長を促進する学問である。まず臨床心理学が成立するまでの歴史を理解し、臨床心理学において求められる研究のあり方について学ぶ。これを基盤としながら、不適応、悩み、メンタルヘルス不調、精神障害などの発生機序を知り、これらへの臨床心理学的援助技法の基礎理論を理解する。 | | | | | | |
| 概要 | 臨床心理学の基本モデルとして、臨床心理学の歴史、臨床心理学における研究、チームアプローチについて解説する。続いて臨床心理学の方法では、心理的アプローチと心理社会的アプローチについて解説し、より適応的な方向へ支援することの実際について示していく。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、精神科病院での臨床経験、高等学校でのスクールカウンセリング経験がある教員が担当する。精神科病院でのアセスメントの実際、心理療法の適用の実際など、典型事例を交えながら、具体的に示す。また学校教育における不適応の問題や多職種連携の実際についても触れながら、学生の理解を深める。 | | | | | | |
| 評価方法 | 試験(60%)、小テスト・レポート(20%)、受講態度(20%)とし、総合的に評価する。 小テスト、レポートはコメントをつけて結果をフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさずにおこなうこと。 ・積極的に授業に参加すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習として、教科書をよく読み、理解できない点をまとめたうえで授業をうけること。 ・復習のために授業の内容をノートにとること。ノートの内容と教科書を照らし合わせながら理解を深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜3限 於:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 公認心理師のための臨床心理学 2. 臨床心理学の有用性 3. 臨床心理学の成り立ち 4. 臨床心理学と研究 5. 臨床心理学における見立て 6. 臨床心理学の方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) クライアント中心療法 (2) 精神分析療法 (3) 行動療法 (4) 認知行動療法 (5) 家族療法 (6) コミュニティアプローチ (7) ナラティブアプローチ (8) 日本で生まれた心理療法 14. 疑問点の整理 15. 総括 16. 筆記試験 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義・AL 15. 講義・AL 16. 筆記試験 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 藤吉 9. 藤吉 10. 藤吉 11. 藤吉 12. 藤吉 13. 藤吉 14. 藤吉 15. 藤吉 16. 藤吉 | | |
| 教科書 1 | 臨床心理学概論 著者: 下山晴彦 他監 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08613-9 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|-----|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 心理学的支援法 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-2-313 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>【公認心理師必須科目】 授業のテーマは、心理臨床においてベースとなる基本的な心理療法・心理学的支援法を理解することである。</p> <p>さまざまな理論から展開されている心理療法について、その基本概念や手法の初歩的知識を習得する。 秋学期に開講される「心理的アセスメント」の導入として位置づけられ、基礎となる理論や背景、心理療法の具体的な方法を知識として覚えることを到達目標とする。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>多種多様な心理療法・心理学的支援法の理論と実際について、基礎的な知識を学んでいく。 特に、心理療法の代表的な立場である、精神分析、クライアント中心療法、行動療法を主に取り上げて概観し、その他の心理療法についても学ぶ。また、講義だけでなく、グループ演習や心理療法体験も行い、実際の心理療法を体感しながら理解を深めていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校でのスクールカウンセラー、心理相談室でのカウンセリング等)がある教員が担当する。臨床心理実践において必要な心理療法の理論や技法を、現場の事例も紹介しながら教授していく。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業への取り組みを重視し、授業内の演習や課題、小テストおよび最終試験を総合的に評価する。 成績評価は、おおむね、授業態度20%、演習・課題10%、小テスト20%、最終試験50%とする。講義内の課題や小テストについては、講義内で回答・フィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>グループやペアで行う演習が入るため、積極的に人とかかわりをもつこと。 演習において知り得た個人情報や聴取した内容は、記録に残さず口外しないことを履修条件とする。 以上が厳守できない学生には、退室や履修中止を宣告する場合がある。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する。 ③授業内に実施する小テストの結果をふまえ、未習得部分を復習する。 ②毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習復習に、毎回2時間以上を要する。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション、心理学的支援とは 2. 心理療法の進め方 3. 精神分析の理論 4. 心理療法としての精神分析 5. フロイトからの分派と発展 6. 交流分析 7. クライアント中心療法の理論と技法 8. クライアント中心療法の発展 9. 行動療法の理論と技法 10. 行動療法の技法と応用 11. 認知行動療法の歴史と理論 12. 認知行動療法の技法 13. 家族療法 14. 芸術・表現療法 15. 日本で生まれた心理療法 16. 筆記試験 | | 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義・AL 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | | |
| 教科書 1 | やさしく学べる心理療法の基礎 著者:窪内節子・吉武光世 出版社:培風館 ISBN:978-4-563-05669-8 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|----------------------------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 司法・犯罪心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 田井 靖治 | | | | | NO. | PS-PS-2-314 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>講義のテーマ 犯罪や非行の実態、犯罪者及び被害者の心理過程を学ぶ。</p> <p>到達目標 犯罪心理学の基本的な知識を修得し、犯罪の未然防止や犯罪被害者への支援の取組について知見を身につける。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | 犯罪心理学の歴史的展開や各理論について理解し、また我が国における犯罪や非行の実態を近年の犯罪統計に基づき概観する。そして犯罪の原因の探求、犯罪者の心理や被害者の心理、被害者に対する支援の取組について考察をする。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>受講状況、課題提出および最終試験により評価。</p> <p>成績評価基準:最終試験(60%)、発表・ディスカッションへの参加(20%)、課題提出(20%)</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 課題・復習によく取り組み、発表や質問を積極的にすること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業に臨むにあたっての事前準備(参考書籍の精読等)をしっかりと行う。授業の予習、復習は必ず行うこと。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、教室にて | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 第1回 犯罪心理学とは 第2回 犯罪・非行行動の現状と理解 第3回 犯罪に対して抱く特有の心理 第4回 犯罪の「しろうと理論」とその特徴 第5回 犯罪研究の歴史的展開 第6回 犯罪理論の多面性 第7回 社会・文化的観点からの犯罪観 第8回 社会・文化的要因からの犯罪理論 第9回 個体要因からの犯罪理論 第10回 犯罪と冤罪 第11回 犯罪防止の心理学 第12回 犯罪者の矯正 第13回 被害者の心理 第14回 被害者への支援 第15回 犯罪心理学のこれから 第16回 単位認定試験 | | | 第1回から第15回まで講義 第16回は筆記試験 | 田井 | | | | | |
| 教科書 1 | 教科書なし。適宜プリントを配布 出版社: | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 犯罪心理学 著者:越智 啓太(編集) 出版社:朝倉書店 ISBN:4-2544-52678-4 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | 知っておきたい 最新 犯罪心理学 著者:細江 達郎 出版社:ナツメ社 ISBN:978-4-8163-5350-5 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|------|-----|--|------------|-------------|-----------------------------|-----|
| 授業科目名 | 産業・組織心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 田井 靖治 | | | | | NO. | PS-PS-2-315 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 産業心理学は産業場面における人間の心理や行動を科学的視点から研究する学問である。本講義では、産業心理学のこれまでの研究において得られた理論や成果を理解し考察を深めることを目標とする。また個人と組織間の相互作用の中で生まれる「こころの働き」に重点をおき、人々が幸福に働くことに重要な産業心理学の知識、知見を養うことを目指す。 | | | | | | | | |
| 概要 | 近年の技術革新の進展、産業構造の変化、労働者意識の多様化等に伴う労働移動の増加、職業能力のミスマッチの拡大等、産業界は大きく変貌してきた。そしてそれは職場環境や働く人々の価値観に大きく影響をおよぼしている。こうした状況を踏まえ個人と組織、個人にとっての職業・産業心理について理解し考察をする。なかでもワーク・モチベーション、キャリア発達、コミュニケーションと人間関係、産業カウンセリング等の領域をとりあげ産業場面における人間の心理や行動を明らかにしていく。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 講義出席状況、受講状況及び最終試験により評価する。 成績評価基準:最終試験(60%)、発表・ディスカッションへの参加(20%)、授業態度(40%) | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 課題・復習によく取り組み、発表・質問を積極的にすること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業に臨むにあたっての事前準備(参考書籍の精読、自身のキャリアデザインについて考える等)をしっかりと行う。授業の予習、復習は必ず行うこと。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、教室にて | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | | 1. オリエンテーション 2. 産業心理学とは 3. ワークモチベーション(1) ~動機づけ~ 4. ワークモチベーション(2) ~期待理論~ 5. ワークモチベーション(3) ~コミットメント~ 6. キャリア発達(1) ~キャリアとは~ 7. キャリア発達(2) ~キャリア発達理論~ 8. コミュニケーションと人間関係(1) ~職場集団の特性~ 9. コミュニケーションと人間関係(2) ~職場集団の発達論~ 10. リーダーシップ(1) ~リーダーシップの概念と研究の歴史~ 11. リーダーシップ(2) ~特性アプローチ・行動アプローチ~ 12. 消費行動とマーケティング 13. 職場のストレスとメンタルヘルス 14. 産業カウンセリング 15. まとめ 16. 最終試験 | | | 1~15まで 講義 16 筆記試験 | 田井 |
| 教科書 1 | なし。適宜プリントを配布 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 産業心理学への招待 著者:佐々木土師二(編) 出版社:有斐閣ブックス ISBN:4-641-08562-5 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | よくわかる産業・組織心理学 | | | | | | | | |

著者:山口裕幸／金井篤子(編)
出版社:ミネルヴァ書房
ISBN:978-4-623-04871-7

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 生涯発達心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-2-316 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 本講は、人間の様々な認知機能を理解する上での基礎となる心理学を土台にし、特に、ヒトの発達の原理とともにその過程の法則性、機能および多様性について学び理解することができる。 | | | | | | | |
| 概要 | 胎児期から老年期までの各期における様々な機能の発達について講義する。それぞれの時期で重要となる機能に即した心理学的側面を理解することにより、科学的客観的根拠に基づいた発達心理学視点で生涯を概観するものである。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する理解度テスト(30%)、演習(ディスカッション含)・感想(minutes paper)(10%)、試験の得点(60%)の合計点により総合的に評価する。 なお、欠席については総合点より回数分減点します。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業終了時に理解度テストを行うので、予習をしっかりとやってくること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。理解度テストおよびminutes paperについては、授業開始前に返却し解説を行う。 遅刻は禁じます。課題のフィードバックは、teamsのコメントにて行います。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の講義内容について指示をするので、資料をよく読み、各回の内容について学習(2時間)すること。復習については、授業時に配布する資料を読み、内容を理解し、身近な関連トピックスにも目を向けて見聞を広げること(2時間)。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. OR・生涯発達心理学とは 2. 発達の可塑性 3. 認知発達の基盤① -胎児～0歳児- 4. 認知発達の基盤② -表象の獲得- 5. 他者との関係性のはじまり 6. 子どもの自己発達 7. 児童期までの概観-映画を通して 8. レポートのピアレビュー 9. 認知能力の生涯発達 10. 発達と障がい 11. 関係性の発達①-乳幼児期～児童期- 12. 関係性の発達②-青年期～高齢期- 13. 大人の自己発達 14. 成熟と英知 15. まとめ 16. 筆記試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | |
| 教科書 1 | 生涯発達心理学 著者:鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ 出版社:有斐閣アルマ ISBN:978-4-641-22074-4 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------|---|------|-----|---------|-----|-------------|-------------|
| 授業科目名 | 心理演習Ⅱ(面接) | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-318 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | AL |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ: 心理支援を要する者やその関係者のニーズを把握し、心理的支援をおこなっていくための基礎的知識とスキルを養う。</p> <p>到達目標: ・公認心理師に求められる職業倫理や法的義務について理解する。 ・支援計画を立て、実行できるための基礎的知識とスキルを身につける。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>心理支援を要する者やその関係者のニーズを把握し、心理的支援をおこなっていくための基本的知識やスキルについて、ロールプレイや事例検討を通して修得する。 (実務経験のある教員による授業科目) 精神科心理臨床およびスクールカウンセリング等の経験をもつ教員が授業をおこなう。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 各回ごとに次回の課題を伝えるので、必ず調べて授業に臨むこと。課題提出50%、受講態度30%、小テスト20%で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | (履修条件) I(面接)の単位を取得済みであること。 (注意事項) ・実技演習を伴う授業のため、毎回の出席を原則とする。 | | | | | ・原則として、心理演習 | |
| 自己学習 | 心理演習Ⅰ(面接)で学んだ心理支援の基礎について復習しておくこと。指定テキストについては早めに読み進めておくこと。予習・復習に3時間以上の学修を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日4時限 個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション | | AL | 津川 | | | | |
| 2. 心理支援の基本指針 | | AL | 津川 | | | | |
| 3. 話の聴き方 | | AL | 津川 | | | | |
| 4. 情報収集:問題パターン | | AL | 津川 | | | | |
| 5. 情報収集:現病歴 | | AL | 津川 | | | | |
| 6. 情報収集:成育歴 | | AL | 津川 | | | | |
| 7. 関係性のアセスメント | | AL | 津川 | | | | |
| 8. ゴールづくり:要支援者 | | AL | 津川 | | | | |
| 9. ゴールづくり:関係者 | | AL | 津川 | | | | |
| 10. リソースの把握 | | AL | 津川 | | | | |
| 11. リソースの活用 | | AL | 津川 | | | | |
| 12. コンプリメント | | AL | 津川 | | | | |
| 13. コンサルテーション | | AL | 津川 | | | | |
| 14. スーパービジョン | | AL | 津川 | | | | |
| 15. まとめ | | AL | 津川 | | | | |
| 教科書 1 | ブリーフセラピー入門:柔軟で効果的なアプローチに向けて 著者:日本ブリーフサイコセラピー学会 出版社:遠見書房 | | | | | | |
| 教科書 2 | 認知行動療法とブリーフセラピーの接点 著者:津川秀夫・大野裕史 出版社:日本評論社 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|---|---|
| 授業科目名 | 心理演習Ⅳ(検査) | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫、土居 正人、村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-320 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 実習 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:公認心理師に必要な知識と技能(①コミュニケーション、②心理検査、③心理面接・地域支援)について、心理検査や心理面接等の体験を通して、学修する。</p> <p>到達目標:①コミュニケーション技術、②心理検査のロールプレイング、③心理面接・地域支援の基本技術、について理解する。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>本演習では、①コミュニケーションは、マイクロカウンセリング技法の体験を通して、基本的なかかわり方について学ぶ。②心理検査は、乳幼児期の発達・知能検査である田中ビネー式知能検査、および成人の不安とうつの程度を把握する質問紙検査について、体験を通して検査の実際を学ぶ。③心理面接・地域支援については、ブリーフセラピーや認知行動療法に基づいて基本的なアプローチを体験的に学修する。</p> <p>(実務経験のある教員による授業科目)</p> <p>この科目では、保健医療領域、教育領域、福祉領域における心理検査、心理面接等の実務経験のある教員が指導する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 各担当教員により、レポート提出を求める。レポートの提出とその内容(50%)と授業中の課題の取り組み状況(50%)により評価を行う。レポートに対して、フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>(履修条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として、2年次秋学期までのGPAが2.0以上であること。 公認心理師資格の取得希望者は必ず履修すること。 <p>(注意事項)</p> <p>本授業では、受講者を2人もしくは3人に分けてグループを作る。そのグループごとにロールプレイングを行う。そのため、授業を休むとペアの仲間の学修に影響を与えるため、休まないようにすること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | 授業内で指示された本や配付プリント、授業ノートを見ながら予習・復習をし(合計4時間)、理解出来なかった内容を自分で調べて確認しておくこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>津川:月曜4限(津川研究室)</p> <p>土居:月曜2限(土居研究室)</p> <p>村上:水曜1限(村上研究室)</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.職業倫理と法的義務 3.コミュニケーション:基本的態度 4.コミュニケーション:傾聴 5.コミュニケーション:感情の反映 6.検査:田中ビネー検査について 7.検査:田中ビネー 実施 8.検査:田中ビネー 分析 9.検査:田中ビネー レポート 10.検査:STAI、LSAS 11.検査:SDS、BDI 12.面接:ニーズの把握 13.面接:情報収集と整理 14.面接:ゴールの設定 15.面接:多職種連携 | | | <p>講義</p> <p>講義</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> <p>演習</p> | <p>全員</p> <p>村上</p> <p>村上</p> <p>村上</p> <p>村上</p> <p>土居</p> <p>土居</p> <p>土居</p> <p>土居</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> |
| 教科書 1 | プリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 障害者・障害児心理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-3-321 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>授業テーマは、発達障害をはじめとするさまざまな障害の種類や特性を理解し、心理師として現場において支援する具体的な方法を学ぶことである。</p> <p>具体的には、さまざまな障害による制約や特性、個々に対応するためのアセスメント、支援方法等について、障害ごとに理解していく。</p> <p>「障害」とは何か、その種類、症状・特性、診断基準、支援方法等の知識を習得し、実際の心理臨床に生かすことを目標とする。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>主に発達障害についてDVD視聴、テキストの輪読、講義、グループ演習を通して学んでいく。</p> <p>各テーマについて、適宜レポートや課題を課したり、グループ演習や討議によって理解を深めたりする。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目</p> <p>この科目は、心理師として障害児者に対する心理的支援の実務経験(小中高等学校におけるスクールカウンセラー、特別支援教育に関する巡回指導・研修会講師、心理相談室における発達障害児のカウンセリング、保護者支援等)がある教員が担当する。障害児者の支援において必要な知識や技法を、実際の事例も紹介しながら教授していく。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>授業への取り組みを重視し、定期的な小テストおよびレポート課題と最終試験を行い、総合的に評価する。</p> <p>成績評価は、おおむね、授業・演習態度10%、小テスト・レポート30%、最終試験60%とする。小テストや講義内の課題について、講義内で回答・フィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>レポートは、必ず提出期限までに提出すること。</p> <p>予習として、授業内容にあたる部分の教科書を熟読してくる。</p> <p>授業中に配布するプリント(ワークシート)を用いて、復習すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを読み予習する(2時間以上)。</p> <p>②授業内で実施する小テストの結果をふまえ、未習得の部分を復習する。</p> <p>③授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う(レポート課題も含め2時間以上)。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| <ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション さまざまな障害の種類と特徴 発達障害の診断 発達障害支援における心理職の役割 注意欠如・多動症の特性と診断 注意欠如・多動症への支援と治療 限局性学習症の特性と診断 限局性学習症への支援 自閉スペクトラム症のアセスメント 包括的アセスメント 自閉スペクトラム症(ASD)の理解と支援 ASDの行動の特徴 ASDの認知の特徴 ASDの家族への支援、ペアレント・トレーニング 事例紹介、まとめ 最終試験 | 講義 講義・AL 講義 講義 講義・AL 講義 講義・AL 講義 講義 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 講義 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | | |
| 教科書 1 | 公認心理師のための「発達障害」講義 著者: 下山 晴彦・桑原 齊・田中 康雄・稲田 尚子・黒田 美保・宮川 純 出版社: 北大路書房 ISBN: 978-4-7628-3045-7 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 障害児者の理解と教育・支援 著者: 橋本 創一・菅野 敦・林安 紀子・大伴 潔・小林 巖・渡邊 貴裕・霜田 浩信・武田 鉄郎・千賀 愛・池田 一成 出版社: 金子書房 ISBN: 978-4-7608-2639-1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 比較心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-3-324 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:動物の認知行動との比較を通して「こころ」の多様性を知り、ヒトの「こころ」について理解を深める。 到達目標:様々な動物の(認知)行動についての研究法を知り、ヒトに特異的と考えられている能力を他の動物との比較の中で捕らえ直すことができる。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>比較心理学は、ヒトと様々な動物の行動や認知能力を比較することにより、ヒトの独自性と進化の過程を明らかにし、生物としてのヒトの「こころ」を理解しようとする学問である。本講義では、様々な動物種の認知能力についての研究事例を紹介し、それぞれの種がもつ「こころ」とその生物学的基盤および行動の機能・発達・進化について講義する。授業の後半は、講義で取り上げたテーマの中から1つを選び、ヒトを含む動物種ごとに担当を決めて資料を集め、内容を発表し、全員で議論することにより「こころ」について、あるいはその研究方法についての理解を深めていく。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | 4回ほど行う小テストの結果(20%)、研究発表・参加態度(40%)、定期試験(40%)で行う予定である。フィードバックは小テストの返却、発表に対するコメント等において行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>心理学実験実習、心理学研究法の知識は基本である。 後半は、各自の研究発表とそれについての討論が中心となるので、種々の文献の読みこなしが必須となる。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | 配付資料を基に、予習と復習に3~4時間を要す。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜4限 教員研究室。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| (1) オリエンテーション (2) 動物行動と心理学 (3) 様々な学習と生物学的意義 (4) 動物の記憶・研究方法 (5) 動物の概念と思考 (6) 問題解決と道具使用 (7) 様々なコミュニケーション行動 (8) 言語的コミュニケーション (9) 社会的認知と社会行動 (10) 演習テーマの決定と分担 (11) 資料の整理・進捗報告 (12) 発表資料の作成・進捗報告 (13)発表と議論1 (14)発表と議論2 (15)まとめ:ヒトと動物のこころ (16) 学期末試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 試験 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | | | | | |
| 教科書 1 | 動物たちは何を考えている? -動物心理学の挑戦- 著者:藤田和生(編) 出版社:技術評論社 ISBN:978-4-7741-7258-3 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|---|---------|------|------------|-------------|----|
| 授業科目名 | コミュニティ心理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 緒方 二郎 | | | | NO. | PS-PS-3-325 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | コミュニティ心理学の成り立ちや理論に関する知識を時系列によって学び、なぜコミュニティ心理学が発展してきたのか、どのような取り組みがなされてきたのか、その中で行われてきたコミュニティ心理学の研究方法はどのようなものなのかを理解し、説明できるようにする。その上で様々な実践事例の検討と集団でのロールプレイを用いた体験的学習を通して、コミュニティ感覚を養い、心理専門職としての資質を高める。 | | | | | | |
| 概要 | <p>第二次世界大戦後のアメリカでは効果的な心理的援助方法を模索する動きが活発化していた。そして1965年アメリカのボストン郊外にあるスワンプスコットでの「地域精神保健に携わる心理学者の教育に関する会議」通称ボストン会議においてコミュニティ心理学は産声を挙げた。それから50年を経て、交通・通信手段の発達、経済やサービスのグローバル化やネットワーク化など、急速な時代の変化とともに人々の生活様式も大きく変化し、町内など地理的コミュニティはその現実的意味をもちえなくなっている。それに合わせてコミュニティ心理学の定義や手法も形を変えて発展し、今日まで様々な取り組みや理論、研究がなされている。</p> <p>コミュニティ心理学は、地域臨床の文脈で実践されてきた経緯がある。またそれを体系化する理論が数多く提示されているが、地域臨床だけでなく様々な実践事例を紹介し、知識を深めていくとともに、集団ロールプレイング等により自ら体験することも取り入れながらコミュニティ心理学の知識と技法を検討・理解し、心理専門家としての資質を高めていけるように、本授業は構成している。</p> <p>*実務経験のある教員による授業科目 この科目は実際にコミュニティ心理学的アプローチを実践している教員が、その経験を活かし、心理専門的・社会的に役立つ役立つ授業を実践する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | コミュニティ心理学の基礎的な知識、そして心理専門家としての資質を高めるために、試験結果や授業での態度、参加の仕方、ロールプレイングでの対応の仕方等を通じて総合的に評価する。具体的な評価はコミュニティ心理学の基礎知識や理論、研究方法について問う試験(50%)、ロールプレイングにおける周囲への関りや活発な意見交換(30%)、授業中の学びの程度を判定するための授業への積極的な参加態度(20%)を合計して総合評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストは使用せず、パワーポイントで授業を進めていく。まずは講師の説明を聞くこと、そのうえで赤字で書いている部分のみをノートに写すことが望ましい。すべてを書き写すことはせず、ポイントを絞って記述し、理解を深めていくこと。参考図書による予習・復習が望ましい。受講態度の良くないもの、特に他学生の受講を妨げる行為を行うものには退学を求める。積極的な発言や議論を期待する。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として授業計画に示されている項目について調べ、理解したうえで授業を受けるとわかりやすい。単位認定試験の範囲は授業中に発表するので、きちんとノートを取り、学んだことはその日のうちに必ず復習すること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎回の休憩時間に教室または講師控え室にて実施する。授業終了後でも対応可能である。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1オリエンテーション 2コミュニティ心理学史 3コミュニティ心理学の定義 4コミュニティとは 5コミュニティ心理学の理念と目標 6人と環境の適合 7予防 8ストレスとコーピング 9危機介入 10コンサルテーション 11エンパワメント 12事例「障害児・者に対するコミュニティアプローチ」 13事例「精神科デイケアにおけるコミュニティアプローチ」 14ハラスメント相談室におけるコミュニティ心理学の検討 15コミュニティ心理学の研究法・まとめ 16単位認定試験 | 1講義 2講義 3講義 4講義 5講義 6講義 7講義 8講義 9講義 10講義 11講義 12ロールプレイ(AL) 13講義 14講義 15講義 16 試験 | 1緒方 2緒方 3緒方 4緒方 5緒方 6緒方 7緒方 8緒方 9緒方 10緒方 11緒方 12緒方 13緒方 14緒方 15緒方 16緒方 | | | | | |
| 教科書 1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | コミュニティ心理学入門 著者:植村勝彦編 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:978-4-7795-0178-4 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|---------|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 経営心理学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 三宅 俊治、崔 瑞玟 | | | | | NO. | PS-PS-3-326 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 人々が雇用者として、あるいは被雇用者として職に就き、その組織において利潤を追求する目的で仕事に取り組む際に直面する多様な問題を心理学的立場から実証的に捉え、検討し、解決に役立てるための基本的知識を習得するのがテーマである。上記内容の6割以上を理解できるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 職業集団や組織における個人の心理過程を、経営・組織の意思決定、人事マネジメント、組織内人間関係とコミュニケーション、人材育成と職業的アイデンティティ、ストレスと健康などの観点から、今日的な経済・経営趨勢の中で捉え直すことによって、組織の生産性の向上と個人の職業的充実感に折り合いをつけて、いわゆる「役立つ」人材とは何であるのか、決っていきたい。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(60%)、課題及びレポート(40%)により総合評価する。予習・復習の証拠として、使用テキストもしくは教材の指定箇所についてのレポートを毎回、授業の開始前に提出してもらう。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 授業への出席は、教材理解の前提である。私語厳禁。スマホ・携帯電話などの電源は切っておくこと。講義中の飲食はもちろんのこと、机の上の飲食物が目についた場合は、予習・復習点はあてえず、さらに減点する。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習(各々約2時間程度、計約4時間程度)については、テキストあるいは配布資料などから毎回、ポイントを適宜指示する。自己学習の証左をレポートとして、授業開始前に提出すること(提出されたレポートについてはチェックして返却する)。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 毎週火曜日の3限目(13:30-15:00)。場所:個人研究室(10号館2階10209)。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| ①オリエンテーション ②リーダーシップ ③フォローシップ ④組織コミットメント ⑤ストレスとメンタルヘルス ⑥心の健康 ⑦経営・組織の意思決定 ⑧人間関係とコミュニケーション ⑨人材教育とキャリア ⑩人事マネジメント ⑪消費者行動の心理学 ⑫広告の心理学 ⑬ファッションの心理学 ⑭分化・環境・経営 ⑮組織神経科学 ⑯定期試験 | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 三宅俊治 崔 瑞玟 三宅俊治 三宅俊治 崔 瑞玟 三宅俊治 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 崔 瑞玟 三宅俊治 三宅俊治 三宅俊治 崔 瑞玟 | | | | | | |
| 教科書 1 | 経営・ビジネス心理学 著者:松田幸弘(編) 出版社:ナカニシヤ出版 ISBN:ISBN978-4-7795-1263-6 C3011 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|------|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 臨床神経学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 中角 祐治 | | | | | NO. | PS-PS-3-328 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | この授業のテーマは、各種神経疾患の臨床像の理解であり、実際の医療現場で患者に接するのに必要な知識を学生が習得することである。 | | | | | | | |
| 概要 | 神経系に関係する血管障害、変性疾患、外傷、腫瘍、感染症、中毒、機能的疾患について講義する。各学生に数個の課題を指定し、まず学生に発表してもらい、次に学生間で質疑応答し、最後に教員がコメントする。神経内科の実務経験のある教員が担当します。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 授業内での発表60%、質疑応答の内容20%、レポート20% | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 神経疾患を理解するためには、正常な解剖・生理と病態生理・症候学の知識を有していることが必要です。この科目を履修するためには、春期に開講されている神経診断学を履修していることが望ましく、神経診断学を履修していない学生には、解剖・生理、診断学についてのレポートを課します。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習に各2時間を要す | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限、6号館4階、6411研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | 1. 血管障害;虚血 2. 血管障害;出血 3. 変性疾患;運動系 4. 変性疾患;感覚系 5. 脱髄疾患 6. 脊髄疾患 7. 末梢神経疾患 8. 中間試験とその解説 9. 筋疾患 10. 外傷 11. 腫瘍 12. 感染症 13. 先天異常 14.代謝・中毒 15. まとめ | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 |
| 教科書 1 | なし | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 神経内科学テキスト 著者:江藤文夫 出版社:南江堂 ISBN:978-524-26215-1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 神経診断学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 中角 祐治 | | | | | NO. | PS-PS-3-329 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | この授業のテーマは、神経系が障害された時に見られる症候を理解し、それらの症候から神経系の障害部位を考えるための検査法(神経診断学)を紹介することである。 | | | | | | | | |
| 概要 | 神経系の病態生理、神経解剖学に基づいた系統的な神経所見の診察法、補助検査の講義をする。講義は、各学生に数個の課題を指定し、順に調べて来た内容を発表してもらい、次に学生どうして、質疑応答を行い、担当教員がコメントする。授業は、神経内科の実務経験のある教員が担当する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 学生が発表した内容について60%、質疑を行った内容20%、レポート20% | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 神経系の検査法や疾患を理解するためには、その解剖学的知識が必須である。可能な限り講義に取り入れるが、1年次に解剖学特論で学習した神経系の解剖の知識を再確認して受講してほしい。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習・復習に各2時間を要す | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜3限、6号館4階、6411研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 序論 2. 解剖 3. 生理・薬理・遺伝 4. 免疫・発達・加齢 5. 神経診断学;脳神経 6. 神経診断学;錐体路 7. 神経診断学;錐体外路 8. 神経診断学;感覚系 9. 神経診断学;自律神経 10. 臨床検査;生化学 11. 臨床検査;生理学 12. 臨床検査;画像 13. 臨床検査;病理 14. 臨床検査;遺伝子、免疫 15. まとめ | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 中角 | | | | | |
| 教科書 1 | なし | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 神経内科学テキスト 著者:江藤文夫 出版社:南江堂 ISBN:978-524-26215-1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 臨床の倫理 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-3-330 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】教育・医療・産業等における心理臨床現場における事例的例題を通して、倫理を調べ学習と討論、考察により、自分なりの視点を持つようになること。</p> <p>【到達目標】臨床現場(教育・医療・産業等)は治療者とクライアント、両者を取り巻く人間関係の上に成り立つ場であるため、守秘、インフォームドコンセント等において治療者の倫理が問われる。学生は、適切なアセスメントや支援が行われるためのクライアント理解のあり方、障害に対する一般的心理反応等について学習し、それらに対する対応を理解・修得できること。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>法律や倫理的観点を学習し、インフォームドコンセント、守秘義務、いじめや不登校、研究倫理、研究結果の公表などテーマを絞って、それらにおける倫理的問題を検討する。</p> <p>グループごとに話し合いをすることになる。一つのテーマについて、4コマ分かけて話し合ったり、図書館で調べたりすることを通して、会話に深みをつけていく。しっかり時間をとって話し合うことから、多方面の意見が出て、新たな発見の連続である。大学時代でしかないこの体験は、貴重なものとなるであろう。</p> <p>主観と客観を分ける技術、人の話を聞きだし聞く力、まとめる力、発表する力などこれから就職する学生にとっては、大きな経験となる。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>受講態度、レポート提出と討論への参加状況を総合して評価する。4～5回の個人レポート(50%)、受講態度を含む討論への参加状況、授業内で出す課題や小レポートへの取り組み(50%)を目安とする。講義内での積極的な発言に期待する。レポートを基にフィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>自分自身が患者や不適応行動を起こした場合、患者や問題を抱えている人の立場に立ち、積極的に問題点を考えてほしい。資料のプリントについて問題の要点を理解し、毎テーマごとにグループなってもらい、話し合いを行う。そのため、自分なりの意見を持って発言すること。また、レポート作成の際に講義内容を振り返るような学習を期待する。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>上記に記載した学習方法を参考にすること。一つ一つのテーマに対して注意深く考察し、幅広い考え方が持てるよう、積極的に意見交換を行ってほしい。学習時間は、予習2時間、復習2時間とする。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 1.オリエンテーション、臨床について 2.インフォームドコンセント 3.インフォームドコンセントの調べ学習 4.インフォームドコンセント討論・レポート 5.教育現場の倫理 6.教育現場の倫理の調べ学習 7.教育現場の倫理の討論・レポート 8.研究倫理 9.研究倫理の調べ学習 10.研究倫理の討論・レポート 11.剽窃・ねつ造・改ざん 12.剽窃の調べ学習 13.剽窃の討論・レポート 14.法律について 15.まとめ レポート試験(4回分) | 講義 講義 AL AL 講義 AL AL 講義 AL AL 講義 AL AL 講義 講義 レポート | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | | |
| 教科書 1 | 必要に応じてプリント配布、板書を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 日本史 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | PS-PS-2-901 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 日本の歴史の古代から近世までを講義する。 到達目標:教職の教科に関する科目の一つであるので、採用試験に出題される問題に対応できるようになる。前近代の日本の歴史の大きな流れと時代の変化に着目してすすめていく。 | | | | | | | |
| 概要 | 日本の通史について古代から近世にかけて取り上げる。混迷する21世紀に生きる我々について生きる指針を歴史は示してくれている。既習事項を整理しながら、それぞれの時代の全体像について把握し、差異に着目して将来の教授につながる時間となるよう、いろいろな資料を活用して進めていきたい。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験70%、課題・小テスト20%、授業への積極的態10%課題小テストは授業でフィードバックさせ理解の深化・統合に活用する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 講義の3分の2以上の出席が定期試験を受けるための条件である。真剣な授業への取り組みの姿勢を求める。毎時間資料を配付するのでファイル等で整理できるように用意してください。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 自己学習としての予習復習(各30時間程度)が大切です。資料整理も必要です。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎時間講義の後で教室にて実施 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 日本文化のあけぼの・律令国家の形成 2. 律令制度と平城京の時代 3. 平安初期の政治と摂関政治 4. 鎌倉幕府の成立 5. 戦国大名の登場 6. 幕藩体制の成立 7. 開国と幕末の動乱・明治維新 8. 自由民権運動、不平等条約改正 9. 日清戦争 10. 日露戦争 11. 大正デモクラシー・新たな世界秩序 12. 動揺する日本 13. 日中戦争から太平洋戦争 14. 講和から高度経済成長の時代へ 15. 新しい国際秩序 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | |
| 教科書 1 | 詳説高校日本史 著者:笹山晴生 佐藤信 五味文彦 高埜利彦(ほか10名) 出版社:山川出版社 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|---|---|
| 授業科目名 | 東洋史 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | PS-PS-2-902 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>テーマと到達目標 前近代から現代の中国を中心とした東洋の歴史を講義する。 教職の教科に関する科目の一つであるので、採用試験に出題される問題に対応できるようになる。歴史の大きな流れをグローバルに把握できるようになることを目標とする。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>授業の概要 本講義では、主として中国の古代から現代に至る歴史について講義する。中国史に関するさまざまな問題をテーマとして取上げながら、全体として通史的な構成となるように配慮した。日中両国の関係は、過去から現在へと連なり、さらには未来をも規定する宿命的なものといつてよい。あわせて朝鮮半島やインド、イスラム諸国についても言及したい。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>定期試験、課題、積極的授業態度を総合的に判断して評価する。定期試験(70%)、課題(20%)、積極的授業態度(10%) 課題にはレポート課題を含み授業中にフィードバックさせ理解の深化・統合を図るものとする。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>資料を用意するのでファイルを毎時間持参すること。講義の三分の二以上出席することが、定期試験を受ける条件である。課題は必ず提出すること。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>テキストをよく読むとともに、資料の予習復習をしっかりと行ってほしい。予習・復習(各30時間)は欠かせない。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>毎時間授業後教室にて</p> | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.中国の古代 2.インドの古典文明と東南アジアの諸文明 3..中華帝国の形成 4..三国史の世界 5.東アジア諸地域の自立化とモンゴル帝国 6.明代の中国 7.清と東アジア諸国 8.繁栄する西アジア・中東 9.太平天国と洋務運動、変法運動・義和団運動 10.辛亥革命と中華民国の成立 11.満州事変と日中戦争 12.中華人民共和国の歩みー大躍進政策 13.文化大革命・改革・開放政策 14.南アジアと東南アジアの植民地化 15.第三世界の自立と危機 16.単位認定試験 | | | <p>講義 講義</p> <p>講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義 講義</p> <p>講義 講義 講義</p> <p>講義</p> | <p>白神 白神</p> <p>白神 白神 白神</p> <p>白神 白神 白神 白神</p> <p>白神 白神 白神</p> <p>白神</p> |
| 教科書 1 | <p>詳説高校世界史 出版社:山川出版社</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 西洋史 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | PS-PS-2-903 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ: 古代ギリシア世界～現代に至る西洋の歴史について 到達目標: 教員免許資格取得に関する科目なので、教員採用試験の問題に対処し得るようになる。また、西洋の歴史の流れを他の世界との関係に十分留意して理解できるようになることを目標とする。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>現代世界は、国際的に解決しなければならない多くの問題や課題を抱えている。日本が国際的に信頼関係を築いていくためには、現状を認識するだけでなく、諸外国が歩んできた歴史を踏まえた深い異文化理解が不可欠である。ここに、広く世界の歴史に目を向ける意味がある。現代の西洋世界を理解するためには、遠い過去から積み重ねられてきた伝統を理解することが必要である。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>単位認定試験(70%)、課題・小テスト(20%)、積極的授業態度(10%)で評価する。課題・小テストについては授業中にフィードバックさせて理解の深化に努める。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>毎時間資料を用意するので、ファイルを作り、教科書とともに持参すること。3分の2以上の出席が単位認定試験参加の条件である。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>予・復習(各30時間)と課題への真剣な取り組みの姿勢を期待する。</p> | | | | | | | | |
| オフィスワ- | <p>授業終了後教室にて実施。</p> | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. ギリシア世界 2. ローマ世界 3. 西ヨーロッパ中世世界の変容と中世文化 4. ヨーロッパ世界の拡大 5. ルネッサンス 6. 宗教改革 7. 重商主義と啓蒙専制政治 8. ヨーロッパ諸国の海外進出 9. 産業革命 10. アメリカ合衆国独立 11. フランス革命ナポレオンの大陸支配 12. アメリカ合衆国の発展 13. 第一次世界大戦 14. 世界恐慌と第2次世界大戦 15. 冷戦の終結と社会主義体制の解体 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | | | | | |
| 教科書 1 | <p>詳説高校世界史 出版社: 山川出版社</p> | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|---|--|--|
| 授業科目名 | 地理学概論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | PS-PS-2-904 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 将来、学校現場において社会科地理的分野の授業の実践ができる教員の養成がテーマであり、中学校社会科教員に必要な地理学の基礎的知識及び実践的指導力の育成を目的とし、教員採用試験問題に対応できるようになる。 | | | | | | | |
| 概要 | 中学校社会科地理的分野の内容を教授できる、系統地理・人文地理の基礎的内容を現代社会の主な課題に触れながら学習していく。ICTを活用し中学校・高等学校の既習知識を呼び起こし現代社会の地理的諸課題について考察していきたい。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(70%)、レポート(15%)、積極的態度(15%)レポートについては授業でフィードバックさせ深化・統合を図る。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | テキストは毎時間持参すること。参考資料・課題を配布するのでノートとともに毎時間記録整理しておくこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に心がけ課題意識をもって授業に参加してほしい。積極的、建設的な意見がもてるよう日々の課題意識が求められる。予習復習には2時間程度は必要です。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 授業終了後、教室にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1.地球をながめて 2.世界のさまざまな生活と環境 3.暑い地域の暮らし 4.乾燥した地域の暮らし 5.温暖な地域の暮らし 6.寒い地域の暮らし 7.高地の暮らし 8.宗教と生活とのかかわり 9.日本の領域と領土問題 10.環境問題と環境保全 11.世界の資源・エネルギー、日本の資源・エネルギーと電力 12.日本の農業・林業・漁業とその変化 13.日本の工業とその変化 14.日本の商業・サービス業 15.世界と日本の交通・通信網 16.単位認定試験 | | | 講義 講義 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義 講義・討論 講義・討論 講義・討論 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | |
| 教科書 1 | 中学校社会科地図 出版社:帝国書院 ISBN:978-4-8071-6163-8 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 地誌学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 白神 幹夫 | | | | | NO. | PS-PS-3-905 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 地誌学の概要と世界主要地域及び日本の地誌を学ぶ。様々な地域における特徴と諸問題を総合的に把握するとともに、中学校社会科教員として教授できる知識・技能を身につけ、グローバルな視点により地理的事象を分析・探求できるようになる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 日本や世界の各地方を題材に、自然や人々の暮らしの様子、特徴を地理的に考察していく。世界や日本の地理を多面的・多角的に考察し各自が明確な視点をもって世界の中の日本の姿をイメージできるようICTを活用しながら学んでいきたい。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験(70%)レポート(15%)積極的な授業態度(15%)レポートについては授業でフィードバックし深化・統合に資する。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 教科書を毎時間持参すること。資料を毎時間配布するのでファイリングできるようノートとともに準備してください。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業中に発展的課題を提示するので、webで調べたり、自分の意見をまとめるなり、積極的に学習に取り組んでいただきたい。予習復習には2時間程度は必要です。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業終了後、教室にて | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 九州地方の自然と人々の生活 2. 中国四国地方の自然と暮らし 3. 瀬戸内の工業・観光 4. 近畿地方の自然と暮らし 5. 中部地方の自然と暮らし 6. 関東地方の暮らしと産業 7. 東北地方の自然と産業 8. 北海道の自然と産業 9. 東アジアの地誌 10. 東南アジアの地誌 11. 南アジアの地誌 12. ヨーロッパの地誌 13. 北アメリカ大陸の地誌 14. 南アメリカ大陸の地誌 15. オセアニアの地誌 16. 単位認定試験 | | | 講義 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 講義・討論 筆記試験 | 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 白神 | | | | | |
| 教科書 1 | 中学校社会科地図 出版社: 帝国書院 ISBN: 978-4-8071-6163-8 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|-----|------------|-------------|------|
| 授業科目名 | 法学 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 生駒 正文 | | | | | NO. | PS-PS-1-906 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | 法学は社会人として自己の完成を目指す上で有効に役立てることができる必要不可欠な教科です。社会生活に必要な法的なものの考え方を理解することを到達目標とします。 | | | | | | | |
| 概要 | 本講義では、個人の生活、企業のビジネスで体験する身近な法的問題を取り上げることによって法の生きた現実の機能を学ぶとともに、法的なものの考え方(リーガルマインド)を学習できるようになっています。講義は学生諸君に法が果たす役割を理解してもらうための入門授業です。講義中に配布する簡単なレジュメ・教科書をもとに授業します。各講義とも、それに関する基礎的な知識習得として、「テーマ」を出しますので、各自意見を文章にしてもらいます。この科目は大阪簡易裁判所民事調停委員としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | レポート及び平常点30%、定期試験70%として総合評価します。 なお、評価のために実施した課題等は授業、ノートでフィードバックする。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 新聞記事を毎日読むこと、受講に際して、ノートを取ることを原則に講義に臨むこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 12:00～13:00 14号館6階(生駒研究室) | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. 法律の基礎知識 2. 日本国憲法の構成と基本原理 3. 平和主義・国民主権(三権分立) 4. 基本的人権 5. 基本的人権 6. 基本的人権 7. 家族法の基礎知識(婚姻、内縁) 8. 家族法の基礎知識(親族) 9. 家族法の基礎知識(相続) 10. 家族法の基礎知識(相続) 11. 契約一般の基礎知識(契約上の注意点、無効、取消し) 12. 契約一般の基礎知識(代理、契約解除に必要な条件) 13. 訪問販売・割賦販売の基礎知識(消費者契約法、クレジット) 14. 訪問販売・割賦販売の基礎知(特定商取引法) 15. 電子取引上の契約とホームページ 16. 定期試験 | | | | 講義 | 生駒正文 |
| 教科書 1 | 法学講義(第1章、第4章、第5章 利用) 著者:生駒正文 出版社:ビジネス実務法研究所 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 政治学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 李 分一 | | | | NO. | PS-PS-1-907 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 1 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>大学で政治の諸問題を学ぶ意義は、それを単なる評論ではなく、専門的な概念を用いた理論的観点を通じて学ぶことになる。しかし、政治に対する考え方は極めて多意であり、それらを説明する概念や接近の仕組みも学者によって異なる。そのために受講生は、様々な政治関連の問題について、自らの立場で自分の見解や判断力を持つことを期待する。この講義を受講すれば、大衆民主主義における政治的な出来事や理解、すなわちその背景と要因、そして、こうした相互関連性について知ることができる。それは、現代社会の一市民としての教養と姿勢が習得できるものとなる。</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>この講義では、様々な政治現象を分析し説明する。なお、複雑な政治現象の仕組みを理解するためには、政治学の基礎的な概念と考え方、そして理論についての説明は不可避である。講義の主な内容は、政治学の基礎知識を習得しながら、「先進民主主義国・日本の政治と社会」について、様々なトピックを取り上げて説明する。そのため、受講生は、日常の政治社会学的な出来事とその経済的関連について関心を持つことが大切である。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>定期試験(80%)、提出物(10%)、授業態度(10%)等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>(1) 授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。(2) 単位認定試験を行うので、必ず受ける必要がある。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>(1) 参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。(2) 受講生の予習(30時間)と復習(30時間)のために、トピック別の宿題とレポートを課す。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 毎週水曜日4時限目(9304研究室) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.政治とは何か 3.現代社会と政治 4.政治の地位と役割 5.国家論 6.政治学の行動科学主義的方法 7.政治学の歴史的接近方法 8.政治と権力 9.支配の正統性 10.権力の分立 11.政治的リーダーシップの意義 12.政治的リーダーと大衆 13.現代社会と政治的指導力 14.政治地理学と文化 15.政治参加 16.定義試験 | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 試験 | 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 李 | | | | |
| 教科書 1 | プリント使用 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---------|------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 教育心理学 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-2-910 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>1. 教育心理学の重要性を理解し、教育領域に有用な心理学的知識とその活用を学ぶ</p> <p>2. 児童生徒の心の発達プロセス理解と、それに適合した、あるいは促進させる教育心理学的アプローチのあり方を身につける</p> <p>3. 児童生徒の示す心理的問題や、教育上特別な支援が必要な児童生徒の心理学的理解と、具体的な支援に寄与する教育心理学的知識を身につける</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>この講義では、教育領域における心理学的理論と知識、および教育領域に適用可能な心理学的手法を学ぶ。はじめに教育心理学の理論と方法を概観した後、児童生徒個人の心理的発達の諸側面を学んでいく。続いて児童生徒の友人関係、心の問題を、学習活動や学校生活との関わりで解説する。そして、学習理論や動機づけの理論に基づいて児童生徒にアプローチする心理学的知識と手法についても解説する。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、幼稚園・小学校での教員経験、小中高等学校でのスクールカウンセラーの実務経験がある教員が担当する。教育現場における現状や課題、教員として必要とされる心理学の知識や対応方法について教授し、学生の理解を深める。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>評価は、講義内で行う小テスト・レポート・振り返りシート、学期末に実施する単位認定試験の得点を総合して行う。評価の内訳は、講義内の小テスト20%、レポート・演習課題20%、単位認定試験60%で、総合100点満点中60点以上を単位認定の対象とする。講義内の小テストや演習課題については、講義内で回答・フィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>講義をしっかりと聴き積極的な学びに努めること。 毎回プリント等を配布するので、ファイルを用意しておくこと。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>①初回授業にて配布する「講義計画」に基づいて、テキストの該当ページを事前に読み予習する。 ②授業の最初に実施する小テスト(前の時間の確認テスト)の結果をもとに、復習を行う。 ③毎回の授業終了時に配布する「まとめプリント」の空欄を記入し、復習を行う。 以上のような予習・復習に、毎回1～2時間を要する。</p> | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| 第1回:オリエンテーション 第2回:教育心理学とは、発達と教育 第3回:発達段階、認知の発達 第4回:特別支援教育と発達障害 第5回:発達障害の理解と対応 第6回:発達障害への教育・支援 第7回:学習指導の基礎理論と基本 第8回:学習指導の方法 第9回:適応の心理と教育 第10回:いじめ・不登校の心理と指導 第11回:学習理論と学習のメカニズム 第12回:学習理論に基づく技能学習と問題解決 第13回:動機づけの理論 第14回:動機づけの応用と学習へのアプローチ 第15回:学級・集団の心理 第16回:単位認定試験 | 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 講義・演習 講義・AL 講義 講義 講義 講義・演習 講義 講義 講義 筆記試験 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | | |
| 教科書 1 | 教育心理学 著者:松原達哉 出版社:丸善出版 ISBN:978-4-621-08636-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|-----|---------|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 教育行政学 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 倉知 典弘 | | | | | NO. | PS-PS-2-911 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>授業のテーマ 現在日本の教育制度の仕組み、意義、基本原理を理解するとともに教育制度の一部である学校の経営やその制度的背景について理解する。そのうえで、社会や子どもを取り巻く課題に教育制度・学校経営がどの程度対応できているのかを考え、将来の教育制度・学校経営のあるべき姿を考察する。</p> <p>到達目標 1. 教育行政・公教育の原理、理念、作用及び仕組みを理解する 2. 学校、教育機関の目的を理解し、その目標をどのように達成しようとしているか理解する 3. 学校経営の組織体制及びマネジメント手法について理解する 4. 子どもたちをめぐる問題に対する制度的・経営的対応を理解する 5. 現在の教育改革及び行財政改革の基本的な方向を理解する 6. 子どもや社会の現状、行財政改革の現状などの正確な理解をもとに今後の教育行政・学校経営のあるべき姿について自身の意見を提示できるようになる</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>本講義は、教育制度の理解を深める段階と教育制度の理解をもとに学校経営を理解することを目的としている。まず最初に公教育が存在する理由を「公共性」概念及び「公共財」概念を紐解くことにより明らかとする(第1回)。そのうえで現状の法制・機構・仕組みについて検討する。その後、教育行政の理念を諸外国の事例や裁判での論争事例をもとに批判的に検討していく(第2回～第7回)。</p> <p>以上のような教育行政全体の動向・課題を明らかにしたのち、その制度によって支えられている学校経営について「組織マネジメント」及び「問題行動」「子どもの現状」への対応という観点から解説及び討議を行う。特に近年注目されている「学校安全・危機管理」「チームとしての学校」「地域社会との連携」については詳細に検討を行い、学校経営の在り方を考える示唆を提示したい(第8回～第14回)。そして、最後に今後の教育行政と学校経営の在り方について総括的な議論を行い、教員になる学生の教職意識の向上に役立てる(第15回)。</p> <p>本講義では日本の事例を主に扱うが諸外国に先進的な事例や参考になる事例がある場合には適宜それを紹介するので、日本の現状を批判的に見つめるための視野を身に付けてもらいたい。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | 学習記録の提出(15%)及びレポート課題(15%)及び定期試験(70%)で評価する。定期試験の結果及びレポート課題については掲示によって総括的なフィードバックを行う | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 本講義は、教員免許状取得のための講義であり、卒業要件に当てはまるか否かは学科等によって異なるので、必ず学生便覧を確認してから履修すること。なお、教員となるのにふさわしい態度で受講することが求められる。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として1)講義に取り上げる予定の法令調べ 2)講義にかかわる事項の調べ 3)テーマに関わる論述課題を課す(2時間程度)。論述課題の内容は講義でも取り上げる。 復習として1)講義のキーワードのまとめ 2)論述課題 3)講義の振り返りを課す(2時間程度) | | | | | | | |
| オフィスアワー | 火曜2限 倉知研究室(9号館3階9301)にて | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| 第1回:公教育の基本原則と教育行政:教育の公共性について | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第2回:教育の法制の概要:教育の法律主義について | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第3回:教育行政の機構:教育行政のガバナンス | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第4回:教育の中立性確保:宗教的中立と政治的中立 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第5回:教育の義務制と機会均等:教育福祉の観点から | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第6回:教育機関の設置・管理:学校と社会教育・生涯学習 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第7回:教育職員に関わる法制:養成・採用・サービスを中心に | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第8回:学校の組織体制:チームとしての学校を中心に | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第9回:学校経営計画と評価:PDCAサイクル | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第10回:学校における教育活動:教育課程 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第11回:学校における生徒指導:「問題行動」とその制度的対応 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第12回:学校経営の諸課題(1)地域社会との連携 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第13回:学校経営の諸課題(2)学校安全・学校保健 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第14回:学校経営の諸課題(3)子どもの現状とその制度的対応 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第15回:現代教育改革と教育行政・学校経営 | 講義 | 倉知 | | | | | | |
| 第16回:定期試験 | | | | | | | | |
| 教科書 1 | 教育行政学: 子ども・若者の未来を拓く(改訂版) 著者:横井敏郎編 出版社:八千代出版 ISBN:978-4842917092 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 参考書 1 | 教育小六法 著者:市川須美子、小野田正利、勝野 正章、窪田 眞二、中嶋 哲彦、成嶋隆 出版社:学陽書房 ISBN:978-4313011953 |
| 参考書 2 | 中学校学習指導要領(最新版) 高等学校学習指導要領(最新版) |

| | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|-----|----------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 社会科・地歴科教育法 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | PS-PS-2-913 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 2 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義、演習・実習 | | |
| テーマと到達目標 | 社会の様々な事象に関心を持ち、それを多角的・多面的に考察、判断できる中学生を育てるため、教科の特性を理解した上で探究心を常に持ち、さらに、効果的な授業、適切な評価ができる実践力にも優れた教師を目指す。教師という仕事に不可欠な授業計画作成、教材研究、テスト問題作成といった実践的な実習、演習さらには模擬授業によって教師になるための態度、態度さらには自信を身につけていく。 | | | | | | | | |
| 概要 | 本授業では中学校社会科3分野のうち歴史分野を学ぶものとする。学習指導要領に示されている各分野の授業時間配分をもとに授業計画を作成し、単元の教材研究・指導法研究を進めるなかで、何を強調すべきか、どのような評価をすべきか、情報機器をどのように活用すべきかなどをを考えていく。さらに、テスト問題や学習指導案の作成、模擬授業を通して、実践力を身につけていく。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 多面的、総合的に評価するが、目安は次の通り。 定期試験40%、授業計画表10%、単元指導法研究表10%、テスト問題作成10%、学習指導案10% 模擬授業10%、授業へ取り組む姿勢10% なお、授業計画、指導法研究表、テスト問題、学習指導案、模擬授業についてはそれぞれフィードバックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位取得目的だけを目的にするのではなく、将来への目的意識を持って履修してもらいたい。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に授業で使用される教材に目を通し、授業内容を予め知るとともに、問題点を見つけ出しておくこと。事後は授業内容を復習し、知識を定着させ、理解の深化に努めること。それぞれに2時間程度を要する。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、休憩時間に教室、講師控室にて | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション | | | 講義 | 磯 | | | | | |
| 2. 学習指導要領について① 戦後の変遷と時代背景 | | | 講義 | 磯 | | | | | |
| 3. 学習指導要領について② 現学習指導要領の研究 | | | 講義・実習 | 磯 | | | | | |
| 4. 指導計画作成実習① 作り方説明のあと作成 | | | 講義・実習 | 磯 | | | | | |
| 5. 指導計画作成実習② 作成、提出 | | | 講義・実習 | 磯 | | | | | |
| 6. 教材研究・教科書単元指導法研究 ① 1章、2章 | | | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 7. 教材研究・教科書単元指導法研究 ② 3章 | | | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 8. 教材研究・教科書単元指導法研究 ③ 4章 | | | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 9. 教材研究・教科書単元指導法研究 ④ 5章 | | | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 10. 教材研究・教科書単元指導法研究 ⑤ 6章、7章 | | | 講義・演習 | 磯 | | | | | |
| 11. テスト問題作成実習 | | | 講義・実習 | 磯 | | | | | |
| 12. 学習指導案作成実習①:情報機器活用を考える | | | 講義・実習 | 磯 | | | | | |
| 13. 学習指導案作成実習②: 相互の意見交換 | | | 講義・実習・AL | 磯 | | | | | |
| 14. 模擬授業計画発表(情報機器の積極的な使用を勧める)相互の意見交換 | | | 実習・AL | 磯 | | | | | |
| 15. 模擬授業 | | | 実習 | 磯 | | | | | |
| 16. 単位認定試験 | | | | | | | | | |
| 教科書 1 | 新しい社会 歴史 著者:坂上康俊 他 出版社:東京書籍 ISBN: | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 中学校学習指導要領解説 社会編 著者:文部科学省 出版社:東洋館出版社 ISBN:978-4-491-03471-3 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|---|---|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 社会科・公民科教育法 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | | NO. | PS-PS-3-915 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義、演習、実習 |
| テーマと到達目標 | 社会事象に関心を持ち、的確な判断や行動ができる生徒を育てるため、自らも深く思考し判断できるとともに、効果的な授業の創造、適切な評価ができる実践力に優れた教師を目指す。 高校の公民教科の特性やねらいを理解した上で、適切な指導計画作成・教材研究、テスト問題作成、指導案作成、そして模擬授業を行い、実践力を身につけ、教師になることの自信を深める。 | | | | | | |
| 概要 | 本授業では、高校公民科の科目のうち「現代社会」を学ぶ。学習指導要領を踏まえ、中学校社会科の成果を前提とした上で、授業計画作成、単元の教材研究・指導法研究をすすめていく。その際、情報機器の有効な活用について考えていく。さらに、テスト問題作成、学習指導案作成、模擬授業を通して実践力を身につけられるようにする。 なお高校公民科はまもなく「現代社会」が廃止され、「公共」が必修履修科目として設けられる。まだそれをもとにした研究はできる段階ではないが、示されている方向性は理解させる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 多面的、総合的に評価するが、目安は次の通り。 定期試験40%、授業計画表10%、単元指導法研究表10%、テスト問題作成10%、学習指導案10% 模擬授業10%、授業へ取り組む姿勢10% なお、授業計画、指導法研究表、テスト問題、学習指導案、模擬授業についてはそれぞれフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位取得目的だけを目的にするのではなく、将来への目的意識を持って履修してもらいたい。 | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に授業で使用される教材に目を通し、授業内容を予め知るとともに、問題点を見つけ出しておくこと。事後は授業内容を復習し、知識を定着させ、理解の深化に努めること。それぞれに2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、休憩時間に教室、講師控室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 学習指導要領とは何か。その変遷と時代背景 3. 現行学習指導要領と新学習指導要領、新科目「公共」について 4. 年間指導計画作成実習 5. 教材研究・教科書単元指導法研究 ① 第1部 6. 教材研究・教科書単元指導法研究 ② 第2部 1章 7. 教材研究・教科書単元指導法研究 ③ 第2部 2章 3章 8. 教材研究・教科書単元指導法研究 ④ 第2部 4章 9. 教材研究・教科書単元指導法研究 ⑤ 第2部 5章 10. 教材研究・教科書単元指導法研究 ⑥ 第3部 11. テスト問題作成実習 12. 学習指導案の作り方説明。情報機器の利用を考える 13. 学習指導案作成実習:情報機器の利用を考える。意見交換 14. 模擬授業計画発表(情報機器の積極的な使用を勧める) 15. 模擬授業 16. 単位認定試験 | | 講義 講義 講義 講義・実習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・実習 講義・実習 実習・AL 実習・AL 実習 | 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 | | | | |
| 教科書 1 | 現代社会 著者:間宮陽介 他 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-16522-3 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-28633-1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|--|---|-------------|----------|
| 授業科目名 | 社会科・公民科教育法Ⅱ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 磯 永二 | | | | NO. | PS-PS-3-916 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義、演習、実習 |
| テーマと到達目標 | 社会の様々な事象に関心を持ち、それを多角的・多面的に考察、判断できる中学生を育てるため、教科の特性を理解した上で探究心を常に持ち、さらに、効果的な授業、適切な評価ができる実践力にも優れた教師を目指す。教師という仕事に不可欠な授業計画作成、教材研究、テスト問題作成といった実践的な実習、演習さらには模擬授業によって教師になるための態度、態度さらには自信を身につけていく。 | | | | | | |
| 概要 | 本授業では、高校公民科の科目のうち「倫理」および「政治経済」を学ぶ。学習指導要領を踏まえ、中学校社会科の成果を前提とした上で、授業計画作成、単元の教材研究・指導法研究をすすめていく。その際、情報機器の有効な活用について考えていく。さらにテスト問題作成、学習指導案作成、模擬授業を通して実践力を身につけられるようにする。春学期から継続しての履修となるであろうから春学期の成果を受け継げるようにする。なお、新学習指導要領において公民科は「現代社会」が廃され、新たに「公共」が設けられる。「倫理」「政治経済」は存続するが、新学習指導要領における公民科として意識しなければならない方向性を理解させる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 多面的、総合的に評価するが、目安は次の通り。 定期試験40%、授業計画表10%、単元指導法研究表10%、テスト問題作成10%、学習指導案10% 模擬授業10%、授業へ取り組む姿勢10% なお、授業計画、指導法研究表、テスト問題、学習指導案、模擬授業についてはそれぞれフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 単位取得目的だけを目的にすのではなく、将来への目的意識を持って履修してもらいたい。 | | | | | | |
| 自己学習 | 事前に授業で使用される教材に目を通し、授業内容を予め知るとともに、問題点を見つけ出しておくこと。事後は授業内容を復習し、知識を定着させ、理解の深化に努めること。それぞれに2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 授業後、休憩時間に教室、講師控室にて | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 学習指導要領から学ぶ 3. 倫理 授業計画作成実習 4. 教材研究・倫理教科書単元指導法研究① 1章～3章 5. 教材研究・倫理教科書単元指導法研究② 4章～5章 6. テスト問題作成実習 7. 学習指導案作成実習:情報機器の利用を考える、意見交換 8. 模擬授業①(情報機器の積極的な使用を勧める)、意見交換 9. 政経 授業計画作成実習 10. 教材研究・政経教科書単元指導法研究① 第1編、第3編の一部 11. 教材研究・政経教科書単元指導法研究② 第2編、第3編の一部 12. テスト問題作成実習 13. 学習指導案作成実習:(情報機器の利用を考える)、意見交換 14. 模擬授業②(情報機器の積極的な使用を勧める)、意見交換 15. 反省、レポート作成 16. 単位認定試験 | 講義 講義 講義・実習 講義・演習 講義・演習 講義・実習 講義・実習・AL 実習・AL 講義・実習 講義・演習 講義・演習 講義・実習 講義・実習・AL 実習・AL 演習 | 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 磯 | | |
| 教科書 1 | 倫理 著者:竹内整一 他 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-16523-0 | | | | | | |
| 教科書 2 | 最新政治経済 新訂版 著者:伊東光晴 他 出版社:実教出版 ISBN:978-4-407-20402-5 | | | | | | |
| 参考書 1 | 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編 著者:文部科学省 出版社:東京書籍 ISBN:978-4-487-28633-1 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| 授業科目名 | 生徒・進路指導論 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 担当者 | 藤井 和郎 | | | | | NO. | PS-PS-3-920 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】生徒指導、進路指導及びキャリア教育の意義や原理を学び学校組織の一員として生徒指導、進路指導及びキャリア教育を進めていくために必要な知識・技術や素養を身に付ける。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒指導の意義や原理を理解することができる。 2 すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解することができる。 3 生徒の抱える主な生徒指導上の課題の態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解することができる。 4 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することができる。 5 すべての生徒を対象としたキャリア教育の考え方と指導の在り方を理解することができる。 6 生徒が抱える個別のキャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解することができる。 | | | | | | | |
| 概要 | <p>生徒指導は、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じ行われる重要な教育活動であり、キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むための教育活動である。授業では、生徒指導の目標や生徒指導の機能を捉え直した上で、生徒指導の今日的課題を踏まえた実践について知識・理解を深める。また、キャリア教育及びそれに含まれる進路指導について意義や原理などを学ぶ。毎回の授業では反転授業及び「個人学習1→グループ学習→全体学習→個人学習2」という流れを原則としたグループワークを取り入れた主体的・対話的な学習を行う。それにより、課題に対する理解が深まることを意図している。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、中学校教員、生徒指導主事、校長及び教育行政の実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>[試験]50%(授業全般にわたっての理解度を記述式及び選択式の試験によって確認する) [提出物]20%(レポート課題や学習プリントの記載内容等により評価する) [授業への参画状況]30%(予習プリントや振り返り用紙の記載内容、授業中の発表及び発言内容、教職への意欲や態度等を総合的に評価する) レポート課題は授業の中で、試験は個別にフィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>座席指定により編成されたグループでの協議に積極的に参加すること。 授業で配付されたプリント類を整理するためのファイルを準備しておくこと。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>前時に示された予習プリントにより、次時の学習内容を把握すること。 復習として、授業で配付したプリントの内容を、理解する事柄と記憶する事柄に整理して再確認すること。 なお、それぞれ約2時間の予習・復習が必要である。</p> | | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>月曜日3限目 10号館10303 藤井(和)研究室</p> | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義と原理 2. 学校における生徒指導体制、教育相談 3. 生徒指導に関する法制度等、学校と家庭・地域・関係機関との連携 4. 生徒指導の進め方(児童生徒全体への指導) 5. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:問題行動) 6. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:不登校) 7. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:いじめ) 8. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:発達障害) 9. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:児童虐待) 10. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:愛着障害) 11. 生徒指導の進め方(個別の課題を抱える児童生徒への指導:性的マイノリティ) 12. キャリア教育とは何か 13. 中学校におけるキャリア教育推進のために 14. 中学校におけるキャリア教育の実践 15. 生徒指導の今後の方向性 16. 試験 | | | <p>講義・AL 講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>講義・AL</p> <p>筆記試験</p> | <p>藤井 藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> <p>藤井</p> | |
| 教科書 1 | <p>生徒指導提要 著者:文部科学省</p> | | | | | | | |

| | |
|-------|---|
| | 出版社:教育図書 ISBN:978-4-87730-274-0 |
| 教科書 2 | 中学校キャリア教育の手引き 著者:文部科学省 出版社:教育出版 ISBN:978-4-316-30026-9 |
| 参考書 1 | 中学校学習指導要領(平成29年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房 |
| 参考書 2 | 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 著者:文部科学省 出版社:東山書房 |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|---|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 教育相談の基礎 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-2-921 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 2 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 |
| テーマと到達目標 | <p>「教育相談の基礎」では、学校での教育相談の理論と方法をテーマとする。 この授業の到達目標は次の通りである。 (1)教育相談の意義や、教育相談に関わる心理学の基礎的な理論を理解する (2)不適応や問題行動、発達障害の特徴とそれらへの対応方法の基礎について理解する (3)チーム学校としての組織的な取組や専門機関等との連携について理解する</p> | | | | | | |
| 概要 | <p>学校における教育相談では、児童生徒への個別相談に加えて、学級集団や保護者への対応をバランスよく進めることが求められる。そして、担任が一人で抱え込むのではなく、チーム学校として他の教員やスクールカウンセラー等との連携も必須である。この授業では、学校における不適応や問題行動等について学ぶとともに、予防・開発的教育相談について理解する。 実務経験:心理臨床経験(小・中・高におけるスクールカウンセリング、教育研究所における教育相談)を有する教員が、学校現場において役立つ視座と相談技法について授業を行う。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | <p>単元ごとの小テストおよびレポートの得点が6割以上であり、授業態度への注意(私語、居眠り、スマートフォンの使用等)が3回未満の者に単位を与える。これを前提として、テストとレポートの得点(80%)、授業への参加態度(20%)にて評価する。小テストやレポートの課題や個別の得点について適宜フィードバックを行う。</p> | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>教職科目を履修することを自覚し、「責任ある大人」としての態度で授業に臨むことを期待する。毎回の出席はもちろんのこと、実技の練習やディスカッションに積極的な参加を望む。</p> | | | | | | |
| 自己学習 | <p>できるだけ早い時期に、指定テキストを読み通しておくこと。予習・復習にそれぞれ1時間を要する。</p> | | | | | | |
| オフィスアワー | 水曜日3時限、個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談とは 2. 教師に求められる臨床的視点:指導と相談の相違点 3. 子どもの発達課題と教育相談 4. 特別支援教育と教育相談①:知的能力障害 5. 特別支援教育と教育相談②:自閉スペクトラム症 6. 特別支援教育と教育相談③:注意欠如多動症、限局性学習症 7. 問題行動と教育相談①:オペラント条件づけ 8. 問題行動と教育相談②:問題行動の機能 9. 問題行動と教育相談③:不登校 10. 問題行動と教育相談④:いじめ 11. 予防・開発的取り組みと教育相談①:ストレングスマodel 12. 予防・開発的取り組みと教育相談②:ゴールづくり 13. 予防・開発的取り組みと教育相談③:例外さがし 14. チーム学校①:守秘義務と情報共有 15. チーム学校②:連携 16. 定期試験 | <p>講義 AL</p> <p>講義 講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p> <p>AL</p> <p>講義 講義</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL</p> <p>AL 筆記試験</p> | <p>津川 津川</p> <p>津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川 津川 津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川</p> <p>津川 津川</p> | | |
| 教科書 1 | <p>ポジティブ認知行動療法 出版社:北大路書房</p> | | | | | | |
| 教科書 2 | <p>リットの法則 出版社:集英社</p> | | | | | | |
| 参考書 1 | <p>生徒指導提要 出版社:教育図書</p> | | | | | | |
| 参考書 2 | <p>よくわかる教育相談 出版社:ミネルヴァ書房</p> | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|------------|--|-----|------|------------------------|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 教育実習 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-4-923 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 4 | 時間数 | 120 | 授業形態 | 実習 | | |
| テーマと到達目標 | テーマは「学校における教育実習」であり、到達目標は、教師としての指導力の基礎となる実践的知識・技術の習得である。 | | | | | | | | |
| 概要 | <p>教育実習は、教員免許取得のための必修科目であり、中学校、または高等学校での実習を通して、大学で学んできた知識や技術を現場における実際の教育活動と結びつけるためのものである。そのために、3週間にわたる実数期間中に、授業実習のみならず、学校はどんな活動をするとするか、教師はどんな仕事をしているのか、生徒の実態はどうか、授業はどのように行われているのかなどについて、観察したり、参加したりしなくてはならない。</p> <p>実習期間は実習校によって違いがあるが、基本的には6月を中心とした3週間である。</p> <p>学校での実習終了後、大学で事後指導としての授業もあるので、実施日時・場所についての掲示には注意すること。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学外実習で、実践的教育から構成された科目である。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | 実習校からの成績評価(70%)、実習日誌・最終レポート(20%)、事前説明会及び事後反省会等への出席態度(10%)により評価する。フィードバックは事後指導時に行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 3年次に行われる「教育実習指導」の単位の他、学生便覧で指示してある授業科目の単位を取得していない者は実習に参加できない。また、教職志望意識の低い者、大学での学業成績が全般に著しく低い者も実習を辞退していただく。実習校での事前打ち合わせがある場合もあるので注意しておくこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 実習前から、しっかりと教材研究等を行っておくこと。 また、模擬授業・マイクロティーチングなども経験しておくこと。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限、森井研究室。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 6月を中心に3週間。 | | | 実習 | 各実習校の指導担当教諭 (森井・倉知) | | | | | |
| 教科書 1 | | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | 実習を行う教科の学習指導要領 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|--|---|
| 授業科目名 | 教職実践演習(中・高) | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-4-924 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | これまでの学生の履修状況をふまえ、教師として必要な知識、技能の補完がテーマである。到達目標は、教師らしくなることである。 | | | | | | |
| 概要 | <p>以下の3点を中心に、学校や教育委員会の先生方の協力のもと、講義、討議、ロールプレイングなどを行いながら演習を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習を振り返り、総括するとともに、教師として必要な資質能力、自分に不足している資質能力等について討議・検討する。 2. クラス運営やPTA活動などの学校教育の諸活動のあり方について実践的に学ぶ。 3. 教科の指導に必要な知識・技能などを見直し、力量向上のための取り組みを検討する。 <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、学校教育において教員としての実務経験を持つ方々が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 評価は受講態度(討議などへの参加状況など;30%)と課題レポート・模擬授業(70%)の評価による。課題レポートは、内容確認後、コメントをつけて返却する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 教育実習を終えていることが基本要件であり、将来、教職に就くという強い意志を持っている学生のみが対象の演習である。教職カルテを持参すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 教職に就こうとする自覚と向上心を高めるべく、すべての面での学修に真剣に取り組むこと。 4月から教師として勤められるように、自分に不足する資質・能力を向上させるように自己陶冶に努めること。 課題レポート等の作成(4時間以上必要)により、教育現場での活動についての理解を深めること。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限、10号館4階、森井研究室。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | (1) オリエンテーション (2) 教育実習を振り返る (3) 教師の服務と学校現場の課題 (4) 学校の安全管理 (5) 3年生へのメッセージ (6) 教材研究 (7) いじめ・不登校への取り組み (8) 特別支援教育の現状と実際 (9) 道徳教科化の問題 (10) 国際バカロレア (11) 模擬授業と授業研究1 (12) 模擬授業と授業研究2 (13) 模擬授業と授業研究3 (14) 模擬授業と授業研究4 (15) 自己教育課題の総括 | | | 講義 演習 講義 講義 演習 演習・AL 講義 講義 講義・演習 講義 実習 実習 実習 演習 | 森井・倉知 森井・倉知 外部・森井 外部・森井 森井・倉知 外部・森井 学内・森井 外部・森井 学内・森井 外部・森井 外部・森井 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 森井・倉知 |
| 教科書 1 | 教科書は使用しない。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|------|-------------|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 「こころの不思議を科学する—認知心理学的手法を用いて—」をテーマとして心理学研究の基礎を学び、様々な実験手続きを理解し、自らの問題事象について実験的に解明するための計画を立案できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | |
| 概要 | 認知心理学の実験的研究についての文献購読・発表を中心に研究方法について理解することを目的とする。特に、実験方法についての理解を重視する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 演習への取り組み 発表:50%、ディスカッションへの参加など:30% 最終レポート:20% 発表内容については、その都度フィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 欠席の場合も無断で休むと評価対象から外れるので注意すること。 合宿等の学外活動にも積極的に参加すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習:テキストをしっかり読んでおくこと。 不明箇所は、調べておくこと。(2時間以上) 復習:復習をかねた課題を行うこと。(2時間以上) | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜日4限、教員研究室。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2. 記憶の基礎 3. 記憶のモデル 4. 忘却と抑制 5. 日常記憶 6. 知識の成り立ち 7. メタ認知 8. 問題解決と推論 9. 認知バイアス 10. 判断と意思決定 11. 潜在認知 12. 文脈効果 13. 学生テーマ発表(1) 14. 学生テーマ発表(2) 15. 今後に向けて | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | | | | |
| 教科書 1 | 認知心理学 著者:箱田・都築・川畑・萩原 出版社:有斐閣 ISBN:978-4-641-05374-8 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 演習 I | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 AL | |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の作成に向けて、文献検索、論文の読み方、統計処理、分析方法、研究方法の基礎知識を習得する。 | | | | | | | |
| 概要 | 受講生各自が関心をもっている領域・分野の文献を検索し、読み進めていく。その中で、研究方法や統計処理方法についても学び、データ収集から、処理に関する技法も獲得する。 また、「心理学論文の読み方」や「卒業論文の書き方」についての書籍も輪読し、研究テーマの決定につないでいく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。 発表担当時のプレゼン(40%)、討議における積極性(30%)、ゼミへの参加姿勢(30%)も重視する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。欠席する際には、必ず連絡すること。 資料の検索・印刷等、各自が責任をもって確実に行うこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分が関心をもっているテーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。3時間以上は必要である。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限 於:個人研究室 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション、演習の進め方 2. 卒業論文 作成について:目的と内容 3. 卒業論文 作成について:構成・書式・文体など 4. 卒業論文 作成について:引用文献 5. 卒業論文 抄録集輪読:担当部分の決定 6. 卒業論文 抄録集輪読:研究内容の理解 7. 論文と書籍について 8. 論文の種類 9. 研究テーマの決め方 10. 先行研究の検索の仕方 11. 先行研究 検索ワード 12. 先行研究 論文の入手方法 13. 先行研究 概要をまとめる 14. 疑問の整理と解決 15. 今後の研究スケジュール 16. 総括 | | 講義 講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 | | | | | |
| 教科書 1 | 超初心者向けSPSS統計解析マニュアルー統計の基礎から多変量解析まで 著者:米川和雄・山崎貞政 出版社:北大路書房 ISBN:978-4-7628-2706-8 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習 I | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-3-405 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 3 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の作成への第一ステップであり、各ゼミ生の関心に沿った心理学的問題をゼミ参加者相互の議論を通して明確化していくことがテーマである。 心理学的問題の所在、研究の目的・意義、方法の工夫、先行研究との関連まで進めることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 関心のあるテーマについての先行研究の発表を通して、研究論文の読み方や書き方、研究方法や統計的手法の学習をおこなう。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(30%)および課題への取り組み等(70%)を総合評価する。課題については、適宜フィードバックをおこなう。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は必須とする。 発表や討議、演習などに積極的に参加すること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習(2時間程度)として、先行研究を調べ、その内容をまとめた上で、わからない点や疑問点を調べること。 復習(2時間程度)として、授業内容の振り返りをおこなうこと。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 論文の構成 3. 研究テーマの立て方 4. 先行研究の調べ方 5. 研究方法 6. 統計(1):t検定 7. 統計(2):1要因の分散分析 8. 統計(3):2要因の分散分析 9. 統計(4):相関と重回帰分析 10. 統計(5):因子分析 11. 研究テーマの構想発表(日本人学生) 12. 研究テーマの構想発表(留学生) 13. 関連研究の発表(日本人学生) 14. 関連研究の発表(留学生) 15. まとめ | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | | | | | |
| 教科書 1 | プリントを配布する。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-----|------|-----|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | テーマ:卒業論文作成に向けて、研究計画に基づき実験や調査を実施する 到達目標: 1. 研究計画を立てる 2. 計画に基づき、実験や調査を実施する | | | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文作成に向けて、少人数のゼミ形式で指導する。先行研究を概観し、報告することを通して、何がどこまで明らかにされているか、どのような手法を用いているかを把握する。秋学期の終わりまでに、研究デザインをたてることを目指す。 実務経験:心理臨床経験(精神科におけるカウンセリング、小・中・高におけるスクールカウンセリングなど)を有する教員が、心理臨床の視座を踏まえて論文作成について指導する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 発表内容(80%)と討議への参加態度(20%)により評価する。発表内容について適宜フィードバックを行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 主体的な参加を希望する | | | | | | | | |
| 自己学習 | 調査や実験手続きや統計処理に関する文献を読み込むこと。1日1時間以上の自己学修を期待する。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3時限、個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション | | | AL | 津川 | | | | | |
| 2. 研究計画 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 3. 研究計画の批判的検討 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 4. 手続きの検討 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 5. 結果の処理 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 6. 結果の処理についての検討 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 7. 調査・実験の実施 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 8. 経過報告 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 9. 結果の集計 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 10. 経過報告 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 11. 統計処理 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 12. 経過報告 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 13. 結果の分析 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 14. 結果の読み方 | | | AL | 津川 | | | | | |
| 15. まとめ | | | AL | 津川 | | | | | |
| 教科書 1 | 心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 出版社:東京書籍 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 第2版 出版社:東京書籍 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 「こころの不思議を科学するー認知心理学的手法を用いて」というテーマのもと、卒業論文作成のための実験を実施し、結果の整理・分析ができるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | | |
| 概要 | 基本的には、卒業論文の作成に向けての経過報告の形で行うが、折に触れ、論文の紹介(発表)、統計的手法の概説などを行う。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 発表:60%、受講態度:40% 発表の都度、フィードバックを行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 所定の時間外でも演習を行うことがあるので注意するように。 他のゼミ生の卒業論文についても、深く関与し、全員で協力してすすめるように。 無断欠席には厳しく対処するので気をつけること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 卒論研究に関する論文等、自ら探し、要約して発表できるように準備すること。 これまで学んできた心理学の知識をフルに活用できるように、過去の教科書・ノートなどを有効利用すること。指摘されたことは、その日のうちに取り組むこと。(2時間) 十分な準備のためには、復習も含めて、4時間以上必要である。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限目、教員研究室。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 個々の卒論テーマ発表(1) 3. 個々の卒論テーマ発表(2) 4. 論文紹介(1) 5. 論文紹介(2) 6. データの種類と集計方法 7. 研究倫理の問題 8. 実験実施上の注意点 9. 心理統計の復習 10. 個々の研究計画発表(1) 11. 個々の研究計画発表(2) 12. データ分析について 13. エクセルの利用 14. 統計ソフトの利用 15. 卒論作成に向けて | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | | | | | |
| 教科書 1 | 使用しない。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | AL | | |
| テーマと到達目標 | 卒業論文作成に向け、調査を行い、その結果をまとめる。得られたデータについて、結果を適切に扱うことができるようになる。また結果について、統計的処理を行い、新たな知見を導き出せるようになる。論文の構成を検討しながら、論文執筆を行うことができるようになる。 | | | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文作成のための調査の具体的な内容を決定し、アンケート等を作成し実施することができるよう指導する。得られたデータをどのように扱い、処理していくかについて実践を行う。統計処理のための解析ソフトを操作しながら適切な手法で分析を行う。結果を図表などにわかりやすくまとめていく。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | ゼミへの出席は基本とする。発表のための準備60%、討論における積極性40%で評価する。評価については毎回フィードバックを行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 資料の検索・印刷等、確実にすること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回のゼミ毎に進展が図られるよう、5時間以上は自己学習が必要である。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 木曜3限 於:個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 春学期の計画作成 2. 研究データの確認 3. 調査結果についての全般的な注意点 4. 結果:有効データの記述 5. 結果:無効データと有効データ 6. 結果:群分けの記述 7. 結果:文章データの記述 8. 結果:内容分類の仕方 9. 結果:単純集計の記述 10. 結果:尺度分析の結果 11. 結果:変数間の関連 12. 結果:検定結果の記述 13. 結果:相関係数の記述 14. 結果:群間の平均値の差の検定 15. 結果:結果の書き方のまとめ | | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 | | | | | |
| 教科書 1 | 心理学論文の書き方ー卒業論文や修士論文を書くために 著者:松井 豊 出版社:河出書房新社 ISBN:978-4-309-24522-5 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|---------|------------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | NO. | PS-PS-4-407 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の執筆に向け、先行研究・文献の検索、統計処理・分析方法の検討をすることが目標である。同時に、各自が研究を進め、春学期終了までに実践あるいは調査が完了していることを目指す。 | | | | | | |
| 概要 | <p>各自の研究テーマに関する領域・分野の文献を検索し、先行研究を読み進めていく。統計処理方法についても再度学び、論文執筆にあたってどのような手法で結果をまとめるのかを決定する。同時に、春学期中に実践研究を実施し、論文執筆に必要なデータ収集や分析を進めていく。</p> <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校のスクールカウンセラー・心理教育、心理相談室および公的機関でのカウンセリング・心理検査等)がある教員が担当する。演習を通して臨床心理に関する実践研究に必要な知識や実践方法を習得し、実際の臨床活動にも参加していく。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。発表担当時のプレゼン、討議における積極性、ゼミへの参加姿勢も重視する。おおむね、担当時の発表準備・資料・プレゼン60%、討議における発言・積極性40%で評価する。発表・プレゼン・研究の進捗状況については、随時検討しフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。欠席する際には、必ず連絡すること。資料の検索・印刷等、分担しながら積極的に行うこと。 | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分の研究テーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。論文検索・熟読、レジュメ作成等に、毎回2時間以上を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限に実施。その他の時間に相談や指導を希望する場合は、その都度連絡を取り予約すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 卒業論文抄録の講読 3. 研究テーマ・目的の検討 4. 先行研究紹介・発表 5. 実践内容の検討・決定 6. 効果測定方法の検討・決定 7. 実践研究の準備・練習 8. 実践研究の実施 9. 実践研究の経過報告 10. 結果の処理・分析方法の検討 11. 結果のまとめ方 12. データ入力 13. データ分析 14. 研究経過報告 15. まとめ、今後の計画検討 | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | | | |
| 教科書 1 | 教科書は指定しない。各自の研究に関連する文献を随時検索し、読んでいく。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】卒業論文作成のための先行研究を調べる, 統計処理・分析方法を学習する。 【到達目標】春学期が終了するまでに調査や実験が終了することを目指す。 | | | | | | | | |
| 概要 | 本演習では、自身が進める卒業研究に関連する文献を検索し, 統計的分析方法などを学ぶ。論文執筆に必要なスキルを習得する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 規定の出席のあることを前提として、演習課題への取組(60%)と演習中のディスカッションへの積極的な参加、受講態度(40%)で総合的に評価する。取り組みへのフィードバックは、各回で行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミでは要約課題を出す。卒業論文に必要な文献を調べてくること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。演習時間外の課題を、予習2時間・復習2時間分として各演習時に提示するので、必ず行うこと。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて), 活用すること。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.卒論作成について 3.卒業論文とは 4.卒論の目的 5.卒論のテーマについて 6.卒論テーマの決め方 7.卒論の方向性について 8.岡山心理学会について 9.卒論の調査実施:1人目 10.卒論の調査実施:2人目 11.卒論の調査実施:3人目 12.卒論の経過報告:1人目 13.卒論の経過報告:2人目 14.卒論の経過報告:3人目 15.まとめ | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 | | | | | |
| 教科書 1 | 卒業研究に関する、プリント配布を行う。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---------|------------|------|-------------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 青年期・成人期における発達過程の理解をテーマとし(ただし、各年度ごとに新たなテーマを加えることもある)、発達課題や臨床的問題についての知識を獲得できることが到達目標である。 さらに、4年次においては各自卒業論文に掲げたテーマについての知識を深め、卒業論文作成に向けた実践できることが到達目標である。 | | | | | | | |
| 概要 | 1. 心理臨床についての文献や卒業論文のテーマに関する文献を輪読し、発表してもらう。 2. 卒業論文作成に向け、論文の書き方や調査法などを学習する。 3. 卒業論文作成に向け調査を行い、その結果をまとめて発表する。 4. 調査結果を分析、考察し、卒業論文を完成させる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 発表やディスカッションへの参加(80%)、レポート等(20%)を総合的に評価する。レポートのフィードバックは授業時間内に行う。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須。発表やディスカッションへの積極的な参加を望む。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 授業で学習した内容について復習してくる。次回行う内容について、予習しレポートにまとめること。 予習・復習には1-2時間程度を要する。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 研究室にて、木曜日2時限に実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.オリエンテーション 2.研究計画の発表と検討(1) 3.研究計画の発表と検討(2) 4.研究計画の発表と検討(3) 5.研究方法の発表と検討(1) 6.研究方法の発表と検討(2) 7.研究方法の発表と検討(3) 8.調査データの入力と経過発表(1) 9.調査データの入力と経過発表(2) 10.調査データの入力と経過発表(3) 11.調査データの分析と経過発表(1) 12.調査データの分析と経過発表(2) 13.調査データの分析と経過発表(3) 14.分析結果のまとめ方 15.まとめ ※発表の回の(1)~(3)は複数名の発表担当者の順番を示している | | 演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 演習 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | | | | | |
| 教科書 1 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|--|---------|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | <p>【テーマ】講義や日常生活の中で気づいた心理学で扱える問題を発見し、心理生理学的手法、実験的手法を用いて、どのようにすれば、その問題を解決できる研究を提案できるのかについて、実際の研究例に数多く触れて理解を深める。</p> <p>【到達目標】認知心理学、生理心理学領域におけるさまざまな認知活動における問題と、その解決方法に関する発表、ディスカッションを通じて、具体的な認知心理学研究、生理心理学研究を立案・実践するための技能や能力を身につける。</p> | | | | | | | |
| 概要 | <p>本講では、心理学演習Ⅰ・Ⅱに続き、研究の進め方、まとめ方を実践的に学び、テーマに合った適切な資料を適切に分析したり、要約する段階に焦点をあてる。認知心理学研究、生理心理学研究領域におけるさまざまな研究例を通して問題解決の過程と結果をわかりやすく発表できるようになる。演習の方法は、テキスト「脳と心」を輪読する。発表者は、レジュメを作成し、発表する。また、教員の研究への参加等も積極的にを行うことで、自身の研究へとつなげてほしい。</p> | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>学修態度(減点法)、発表の内容(50%)、ディスカッションへの参加度(50%)の合計点により総合的に評価する。課題のフィードバックについては、毎回の講義前に行う。</p> | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>心理学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは、卒業研究の土台となる重要な科目である。積極的に研究に取り組むこと。日頃から、心理学で扱える問題に注意を向け、見聞を深めることを予習・復習時間(各2時間)に充てること。</p> | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>本講は、授業時間以外での学修が非常に重要である。講義で学んだ内容について理解を深めるために復習を行い、教員が行う研究に積極的に参加することで、学修効果も上がり、より実践的に学ぶことが可能となる。また、興味のあるテーマについて、積極的に情報を収集することを予習として行うことで、討議への参加度の増大にもつながる。</p> | | | | | | | |
| オフィスワ- | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| 1.OR ゼミ運営について 2.脳と神経 3.生理心理学 4.注意 5.対象の認知と右脳・左脳 6.生物リズム 7.睡眠 8.感情、表情そして身体表現 9.目と印象形成 10.タイプA 11.行動を支える脳内ホルモン 12.ストレス評価とマネジメント 13.バイオフィードバック 14.音楽と脳 15.生理心理学とコンピュータ | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | | | | | | |
| 教科書 1 | <p>脳と心 著者:宮田洋(著) 出版社:培風館 ISBN:4-563-05742-8</p> | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 演習Ⅲ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-4-407 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 関連研究で用いられている調査の実施方法や統計的処理の方法を学習することがテーマである。到達目標は、テーマに沿った調査を実施し、統計的処理をおこなえるようになることである。 | | | | | | | | |
| 概要 | 研究計画および調査結果についてのディスカッションをおこなう。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(30%)および課題への取り組み等(70%)を総合評価する。課題については、適宜フィードバックをおこなう。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は必須とする。発表や討議、演習などに積極的に参加すること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として、先行研究の調査方法や統計的処理の方法を調べ、その内容をまとめた上で、わからない点や疑問点を調べること(2時間程度)。復習として、授業内容の振り返りをおこなうこと(2時間程度)。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 関連研究の発表(学生1) 3. 関連研究の発表(学生2) 4. 関連研究の発表(学生3) 5. 研究計画の発表(学生1) 6. 研究計画の発表(学生2) 7. 研究計画の発表(学生3) 8. 調査の進め方 9. 質問紙の作成方法 10. 質問紙の作成 11. 結果の処理の方法 12. 記述統計 13. 推測統計 14. 多変量解析 15. まとめ | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | | | | | |
| 教科書 1 | 使用しない | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | テーマ:卒業論文を完成する 到達目標: 1. 所定の形式にしたがい、卒業論文を作成できる 2. 自分の研究について分かりやすく他者に伝えられる 3. 自分の研究のよい点と課題について、客観的に理解できる | | | | | | |
| 概要 | 得られたデータを統計的な手続きを経てまとめ、そこから何が言えるか明らかにする。それを踏まえて、自分の研究を問題、方法、結果、考察の章立てにしたがってまとめる。 実務経験:心理臨床経験(精神科におけるカウンセリング、小・中・高におけるスクールカウンセリングなど)を有する教員が、心理臨床の視座を踏まえて論文作成について指導する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 論文の進捗状況および発表内容(80%)、そして討議への参加状況(20%)により評価する。発表内容について適宜フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 主体的な参加を望む | | | | | | |
| 自己学習 | 論文完成に向けて、できる限りの時間とエネルギーを使うこと。1日2時間以上の学修を期待する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 水3時限、個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 記述統計の報告 3. 記述統計のまとめ 4. 統計処理の検討 5. 統計処理の実施 6. 統計処理の報告 7. 統計処理のまとめ 8. 表・グラフの作成 9. 問題 10. 方法 11. 結果 12. 考察 13. 全体の見直し 14. 発表の準備 15. まとめ | | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 |
| 教科書 1 | 心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 出版社:東京書籍 | | | | | | |
| 教科書 2 | 教育・心理系研究のためのデータ分析入門 出版社:東京書籍 | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 「こころの不思議を科学するー認知心理学的手法を用いて」というテーマのもと、卒業論文作成のための実験の実施し、結果を整理・分析できるようになることを到達目標とする。 | | | | | | | |
| 概要 | 基本的には、卒業論文の作成に向けての経過報告の形で行うが、折に触れ、論文の紹介(発表)、統計的手法の概説などを行う。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 発表:50%、受講態度:50% 発表内容については、その都度フィードバックする。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 所定の時間外でも演習を行うことがあるので注意するように。 他のゼミ生の卒業論文についても、深く関与し、全員で協力してすすめるように。 無断欠席には厳しく対処するので気をつけること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 各自の研究テーマに沿った論文の熟読をすること。 特に、方法と結果の整理については十分に理解するように取り組むこと。 心理統計の講義などを含め、図書館での文献検索などを活用して、自主的に進めること。 指摘されたことは、その日のうちに取り組むこと。(2時間) 十分な準備のためには、復習も含めて、4時間以上必要である。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜4限、教員研究室。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. オリエンテーション・経過報告 2. 記述統計(1) 度数分布と散布図 3. 記述統計(2) 標準偏差と標準誤差 4. 推測統計(1) カイ二乗検定 5. 推測統計(2) t 検定 6. 推測統計(3) 分散分析 7. 統計ソフトの実際(1) SPSS 8. 統計ソフトの実際(2) ANOVA4 9. データの分析結果報告 10. 結果の整理(1) 図表の作成 11. 結果の整理(2) 統計結果の記述 12. 科学論文の表現(1) 主語と述語 13. 科学論文の表現(2) 主観と客観 14. 科学論文の表現(3) 冗長表現 15. まとめ | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | |
| 教科書 1 | 使用しない。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|------|-----|--|------------|-------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | | |
| テーマと到達目標 | 卒業研究の仕上げに向けて、論文抄録の作成、論文発表会におけるプレゼン資料の作成を行い、卒論発表会で聞き手に伝わりやすいプレゼンを実施するスキルを身につける。 | | | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文を、論文作成のきまりに従って執筆する。論文用語の適切な使用のもと、考察の書き方、文献の書き方など、細部に渡って指導していくので、丁寧にひとつひとつ確認しながら、期日までに指定の書式で完成させる。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。 発表担当時のプレゼン(70%)、討議における積極性(30%)で評価する。評価についてはフィードバックを行う。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。欠席する際には、必ず連絡すること。 資料の検索・印刷等、確実にすること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 毎回のゼミ毎に論文の精度を高めていくため、5時間以上は必要である。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限 於:個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | | | 1.卒業論文考察:一般的な構成 2.卒業論文考察:データとの整合性 3.卒業論文考察:中間部の考察 4.卒業論文考察:結果の概略 5.卒業論文考察:結論 6.卒業論文考察:理論的位置付け 7.卒業論文考察:先行研究と異なる結果が得られた理由 8.卒業論文考察:問題点 9.卒業論文考察:今後の課題 10.引用文献:並べ方 11.引用文献:書き方の原則 12.資料・付表 13.抄録作成の仕方 14.抄録の推敲 15.論文全体最終チェック | | | AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 |
| 教科書 1 | 心理学論文の書き方 著者:松井 豊 出版社:河出書房新社 ISBN:978-4-309-24522-5 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|-----|-----|------------|-------------|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 研究結果をまとめ、考察を加え、卒業論文および抄録を完成させることが目標である。各自が執筆を進め、ゼミの中で経過報告をしたり、不明な点を検討したりして、論文を完成させていく。 | | | | | | | |
| 概要 | 各自が行った研究について、先行研究をもとに考察したり、全員で議論したりする。また、論文執筆に必要な統計処理・分析、図表の書き方、本文の書き方などを検討し、共有して学習していく。必要に応じて協同作業で分析をしたり、文献検索をしたりして、執筆を進めていく。 ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校のスクールカウンセラー・心理教育、心理相談室および公的機関でのカウンセリング・心理検査等)がある教員が担当する。演習を通して臨床心理に関する実践研究に必要な知識や実践方法を習得し、実際の臨床活動にも参加していく。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 毎回の出席は基本とする。発表担当時のレポート・プレゼン、討議における積極性、ゼミへの参加姿勢も重視する。おおむね、担当時の発表準備・資料・プレゼン60%、討議における発言・積極性40%で評価する。発表・プレゼン・研究の進捗状況については、随時検討しフィードバックする。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は基本とする。遅刻・欠席する際には、必ず連絡すること。ゼミの準備、資料の検索・印刷等、分担しながら積極的に行うこと。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、自分の研究テーマに関する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。研究結果の分析、卒業論文の執筆などは、各自で時間をとり進めていくこと。 | | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限。その他の時間に相談や指導を希望する場合は、その都度連絡を取り予約すること。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 研究実施報告 3. 卒業研究の経過報告 4. アンケート処理・分析 5. 研究結果発表 6. 研究結果について討論 7. 序論のまとめ方 8. データ入力、統計処理、分析方法 9. 結果のまとめ方 10. 考察の検討 11. 論文最終確認、検討 12. 抄録作成 13. 発表会資料作成 14. 発表会プレゼン、検討 15. 卒業論文発表会 | | | | 全回、演習・討議形式 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 |
| 教科書 1 | 教科書は指定しない。各自の研究に関連する文献を随時検索し、読んでいく。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】卒業論文作成のための先行研究を調べる, 統計処理・分析方法を学習する。 【到達目標】12月締め切りまでに卒論提出及び発表会における発表実施, 1月の抄録提出完了をすること。 | | | | | | |
| 概要 | 本演習では, 自身が進める卒業研究に関連する文献を検索し, 統計的分析方法などを学ぶ。論文執筆に必要なスキルを習得する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 規定の出席のあることを前提として, 演習課題への取組(60%)と演習中のディスカッションへの積極的な参加, 受講態度(40%)で総合的に評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミでは要約課題を出す。卒業論文に必要な文献を調べてくること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習復習に用いる教材プリントは授業内で配布する。演習時間外の課題を, 予習2時間・復習2時間分として各演習時に提示するので, 必ず行うこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて), 活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. 卒論結果分析:1人目 2. 卒論結果分析:2人目 3. 卒論結果分析:3人目 4. 卒論結果分析:4人目 5. 卒論考察検討:1人目 6. 卒論考察検討:2人目 7. 卒論考察検討:3人目 8. 卒論考察検討:4人目 9. 卒論執筆:1人目 10. 卒論執筆:2人目 11. 卒論執筆:3人目 12. 卒論執筆:4人目 13. 卒論発表会のポスター印刷 14. 卒論発表会の練習 15. 卒論抄録の提出 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 |
| 教科書 1 | 卒業研究に関する, プリント配布を行う。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 青年期・成人期における発達過程の理解をテーマとし(ただし、各年度ごとに新たなテーマを加えることもある)、発達課題や臨床的問題についての知識を獲得できることが到達目標である。 さらに、4年次においては各自卒業論文に掲げたテーマについての知識を深め、卒業論文作成に向けた実践できることが到達目標である。 | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理臨床についての文献や卒業論文のテーマに関する文献を輪読し、発表してもらう。 2. 卒業論文作成に向け、論文の書き方や調査法などを学習する。 3. 卒業論文作成に向け調査を行い、その結果をまとめて発表する。 4. 調査結果を分析、考察し、卒業論文を完成させる。 | | | | | | |
| 評価方法 | 発表やディスカッションへの参加(80%)、レポート等(20%)を総合的に評価する。レポートのフィードバックは授業時間内に行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須。発表やディスカッションへの積極的な参加を望む。 | | | | | | |
| 自己学習 | 授業で学習した内容について復習してくる。次回行う内容について、予習しレポートにまとめてくること。 予習・復習には1-2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 研究室にて、木曜日2時限に実施。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.研究の進行状況の発表(1) 3.研究の進行状況の発表(2) 4.研究の進行状況の発表(3) 5.研究結果の発表と検討(1) 6.研究結果の発表と検討(2) 7.研究結果の発表と検討(3) 8.考察の発表と検討(1) 9.考察の発表と検討(2) 10.考察の発表と検討(3) 11.ポスター発表の準備 12.ポスター発表(発表と検討1) 13.ポスター発表(発表と検討2) 14.ポスター発表(発表と検討3) 15.まとめ ※発表の回の(1)~(3)は複数名の発表担当者の順番を示している | | | 演習 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習・AL 演習 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 |
| 教科書 1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|-----|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 演習Ⅳ | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-4-408 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | 計画を立て、結果をまとめ、考察を深めることがテーマである。到達目標は、期限内に卒業論文を完成・提出することである。 | | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文の内容・体裁についてのディスカッションをおこない、期限内に卒業論文を完成させる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(30%)および課題への取り組み等(70%)を総合評価する。課題については、適宜フィードバックをおこなう。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は必須とする。発表や討議、演習などに積極的に参加すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として、先行研究を参考に卒業論文の執筆をおこなうこと(2時間程度)。復習として、授業内容の振り返りをおこなうこと(2時間程度)。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1. オリエンテーション 2. 卒業論文の経過報告 3. 先行研究の輪読(問題と目的) 4. 序論の検討 5. 先行研究の輪読(方法) 6. 方法の検討 7. 先行研究の輪読(結果) 8. 結果の検討 9. 先行研究の輪読(考察) 10. 考察の検討 11. 卒業論文の執筆 12. 卒業論文の検討 13. 抄録の書き方 14. 抄録の作成 15. 発表会の準備 | | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 |
| 教科書 1 | 使用しない | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 外書講読 I | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-3-411 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 3 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】英語の文献講読を通して、心理学領域における方法論および論点について理解する。 【到達目標】近々の心理学における英語の文献を読み、新しいトピックスに触れることで、自分なりの問題意識や興味を深める。 | | | | | | |
| 概要 | 本講では、2017年/2016年発行の学術専門誌「心理学研究、生理心理学と精神生理学、認知心理学研究、基礎心理学研究、健康心理学研究、発達心理学研究、教育心理学研究、他」の英文アブストラクトを講読し、内容について発表・ディスカッションを行う。 | | | | | | |
| 評価方法 | 学修態度(減点法)、授業時に提出する課題(25%)、ディスカッションへの参加度(25%)、試験の得点(50%)の合計点により総合的に評価する。課題のフィードバックは、毎回の講義前に行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 英語の文献を読む為、ある程度の英語力が必要である。英語が苦手な学生については、十分考えた上で履修すること。大学生としての基本的所作をわきまえて講義に臨むこと。辞書を準備すること(電子辞書不可)。辞書を購入する場合は、参考図書に挙げている辞書を推奨する。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習については毎回、次の課題の指示をするので、予め和訳をし、内容について理解すること(2時間)。復習については、授業時の内容を理解し、さらに興味を持った場合は、文献の本文を読み見聞を広げること(2時間)。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 月曜5限:個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | (1)OR/文献の検索の仕方 (2) 英文アブストラクトの読解 (基本) 領域A (3) 英文アブストラクトの読解 (基本) 領域B (4) 英文アブストラクトの読解(基本) 領域C (5) 英文アブストラクトの読解 (基本) 領域D (6) 英文アブストラクトの読解 (初級) 領域A (7) 英文アブストラクトの読解 (初級) 領域B (8) 単語小テスト (9) 英文アブストラクトの読解 (初級) 領域D (10) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域A (11) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域B (12) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域C (13) 英文アブストラクトの読解 (中級) 領域D (14) 英文アブストラクトの読解 (上級) 領域A (15) 単語小テスト (16) 定期試験 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 筆記試験 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 |
| 教科書 1 | 教科書等は使用しません。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | 英和中辞典 プロGRESSIVE 第5版 著者:瀬戸賢一・投野由紀夫 出版社:小学館 ISBN:978-4-09-510205-4 | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|-----|--|--|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 外書講読Ⅱ | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-4-412 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | <p>テーマ:臨床心理学に関する英語文献を読み、内容を理解できるようになること。 到達目標:基本的な文法を把握し、それを応用した文章が読めること。また、臨床心理学に関する専門用語を覚え、内容の読解が出来るようになること。</p> | | | | | | | | |
| 概要 | <p>臨床心理学に関する英語文献を輪読する。大学院入試対策の問題なども適宜使用。輪読するので、予習・復習が必須である。構文や専門用語などについても、解説を行う。授業では、うつ病、摂食障害、PTSD等、精神病理学についての文献、また発達心理学、心理療法などの分野からも文献を講読予定。</p> | | | | | | | | |
| 評価方法 | <p>評価は、定期試験50%、小テストとレポート30%、授業に取り組む姿勢20%とし、総合的に評価する。小テストとレポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。</p> | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <p>予習・復習を必ず行い、授業に備えること。 英和辞典(電子辞書も可)を必ず持参のこと。オリエンテーション時より使用します。</p> | | | | | | | | |
| 自己学習 | <p>復習として、授業で実施した部分について重要単語を覚えてくること。また、授業で出た英文課題について次回の授業時に必ずレポートを提出すること。時々、小テスト等で授業内容の理解度を確認する。予習・復習に1-2時間程度を要す。</p> | | | | | | | | |
| オフィスアワー | <p>研究室にて、火曜4時限に実施。</p> | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 文献講読(摂食障害 診断) 3. 文献講読(症状) 4. 文献講読(事例) 5. 文献講読(要因) 6. 文献講読(心理療法) 7. 文献講読(まとめ) 8. まとめ・小テスト 9. 文献講読(うつ病 症状) 10. 文献講読(うつ病 心理療法) 11. 文献講読(発達心理学) 12. 文献講読(来談者中心療法) 13. 文献講読(精神分析療法) 14. 文献講読(行動療法) 15. まとめ・小テスト 16. 期末テスト | | | 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 筆記試験 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | | | | | |
| 教科書 1 | <p>特になし。適宜プリントを配布。</p> | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--|-----|---|---|---------|------------|-------------|------|-----|
| 授業科目名 | 関係行政論 | | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美、藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-4-413 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義 | | |
| テーマと到達目標 | 公認心理師として職務を遂行するにあたり、必要となる施策や法律、制度、そしてその基盤となる考え方について理解を深める。 | | | | | | | | |
| 概要 | 人々の活動の基盤となる仕組みやルール、取り組みなどの歴史的経緯などを、法律や制度の紹介を通して明らかにしていく。また公認心理師の職域5分野について、それぞれの法律や制度を把握し、具体的な役割を認識できるよう講義する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 小テスト20%、最終試験80%とする。小テストのフィードバックはそれぞれの担当教員から指示があるにしたがって受けること。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 予習のためテキストを繰り返し読み、疑問を明確にした上で受講すること。予習と復習にはそれぞれ2時間以上を必要とする。またオムニバスであるため、講義の日にちや時限が担当者ごとに変わる可能性がある。常に大学からの連絡に気を配っておくこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 予習と復習にそれぞれ2時間以上をあてる。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 藤吉:木曜3限 藤原:月曜2限 いずれも個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション 2. 法制度の基本 3. 公認心理師の法的立場・各分野への展開 4. 保健医療分野に関する法律・制度:医療全般 5. 保健医療分野に関する法律・制度:精神科医療 6. 保健医療分野に関する法律・制度:地域保健・医療 7. 福祉分野に関する法律・制度:児童福祉 8. 福祉分野に関する法律・制度:障害者・障害児福祉 9. 福祉分野に関する法律・制度:高齢者福祉 10. 教育分野に関する法律・制度 11. 司法・犯罪分野に関する法律・制度:刑事 12. 司法・犯罪分野に関する法律・制度:家事 13. 司法・犯罪分野に関する法律・制度:少年非行 14. 産業・労働分野に関する法律・制度 15. 心の健康・障害・多様性・災害危機 16. 筆記試験 | | | 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義 10. 講義 11. 講義 12. 講義 13. 講義 14. 講義 15. 講義 16. 筆記試験 | 1. 藤吉 2. 入江祥子(外部講師) 3. 藤吉 4. 田中富子(看護) 5. 田中富子(看護) 6. 田中富子(看護) 7. 中野明子(子発) 8. 松原浩一郎(社福) 9. 松原浩一郎(社福) 10. 藤井和郎(子発) 11. 藤原正範(外部講師) 12. 藤原正範(外部講師) 13. 藤原正範(外部講師) 14. 中瀬克己(看護) 15. 藤原(心理) 16. 藤吉 | | | | | |
| 教科書 1 | 関係行政論 著者:元永 拓郎 出版社:遠見書房 ISBN:978-4-86616-073-3 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---------|------------|-------------|-------|
| 授業科目名 | 公認心理師の職責 | | | 履修期 | 2021年度 春学期 | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | NO. | PS-PS-4-414 | |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 選択 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・AL |
| テーマと到達目標 | 公認心理師が人々の心の健康の保持・増進に寄与できるため、職務上果たすべき責務について理解する。 | | | | | | |
| 概要 | <p>心理専門職の国家資格である公認心理師について、その役割および法的義務・倫理について解説する。 心理支援における安全の確保、情報の取り扱いについて解説する。 心理支援の分野別の業務を具体的に示し、受講者に事例を提示しALを実施する。中でも保健医療分野、教育分野は心理援助実務経験を反映させた解説を行う。 心理専門職の自己研鑽に触れる。 多職種との連携および地域連携についても臨床経験をふまえながら具体的に示す。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 試験60%、ミニテスト・レポート40%とする。 ミニテスト、レポートはコメントをつけフィードバックする。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習と復習を欠かさず行うこと。 ・積極的に授業に参加すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習として教科書をよく読み、ポイントと思われるところ、理解できないところ、それぞれにマーカーを入れて授業を受けること。 ・復習のために授業の内容をノート、配布プリントに書くこと。その内容と教科書を照合し学びを深めること。 ・予習・復習にはそれぞれ最低でも2時間は必要である。 | | | | | | |
| オフィスワ- | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. 公認心理師の資格について 2. 心理支援に必要な技能(コンピューター) 3. 心理支援の専門職になるために 4. 心理支援の専門職として求められる学び 5. 公認心理師の法的義務と倫理6. クライアントの安全の確保 7. 情報の適切な取り扱い 8. 多職種連携 9. 保健医療分野における具体的業務 10. 福祉分野における具体的業務 11. 教育分野における具体的業務 12. 司法・犯罪分野における具体的業務 13. 産業・労働分野における具体的業務 14. 公認心理師の今後の展開 15. 振り返りと疑問点の解決 16. 定期試験 | | 1. 講義 2. 講義 3. 講義 4. 講義 5. 講義 6. 講義 7. 講義 8. 講義 9. 講義・AL 10. 講義・AL 11. 講義・AL 12. 講義・AL 13. 講義・AL 14. 講義 15. 講義・AL 16. 筆記試験 | 1. 藤吉 2. 藤吉 3. 藤吉 4. 藤吉 5. 藤吉 6. 藤吉 7. 藤吉 8. 藤吉 9. 藤吉 10. 藤吉 11. 藤吉 12. 藤吉 13. 藤吉 14. 藤吉 15. 藤吉 16. 藤吉 | | | | |
| 教科書 1 | 公認心理師の職責 著者: 下山晴彦 他監 出版社: ミネルヴァ書房 ISBN: 978-4-623-08611-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------------|---|------|-----|---------------|-----|------------|-------------|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 津川 秀夫 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | テーマ:卒業論文を作成する 到達目標: 1. 研究デザインを組むことができる 2. 問題・方法・結果・考察という章立てにしたがって研究をまとめられる | | | | | | |
| 概要 | 卒業論文作成のために少人数のゼミ形式で進める。先行研究をまとめ、研究デザインをかため、得られた結果を所定の手続きにもとづいて分析し、それを先行研究のなかに位置付けて考察する、という一連の論文作成の手続きが進められる指導する。 実務経験:心理臨床経験(精神科におけるカウンセリング、小・中・高におけるスクールカウンセリングなど)を有する教員が、心理臨床の視座を踏まえて論文作成について指導する。 | | | | | | |
| 評価方法 | 卒業論文の作成状況、完成度によって評価する(100%)。論文について適宜フィードバックを行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 主体的な取り組みを期待する | | | | | | |
| 自己学習 | 論文完成に向けて、できる限りの時間とエネルギーを注ぐこと。1日2時間以上の学修を期待する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 水3時限、個人研究室 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| 1. オリエンテーション | | AL | 津川 | 1. オリエンテーション | | AL | 津川 |
| 2. 調査・実験計画の作成 | | AL | 津川 | 2. 調査・実験結果の検討 | | AL | 津川 |
| 3. 調査・実験計画の検討 | | AL | 津川 | 3. 調査・実験結果の記述 | | AL | 津川 |
| 4. 調査・実験の実施 | | AL | 津川 | 4. 調査・実験結果の整理 | | AL | 津川 |
| 5. 調査・実験の経過:1人目 | | AL | 津川 | 5. 調査・実験結果の推敲 | | AL | 津川 |
| 6. 調査・実験の経過:2人目 | | AL | 津川 | 6. 抄録の作成 | | AL | 津川 |
| 7. 調査・実験の経過:3人目 | | AL | 津川 | 7. 抄録の完成 | | AL | 津川 |
| 8. 文献研究の構成 | | AL | 津川 | 8. 目的・方法の検討 | | AL | 津川 |
| 9. 文献研究の作成 | | AL | 津川 | 9. 序論の検討 | | AL | 津川 |
| 10. 文献研究の検討 | | AL | 津川 | 10. 考察の検討 | | AL | 津川 |
| 11. 方法の作成 | | AL | 津川 | 11. 論文全体の推敲 | | AL | 津川 |
| 12. 方法の検討 | | AL | 津川 | 12. ポスターの作成 | | AL | 津川 |
| 13. 結果の統計処理:1人目 | | AL | 津川 | 13. ポスターの検討 | | AL | 津川 |
| 14. 結果の統計処理:2人目 | | AL | 津川 | 14. ポスターの推敲 | | AL | 津川 |
| 15. 結果の統計処理:3人目 | | AL | 津川 | 15. 研究発表準備 | | AL | 津川 |
| 教科書 1 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------|--|-----|--|-----|-----|--|--|--|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 森井 康幸 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 | |
| テーマと到達目標 | テーマは「心理学研究の実施と論文の作成」であり、到達目標は、科学的な研究法に基づいた実験的研究の実施と、卒業論文の作成である。 | | | | | | | |
| 概要 | 心理学科4年間の集大成を目指して、文献研究、実験・調査、データの分析などを通して論文の作成を行えるように、個別に指導・アドバイスする。受講者は、他の学生への指導に参加することで、自分自身の研究を進める上で、あるいは論文をまとめる上でのヒントをつかむようにすることが大切となる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 論文作成への取り組み50%、出来上がり(発表会も含む)50%により評価する。 | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 提出等の期限を守ること。 正規の時間帯以外の個別指導も多いので注意すること。 | | | | | | | |
| 自己学習 | 自分で、計画的に学習を進めること。 実験計画案を考案した時点などの、節目では教員に相談しながら進めること。 | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜4限、研究室が基本ですが、在室時、随時実施。 | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | |
| | | | 1. 進行状況の確認。 2. 中間データの概要報告。 3. 手続き等の改善点の検討。 4. テーマ・タイトルの再確認。 5. 問題・目的の書き方。 6. 方法の重要性。 7. データの整理・集計。 8. 統計的検定。 9. 図表による整理。 10. 結果の要約。 11. 考察の観点について。 12. 引用文献・参考文献について。 13. 卒論の全体的点検。 14. 卒論抄録原稿について。 15. 発表会用資料の作成について。 | | | 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 個別演習 | 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 森井 | |
| 教科書 1 | 使用しない。 | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|--|--|--|------------|-------------|--|--|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 藤吉 晴美 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・AL | | |
| テーマと到達目標 | 心理学演習で学んだ内容や自分で選択したテーマについて、論文としての正しい構成にそって卒業論文として、指定された期日までに確実に完成するための力を身につける。 | | | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒論計画を立て、関連文献の輪読と発表を行う。 2. 卒業論文の書き方や調査法について学習する。 3. 質問紙を作成し、実行する。または面接調査などを行い、まとめる。 4. 調査結果の分析と考察を行い、卒業論文として決められた様式にそって執筆する。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 発表やディスカッションへの参加(20%)、卒論作成(80%)を総合的に評価する。進捗状況を踏まえながら評価をフィードバックする。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須。卒論作成に向け、真摯に取り組むこと。提出期日との関連で頻回に指導を実施することもあるのでゼミの連絡に注意を払っておくこと。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 自己学習には最低でも2時間程度を要する。 | | | | | | | | |
| オフィスワ- | 水曜3限 於：個人研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心理学論文の書き方 3.卒論計画の構想発表：中心テーマ 4.卒論計画の構想発表：研究対象 5.卒論計画の構想発表：研究の進め方の確認 6.文献輪読：心理測定とその方法 7.文献輪読：フェースシートの作成方法 8.文献輪読：質問紙の作成方法 9.先行研究まとめ：検索の方法 10.先行研究まとめ：論文の要約 11.先行研究まとめ：疑問の明確化 12.先行研究と卒論計画の比較・検討：目的について 13.先行研究と卒論計画の比較・検討：方法について 14.先行研究と卒論計画の比較・検討：結果と考察について 15.まとめ | | | 講義 講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 | <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心理学論文の書き方 3.データの分析方法について 4.卒論調査結果の発表：発表の仕方について 5.卒論調査結果の発表：結果の提示について 6.卒論調査結果の発表：留意点の確認 7.卒論調査結果：結果全体の提示 8.卒論調査結果：問題の整理 9.卒論調査結果：結果全体を通した検討 10.卒論考察：考察作成の留意点の確認 11.卒論考察：考察の提示 12.卒論考察：問題の整理 13.ポスター発表の方法について 14.ポスター発表リハーサル 15.まとめ | | | 講義 講義 AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL AL | 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 藤吉 |
| 教科書 1 | 適宜指定する。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-----|---|--|--|------------|-------------|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 藤原 直子 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 卒業論文の執筆に向け、研究方法や論文の書き方を学習する。同時に、実践研究や調査研究を遂行し、結果の分析やまとめも行う。 最終的に、卒業論文を完成させ、発表することが到達目標である。 | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業論文完成までの計画をたて、準備を進める 2. 実践研究や調査研究を行う 3. 研究の結果を分析し、考察を考える 4. 論文を仕上げ、提出する 5. 抄録・発表資料の作成、発表練習を行い、卒業論文発表会において発表する。 <p>※実務経験のある教員による授業科目 この科目は、臨床心理士としての実務経験(小中高等学校のスクールカウンセラー・心理教育、心理相談室および公的機関でのカウンセリング・心理検査等)がある教員が担当する。演習を通して臨床心理に関する実践研究を実施し、実際の臨床活動に参加する。</p> | | | | | | |
| 評価方法 | 研究や卒業論文執筆に関する発表・報告、完成した卒論、最終発表を総合的に評価する。発表・プレゼン・研究の進捗状況については、随時検討しフィードバックし、個別指導を行う。 おおむね、完成までの発表・報告30%、卒業論文70%で評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須とする。 発表担当者以外も、自身の進捗状況を毎回報告すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 常に、研究テーマに関連する書籍や学術論文を検索し、熟読すること。 報告・卒論指導に必要な資料作成や、研究実施にあたっての準備は必ず各自で行うこと。 研究実施、結果の分析、論文執筆は、いずれも各自の作業となるため、自己学修にかなりの時間を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 研究室にて、毎週月曜日2限。 その他の時間に相談や指導を希望する場合は、その都度連絡をとり予約すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究結果の整理 2. 結果の分析方法検討 3. 結果の分析 4. 結果の記述方法検討 5. 結果の解釈 6. 経過報告 7. 経過報告の発表 8. まとめ方の検討 9. 考察の書き方 10. 論文の構成確認 11. 論文執筆 12. 論文執筆・個別指導 13. 論文の仕上げ・最終確認 14. 抄録・発表資料の作成 15. 発表会準備・プレゼン | 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 藤原 | | |
| 教科書 1 | 教科書は指定しない。各自の研究に関連する文献を随時検索し、読んでいく。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|---|-----|------------|--|--|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 土居 正人 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 【テーマ】卒業研究の実施、執筆をするために必要な知識や技能を修得すること。 【到達目標】卒業論文の完成である。 | | | | | | |
| 概要 | 卒論のテーマを決め、計画を立てる。それに必要な文献購読、発表を行う。卒論の書き方や調査の実施方法を学習する。質問紙を作成し実施したり、面接調査などを行う。結果の統計処理や分析を行い、それらをまとめ、論文を作成していく。 | | | | | | |
| 評価方法 | 卒業論文について、問題と目的、方法、結果、考察、オリジナリティがあるか、有用性があるかなどを総合的に評価し、論文作成までの過程の積極性(40%)、卒論内容(60%)で評価を行う。取り組みへのフィードバックは毎回行う。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 発表やディスカッションへの積極的な参加を望む。慎重になりすぎると研究が滞ってしまうので、積極的にチャレンジしてみるという気持ちが必要である。全時間の出席を必須とする。 | | | | | | |
| 自己学習 | 卒論テーマに関連する領域の文献購読は日頃から必要である。文献購読は日々行うこと。最低週に予習2時間、復習2時間を行うこと。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜日の2時間目をオフィスアワーとして指定している(土居研究室にて)、活用すること。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| | | | 1.オリエンテーション 2.卒論作成について 3.卒業論文とは 4.卒論の目的 5.卒論のテーマについて 6.卒論テーマの決め方 7.卒論の方向性について 8.卒論の調査準備 9.卒論の経過報告 10.卒論結果分析 11.卒論考察検討 12.卒論執筆 13.卒論発表会のポスター印刷 14.卒論発表会の練習 15.卒論抄録提出 | | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 土居 |
| 教科書 1 | 図書館やインターネットで調べてきたり、プリント配布を行ったりする。 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|-----------|---|-----|--|---|---|------|-------------|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | |
| 担当者 | 宇都宮 真輝 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 心理学演習で学んだ内容や自身で選択したテーマを、卒業論文として完成し、提出できることがこの授業のテーマであり、到達目標である。 | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒論計画を立て、関連文献の輪読と発表を行ってもらう。 2. 卒論の書き方や調査法について学習する。 3. 質問紙を作成し、実行する。または面接調査などを行い、まとめる。 4. 調査結果の分析と卒論の仕上げ。 | | | | | | |
| 評価方法 | 発表やディスカッションへの参加(20%)、卒論作成(80%)を総合的に評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 出席は必須。発表やディスカッションへの積極的な参加を望む。卒論作成に向け、真摯に取り組むこと。フィードバックは授業内に行う。 | | | | | | |
| 自己学習 | 授業で学習した内容について復習してくること。次回行う内容について、予習レポートにまとめてくること。自己学習には最低でも1-2時間程度を要する。 | | | | | | |
| オフィスワ- | 秋期:木曜日5時限(研究室) | | | | | | |
| 春学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | 授業方法 | 担当者 | | |
| | | | <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.心理学論文の書き方 3.データの分析方法について 4.卒論調査結果の発表(1) 5.卒論調査結果の発表(2) 6.卒論調査結果の発表(3) 7.卒論調査結果についての検討と修正(1) 8.卒論調査結果についての検討と修正(2) 9.卒論調査結果についての検討と修正(3) 10.卒論考察についての発表と検討(1) 11.卒論考察についての発表と検討(2) 12.卒論考察についての発表と検討(3) 13.ポスター発表の方法について 14.ポスター発表リハーサル 15.まとめ ※発表の回の(1)~(3)は複数名の発表担当者の順番を示している | 講義 講義 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義・AL 講義 | 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 宇都宮 | | |
| 教科書 1 | 改定新版 心理学論文の書き方 著者:松井豊 出版社:河出書房新社 ISBN:978-4-3-0-24522-5 | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|---|-----|---|--|---|------------|-------------|---|--|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | | | |
| 担当者 | 橋本 翠 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 | | |
| 配当学科 | 心理 | | | | 年次 | 4 | | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 講義・演習 | | |
| テーマと到達目標 | テーマ:ヒトの認知活動を心理生理学(Psychophysiology)の立場から理解する。到達目標:ヒトの心的活動,特に認知情報処理活動について実験心理学的手法を用いて客観的に捉え,論文としてまとめることができる。 | | | | | | | | |
| 概要 | ヒトの心的活動,特に認知情報処理活動についての実験心理学的手法を身に付け,それらを用いて卒業論文へと収束させる。 | | | | | | | | |
| 評価方法 | 実験態度,作成過程とともに,論文について,研究の背景,実験方法,結果のまとめ方,考察のしかた,オリジナリティーがあるかどうかなど,総合的に評価する。 | | | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | 時間に余裕をもって,計画的に研究を進めること。 | | | | | | | | |
| 自己学習 | 先行研究を精査し,自身の研究計画と比較しながら,丁寧に研究を行う。また,自身の行った実験結果を確認し,間違いがないかチェックする。自己学習には最低2時間はあてること。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 月曜5限:研究室 | | | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | | 授業方法 | 担当者 |
| 1.各自の研究(実験)(1) 2.各自の研究(実験)(2) 3.各自の研究(実験)(3) 4.各自の研究(実験)(4) 5.各自の研究(実験)(5) 6.各自の研究(分析)(1) 7.各自の研究(分析)(2) 8.各自の研究(分析)(3) 9.各自の研究(分析)(4) 10.各自の研究(分析)(5) 11.各自の研究(ディスカッション)(1) 12.各自の研究(ディスカッション)(2) 13.各自の研究(ディスカッション)(3) 14.各自の研究(ディスカッション)(4) 15.各自の研究(ディスカッション)(5) | | | 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 講義・実習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 | 1.各自の研究(論文作成)(1) 2.各自の研究(論文作成)(2) 3.各自の研究(論文作成)(3) 4.各自の研究(論文作成)(4) 5.各自の研究(論文作成)(5) 6.各自の研究(まとめ)(1) 7.各自の研究(まとめ)(2) 8.各自の研究(まとめ)(3) 9.各自の研究(まとめ)(4) 10.各自の研究(まとめ)(5) 11.各自の研究(発表準備)(1) 12.各自の研究(発表準備)(2) 13.各自の研究(発表準備)(3) 14.各自の研究(発表準備)(4) 15.各自の研究(発表準備)(5) | | | 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 講義・演習 | 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 橋本 |
| 教科書 1 | 適宜指示する。 | | | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|--|--|---|-----|--|--|
| 授業科目名 | 卒業論文 | | | | 履修期 | 2021年度 秋学期 | |
| 担当者 | 村上 勝典 | | | | | NO. | PS-PS-4-415 |
| 配当学科 | 心理 | | | 年次 | 4 | | |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 | 授業形態 | 演習 |
| テーマと到達目標 | 卒業論文を作成することがテーマである。 到達目標は、研究方法、統計的処理の方法、論文のまとめ方を身に付けることである。 | | | | | | |
| 概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 先行研究の輪読と発表をおこなう。 2. 研究方法や統計的処理の方法を学習する。 3. 研究計画に沿って調査を実施する。 4. 卒業論文のまとめ方を学習し、作成をおこなう。 | | | | | | |
| 評価方法 | 受講態度(30%)および卒業論文(70%)を総合評価する。 | | | | | | |
| 履修条件・注意事項 | ゼミへの出席は必須とする。 発表や討議、演習などに積極的に参加すること。 | | | | | | |
| 自己学習 | 予習として、先行研究の購読をおこない、論文の執筆を進めること(2時間程度)。 復習として、授業内容の振り返りをおこなうこと(2時間程度)。 | | | | | | |
| オフィスアワー | 10号館2階の個人研究室において、毎週水曜日1時限目をオフィスアワーの時間とする。 | | | | | | |
| 春学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 | 秋学期授業計画 | | 授業方法 | 担当者 |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 論文の構成 3. 心理学の研究領域 4. 研究テーマの決め方 5. 研究テーマの検討 6. 関連研究の発表(学生1) 7. 関連研究の発表(学生2) 8. 研究計画の発表 9. 研究計画の検討 10. 質問紙調査における留意点 11. 質問紙調査の実施方法 12. 質問紙調査の準備 13. 質問紙調査の実施 14. 序論と方法のまとめ方 15. まとめ | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 | <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 進捗状況の発表 3. データのまとめ方 4. 統計的処理の方法 5. 統計的処理の実施 6. 調査結果の報告・検討(学生1) 7. 調査結果の報告・検討(学生2) 8. 結果のまとめ方 9. 図表の書き方 10. 先行研究との比較 11. 考察のまとめ方 12. 考察の検討 13. 論文の仕上げ 14. 抄録の作成 15. 発表会の準備 | | 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 | 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 村上 |
| 教科書 1 | 使用しない | | | | | | |
| 教科書 2 | | | | | | | |
| 参考書 1 | | | | | | | |
| 参考書 2 | | | | | | | |